宮崎県高岡町埋蔵文化財調査報告書第9集

橋山第1遺跡（A･B地区）

花見工業団地造成に伴う
埋蔵文化財調査報告書

1996. 3

宮崎県高岡町教育委員会

正 誤 表　　橋山第１遺跡（Ａ・Ｂ地区）

頁	訂 正 箇 所	誤	正
4	例言　10	合原敏行	合原敏幸
12	9行目	古代になると、	この時期は、
14	9行目	Ⅱa層	Ⅰ層（撹乱層含む）
14	10行目	Ⅱa・b層	Ⅱa層
14	17行目	出土がある。	出土はない。
69	18行目	暗黄色土	暗黄褐色土

宮崎県高岡町埋蔵文化財調査報告書第9集

橋山第1遺跡（A･B地区）

花見工業団地造成に伴う
埋蔵文化財調査報告書

1996. 3

宮崎県高岡町教育委員会

序　　文

この報告書は、花見工業団地造成工事に伴い1990年度と1991年度に実施した橋山第１遺跡の報告書です。

本調査では、縄文時代早期や後期の遺物が数多く出土し、南九州の当時の歴史を解明するうえで多大な成果をあげることができました。発掘で得られた成果は先人が残した私たちの文化遺産であり、これらの成果を活かすことが我々に課せられた重大な責務と考えております。本書が町内に所在する文化財の保存・保護に活用され、また本庁の学術資料として学校教育、社会教育に活かされるとともに、幅広く活用していただければ幸いに存じます。尚、発掘調査にあたって、関係者各位より頂いたご指導、ご協力に対し心からお礼を申し上げます。

平成８年３月

高岡町教育委員会教育長
篠　原　和　民

例　　言

1　本書は、花見工業団地造成にともない1991年に実施された埋蔵文化財発掘調査の報告書である。

2　発掘調査は、高岡町教育委員会が主体となり、Ａ地区を島田正浩（当教育委員会主事）が、Ｂ地区を谷口武範氏（県文化課より派遣）がそれぞれ担当した。同遺跡Ｃ地区については、1993年に調査を実施し同年報告書を刊行している。

3　黒曜石の蛍光Ｘ線分析は、藁科哲男氏（京都大学原子炉実験所）のご好意による。また分析結果については同氏から玉稿を頂いた。

4　石器の使用石材の一部は、宍戸章氏の鑑定による。

5　現地における実測は、[redacted]の協力を得た。

6　遺物の整理は、[redacted]（以上高岡町文化財調査室）の協力を得た。

7　遺物の実測は、土器については金丸武司（別府大学学生／現田野町教育委員会）・小谷・松元の協力を得た。また、石器については、山本賢一朗（元天ケ城歴史民俗資料館学芸員）がおこなった。トレースは、石器の一部を金丸、それ以外は小谷がおこなった。

8　土器の色調は、農林省農林水産技術会事務局監修による標準土色帳による。

9　方位は磁北、レベルは海抜高である。

10　本書の執筆は、Ⅲ—第２節１項１を谷口、Ⅱ—第１節１項を合原敏行（高岡町役場）、Ⅰ—第１節１項を岩崎健一（高岡町役場）、その他を島田が、それぞれ分筆した。

11　本書の編集は、島田がおこなった。

目　　次

Ⅰ　序　　章 …… 9
第1節　はじめに …… 9
1　調査に至る経過 …… 9
2　調査組織 …… 9
Ⅱ　遺跡の概要 …… 10
第1節　遺跡の環境 …… 10
1　自然環境 …… 10
2　歴史環境 …… 10
第2節　遺跡の概要 …… 12
1　調査経過 …… 12
2　遺跡概要 …… 14
1　基本層序 …… 14
2　遺構 …… 14
3　遺物 …… 14
a　土器 …… 17
b　石器 …… 18
Ⅲ　調　　査 …… 20
第1節　A地区の調査 …… 20
1　第Ⅳ層の遺構と遺物 …… 20
1　遺構 …… 20
a　礫群 …… 20
b　集石遺構 …… 20
2　遺物 …… 28
a　土器 …… 28
b　石器 …… 67
2　第Ⅱ層の遺構と遺物 …… 69
1　遺構 …… 69
a　土坑状遺構 …… 69
2　遺物 …… 71
a　土器 …… 71
b　石器 …… 95
第2節　B地区の調査 …… 106
1　第Ⅳ層の遺構と遺物 …… 106
1　遺構 …… 106
a　礫群 …… 106

b　集石遺構 …… 106
2　遺物 …… 116
a　土器 …… 116
b　石器 …… 137
Ⅳ　分　　析 …… 141
第１節　黒曜石産地同定 …… 141
橋山第１遺跡出土の黒曜石製遺物の原材産地分析 …… 141
Ⅴ　ま と め …… 154

挿図目次

第１図　高岡町遺跡分布図 …… 11
第２図　橋山第１遺跡周辺地形図 …… 13
第３図　橋山第１遺跡基本柱状図 …… 14
第４図　橋山第１遺跡グリット配置図 …… 15
第５図　Ａ地区第Ⅳ層調査状況図 …… 21
第６図　Ａ地区第Ⅳ層集石遺構実測図(1) …… 22
第７図　Ａ地区第Ⅳ層集石遺構実測図(2) …… 23
第８図　Ａ地区第Ⅳ層集石遺構実測図(3) …… 24
第９図　Ａ地区第Ⅳ層集石遺構実測図(4) …… 25
第10図　Ａ地区第Ⅳ層集石遺構実測図(5) …… 26
第11図　Ａ地区第Ⅳ層集石遺構実測図(6) …… 27
第12図　Ａ地区第Ⅳ層縄文土器実測図(1) …… 29
第13図　Ａ地区第Ⅳ層縄文土器（Ⅰ類）分布図　30
第14図　Ａ地区第Ⅳ層縄文土器実測図(2) …… 31
第15図　Ａ地区第Ⅳ層縄文土器実測図(3) …… 32
第16図　Ａ地区第Ⅳ層縄文土器（Ⅱ類）分布図　33
第17図　Ａ地区第Ⅳ層縄文土器実測図(4) …… 35
第18図　Ａ地区第Ⅳ層縄文土器（Ⅲ～Ⅴ類）分布図 …… 36
第19図　Ａ地区第Ⅳ層縄文土器（Ⅵ・Ⅸ類）分布図 …… 37
第20図　Ａ地区第Ⅳ層縄文土器実測図(5) …… 38
第21図　Ａ地区第Ⅳ層縄文土器実測図(6) …… 39
第22図　Ａ地区第Ⅳ層縄文土器実測図(7) …… 40
第23図　Ａ地区第Ⅳ層縄文土器実測図(8) …… 42
第24図　Ａ地区第Ⅳ層縄文土器実測図(9) …… 43
第25図　Ａ地区第Ⅳ層縄文土器実測図(10) …… 44
第26図　Ａ地区第Ⅳ層縄文土器実測図(11) …… 45
第27図　Ａ地区第Ⅳ層縄文土器（Ⅶ・Ⅷ類）分布図 …… 46
第28図　Ａ地区第Ⅳ層縄文土器実測図(12) …… 47
第29図　Ａ地区第Ⅳ層石器実測図(1) …… 57
第30図　Ａ地区第Ⅳ層石器実測図(2) …… 58
第31図　Ａ地区第Ⅳ層石器分布図(1) …… 59
第32図　Ａ地区第Ⅳ層石器実測図(3) …… 60
第33図　Ａ地区第Ⅳ層石器実測図(4) …… 61
第34図　Ａ地区第Ⅳ層石器実測図(5) …… 62
第35図　Ａ地区第Ⅳ層石器分布図(2) …… 63
第36図　Ａ地区第Ⅳ層石器実測図(6) …… 64
第37図　Ａ地区第Ⅳ層黒曜石分布図 …… 66
第38図　Ａ地区第Ⅱ層調査状況図 …… 68
第39図　Ａ地区第Ⅱ層第１・２号土坑状遺構実測図 …… 69
第40図　Ａ地区第Ⅱ層第１・２号土坑状遺構出土遺物実測図 …… 70
第41図　Ａ地区第Ⅱ層縄文土器実測図(1) …… 72
第42図　Ａ地区第Ⅱ層縄文土器実測図(2) …… 73
第43図　Ａ地区第Ⅱ層縄文土器実測図(3) …… 74
第44図　Ａ地区第Ⅱ層縄文土器（Ⅰ類）分布図 …… 75
第45図　Ａ地区第Ⅱ層縄文土器実測図(4) …… 76
第46図　Ａ地区第Ⅱ層縄文土器（Ⅳ・Ⅴ類）分布図 …… 77
第47図　Ａ地区第Ⅱ層縄文土器実測図(5) …… 78
第48図　Ａ地区第Ⅱ層縄文土器（Ⅱ・Ⅲ・Ⅶ類）分布図 …… 79

第49図　A地区第Ⅱ層縄文土器実測図(6) …… 80
第50図　A地区第Ⅱ層縄文土器（Ⅷ類）分布図 …… 81
第51図　A地区第Ⅱ層縄文土器実測図(7) …… 82
第52図　A地区第Ⅱ層縄文土器実測図(8) …… 83
第53図　A地区第Ⅱ層縄文土器実測図(9) …… 84
第54図　A地区第Ⅱ層石器実測図(1) …… 95
第55図　A地区第Ⅱ層石器実測図(2) …… 96
第56図　A地区第Ⅱ層石器実測図(3) …… 97
第57図　A地区第Ⅱ層石器分布図(1) …… 98
第58図　A地区第Ⅱ層石器実測図(4) …… 99
第59図　A地区第Ⅱ層石器実測図(5) …… 100
第60図　A地区第Ⅱ層石器実測図(6) …… 101
第61図　A地区第Ⅱ層石器分布図(2) …… 102
第62図　A地区第Ⅱ層黒曜石分布図 …… 105
第63図　B地区第Ⅳ層調査状況図 …… 107
第64図　B地区第Ⅳ層集石遺構実測図(1) …… 110
第65図　B地区第Ⅳ層集石遺構実測図(2) …… 111
第66図　B地区第Ⅳ層集石遺構実測図(3) …… 112
第67図　B地区第Ⅳ層集石遺構実測図(4) …… 113
第68図　B地区第Ⅳ層集石遺構実測図(5) …… 115
第69図　B地区第Ⅳ層集石遺構実測図(6) …… 117
第70図　B地区第Ⅳ層集石遺構出土遺物実測図 …… 118
第71図　B地区第Ⅳ層縄文土器実測図(1) …… 119
第72図　B地区第Ⅳ層縄文土器実測図(2) …… 120
第73図　B地区第Ⅳ層縄文土器（Ⅰ類）分布図 121
第74図　B地区第Ⅳ層縄文土器（Ⅲ～Ⅴ・Ⅸ類）分布図 …… 123
第75図　B地区第Ⅳ層縄文土器実測図(3) …… 125
第76図　B地区第Ⅳ層縄文土器実測図(4) …… 126
第77図　B地区第Ⅳ層縄文土器（Ⅶ類）分布図 …… 127
第78図　B地区第Ⅳ層石器実測図(1) …… 133
第79図　B地区第Ⅳ層石器実測図(2) …… 134
第80図　B地区第Ⅳ層石器分布図 …… 135
第81図　B地区第Ⅳ層黒曜石分布図 …… 139
第82図　黒曜石原産地 …… 142

図版目次

図版１　A地区遠景（北から） …… 159
B地区遠景（西から） …… 159
図版２　A地区遠景（西から） …… 160
A地区全景 …… 160
A地区北側礫群検出状況 …… 160
図版３　B地区西側（ｃ群）礫群検出状況 … 161
B地区北側（ｂ群）遺構検出状況 … 161
B地区東側（ａ群）礫群検出状況 … 161
図版４　第１号集石遺構 …… 162
第２号集石遺構 …… 162
第３・４号集石遺構 …… 162
図版５　第３号集石遺構配石 …… 163
第12号集石遺構 …… 163
第13号集石遺構 …… 163
図版６　第14号集石遺構 …… 164
第22号集石遺構 …… 164
第25号集石遺構 …… 164
図版７　第26号集石遺構 …… 165
第29号集石遺構 …… 165
第30号集石遺構 …… 165
図版８　第31号集石遺構 …… 166
第31号集石遺構半截状況 …… 166
第32号集石遺構 …… 166
図版９　第33号集石遺構 …… 167
第34号集石遺構 …… 167
第35号集石遺構 …… 167
図版10　第35号集石遺構半截状況 …… 168
第37号集石遺構 …… 168
第38号集石遺構 …… 168
図版11　第38号集石遺構 …… 169
第39号集石遺構 …… 169
第40・41号集石遺構 …… 169
図版12　第42号集石遺構配石 …… 170
第43号集石遺構 …… 170

第44号集石遺構 …… 170
図版13　第45号集石遺構 …… 171
第46号集石遺構 …… 171
縄文土器（521）出土状況 …… 171
図版14　第Ⅳ層出土土器(1) …… 172
図版15　第Ⅳ層出土土器(2) …… 173
図版16　第Ⅱ層出土土器(1) …… 174
図版17　第Ⅱ層出土土器(2) …… 175
図版18　第Ⅱ層出土土器(3) …… 176
図版19　石器(1) …… 177
図版20　石器(2) …… 178

表目次

表－1　第Ⅶ類土器（押型文）口縁部分類表 …… 19
表－2　A地区第Ⅳ層縄文土器第Ⅶ類口縁部分類表 …… 41
表－3　A地区第Ⅳ層縄文土器観察表 …… 47
表－4　A地区第Ⅳ層石器観察表 …… 64
表－5　A地区第Ⅱ層縄文土器最低個体数集計表 …… 71
表－6　A地区第Ⅱ層縄文土器観察表 …… 86
表－7　A地区第Ⅱ層石器観察表 …… 103
表－8　B地区第Ⅳ層グリット別礫構成表 …… 109
表－9　B地区第Ⅳ層縄文土器第Ⅶ類口縁部分類表 …… 126
表－10　B地区第Ⅳ層縄文土器観察表 …… 129
表－11　B地区第Ⅳ層石器観察表 …… 138
表－12　各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値（$\bar{X}$）と標準偏差値（δ）…… 145
表－13　九州西北地域原産地採取原石が各原石群に同定される割合の百分率（%）…… 148
表－14　橋山第1遺跡（A・B地区）出土の黒曜石製遺物分析結果 …… 148
表－15　橋山第1遺跡（A・B地区）出土の黒曜石製石器、石片の原材産地推定結果 …… 151
表－16　橋山第1遺跡、天ケ城跡出土の縄文時代早期遺物の原石産地別頻度分布 …… 153
表－17　縄文土器出土最低個体数集計表 …… 154
表－18　橋山第1遺跡報告書登録表 …… 179

Ⅰ 序　　章

第１節　はじめに

１　調査に至る経過

高岡町では、就業機会の拡大と町民所得の向上を目指すため、テクノポリス建設を積極的に推進しつつ、これと関連する学術研究部門、居住部門を結び付けた「産」・「学」・「住」が調和した地域づくりを進めている。併せて地場産業の活性化を図るため1988年から花見工業団地の整備を進め、高付加価値企業等の優良企業の誘致を積極的に進めることとなった。

そうしたなか、高岡町は、大規模開発に伴う埋蔵文化財等の取り扱いについて宮崎県文化課と協議を行うこととなった。まず、1988年９月文化課は、高岡町の依頼により開発区域周辺の分布調査を実施し、さらに同年11月に試掘調査を実施した。その結果、５箇所において遺跡が確認され、再度文化課と協議し、そのうち４箇所においては開発地区から除外することとなった。しかしながら残りの１箇所については、造成するうえで保存するのは困難であるとの見解から、高岡町教育委員会を主体とした記録保存を目的とする発掘調査の実施が必要となった。これを踏まえ、高岡町教育委員会では調査体制の確立を図ることが急務と判断し、調査員の補充となった。

調査は、伐採が終了したことを確認後調査に入ることとし、工事よりも先行する方法をとった。これにより調査は、1991年１月～４月まで実施した。さらに、開発区域を広げることとなった為、再度埋蔵文化財の取り扱いについて協議がされたが、先に調査した北側において発掘調査が必要となった。高岡町教育委員会では、調査員の不足から調査員の派遣を県文化課に依頼した。県文化課は谷口武範主査（当時主任主事）を派遣し、調査は、1991年７月から10月まで実施された。

２　調査組織

調査の組織は次のとおりである。

調査主体　高岡町教育委員会

1990年度（Ａ地区）	1991年度（Ｂ地区）	1995年度（整理作業）
教　育　長　篠原和民	教　育　長　篠原和民	教　育　長　篠原和民
教育課長　樋口律夫	教育課長　錦田四郎	社会教育課長　岩崎健一
社会教育係長　岩崎健一	社会教育係長　岩崎健一	社会教育係長　本田正雄
同係主事　島田正浩（調査員）	県文化課主任主事　谷口武範（調査員）	同係主事　島田正浩

調査や整理にあたり、恒吉善紘（当時花見公民館長）をはじめ地元の方々には、多大な協力を得ることができた。また、岩永哲夫、永友良典、菅付和樹（以上県文化課）をはじめ、橘昌信（別府大学）、田中良之（九州大学）、本田道輝（鹿児島大学）、松永幸男（北九州市考古博物館）、新東晃一、前迫亮一（以上鹿児島県埋蔵文化財センター）、桑畑光博（都城市教育委員会）、金丸武司（田野町教育委員会）の各諸氏から助言指導を頂いた。記して感謝の意を表したい。

Ⅱ　遺跡の概要

第１節　遺跡の環境

１　自然環境

高岡町南部の高岡山地中央部及び東部には白亜紀の四万十累層群に属する砂岩を伴う頁岩、砂岩頁岩互層が分布しており、一部玄武岩、凝灰岩などの塩基性岩類が含まれる。内之八重付近の砂岩頁岩互層中には塩基性岩類に伴って、厚さ１ｍ～２ｍのチャートが見られる。

高岡山地西部には、古第三紀の四万十累層群に属する砂岩を伴う頁岩、砂岩頁岩互層が分布しており、高岡山地を南北に横切る高岡断層によって前述の白亜紀の層に接している。

高岡町の中心部付近及び高岡山地北部には、新三紀の宮崎層群に属する砂岩、泥岩、砂岩泥岩互層が広い範囲で分布している。本層は四万十累層群を傾斜不整合に覆う海成層で、貝、カニ、ウニ等の化石を含む。

さらに、町中心部付近に及び西部は宮崎層群を不整合に覆い第四紀の礫、砂、及び粘土からなる段丘堆積物、主にシラスからなる姶良噴出物、及び主に礫、砂シルトからなる沖積層がみられる。段丘堆積物、姶良火山噴出物は急斜面とその上にある広い平坦面や緩斜面から形成される台地状の地形を有している。沖積層は、大淀川、浦之名川、内山川、飯田川等の河川流域沿いに分布している。

２　歴史環境

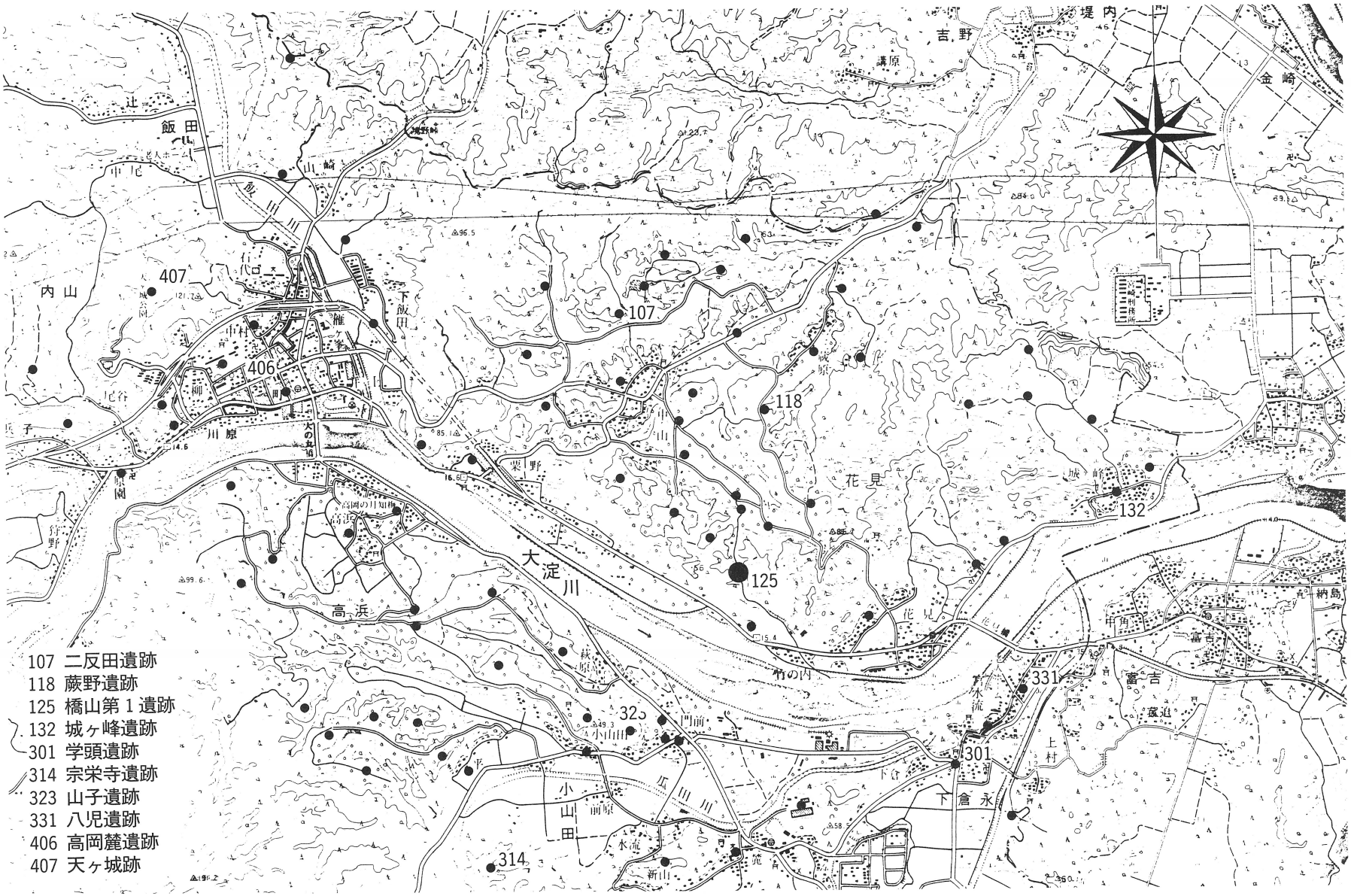
70％以上を山林が占める高岡町は、東に位置する宮崎平野と西に広大に広がる標高170m以上の台地に挟まったところに位置し、狭い沖積平野や谷や小丘陵に生活の基盤をおいている。このような山々や丘陵などを含めた大淀川に起因する地理的条件は、その時々の人々が活躍するための歴史的要因である中のひとつである。

高岡町の遺跡は、現在知られているだけで140箇所あり、それらの遺跡のほとんどは、町中央を東流する大淀川やその支流（内山川・浦之名川など）により形成された河岸段丘に位置している。

旧石器時代では、表採資料として浦之名一里山地区の剥片尖頭器がある。また、向屋敷遺跡では、集石遺構と共にナイフ形石器やスクレイパーが出土している。

縄文時代の遺跡は、密度の差こそあれ、河川流域の小丘陵には必ずといってよいほど存在している。特に早期と後期の遺跡が多く知られており、早期は、蜜柑栽培による遺構面の撹乱を受けることは少なく、残存状態も良好である。橋山第１遺跡Ｃ地区・天ヶ城跡・宗栄司遺跡・橋上遺跡・久木野遺跡の５遺跡で、すでに発掘調査が実施されている。橋上遺跡は、早期の遺構遺物が検出された。早期は、幾型式かの集石遺構と、それに伴い、前平・吉田式等の貝殻文系円筒土器や押型文土器、そして小型磨製石斧が出土している。天ヶ城跡は、標高120ｍの独立した丘陵に位置し、アカホヤの下から集石遺構に伴い押型文や桑ノ丸式を中心とした早期の遺物が出土している。また、九州一円からの黒曜石やサヌカイト製の製品が出土し、交易の広さを知る手がかりとなる。表採資料からは、後期の遺跡として山子遺跡が以前から知られており、浦之名川上流に位置する赤木遺跡と同様に後期の貝殻条痕文土器が表採される。また、久木野遺跡でもその時期の住居址が検出されている。

弥生時代では、学頭遺跡があげられる。学頭遺跡は複合遺跡であり、時期は中期後半から終末までが確認されている。河川に挟まれた舌状の微高地に位置する生活遺跡である。また、城ヶ峰遺跡では、後期の遺物



第１図　高岡町遺跡分布図

が出土している。

古墳時代では、東高岡地区と浦之名一里山地区の丘陵を中心として遺跡が広がっている。久木野地下式横穴墓群で3基の調査が行われており、1984年の調査では鉄斧と玉類が出土し6世紀前半とされている。東高岡地区の古墳は未調査であるが、その中のひとつ高岡古墳周辺で古墳時代中期の壷と鉄製品（鉄斧など）が耕作中に発見されている。また、学頭遺跡では初頭～前期にかけての遺物が出土し弥生時代から引き続き集落が営まれている。その隣接した八児遺跡でも住居跡が検出されている。そして高岡麓遺跡でも住居跡が検出されている。このように丘陵でしか確認できなかったこの時代の遺跡が、最近の発掘調査により低地でも確認されだしたことは意義深いことである。

古代は、文献によると高岡周辺は「穆佐郷」と言われていた。古代になると、宗栄司遺跡・蕨野遺跡・二反田遺跡があり前者2遺跡で調査が行われている。蕨野遺跡では、9C後半の土師器生産に伴う焼成土坑（窯）が検出されている。

中世では、12世紀に「島津庄穆佐院」といわれ、南北朝期を経て、島津氏と伊東氏の興亡の歴史の中に入っていく。この時代の代表的なものは山城である。南北朝期は、穆佐城が日向の中心となり足利氏の九州における勢力拡大の拠点となった。それ以後、小規模な山城が点在したと考えられ、現在10箇所以上（文献等では18箇所）を確認している。穆佐城は、三股院高城・新納院高城とともに日向三高城と称されているところである。縄張り調査の成果として、南九州特有の特徴をもつとともに、機能分化をもたせた山城として評価されている。その後、穆佐城は、島津久豊（8代）・忠国（9代）の居城、伊東氏48城のひとつとなるなど両氏の勢力争いの表舞台にあった。また、このころには、山城などの城館遺跡以外でも町内全体に数多くの遺跡が広がる。

この時期までの中心地は穆佐城周辺だったのに対して、近世になると天ヶ城周辺に一変する。薩摩藩は、天ヶ城（高岡郷）と穆佐城（穆佐郷）の裾地に多くの郷士を居住させた。そして、綾・倉岡とともに関外四ヶ郷として、特に高岡郷はその中心として薩摩藩の東側の防御の要として発展する。高岡麓遺跡では、計画的な街路設計がなされ郷士屋敷群と町屋群に分割されている。そして、第1次調査における町屋の調査で素堀の井戸や土坑等を検出し、大火跡と思われる焼土層を確認している。また、昨年度の県文化課による調査では、武家屋敷の一画を調査し陶磁器類を検出している。近世の遺跡は、麓を含めて現在の居住地と重なる場合が多く、表採遺物や石造の墓標の存在からも参考となる。

第2節　遺跡の概要

1　調査経過

1991年1月～4月の調査をA地区とし、1991年7月～10月の調査をB地区とした。

A地区は、1月中旬、重機による表土剥ぎと抜根作業を実施した。表土剥ぎは試掘データをもとにⅡa層下部まで一気に掘削した。作業員による掘削作業はⅤグリットから開始し北側に移動した。掘削作業を始めてすぐⅡ層から遺物の出土が確認されたため、それぞれのグリット内でⅡ層出土遺物の分布図を作成し、遺物取り上げ終了後Ⅳ層の調査に移った。Ⅳ層では上位で遺物の分布が認められ、図面を作成した後集石遺構を残した周辺を下位まで下げた。

B地区は、Ⅱ層の堆積はかなり浅く、第Ⅳ層からの調査であった。まず、A地区に近い南側の部分から掘削作業を開始し、西側へと進めた。礫群は西側でかなり密な状況で検出され始めたため、掘削終了後のグリットにおける出土遺物の分布図を同時進行で実施した。

第2図　橋山第1遺跡周辺地形図

グリットは、主軸を磁北に合わせ、都合により８ｍピッチで設定した。そして、南北方向に北からＡ、Ｂ、Ｃ、・・・、東西方向に西から０、１、２、・・・と名称を付記した。

2　遺跡概要

1 基本層序

全体的な堆積状況は、Ａ地区は北に高く南に緩やかに傾斜し、Ｂ地区は東側で高く西側と北側にゆるく傾斜する。基本層序は両地区とも大方においては同じような状況であり、第３図のとおりとなる。表土下は、Ⅱ層のアカホヤ火山灰層が堆積する。両地区ともⅡｂ層並びにⅢ層が薄浅い堆積状況を示している。特に、Ａ地区西側はその堆積が非常に浅く、Ⅳ層の上にⅡａ層が堆積するというところもあった。遺物の包含層はⅡａ・ｂ層とⅣ層である。Ａ地区では、Ⅳ層は約60ｍに比高差約2.5ｍ傾斜で堆積し、Ｔグリットで層厚50㎝前後と深くなる以外は、平均して層厚20～30㎝の堆積である。Ⅱ層は先にも述べたようにかなり浅く、Ｏ12グリット～とＰ12グリット～はⅡ層の削平を受けており、表土下はいきなりⅣ層となる状況である。Ｂ地区では、Ⅳ層は北側でやや深くなるが、それ以外はＡ地区と同じように平均して層厚20～30㎝の堆積である。

Ⅰ層　　黒褐色土耕作土である。

Ⅱａ層　暗黄色土２次アカホヤである。Ⅱｂ層よりもサラサラしている。縄文中・後期包含層となる。

Ⅱｂ層　黄色土アカホヤ火山灰層である。粘質性はない。遺物の出土がある。

Ⅲ層　　淡青灰色土カシワバン相当層と思われる。

Ⅳ層　　淡褐色土やや粘土質である。縄文早期包含層となる。

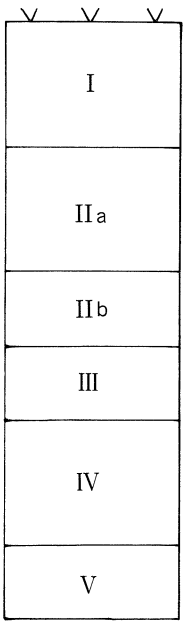
Ⅴ層　　鈍い褐色土黒色砂性ブロック多量に混入。

2 遺構

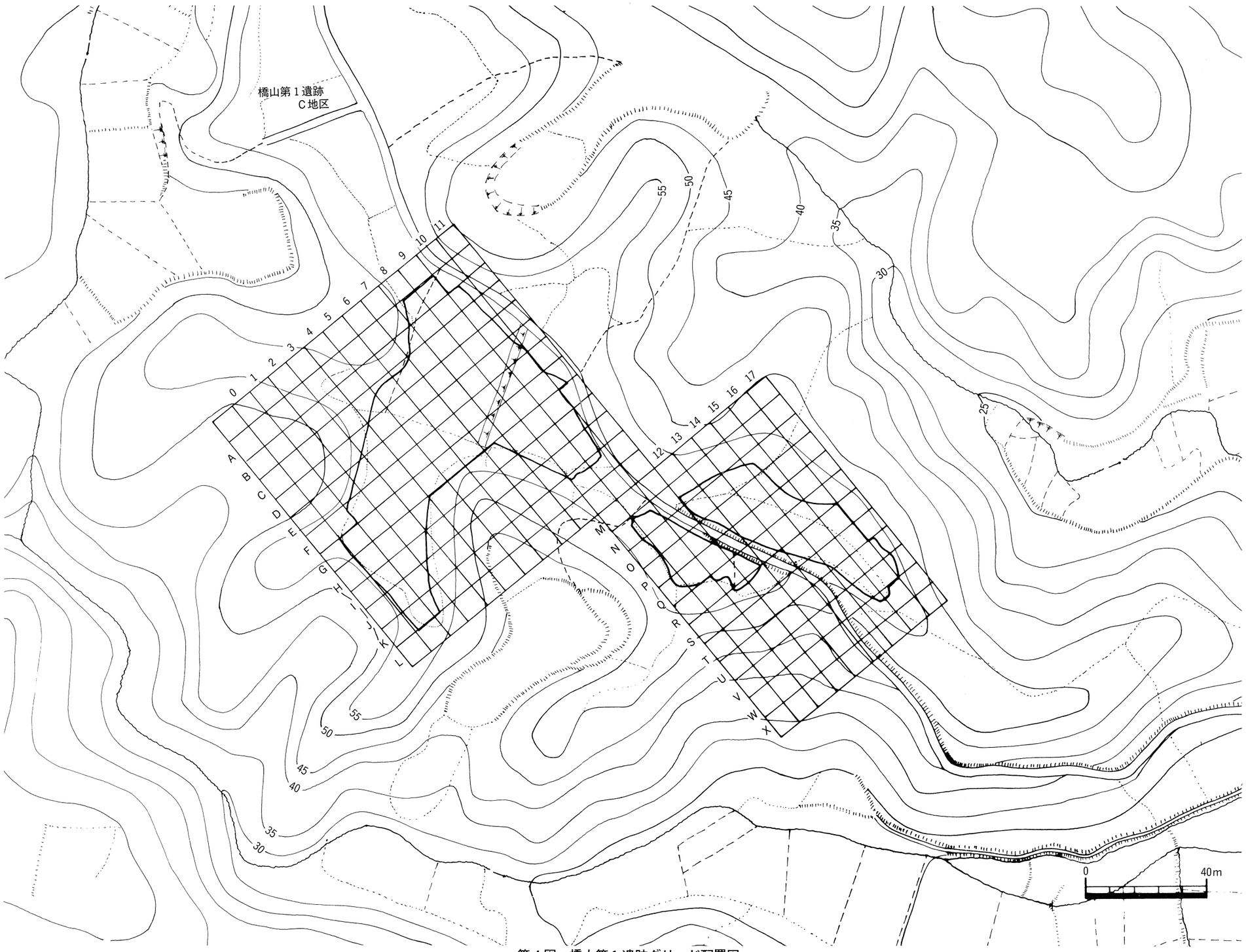
Ａ地区ではⅡａ層とⅣ層、Ｂ地区ではⅣ層から遺構が検出された。Ⅱａ層では、Ａ地区Ｒ11・12グリットで円形状の土坑が２基検出された。Ⅳ層では、Ａ地区西側と南東側を中心に集石遺構が30基、Ｂ地区では16基検出された。その内訳は、土坑を伴うもので配石を有するもの（Ａ１類）が４基、土坑を伴うだけのもの（Ａ２類）が７基、土坑を伴わず配石を有するもの（Ｂ１類）が４基、礫が集積したのみのもの（Ｂ２類）が31基、合計46基を検出した。検出状況は、Ⅲ層掘削に伴い焼礫が露呈したものや礫群を除去した下からが多く、中には下位から検出されたものも数基ある。礫群は、Ａ地区の北東側、Ｂ地区は南東側と南西側に、何れもⅣ層上位で検出された。

3 遺物

出土遺物については、縄文土器と石器類が出土した。縄文早期の遺物はⅣ層から、そして縄文後期の遺物はⅡａ層から主に出土しているため、土器については、それぞれに記号を付し分類した。分類の基準等は「ａ土器」のとおりである。また、石器については器種ごとに分類した。



第３図　橋山第１遺跡基本柱状図



第４図　橋山第１遺跡グリッド配置図

a 土器

第Ⅳ層（縄文早期）出土土器

Ⅰ類土器

貝殻条痕を施し、口縁部に貝殻やヘラ状工具を使用して刺突・押圧するなどして文様を廻らせる。

1類　ヘラ状工具や貝殻腹縁により口縁端部に連続刺突または押圧するもの。

2類　貝殻やヘラ状工具により連続押圧文を深く2段に施すもの。

3 a類　縦位に貝殻腹縁による連続刺突文を浅く施すもの。

b類　斜位に貝殻腹縁による連続刺突文を浅く施すもの。

c類　斜位に貝殻腹縁による連続刺突文を浅く施すが、b類との違いはb類が器面に垂直気味に刺突するのに対して斜角気味に刺突する。

4類　貝殻腹縁により横方向に押引状に施すもの。

5類　ヘラ状工具や貝殻腹縁により上から下に押し引くもの。

6類　ヘラ状工具や貝殻腹縁により縦位に細く連続刺突するなどして条痕状に施すもの。

7類　3～4段の貝殻腹縁押圧文線を横方向平行に施すもの。

Ⅱ類土器

口唇部は刻目、口縁部はやや外反し貝殻腹縁押圧文（刺突文）線にクサビ状突帯を施す。胴部は貝殻腹縁刺突文線や押引文を施す。胴部文様手法等で下記のように分類される。

1類　縦方向に貝殻腹縁押圧文（刺突文）線を施すもの。

2類　縦方向に貝殻腹縁押圧文（刺突文）線を施す。1類が器面に垂直気味に工具を当てるのに対し、器面に鋭角気味にあてる。

3類　器面に横位の連続押引文を施すもの。

4類　貝殻腹縁による縦位の連続刺突文と横位の連続押引文を交互に施すもの。

Ⅲ類土器

口縁部や胴部に斜位又は綾杉状に連続刺突文を施すもの。

Ⅳ類土器

貝殻やクシ歯状工具等を使用して羽状や流水状に施文するもの。

1類　クシ歯状のもので斜位・羽状に短く施文するもの。

2類　貝殻やクシ歯状のもので横位や縦位に大きくゆるやかに流水状に施文するもの。

3類　クシ歯状のもので小さく流水状に施文するもの。

4類　貝殻を使って横位に流水状に施文し、長さ数センチの刻目突帯を貼り付けるもの。

Ⅴ類土器

塞ノ神・平栫式土器である。

1類　口縁部や頸部に貝殻連続刺突文を施し、胴部は幅狭い条痕を斜位・横位に長く施すもの。

2類　2本の平行沈線間に撚糸文を施すもの。

3類　3～4本の平行沈線を施し、縦に帯状の撚糸文を施すもの。

Ⅵ類土器

条痕文を施す。条痕には、文様として意識したものとそうでないものとがある。後者については文様がないことから無文土器（ナデ調整）についても製作意識のうえで共通しており、この分類のなかに含めずⅨ類

にまとめた。

１類　口縁部下まで横位の条痕文、それより下を縦位の条痕文を施すもの。

２類　口縁部に１単位の横位の条痕文、その下に縦位・斜位の条痕を施すもの。

Ⅶ類土器

押型文土器である。文様形態により、山形・楕円・格子目の三種類に分類した。それを、山形施文については、施文状況が密で丁寧に施してあるものを「山形Ａ類」とし、施文が雑で間延びしたようなものや施文単位が大きなものを「山形Ｂ類」とした。また、楕円については、丸味のあるものを「楕円Ａ類」とし直線的で菱形状のものを「楕円Ｂ類」に分け、さらに施文方向や施文部位等でそれぞれ分類した。口縁部については表１のとおりである。胴部については、山形Ａ－２類、山形Ｂ－４類、楕円Ａ－４類、楕円Ｂ類としてそれぞれ一括で取り扱った。底部については、山形Ｂ－５類として１点取り上げた。また、Ⅷ類の手向山式と思われるものも存在するが、押型文を施文しているものとしてⅦ類の中に分類した。

Ⅷ類土器

「手向山式」で、これは、押型文の範中で理解されているが、本書では別とした。器形は口縁部で大きく外反し胴部で屈曲する。文様は、沈線文や撚糸文を施す。

Ⅸ類土器

無文系の土器である。

１類　条痕を施すもの。(調整)

２類　無文のもの。(ナデ調整)

Ｘ類土器

その他としてまとめた。また、底部もここに一括した。

第Ⅱ層（縄文後期）出土土器

出土した土器片が比較的小さいものが多いため、口縁部の文様形態により分類し、その中でさらに細分した。口縁部の文様形態には、列点文を施すもの（Ⅰ類)、貝殻連続刺突文（Ⅱ類)、沈線文（Ⅲ類）がありそれを基本とした。そして、沈線間に文様を施すもの（Ⅳ類)、磨消縄文土器（Ⅴ類)、突帯を主文様とするもの（Ⅶ類）も少量であるが分類した。また、胴部については、沈線文を施したものや無文系のものを一括（Ⅸ類）した。

ｂ石器

出土石器は、器種で確認できるもので、Ａ地区Ⅱａ層出土は66点、Ａ地区Ⅳ層出土は72点、Ｂ地区Ⅳ層出土は21点、遺構からの出土を合わせると全体で162点になる。剥片・礫片まで入れるとかなりの数である。石器の分類においては、器種ごとに分類したため、その名称をそのまま使用した。そして、その中で細分可能なものに関しては、それぞれ分類した。使用痕剥片に関しては、使用痕の形状により、長方形（台形状）・三日月状・半弧状等に分けることができる。黒曜石に関しては、藁科哲男氏のご好意により、蛍光Ｘ線による産地同定を実施することができた。その結果、産地別に下記のように分類されることがわかった。詳細については、Ⅳ－第１節を参照されたい。また、石器観察表には、下記の記号を記しておいた。

ａ　桑ノ木津留１群、ｂ　桑ノ木津留２群、ｃ　出水、ｄ　白浜、ｅ　上牛鼻、ｆ　竜ヶ水、ｇ　腰岳、ｈ　淀姫、ｉ　松浦、ｊ　姫島、ｋ　不明

表—1　第Ⅶ類土器（押型文）口縁部分類表

分類記号			外面施文	内面施文	柵状文	口唇施文	器形	備考
山形A	1	a	縦方向	○	×	○	外反	
山形B	1	a	横方向	×	×	×	直開	
		b	横方向	×	×	×	やや外反	
		c	横方向	○	×	○	やや外反	
		d	横方向	○	×	○	外反	
	2	a	縦方向	○	×	○	外反	
	3	a	斜方向	○	○	×	直開	
		b	斜方向	×	×	×	直開	
		c	斜方向	○	×	○	内傾	
楕円A	1	a	横方向	○	×	×	やや外反	
	2	a	縦方向	○	×	×	やや外反	
		b	縦方向	○	×	○	やや外反	
		c	縦方向	×	×	×	外反	
	3	a	斜方向	×	×	×	外反	
		b	斜方向	○	○	×	外反	
		c	斜方向	○	×	×	外反	

Ⅰ　調　　査

第１節　Ａ地区の調査

１　第Ⅳ層の遺構と遺物

１遺構

ａ礫群

Ａ地区で礫群として広範囲に確認できたのは、Ｑ14グリット付近である。小規模なものでは、Ｓ～Ｕ16やＰ・Ｑ11グリットでいくつか確認された。Ｑ14付近の礫群はＰ14とＱ13・14とＲ13・14グリットにまで及び約250㎡を計る。ただ、Ｏ13・14グリットがすでに削平を受けていたことを考えれば、より広範囲であったことが予想される。その礫群はⅣ層上位で確認され、他の遺跡でみられるように下位にまで堆積が及ぶことはなく、浅い堆積状況を示す。集石遺構はその礫群の中及びその周辺で７基が検出されたが集石遺構と礫群の礫との関係はつかめていない。

ｂ集石遺構

集石遺構は、Ａ１類が１基、Ａ２類が３基、Ｂ１類が４基、Ｂ２類が22基、合計30基を検出した。出土状況では、調査区全域（Ｐグリット以南）に分布し、Ⅳ層上位で検出されたものは22基、中位から下位にかけては８基である。また、焼礫はすべての集石遺構で確認された。

第１～４号集石（第６図）

第１号集石は、Ｕ17グリット下位で検出され、径1.0ｍ内に拳大以上の礫と小礫とを集積する。礫は中央に集中しやや深くなる。そして全体に熱を受け赤く変色している。第２号集石は、Ｖ16グリットⅣ層上位で検出された。径0.7ｍの中に赤く変色した大小の礫が集積する。集積状況からみて廃棄礫の可能性もあるが他の遺構との関連など不明確な点が多い。第３・４号集石は、Ｕ15グリットⅣ層上位で検出された。第３号集石は土坑を伴わず、15～30㎝の扁平な配石を３つ据えその周りに小規模な礫を集積し、そのうえに拳大以上の礫を集積している。南側や西側に集積する礫は、この遺構の関連礫であろうと思われる。第４号集石は、拳大ほどの丸礫と扁平な礫がみられる。礫の集積状況からみて３号集石に対する関連礫の可能性がある。

第６・14号集石（第６図）

第６号集石は、Ｔ15グリットⅣ層上位で検出された。西側で一部撹乱を受ける。拳大以下の礫を集積するが、礫自体のレベル差はあまりなく、平坦な堆積状況である。第14号集石は、Ｓ14グリットⅣ層上位で検出された。径0.7ｍ内に拳大程の礫を集積し、礫のレベルが中央で深くなるが土坑を伴うものではない。

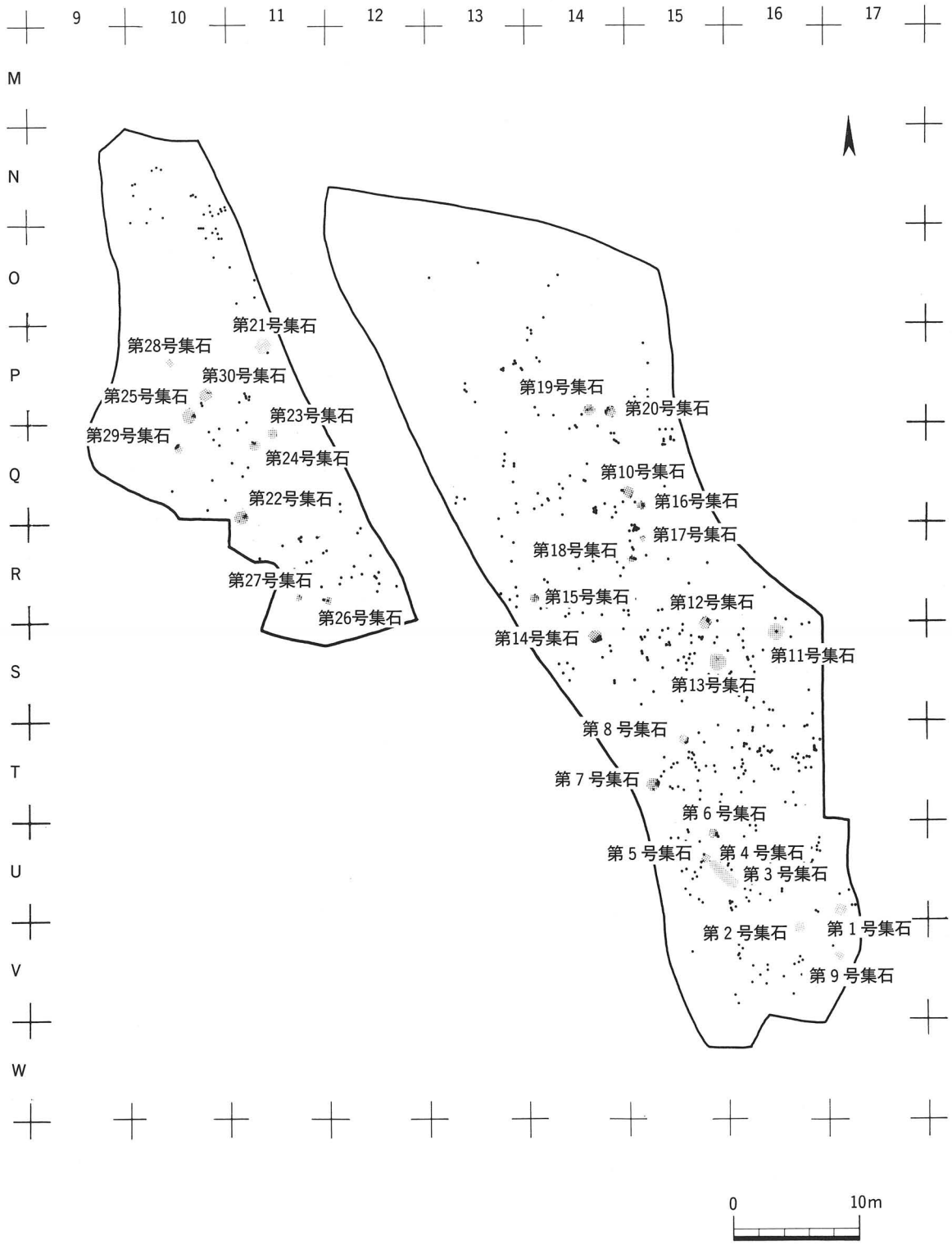
第８・15号集石（第７図）

第８・15号集石は、Ⅳ層上位で検出された配石を有する遺構である。８号集石は30㎝大の扁平な礫の周りに小礫を詰めている。15号集石は30～40㎝大の扁平な礫を２つ配している。

第９・17・18号集石（第７図）

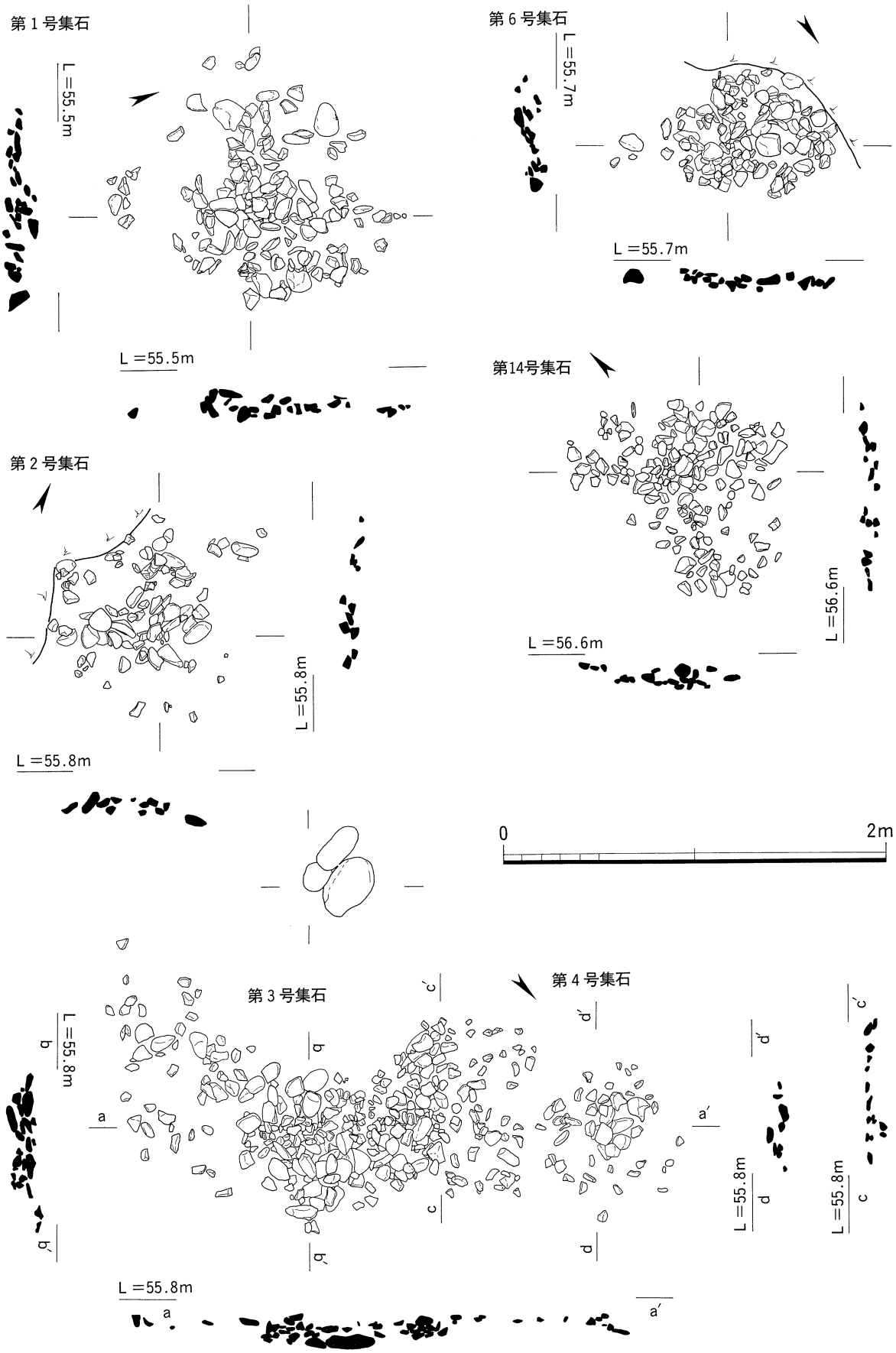
第９号集石は、Ｖ17グリットⅣ層下位で検出された。径0.5ｍ内に拳大程の礫を集積する。西側の礫はこれの関連礫であろう。第17号集石は、Ｒ15グリットⅣ層上位から検出された。径0.4ｍ程の小規模なもので、拳大以下の礫を集積する。性格不明な集石遺構である。

第23・26～28号集石（第７図）

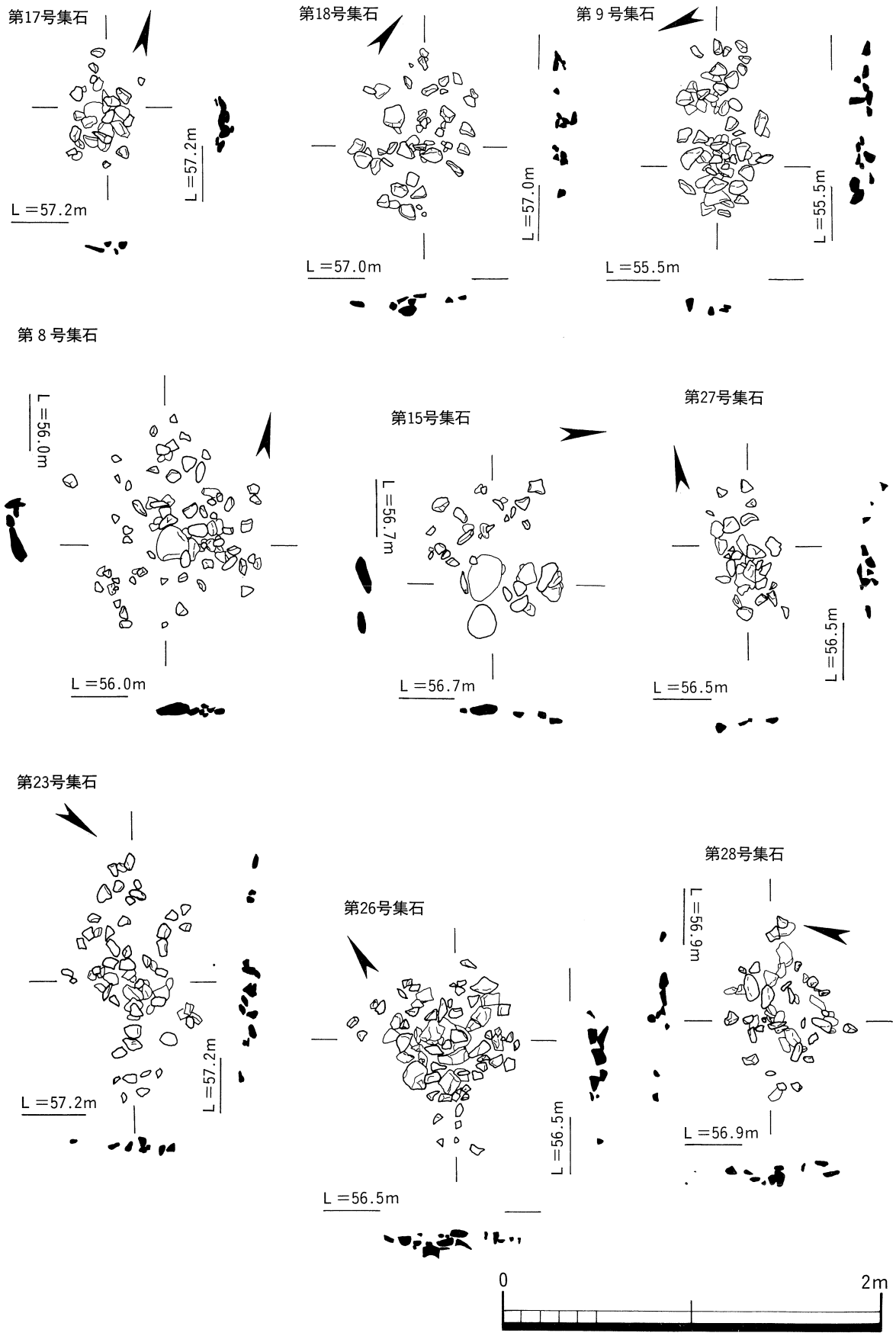


第５図　Ａ地区第Ⅳ層調査状況図

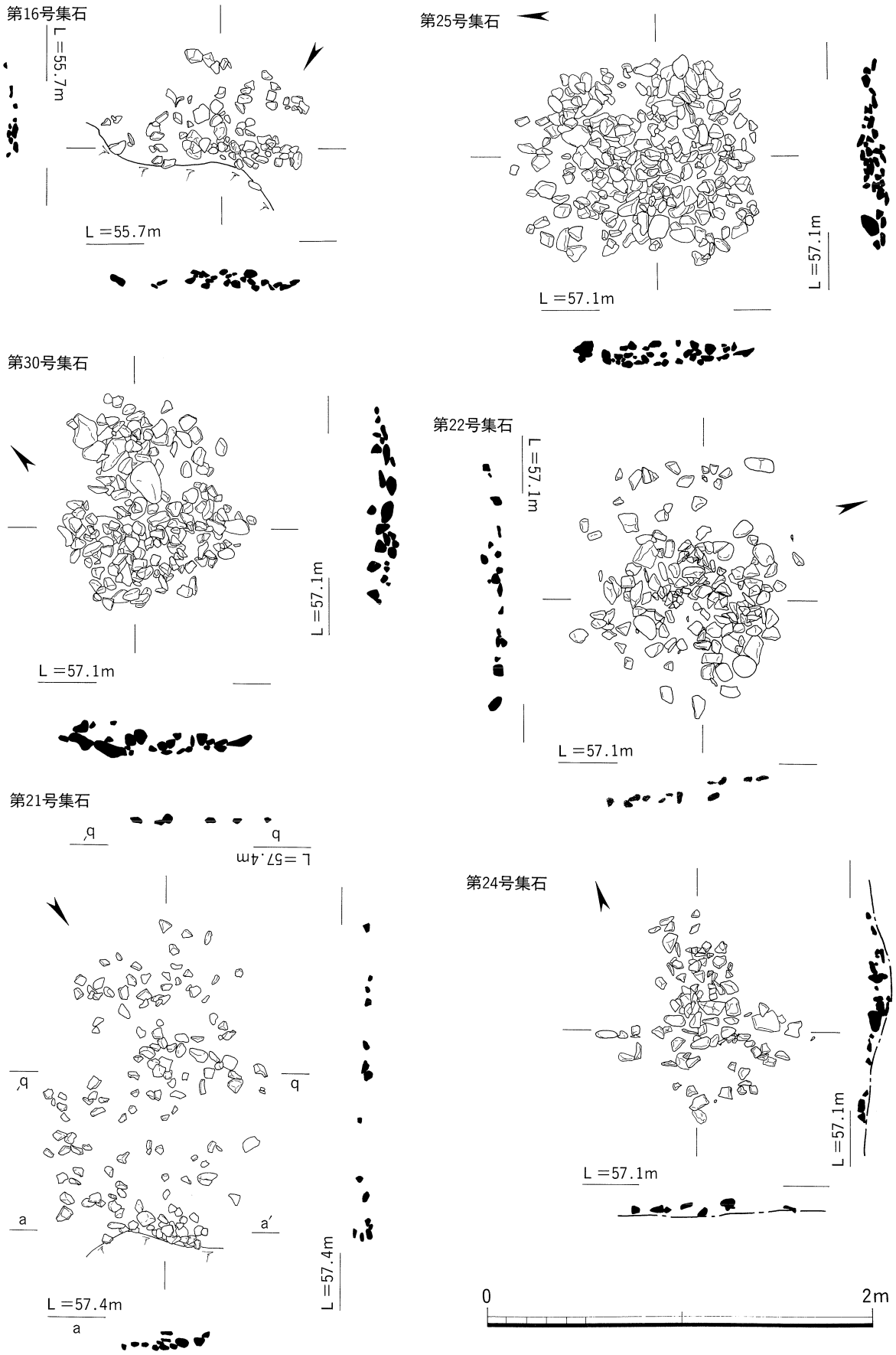
第23号集石は径0.6m内に拳大以下の礫が集積し、その周辺に関連礫が散布している。Q11グリットⅣ層上位で検出された。第26・27号集石は、R11グリットⅣ層下位で検出された。26号集石は径0.7m内に比較的大きな礫で構成される。中央部に深く堆積している。第28号集石は、P10グリット下位で検出された。



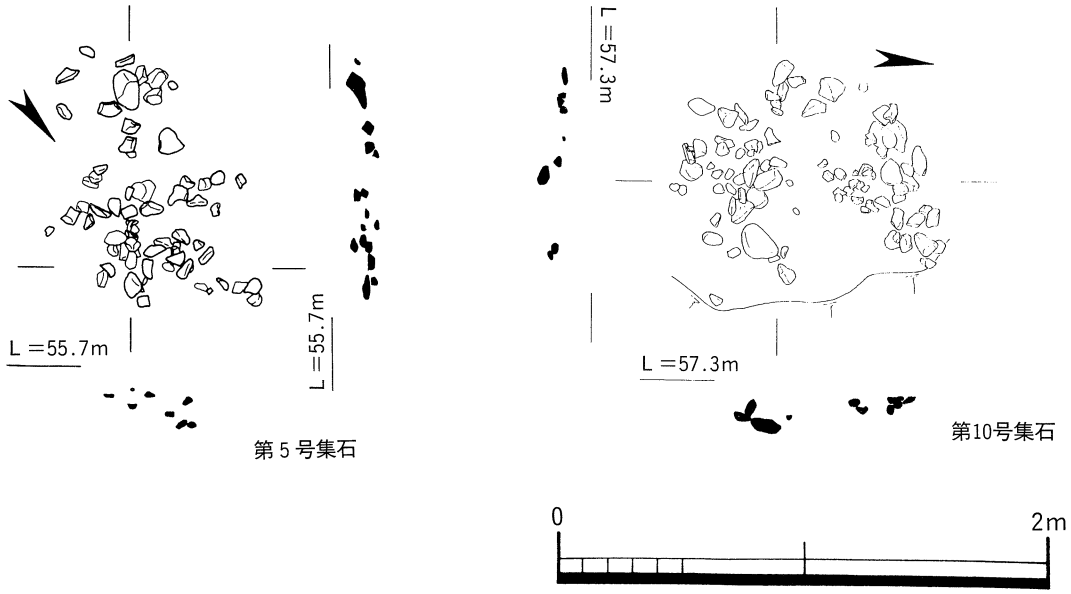
第6図　A地区第Ⅳ層集石遺構実測図(1)



第７図　Ａ地区第Ⅳ層集石遺構実測図(2)



第８図　Ａ地区第Ⅳ層集石遺構実測図(3)



第９図　Ａ地区第Ⅳ層集石遺構実測図(4)

第16・21号集石（第８図）

両遺構とも半分以上撹乱により削平される。第16号集石は、Ｑ15グリットⅣ層上位で検出され、径0.7m以上に礫が集積する。第21号集石は、Ｐ11グリットⅣ層上位で検出された。周辺の礫は堆積状況からみて関連礫と思われる。

第22・24・25・30号集石（第８図）

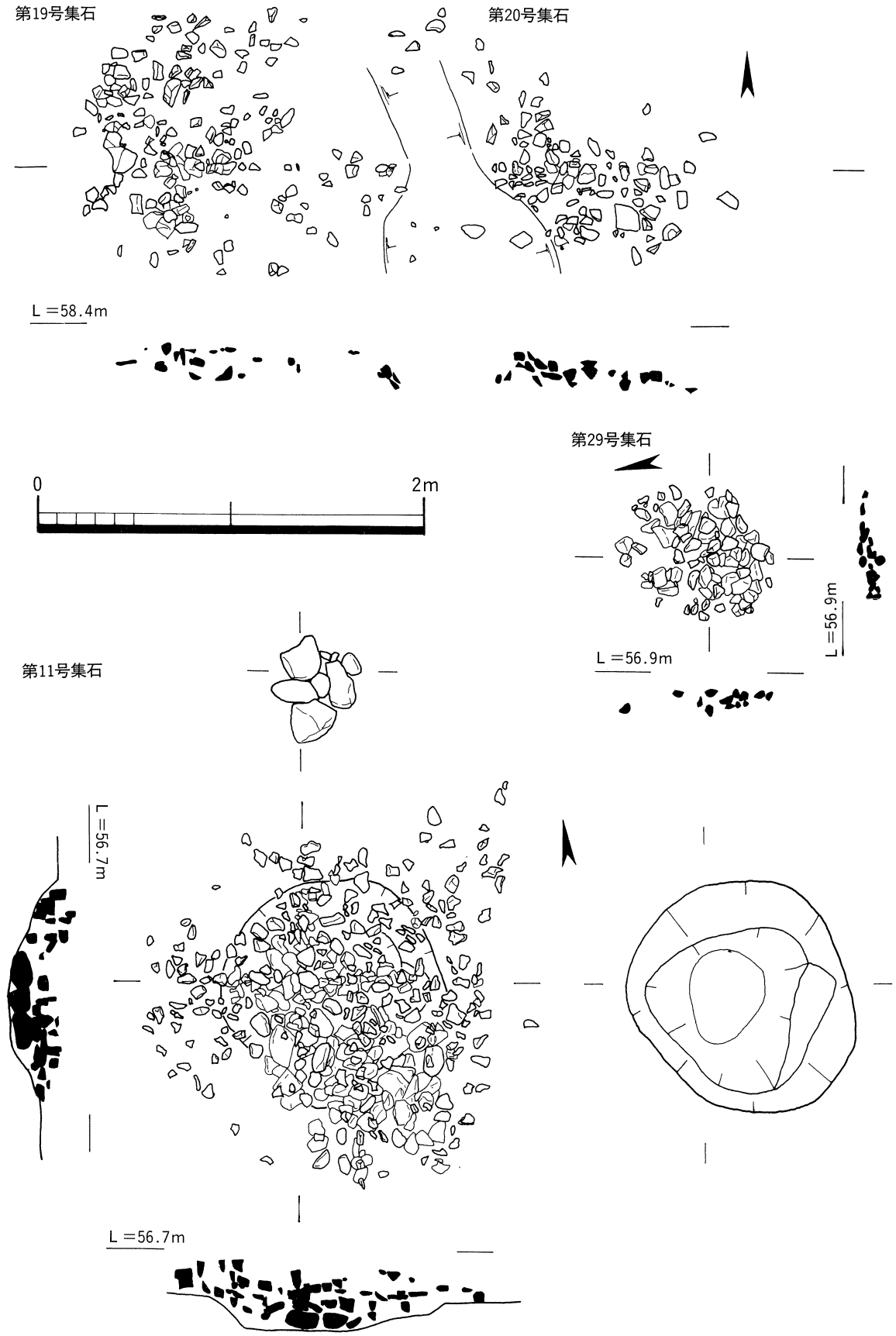
第22号集石は、Ｑ11グリットⅣ層上位で検出された。径0.8m内に拳大以下の礫を集積し、その上に拳大以上の礫を数点みることができる。第24号集石は、Ｑ11グリットⅣ層上位で検出され、23号の西側に位置する。拳大程度の礫が北側に集中し、そこを中心に礫の堆積深度が深くなる。第25号集石は、Ｐ10グリットⅣ層上位で検出された。径1.1m内に拳大程の礫と小礫とがかなり密に集積している。礫の深度幅は最大0.15mで、東側と南側でやや浅くなる。第30号集石はＰ11グリットⅣ層下位で検出された。径1.0m内に拳大程の礫を中央に深く集積している。集石中央ではないが配石とも思える扁平な礫があり、断面図で確認できる。さらに、北側に見られる無造作に堆積した20cm以上の扁平な礫が配石の一部であったと仮定すれば、かなりしっかりしたつくりの集石遺構であったと思われる。

第５・10号集石（第９図）

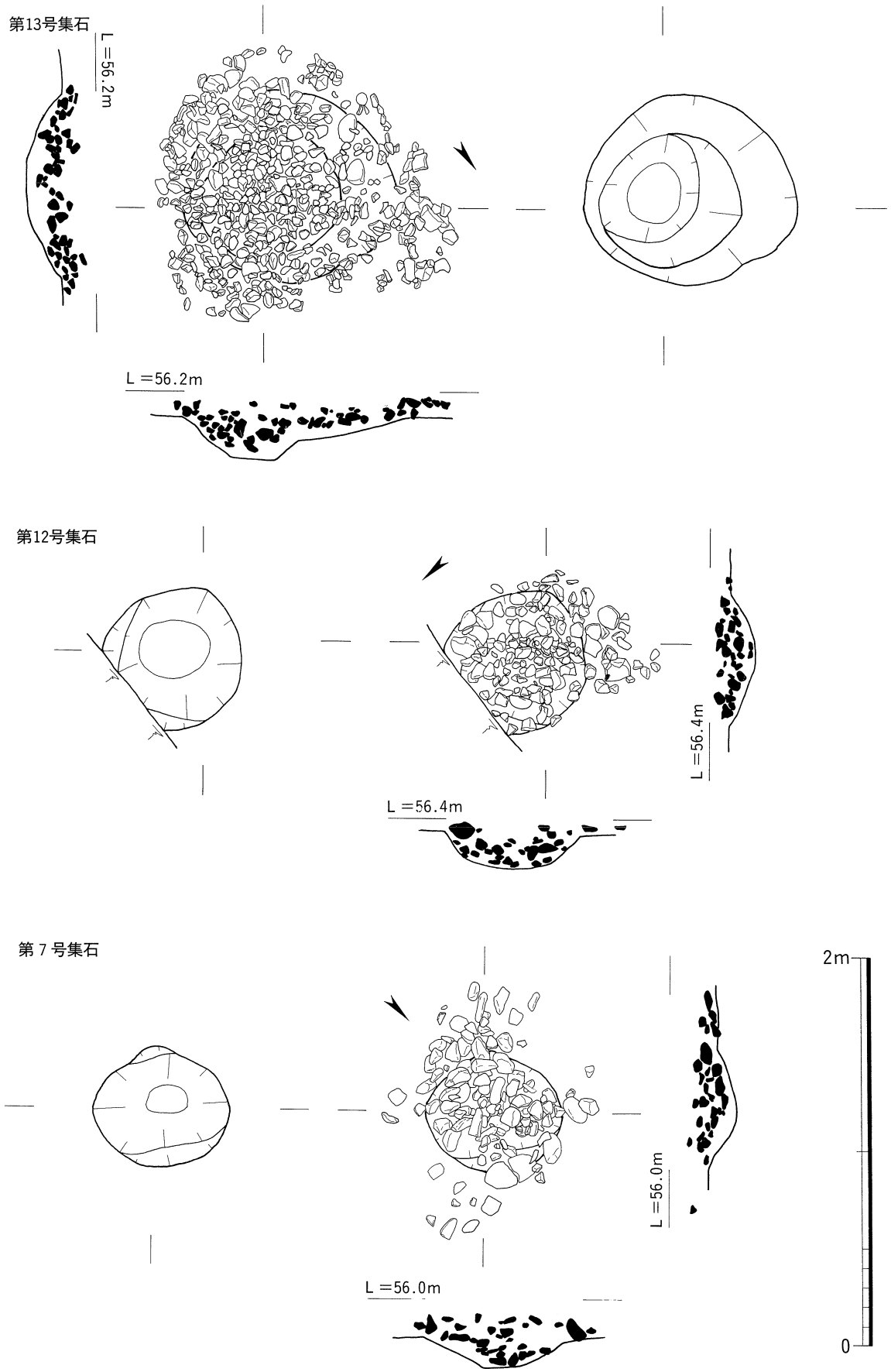
第５号集石はＵ15グリットⅣ層上位で検出された。径0.5m内に拳大以下の礫が集積する。第10号集石はＱ15グリットⅣ層上位で検出された。拳大以下の礫が見られるが５号集石同様に廃棄礫の一部かもしれない。

第11号集石（第10図）

第11号集石はＳ16グリットで検出され、1.2m×1.0m、深さ0.25mでテラス状の段を有する土坑に拳大ほどの礫を使用している。礫の堆積は西側で密になり３段以上積み重なる。土坑の床面中央には、20～30cm程の扁平な礫と角礫を５つ程用いて配石とする。配石は全体に赤く変色している。土坑は、壁面緩やかに立ち上がり床面はフラットである。



第10図　A地区第Ⅳ層集石遺構実測図(5)



第11図　A地区第Ⅳ層集石遺構実測図(6)

第19・20・29号集石（第10図）

第19号集石は、1.2m×1.0m拳大程の礫が２段ほど集積する。すぐ西側で条痕文土器（106）が出土している。第20号集石は19号集石の東側に位置し拳大程の礫のみで構成される。第29号集石は、径0.7mに拳大以上の礫を中央が深くなるように集積させている。土坑は伴わない。

第７・12・13号集石（第11図）

すべて土坑をもつ集石遺構である。第７号集石はＴ15グリットⅣ層上位で検出された。0.7m×0.6m、深さ0.15mの土坑に拳大以上の礫を使用している。配石はもたない。土坑は、壁面はしっかりしており床面はフラットで狭い。断面摺鉢状に近い形状である。第12号集石はＳ15グリットⅣ層上位で検出され、遺構北側に削平を受ける。径0.8m程の土坑に拳大以下の礫を密に使用している。土坑の外には使用した礫のなかでは大きめの礫があり、土坑内には小さめの礫が堆積している。土坑は、床面が広くフラットで壁面はしっかりと立ち上がる。第13号集石はＳ15グリットⅣ層下位で検出され、土坑をもつ集石遺構の中では規模が一番大きい。1.1m×1.0m、深さ0.2mの段を有する土坑に５～10㎝大の礫を多量に、しかも密に使用している。配石はもたない。土坑は、壁面が西側で緩やかに東側はしっかりと立ち上がり、床面は狭くフラットである。埋土は、12・13号集石とも炭を含んだ淡黒褐色の粘性土で、７号集石は炭の堆積はほとんどなく、他の遺構ほど黒ずんでいない。７・12号集石はⅣ層上位で検出されたが、13号集石は下位で検出された。

２遺物

ａ土器

Ⅳ層を中心に出土した遺物は縄文早期に比定され、文様形態等により10類に分類した。出土状況は、全体的にⅣ層の上位で出土する傾向がみられるが、Ⅰ類だけはⅣ層の中～下位で出土する傾向がみられ、他の出土遺物とは若干異なっている。平面でみた分布状況は、調査区全域に広がりをもつが、それぞれ群として認められるものではない。ただ、Ⅱ類土器はその中である程度の群として分布する状況を示しているが、出土遺物の最低個体数を考えると他の遺物群と分布状況は変わらない。また、Ⅳ類土器は全体的にＳ・Ｔグリット周辺に分布するなどの傾向がある。時期的には、早期前葉に比定されるⅠ類土器にはじまりⅤ類土器の後葉までかなり長い期間での土器の出土がみられる。

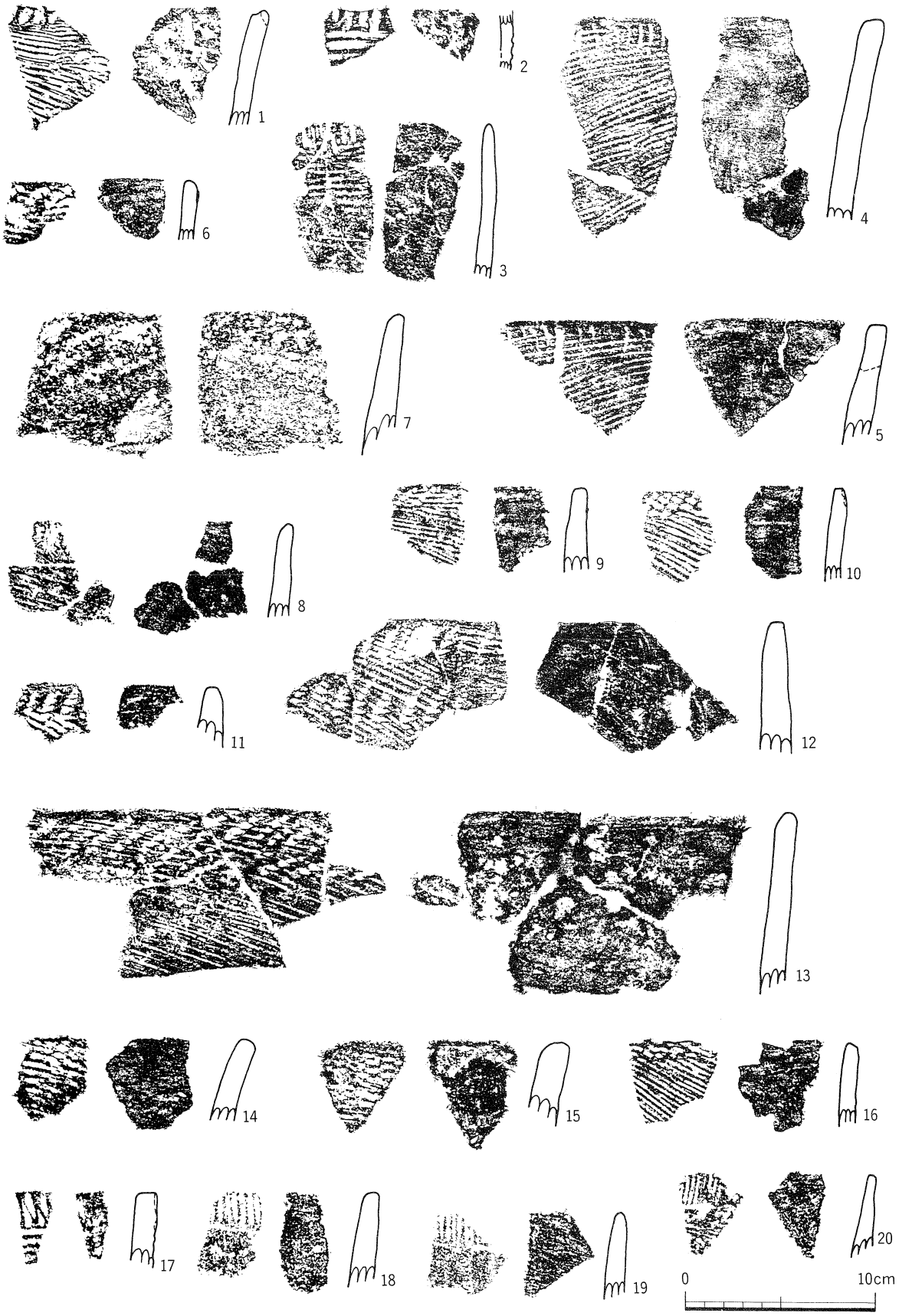
Ⅰ類土器（１～21・64）

口縁部に貝殻やヘラ状工具を用いて、押圧又は刺突するなどして施文するものである。内面調整は，ミガキを施すものもあり丁寧な仕上げのものが多い。施文具や手法によって１～７類に分類される。遺物の分布状況は、調査区全域に広がっているが群を成すものではない。しかしながら、明確ではないものの、３ｂ・ｃ類はＱ・Ｒグリット、３ａ類・４・６類はＴグリット付近に集まっている。

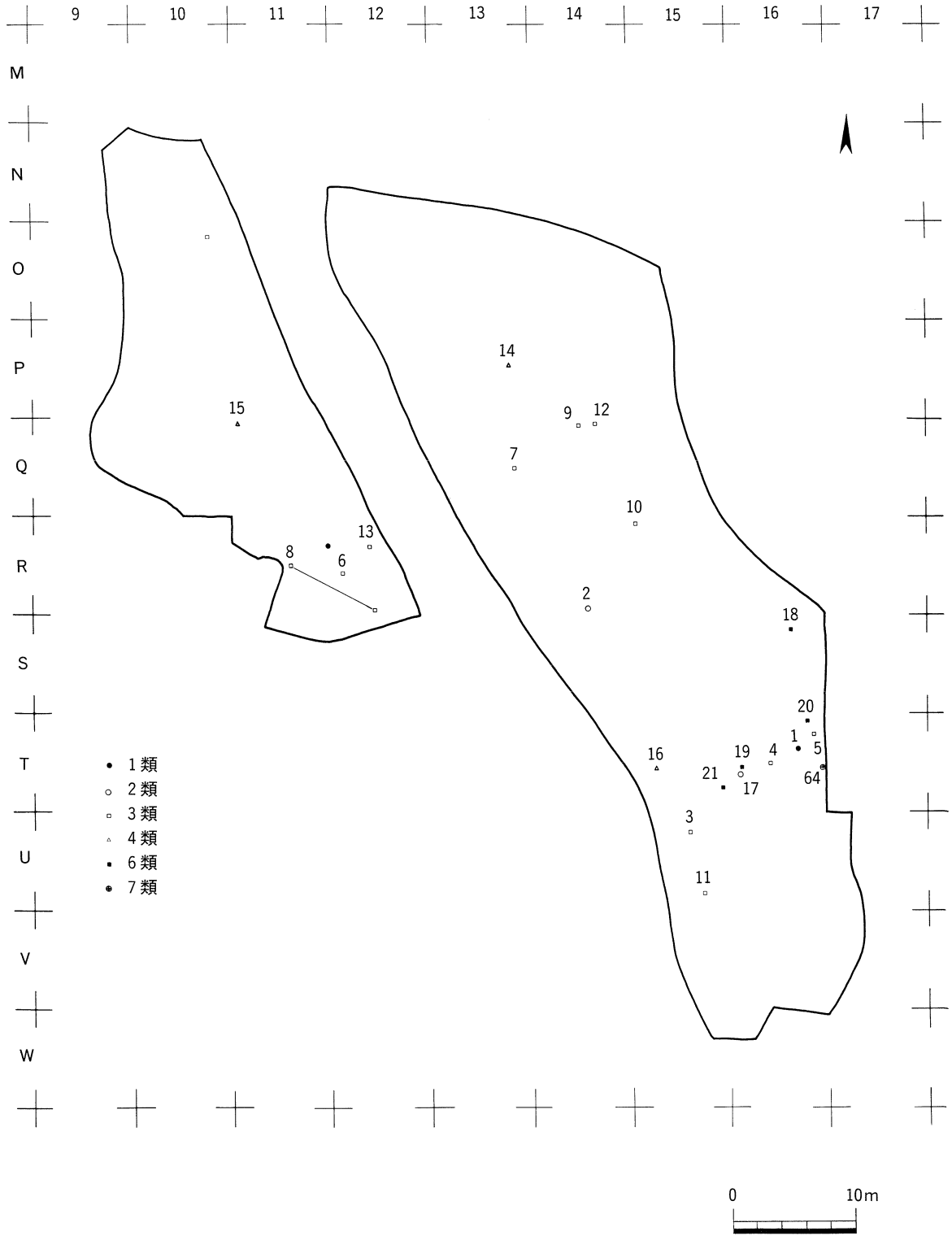
１類（１）口縁端部に連続刺突または押圧するものである。１は胴部条痕が雑に仕上げている。

２類（２・17）ヘラ状工具により連続押圧文を２段に施すもの。両方とも胴部条痕は太く丁寧に仕上げている。口縁部は浅くヘラで刺突される。

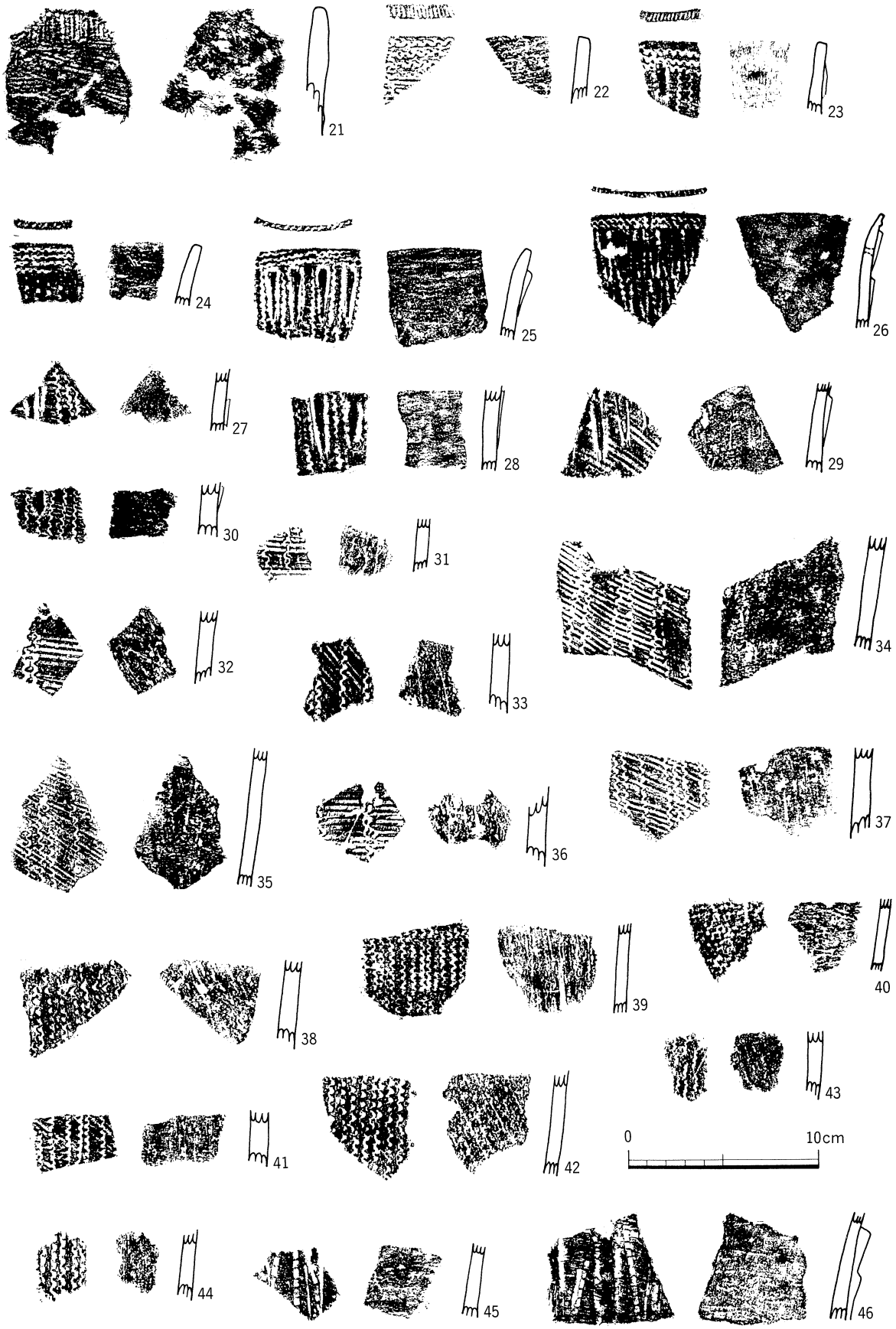
３類（３～13）貝殻腹縁を刺突し文様を施すもので、施文手法の違いから次の３つに細分できる。ａ類として縦位に貝殻腹縁による連続刺突文を浅く施すもの（３～５）、ｂ類として斜位に貝殻腹縁による連続刺突文を浅く施すもの（６～９）、ｃ類として斜位に貝殻腹縁による連続刺突文を浅く施すが、ｂ類との違いはｂ類が器面に垂直気味に刺突するのに対して鋭角気味に刺突する（10～13）ものがある。器壁は割合厚手で大型のものが多い。12は貝殻腹縁連続刺突文を２段に分けてベルト状に施文される。13も２段に施文され



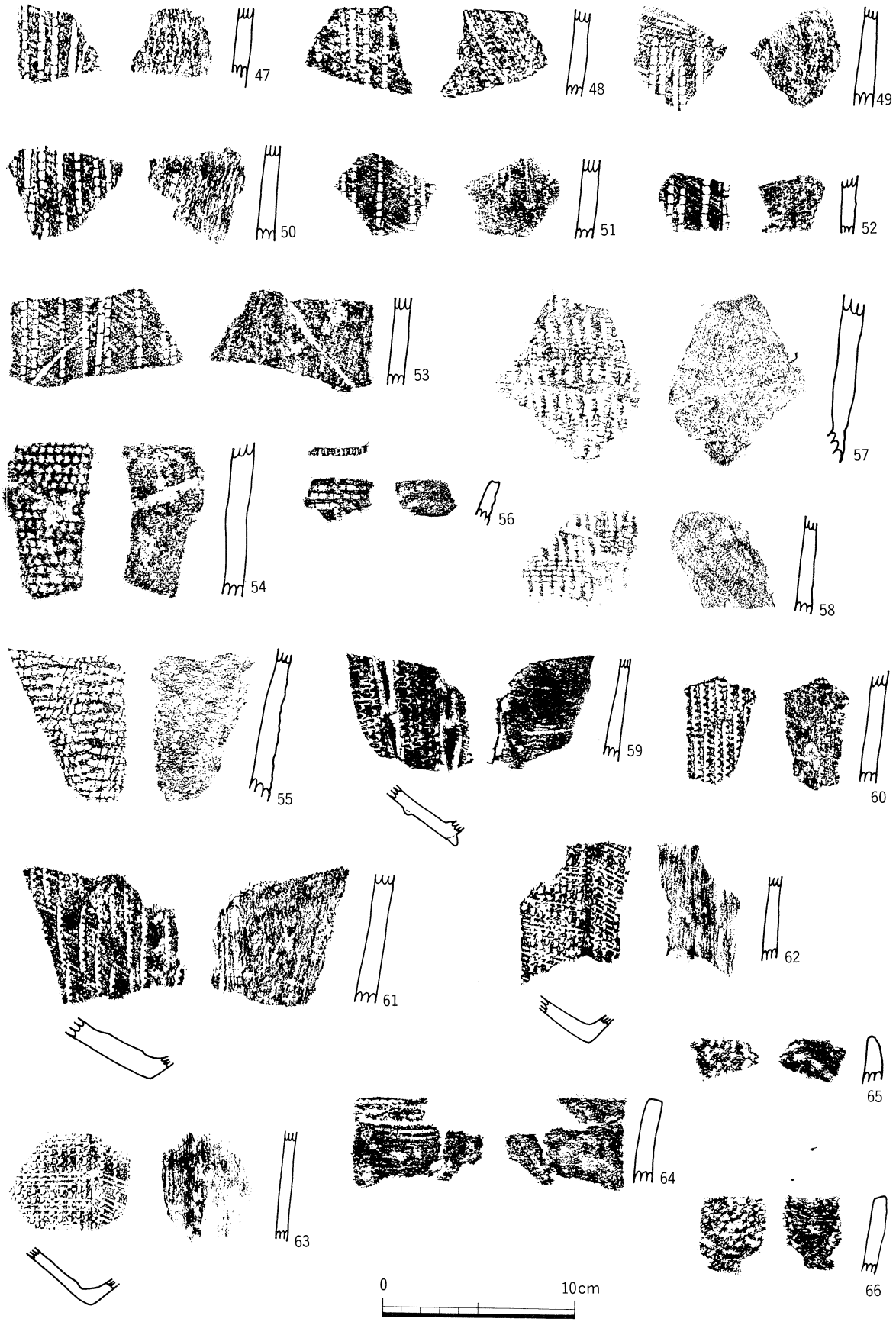
第12図　A地区第Ⅳ層縄文土器実測図(1)



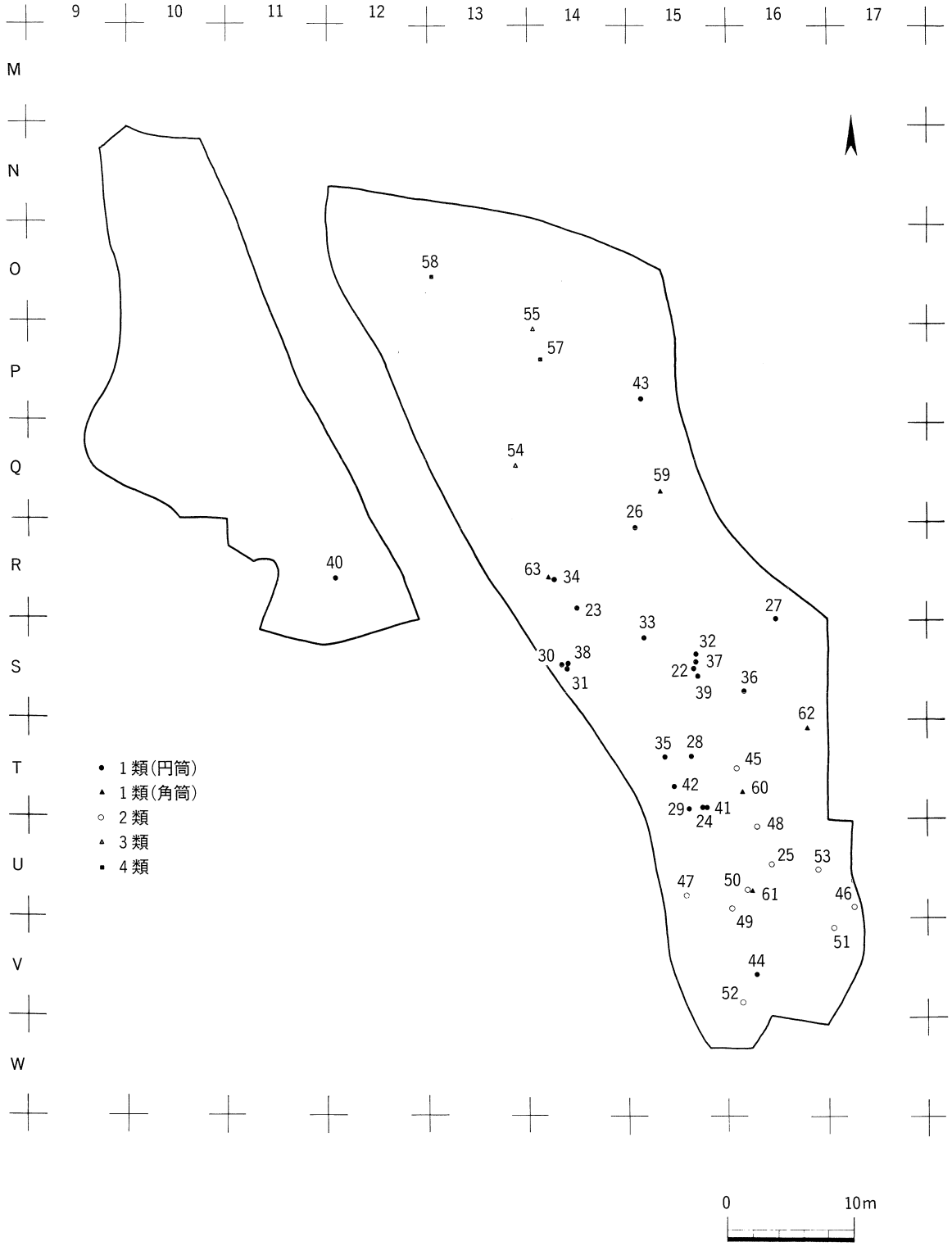
第13図　A地区第Ⅳ層縄文土器（Ⅰ類）分布図



第14図　A地区第Ⅳ層縄文土器実測図(2)



第15図　A地区第Ⅳ層縄文土器実測図(3)



第16図　A地区第Ⅳ層縄文土器（Ⅱ類）分布図

るが、重なるように施文されることで12とは異なる。４と５は同一個体と思われる。

４類（14～16）貝殻腹縁により横方向に押引状に施すもの。高岡町橋上遺跡でも出土しているが、そこほど施文手法は明確ではない。

６類（18～21）ヘラ状工具や貝殻腹縁により縦位に細く連続刺突するなどして条痕状に施すものである。文様帯は狭く巾1.5cmほどである。18・19は胴部条痕が明確でない。胎土は砂粒を多く含み、Ⅰ類のなかにあっては違和感がある。

７類（64）口縁部に貝殻腹縁による横位の押圧文線が何列かで平行に施文される。64は胴部は横位の貝殻条痕を施している。

Ⅱ類土器（22～63）

「吉田系」の土器群である。器壁は比較的薄く、色調は赤みを帯びたものが多い。口縁部はクサビ形突帯を有し、文様は貝殻を利用している。内面調整については、口縁部は比較的丁寧に調整するのに対し、胴部は粗雑である。施文手法で４つに分類される。このほとんどは調査区南東に分布し、１類はＲ～Ｔ14・15グリット、２類はＴ16～Ｖ16グリット、４・５類はＰ14グリット周辺に、それぞれ集中している。

１類（22～24・26～44・59～63）胴部施文が縦方向に貝殻腹縁押圧文（刺突文）線を施すものである。22～24と26は口縁部で、横位に貝殻腹縁押圧文（刺突文）線を３～４段入れ、その下に縦位・斜位に押圧文線を施す。26は、横位に貝殻腹縁押圧文（刺突文）線を３～４段入れ、クサビ形突帯を２段貼りつけ、貼りつけ部分に貝殻腹縁により刺突する。26のクサビ形突帯は、他のものと比較すると密な間隔である。59～63は、角筒土器である。61以外は器壁が薄く丁寧である。61は２類の可能性もある。59はクサビ形突帯を２段貼りつけている。

２類（25・45～53）縦方向に貝殻腹縁押圧文（刺突文）線を施す。１類が器面に垂直気味に工具を当てるのに対し、器面に斜角気味にあてている。25は口縁部で、クサビ形突帯が密に施される。分布状況から２類のなかに入れた。

３類（54～56）器面全体に横位の連続押引文を施すものである。56は口縁部で、貝殻連続押引文を施し口唇部に刻目を入れる。クサビ形突帯はみられない。54・55は器面全体に押引文を施す。

４類（57・58）貝殻腹縁による縦位の連続刺突文と横位の連続押引文を交互に施すもので、同一個体ではないかと思われる。57は、底部で平底になるものと思われるが、底部側辺ぎりぎりまで施文している。施文は深くしっかりとしている。

Ⅲ類土器（65～71）

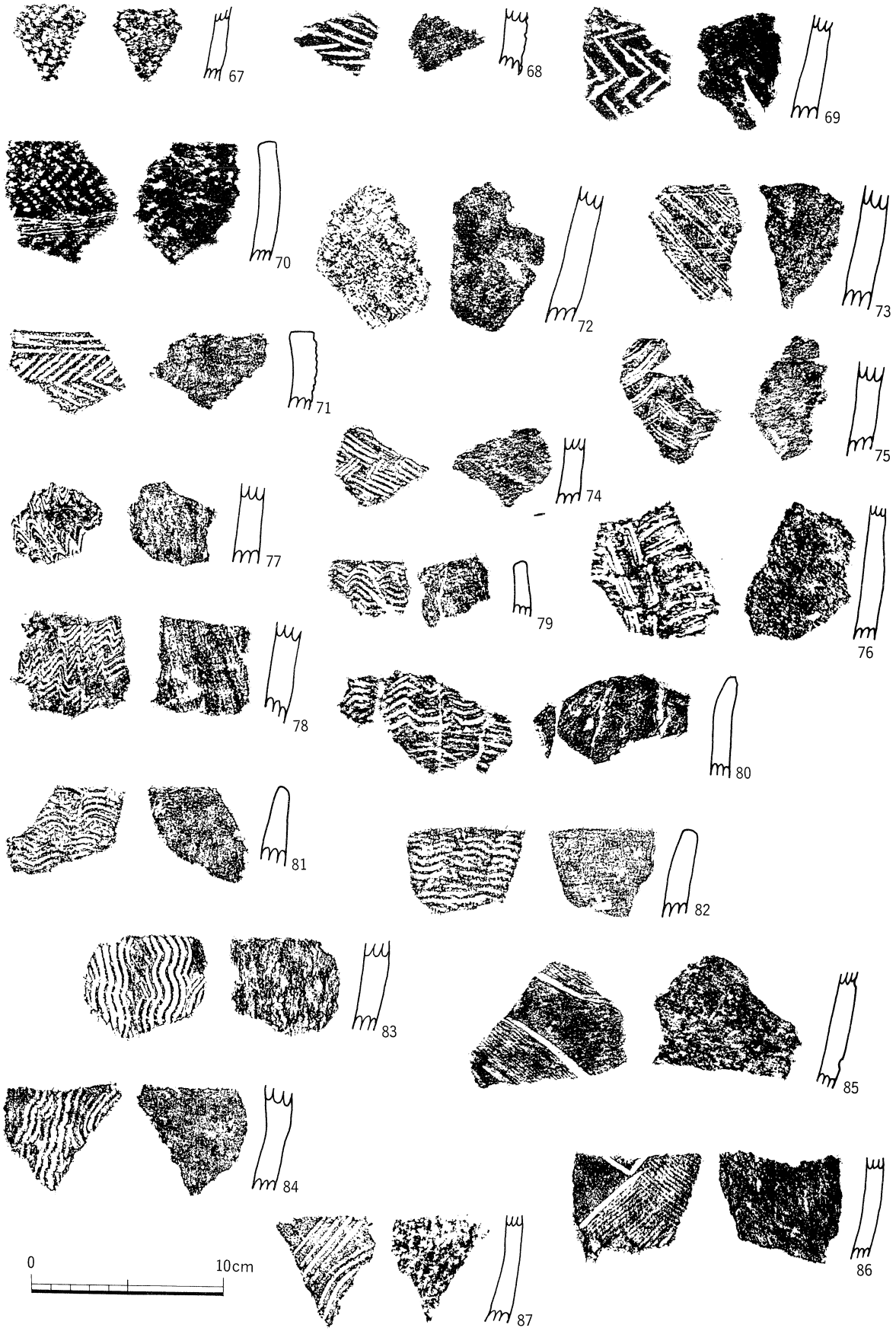
口縁部や胴部に斜位又は綾杉状に連続刺突文を施すものである。65～67は器面全体に刺突文を施す。70は、綾杉状に刺突されたもので、器形は71と同様に口縁部が内傾し、丁寧なナデ調整を施す。71は、口縁部に横位の貝殻復縁刺突文線を３段施し、その下に綾杉状に施文している。

Ⅳ類土器（74～84）

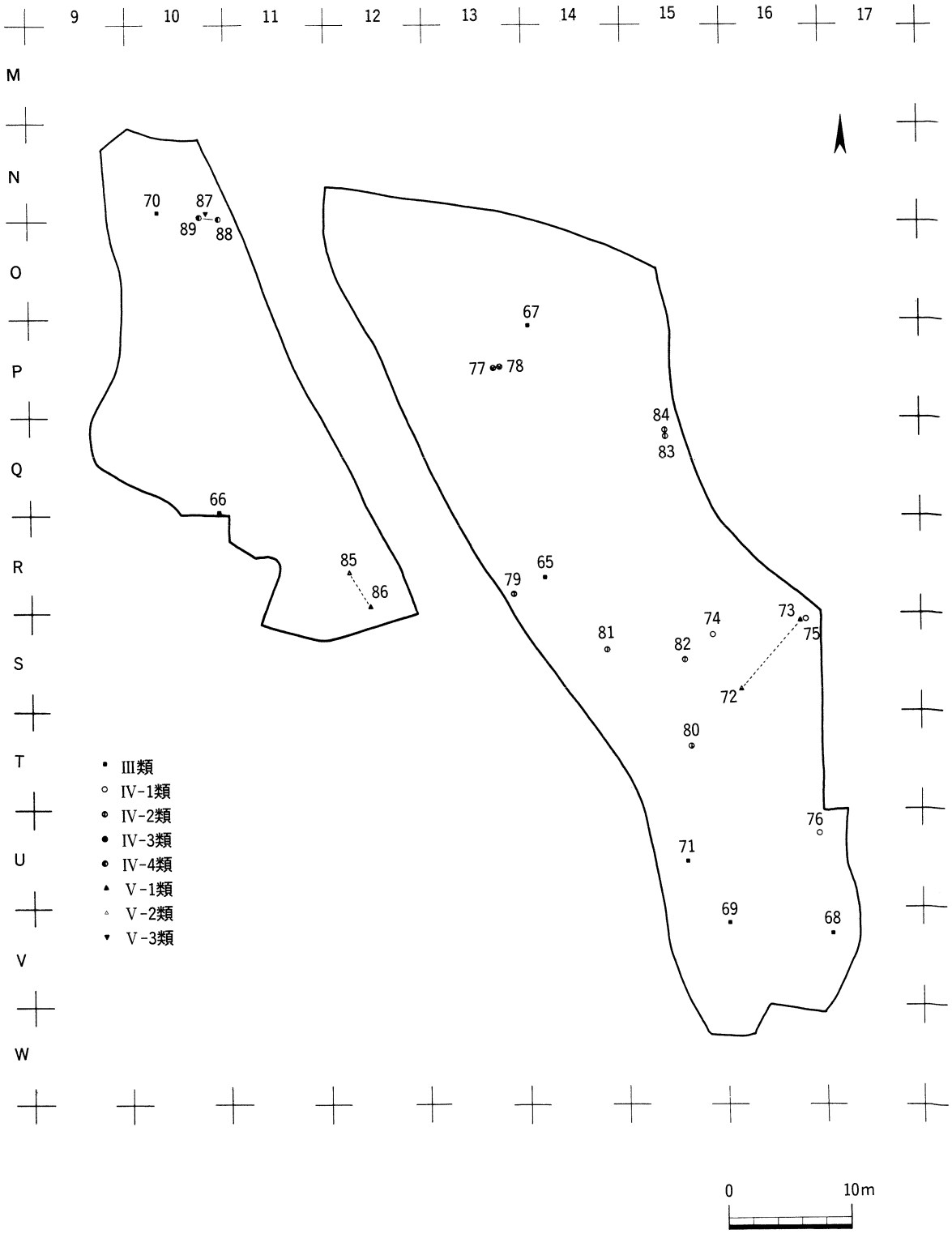
クシ歯状工具等を使って羽状や流水状に施文するもので、工具幅が幅広の施文具と幅狭のものとに分けられる。

１類（74～76）クシ歯状のもので羽状、綾杉状に短く施文するものである。74は４、５本を１単位で短く施文し、75は、３本１単位で長めに施文している。

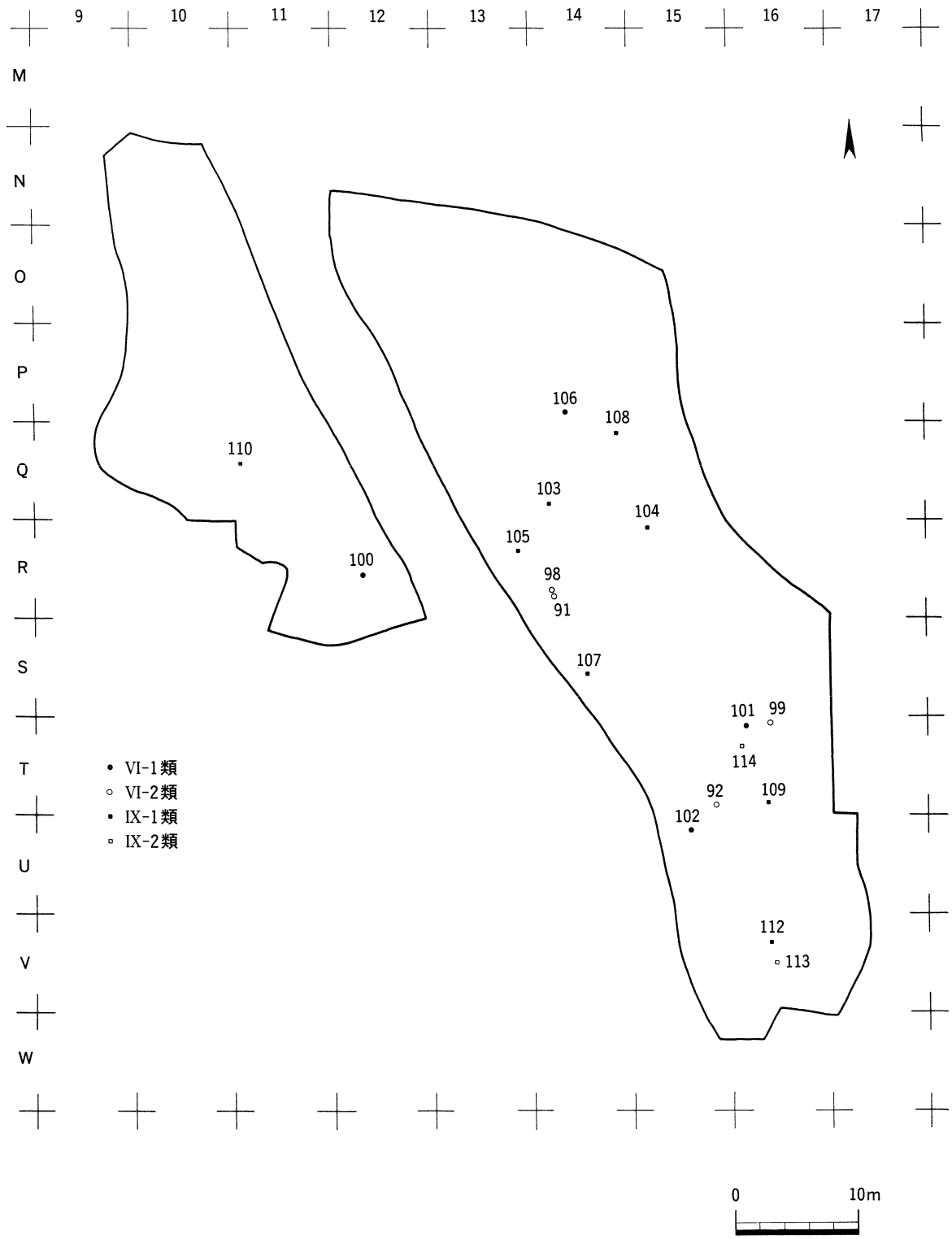
２類（79～84）クシ歯状（貝殻？）のもので横位や縦位に大きく流水状に施文するものである。口縁部はすべて横方向に施文し、胴部は、縦方向に施文している。80は、横方向の条痕後に波状文を施文する。６本



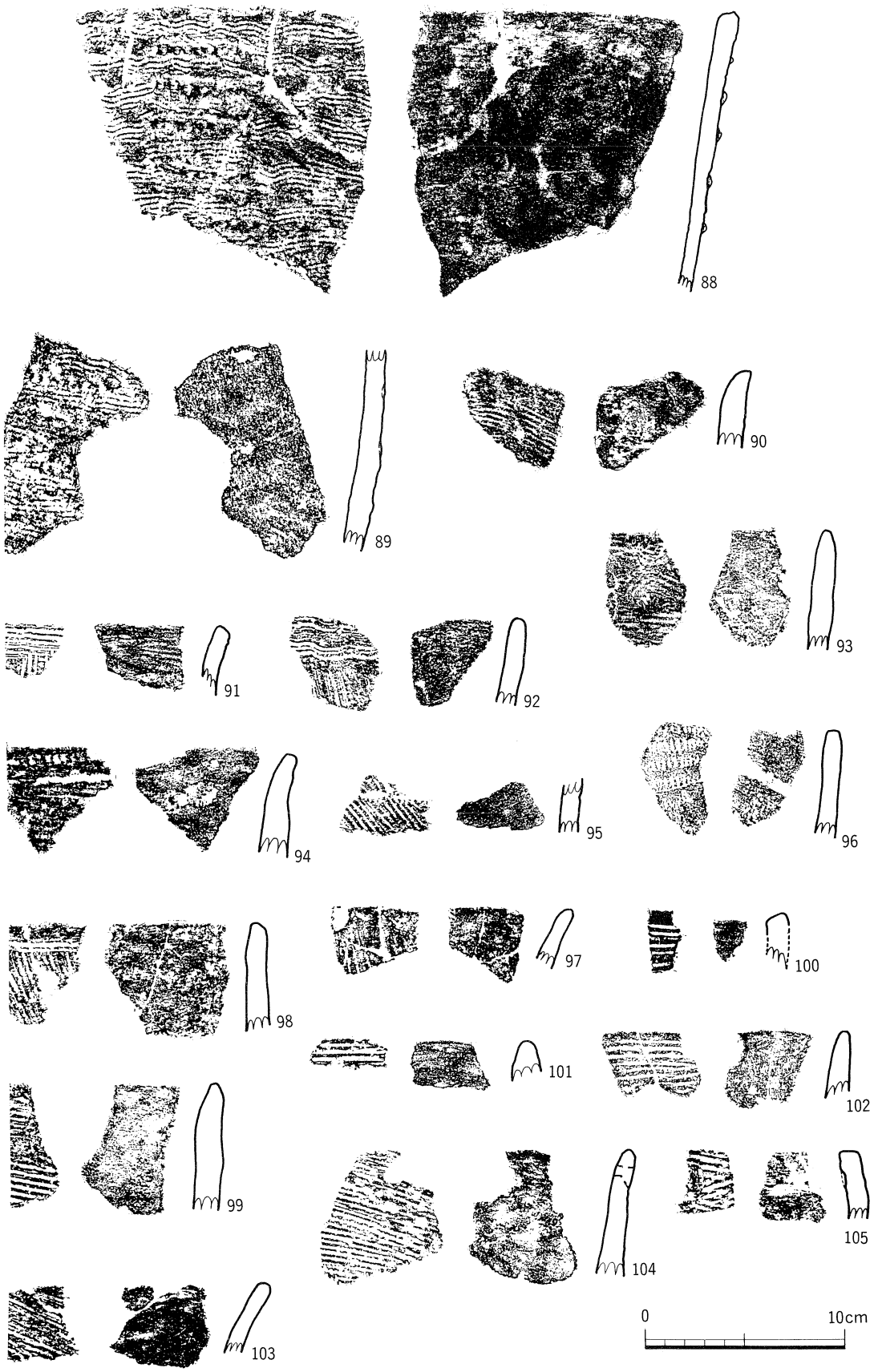
第17図　A地区第Ⅳ層縄文土器実測図(4)



第18図　A地区第Ⅳ層縄文土器（Ⅲ～Ⅴ類）分布図



第19図　A地区第Ⅳ層縄文土器（Ⅵ～Ⅸ類）分布図



第20図　A地区第Ⅳ層縄文土器実測図(5)

1単位で施文している。

3類（77・78）クシ歯状のもので小さく流水状に施文するもので、同一個体と思われる。

4類（88・89）器面に貝殻状のもので横位に流水状に施文し、長さ5センチ程の刻目突帯（細帯隆起文）を貼りつけるものである。88は口縁端に刻目を入れ、内面調整は横方向にナデる。口縁部から胴部に平行に貼られた突帯は5列まで確認され突帯は貝殻で刺突されている。器形は単純な深鉢形で頚部から口縁部にかけては直行する。89は、88と同一個体と思われ、刻目突帯が2段まで確認されることから突帯は胴部上半分までしか施文されないものと思われる。類似資料としては鹿児島県の横峰C遺跡などで出土している。両遺物ともN10グリットから出土し、その付近からはⅢ類とV－3類が出土している。

V類土器（72・73・85～87）

「塞ノ神式」や「平栫式」といわれているものである。分布状況は、1類がS16グリット、2類がR12グリット、3類がN10グリットで、それぞれ出土しているだけで点として押さえることしかできない。

1類（72・73）口縁部や頚部に貝殻連続刺突文を施し、胴部は幅狭い条痕を斜位・横位に長く施すもので、ここでは胴部のみ出土した。B地区出土の546と胎土が似ている。

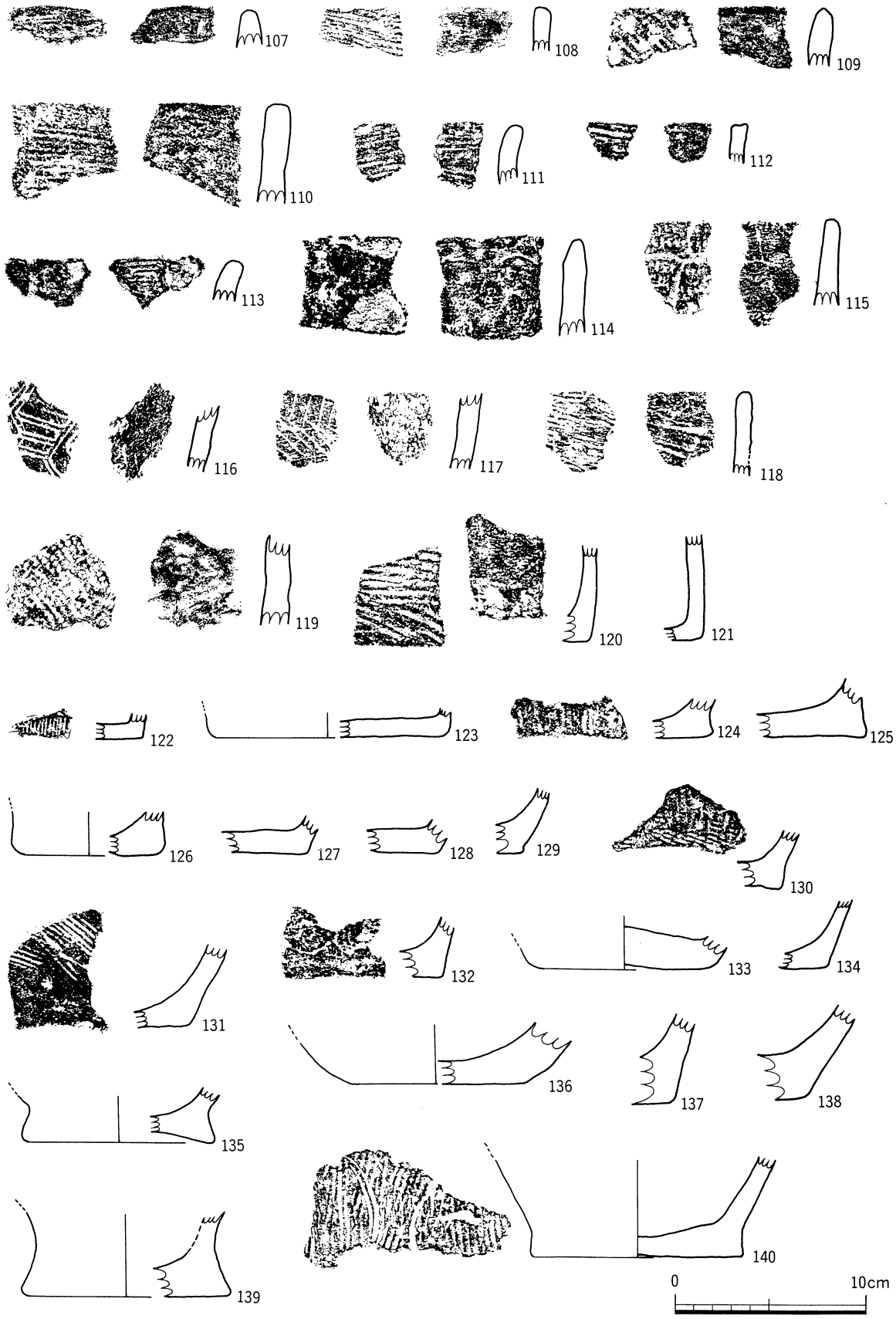
2類（85・86）2本の平行沈線間に撚糸文を施すもので、同一個体と思われる。器壁は薄く焼成もしっかりしている。

3類（87）3～4本の平行沈線を施し縦に帯状の撚糸文を施すもので、87は沈線文の部分である。

Ⅵ類土器（91～92・98～102・106）

条痕文を施す。文様を意識して製作したと思われるものをここでまとめた。

第21図　A地区第Ⅳ層縄文土器実測図(6)



第22図　A地区第Ⅳ層縄文土器実測図(7)

1類（100～102・106）口縁部に横方向の丁寧な条痕文を施すものである。106は、口縁部から胴部上半分を横方向の条痕文を施し、それより下は縦位の条痕文を施す。条痕は太くほぼ平行に施文される。器形は、胴部から口縁部までほぼ垂直に立ち上がる円筒形深鉢形をなす。

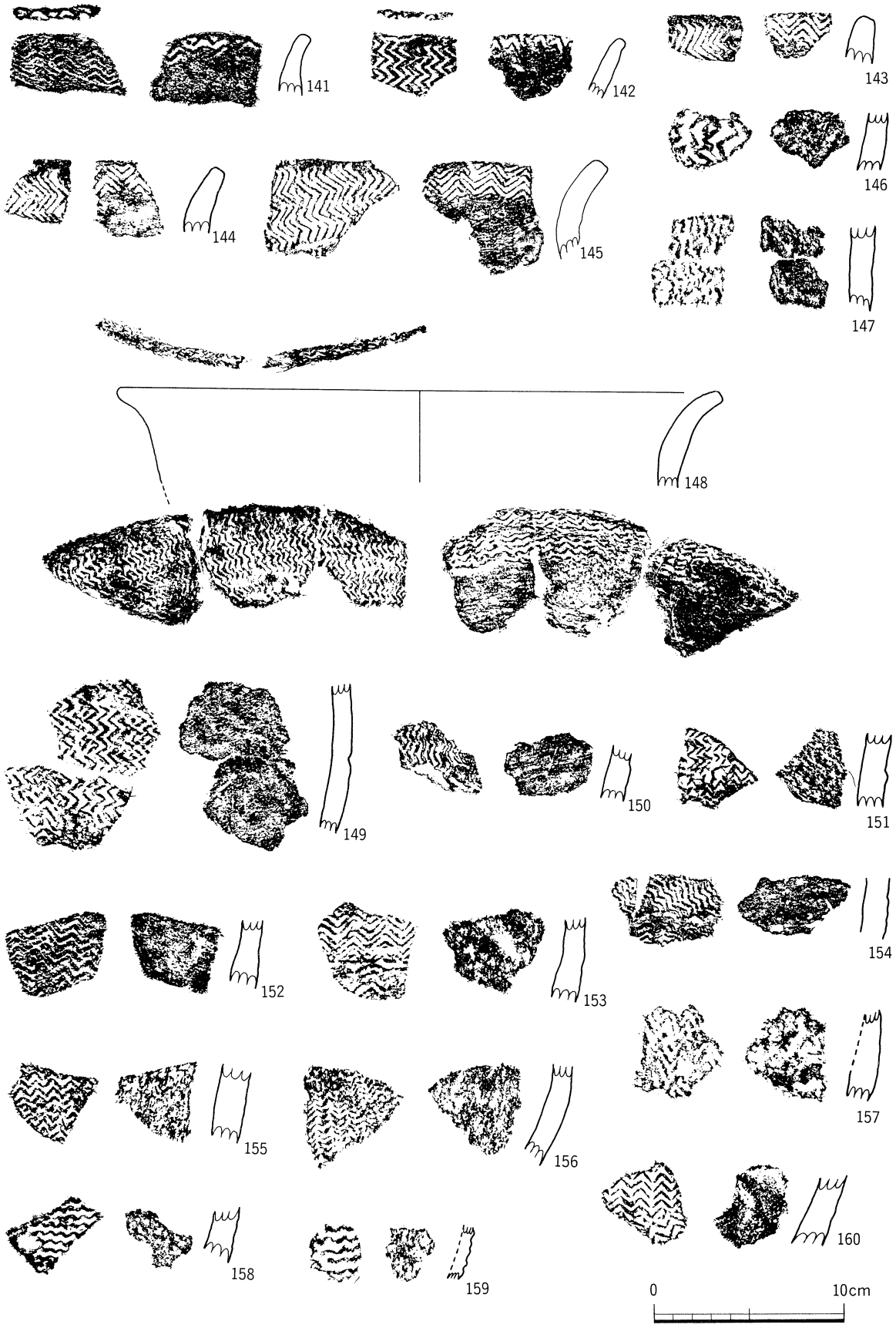
2類（91・92・98・99）口縁部に横位の直線又は波状の条痕文、その下に縦位・斜位の条痕を施すものである。91は3～4本単位の条痕文を間隔をあけて縦方向に施す。92は小さく流水状に条痕文その下は荒い条痕を施す。Ⅳ類に入れるべきかもしれない。99は横方向に条痕を入れた後、口縁端に半円状（流水文？）に入れている。

Ⅶ類土器（141～210）

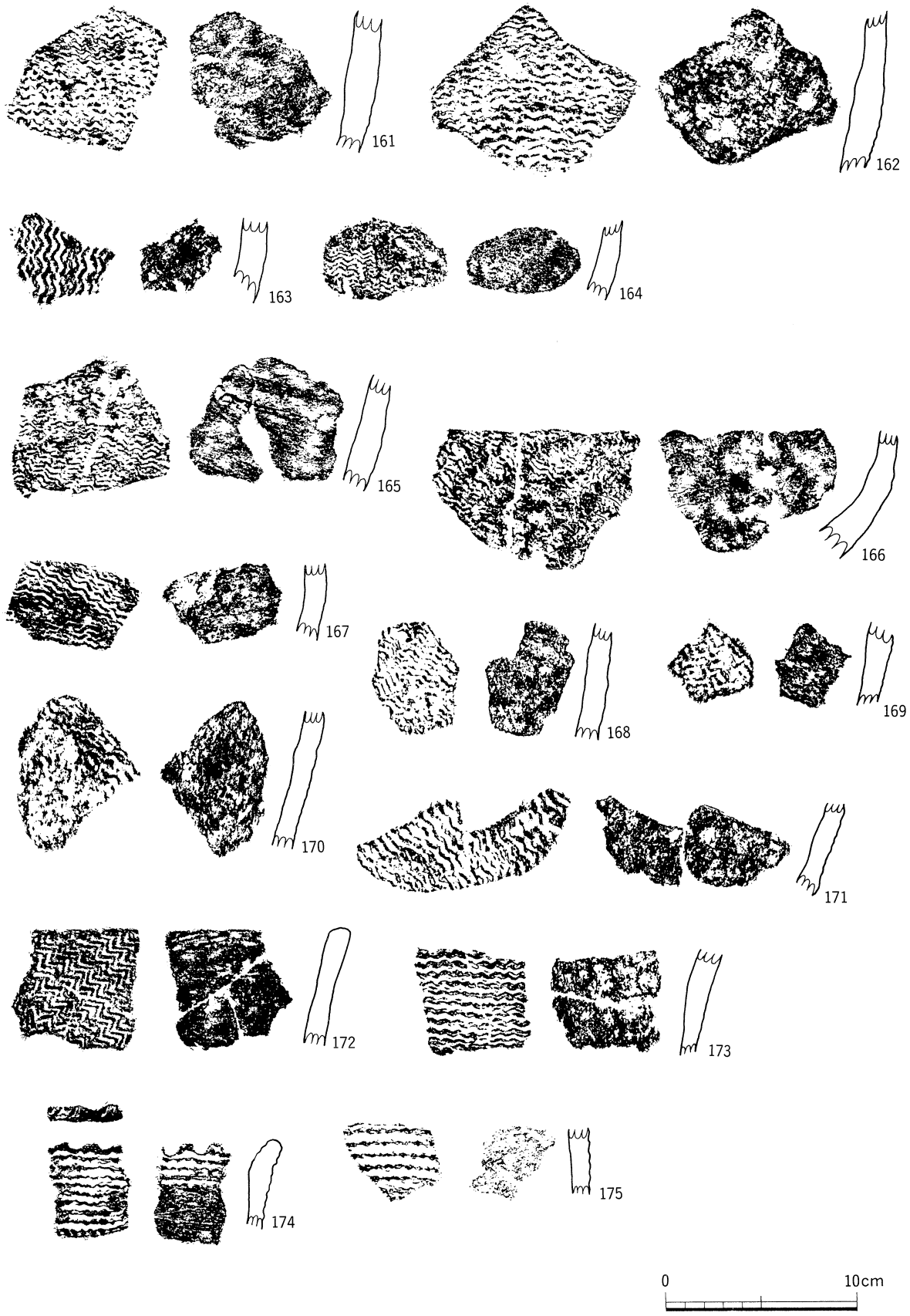
押型文土器である。文様形態により、山形・楕円・格子目の三種類に分類した。それを、山形施文については、施文状況が密で丁寧に施してあるものを「山形A類」とし、施文が雑で間延びしたようなものや施文単位が大きなものを「山形B類」とした。また、楕円については、丸味のあるものを「楕円A類」とし直線

表－2　A地区第Ⅳ層縄文土器第Ⅶ類口縁部分類表

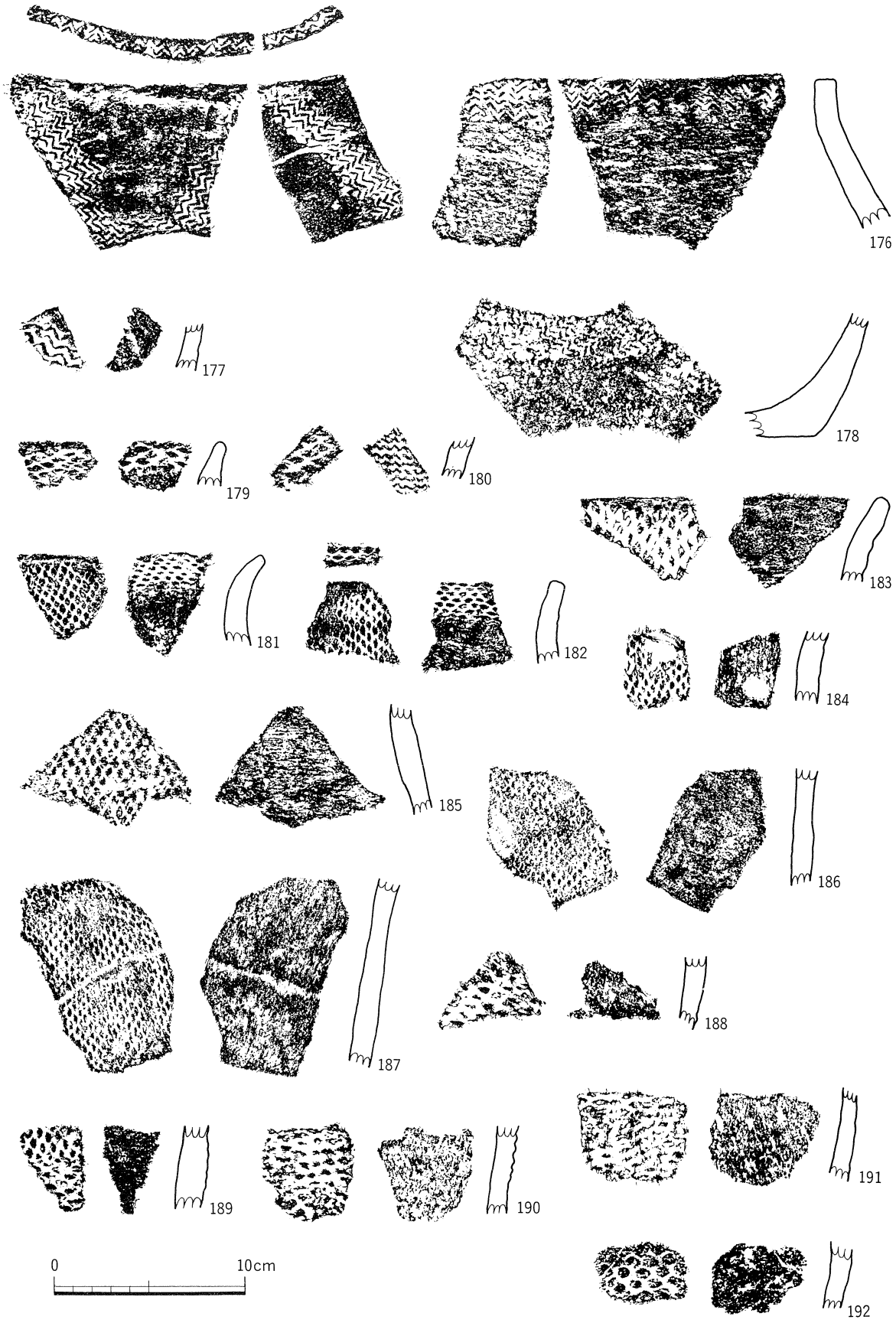
分類記号			外面施文	内面施文	柵状文	口唇施文	器形	備考
山形B	1	c	横方向	○	×	○	やや外反	174
		d	横方向	○	×	○	外反	141
	2	a	縦方向	○	×	○	外反	148　142 145　143 144
	3	b	斜方向	×	×	×	直開	172
		c	斜方向	○	×	○	内傾	176
楕円A	1	a	横方向	○	×	×	やや外反	179　180
	2	a	縦方向	○	×	×	やや外反	181
		b	縦方向	○	×	○	やや外反	182
		c	縦方向	×	×	×	外反	183
	3	b	斜方向	○	○	×	外反	196
		c	斜方向	○	×	×	外反	197　201



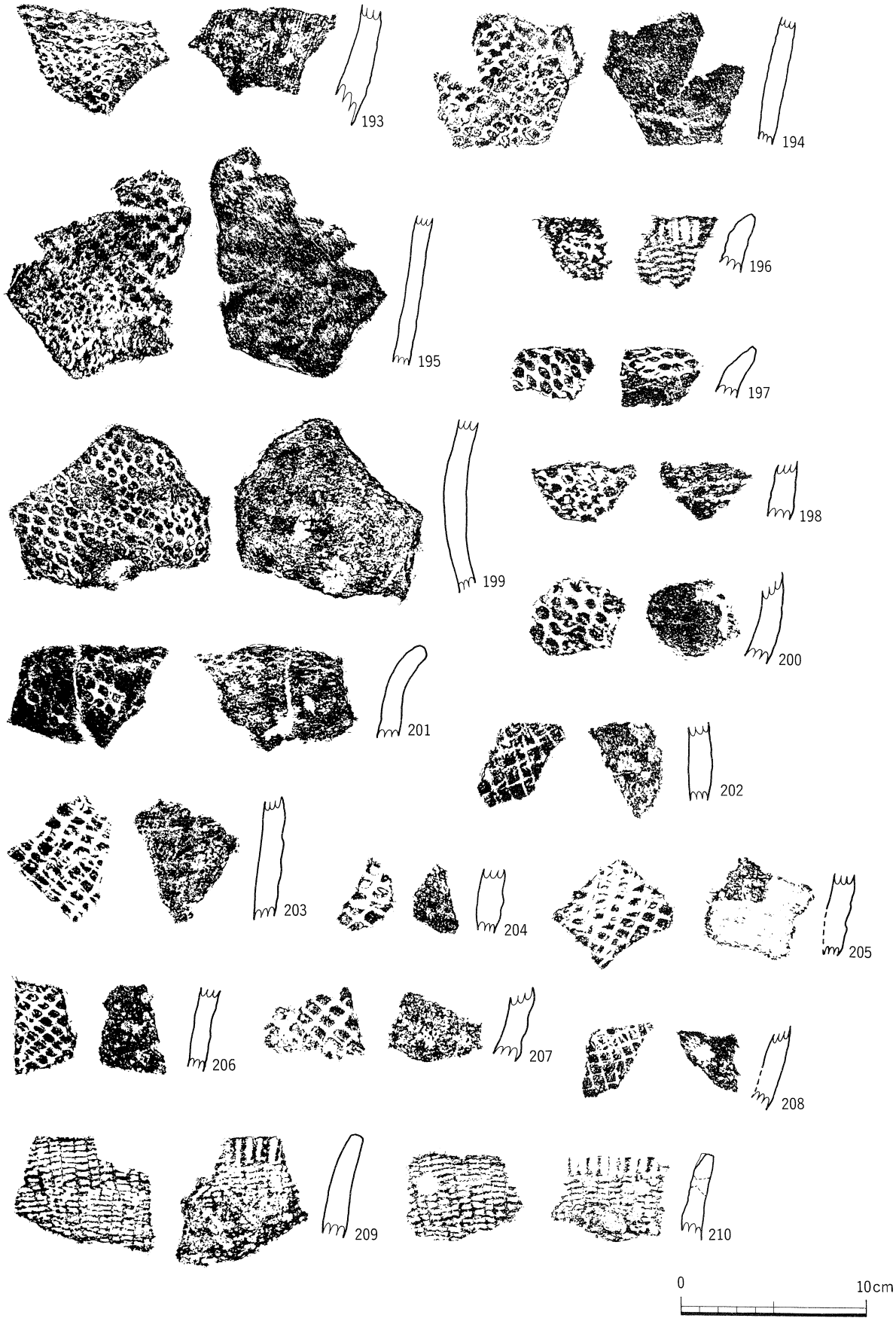
第23図　A地区第Ⅳ層縄文土器実測図(8)



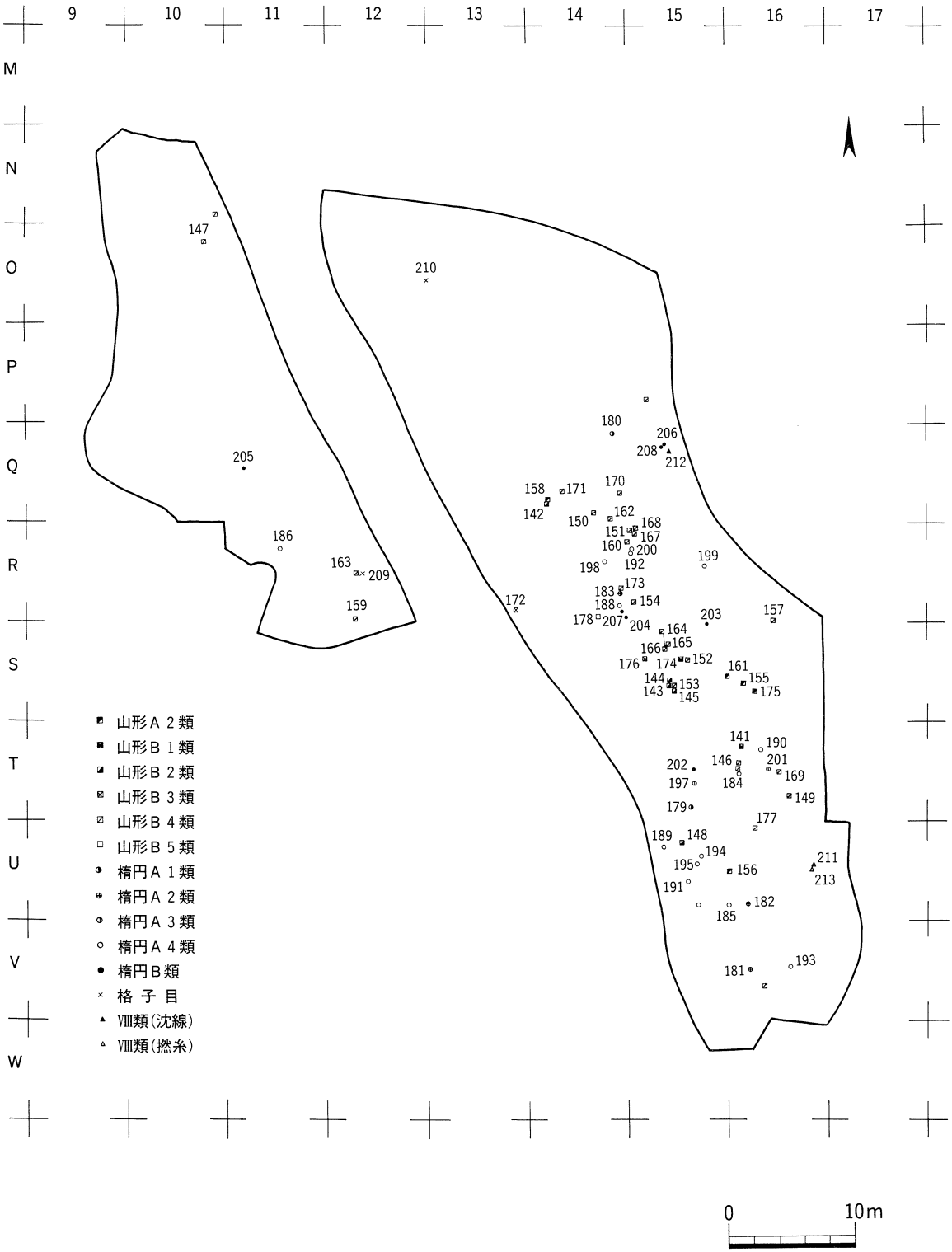
第24図　A地区第Ⅳ層縄文土器実測図(9)



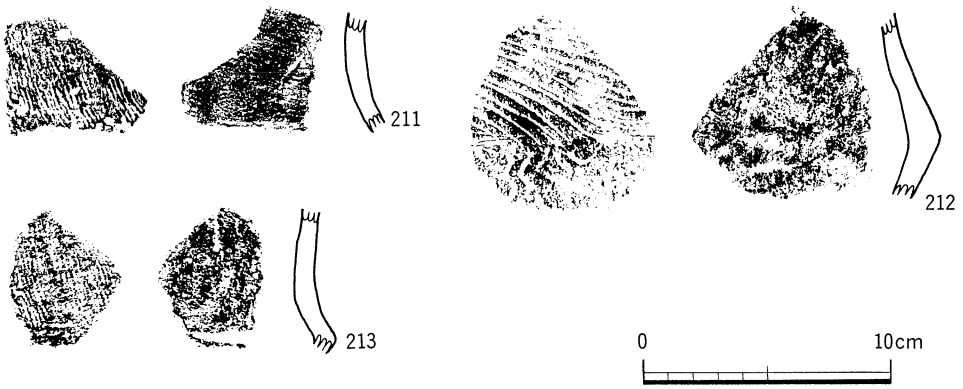
第25図　A地区第Ⅳ層縄文土器実測図(10)



第26図　A地区第Ⅳ層縄文土器実測図(11)



第27図　A地区第Ⅳ層縄文土器（Ⅶ・Ⅷ類）分布図



第28図　A地区第Ⅳ層縄文土器実測図(12)

表－3　A地区第Ⅳ層縄文土器観察表

※①口唇部 ②口縁部 ③胴部 ④底部

No.	挿図	図版	出土地点	文様・調整		色調	胎土	焼成	備考
				外面	内面				
1	12	14	T-16	②端部に連続刺突文 ③貝殻条痕	②横方向のナデ ③斜位のナデ	外 Hue5YR にぶい橙6/4 内 Hue5YR 明赤褐5/6	半透明粒多量 白色粒少量 黒色光沢粒多量	堅	
2	12	—	R-14	②ヘラ状工具による押圧文 ③貝殻腹縁条痕文	②ナデ（一部剥離）	外 Hue2.5Y 浅黄7/3 内 Hue2.5Y にぶい黄6/3	半透明粒（1㎜～2㎜）多量 黒色光沢粒少量	やや堅緻	
3	12	—	U-15	②貝殻条痕後、ヘラ状工具による縦の連続刺突 ③貝殻条痕	②横と縦方向のナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/2	半透明粒多量 白色粒少量 黒色光沢粒多量	やや堅	
4	12	—	T-16	②貝殻条痕後、貝殻腹縁による縦の連続刺突文 ③貝殻条痕	②ミガキ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue7.5YR 褐4/3	半透明粒多量 白色粒少量 砂粒少量 黒色光沢粒少量	堅	
5	12	—	T-16	②貝殻条痕後、貝殻腹縁による縦の連続刺突文 ③貝殻条痕	②ミガキ	外 Hue5YR 橙6/6 内 Hue10YR 灰黄褐5/2	半透明粒多量 白色粒 軽石状のスコリア少量 黒色光沢粒少量	堅	4と同一個体か?
6	12	—	R-12	②貝殻条痕後貝殻腹縁による斜位の連続刺突文	②ていねいなナデ	外 Hue10YR 黄橙8/6 内 Hue10YR 褐灰5/1	半透明粒多量 白色粒少量 軽石状のスコリア少量 黒色光沢粒少量	やや堅緻	
7	12	—	Q-13	②斜位に2段の貝殻腹縁による連続刺突文	②ナデ	外 Hue10YR 浅黄橙8/4 内 Hue5YR にぶい橙6/4	半透明粒多量 白色粒多量 軽石状のスコリア少量 砂粒少量 黒色光沢粒	堅	
8	12	—	R-11	②貝殻腹縁連続刺突文 ③貝殻条痕	②ていねいなナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/4 内 Hue2.5Y 灰黄6/2	半透明粒多量 砂粒少量 黒色光沢粒	やや堅緻	
9	12	14	Q-14	②貝殻条痕後、斜位の貝殻腹縁連続刺突文 ③貝殻条痕	②ミガキ	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 淡黄8/3	半透明粒多量 軽石状のスコリア多量 黒色光沢粒（極小）	やや堅緻	
10	12	—	R-15	②貝殻腹縁連続刺突文 ③貝殻条痕	②ていねいなナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/4 内 Hue10YR 浅黄橙8/4	半透明粒多量 軽石状のスコリア多量 黒色光沢粒少量	堅緻	

No.	挿図	図版	出土地点	文様・調整		色調	胎土	焼成	備考
				外面	内面				
11	12	—	U-15	②貝殻条痕後、貝殻腹縁による斜位連続刺突文	②ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/4 内 Hue2.5Y 淡黄8/4	半透明粒多量 白色粒多量 砂粒少量 黒色光沢粒少量	やや堅緻	
12	12	—	Q-14	②③貝殻条痕後、貝殻腹縁連続刺突文	②ていねいなナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 淡黄8/4	半透明粒多量 軽石状のスコリア多量 砂粒少量 黒色光沢粒	堅緻	
13	12	14	Q-12	②貝殻条痕後、貝殻腹縁連続刺突文 ③貝殻条痕	②ナデ	外 Hue2.5YR 橙7/6 内 Hue7.5YR にぶい橙7/4	軽石状のスコリア多量 半透明粒多量 赤色粒少量 黒色光沢粒極小多量	堅緻	
14	12	—	P-13	②貝殻条痕後、貝殻腹縁押引文	②ミガキ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/2	半透明粒多量 白色粒少量 軽石状のスコリア少量 黒色光沢粒	堅緻	
15	12	—	Q-12	②貝殻条痕後、貝殻腹縁押引文	②ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/4 内 Hue2.5Y 浅黄7/3	白色粒多量 赤褐色粒（4mm1ケ） 半透明粒多量 黒色光沢粒	堅	
16	12	14	T-16	②貝殻条痕後、貝殻腹縁押引文	②ていねいなナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/4	半透明粒多量 黒色光沢粒	堅緻	
17	12	—	T-16	②ヘラ状工具による押圧文 ③貝殻腹縁条痕文	②ナデ	外 Hue7.5YR 褐4/4 内 Hue5YR にぶい赤褐5/4	半透明粒多量 白色粒多量 黒色光沢粒	堅	
18	12	—	S-16	②ヘラ状工具による縦の条痕状連続押圧文	②ナデ	外 Hue2.5Y にぶい黄6/3 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	透明粒多量 白色粒多量 黒色光沢粒多量	堅	
19	12	—	T-16	②ヘラ状工具による縦の条痕状連続押圧文 横方向の沈線文	②ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 黄灰6/1	半透明粒多量 白色粒多量 黒色光沢粒	やや堅緻	
20	12	—	T-16	②貝殻腹縁による縦方向の条痕文 横方向の沈線文	②ナデ	外 Hue2.5Y 黄灰6/1 内 Hue2.5Y 浅黄7/3	半透明粒多量 黒色光沢粒 白色粒多量	やや堅緻	
21	14	—	T-15	②貝殻による縦方向の条痕文 ③貝殻条痕	②ナデ（一部剥離）	外 Hue2.5Y 灰黄6/2 内 Hue2.5Y 灰黄6/2	半透明粒多量 軽石状のスコリア多量 黒色光沢粒多量	やや堅	
22	14	—	S-15	①刻目 ②貝殻押圧（刺突）文線 ③貝殻条痕後、縦方向の貝殻押圧（刺突）文線	②横方向のナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue7.5YR にぶい褐5/4	半透明粒多量 黒色光沢粒	堅	
23	14	—	R-14	①刻目 ②貝殻押圧（刺突）文線 クサビ形突帯	②横方向のナデ	外 Hue5YR にぶい橙6/4 内 Hue5YR にぶい赤褐5/4	白色粒多量 半透明粒多量 黒色光沢粒	堅	
24	14	—	T-15	①刻目 ②貝殻押圧（刺突）文線 クサビ形突帯	②ナデ	外 Hue5YR にぶい赤褐5/4 内 Hue5YR 明赤褐5/6	半透明粒多量 黒色光沢粒	堅	
25	14	14	U-16	①刻目 ②貝殻押圧（刺突）文線 クサビ形突帯	②横方向のナデ	外 Hue5YR にぶい赤褐5/3 内 Hue5YR にぶい赤褐5/4	白色粒多量 黒色光沢粒少量 黒色粒	堅	
26	14	14	R-15	①刻目 ②貝殻押圧（刺突）文線 クサビ形突帯	②ナデ	外 Hue5YR にぶい橙6/4 内 Hue5YR にぶい赤褐5/3	半透明粒多量 白色粒多量 茶色粒少量 黒色光沢粒	堅緻	穿孔あり
27	14	—	R-16	②貝殻条痕後、貝殻押圧（刺突）文線 クサビ形突帯	②ナデ	外 Hue5YR にぶい橙7/4 内 Hue5YR 橙6/6	半透明粒多量 白色粒多量 黒色光沢粒	堅	
28	14	—	T-15	②貝殻押圧（刺突）文線 クサビ形突帯	②ナデ	外 Hue2.5YR 橙6/6 内 Hue2.5YR にぶい橙6/4	半透明粒多量 白色粒多量 黒色光沢粒	堅	
29	14	—	T-15	②貝殻条痕 クサビ形突帯	縦方向のナデ	外 Hue5YR にぶい橙7/4 内 Hue5YR にぶい橙6/3	半透明粒多量 白色粒少量 黒色光沢粒	堅	
30	14	—	S-14	②貝殻条痕後、貝殻押圧（刺突）文線 クサビ形突帯	②ナデ	外 Hue5YR にぶい橙6/4 内 Hue5YR にぶい赤褐5/4	白色粒多量 軽石状のスコリア少量 黒色光沢粒	堅	
31	14	—	S-14	③貝殻条痕後、貝殻押圧（刺突）文線	③ナデ	外 Hue10YR 褐灰5/1 内 Hue7.5YR にぶい橙7/4	半透明粒多量 白色粒少量 黒色光沢粒	堅	

32	14	—	S-15	③貝殻条痕後、貝殻押圧(刺突) 文線	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/4	白色粒多量 半透明粒多量 軽石状のスコリア少量 黒色光沢粒	堅	
33	14	—	S-15	③貝殻条痕後、貝殻押圧(刺突)文線	③ナデ	外 Hue5YR にぶい橙6/4 内 Hue5YR 橙6/6	軽石状のスコリア多量 半透明粒多量 黒色光沢粒	堅	
34	14	—	R-14	③貝殻条痕後、貝殻押圧(刺突)文線	③縦方向のケズリ風ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/4	白色粒多量 半透明粒多量 黒色光沢粒	堅	
35	14	—	T-15	③貝殻条痕後、貝殻押圧(刺突)文線	③縦方向のケズリ風ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙6/4 内 Hue7.5YR にぶい橙6/4	半透明粒多量 茶色粒多量 黒色光沢粒	堅	
36	14	—	S-16	③貝殻条痕後、貝殻押圧(刺突)文線	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue10YR 明黄褐7/6	半透明粒多量 白色粒多量 黒色光沢粒少量	やや堅	
37	14	—	S-15	③貝殻条痕後、貝殻押圧(刺突)文線	③縦方向のケズリ風ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙6/4 内 Hue5YR 橙6/6	半透明粒多量 黒色光沢粒	堅	
38	14	—	S-14	③貝殻押圧(刺突)文線	③ケズリ風ナデ	外 Hue5YR にぶい橙6/4 内 Hue5YR にぶい橙6/4	半透明粒多量 赤色粒少量 白色粒多量 黒色光沢粒	堅	
39	14	—	S-15	③貝殻押圧(刺突)文線	③ナデ	外 Hue5YR 橙6/6 内 Hue5YR 明赤褐5/6	半透明粒多量 白色粒少量 黒色光沢粒	やや堅	
40	14	—	R-12	③貝殻押圧(刺突)文線	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	半透明粒多量 白色粒少量 赤色粒少量 黒色光沢粒	堅	
41	14	—	T-15	③貝殻条痕後貝殻押圧(刺突)文線	③ケズリ風ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙6/4 内 Hue5YR 橙6/6	半透明粒多量 黒色光沢粒	堅	
42	14	—	T-15	③貝殻押圧(刺突)文線	③ナデ	外 Hue5YR にぶい橙6/4 内 Hue5YR にぶい赤褐5/4	半透明粒多量 白色粒多量 黒色光沢粒	堅	
43	14	—	P-15	③貝殻押圧(刺突)文線	③ナデ	外 Hue5YR にぶい橙7/4 内 Hue5YR 橙6/6	半透明粒多量 白色粒多量 黒色光沢粒少量	堅	
44	14	—	V-16	③貝殻押圧(刺突)文線	③ナデ	外 Hue10YR 浅黄橙8/3 内 Hue10YR 浅黄橙8/4	白色粒多量 半透明粒少量 黒色光沢粒	やや堅	
45	14	—	T-16	②貝殻押圧(刺突)文線 クサビ形突帯	②横方向のナデ	外 Hue5YR 橙6/6 内 Hue10YR にぶい黄橙6/4	半透明粒多量 白色粒多量 赤色粒多量 黒色光沢粒	堅	
46	14	—	U-17	②貝殻条痕後、貝殻押圧(刺突)文線 クサビ形突帯	②横方向のケズリ風ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue7.5YR にぶい橙6/4	軽石状のスコリア多量 白色粒多量 半透明粒少量 黒色光沢粒	堅	
47	15	—	U-15	③貝殻押圧(刺突)文線	③ケズリ風ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙6/3	半透明粒多量 黒色光沢粒	堅	
48	15	—	V-16	③貝殻押圧(刺突)文線	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/3 内 Hue7.5YR にぶい橙6/4	白色粒多量 半透明粒多量 黒色光沢粒	堅	
49	15	—	U-16	③貝殻押圧(刺突)文線	③ケズリ風ナデ	外 Hue7.5YR にぶい褐6/3 内 Hue7.5YR にぶい橙6/4	半透明粒多量 軽石状のスコリア多量 黒色光沢粒	やや堅	
50	15	—	V-16	③貝殻押圧(刺突)文線	③ケズリ風ナデ	外 Hue5YR にぶい橙6/4 内 Hue5YR にぶい橙7/4	半透明粒多量 白色粒多量 黒色光沢粒	やや堅	
51	15	—	V-17	③貝殻押圧(刺突)文線	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙6/4	半透明粒多量 白色粒多量 赤色粒少量 黒色光沢粒	やや堅	
52	15	—	V-16	③貝殻条痕後、貝殻押圧(刺突)文線	③ナデ	外 Hue5YR にぶい橙7/4 内 Hue7.5YR にぶい橙7/4	軽石状のスコリア多量 白色粒多量 赤色粒少量 半透明粒少量 黒色光沢粒	やや堅	
53	15	—	U-16	③貝殻条痕後、貝殻押圧(刺突)文線	③ナデ	外 Hue5YR にぶい橙6/3 内 Hue2.5YR 明赤褐5/6	半透明粒少量 黒色光沢粒	やや堅	

No.	挿図	図版	出土地点	文様・調整		色調	胎土	焼成	備考
				外面	内面				
54	15	—	Q-13	③貝殻腹縁連続押引文	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙6/4 内 Hue7.5YR にぶい褐6/3	半透明粒多量 白色粒多量 黒色光沢粒	やや堅	
55	15	—	P-15	③貝殻腹縁連続押引文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい褐5/3 内 Hue7.5YR にぶい褐5/3	白色粒多量 半透明粒多量 赤色粒多量 雲母多量	やや堅	
56	15	—	T-16	①刻目 ②貝殻腹縁連続押引文	②ナデ	外 Hue5YR 橙6/6 内 Hue7.5YR にぶい橙6/4	黒色粒 黒色光沢粒 乳白色粒	やや堅	
57	15	—	P-14	③④貝殻腹縁連続刺突文・貝殻腹縁連続押引文	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙6/3 内 Hue2.5Y 灰黄6/2	白色粒（1㎜～2㎜）多量 半透明粒（1㎜～2㎜）多量 赤色粒（1㎜～2㎜）少量 雲母	やや堅	58と同一個体?
58	15	14	O-14	③貝殻腹縁連続刺突文・貝殻腹縁連続押引文	③ナデ	外 Hue2.5Y にぶい黄6/3 内 Hue10YR にぶい黄橙6/3	白色粒（1㎜～3㎜）多量 半透明粒（1㎜～2㎜）多量 赤色粒少量 雲母多量 灰色粒	やや堅	57と同一個体?
59	15	—	Q-15	②貝殻条痕後、貝殻押圧（刺突）文線	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙6/4 内 Hue5YR にぶい橙6/4	半透明粒多量 黒色光沢粒	やや堅緻	角筒土器
60	15	—	T-16	③貝殻押圧（刺突）文線	②ナデ	外 Hue5YR にぶい橙6/4 内 Hue7.5YR にぶい橙6/4	半透明粒 白色粒 黒色光沢粒 黒色粒	やや堅緻	角筒土器
61	15	—	U-16	③貝殻条痕後、貝殻押圧（刺突）文線	③縦方向のナデ	外 Hue5YR 橙6/6 内 Hue5YR にぶい橙6/4	半透明粒多量 白色粒多量 赤色粒少量 黒色光沢粒少量	やや堅緻	角筒土器
62	15	—	T-16	③貝殻条痕後、貝殻押圧（刺突）文線	③縦方向のナデ	外 Hue5YR にぶい橙6/4 内 Hue5YR にぶい橙7/4	半透明粒多量 赤色粒少量 黒色光沢粒	やや堅緻	角筒土器
63	15	14	R-14	③貝殻条痕後、貝殻押圧（刺突）文線	③縦方向のナデ	外 Hue5YR にぶい橙6/4 内 Hue5YR 明赤褐5/6	半透明粒多量 白色粒多量 黒色光沢粒	やや堅緻	角筒土器
64	15	14	T-16	③貝殻押圧（刺突）文線 貝殻条痕	②ナデ	外 Hue5YR にぶい橙7/4 内 Hue5YR 橙6/6	白色粒少量 半透明粒多量 黒色光沢粒	やや堅	
65	15	—	R-14	②貝殻刺突文	②ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 淡黄8/3	白色粒多量 砂粒少量 半透明粒少量 黒色粒	堅	
66	15	—	Q-10	②貝殻刺突文	②ナデ	外 Hue5YR 橙6/6 内 Hue5YR にぶい赤褐5/3	白色粒多量 半透明粒多量 赤色粒少量 黒色光沢粒	堅	
67	17	—	P-14	③貝殻刺突文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙6/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	白色粒多量 半透明粒多量 赤色粒少量 黒色粒	やや堅緻	
68	17	—	V-17	③貝殻刺突文	③ナデ	外 Hue5YR にぶい橙7/4 内 Hue7.5YR にぶい橙6/4	白色粒多量 砂粒少量 雲母	堅	
69	17	—	V-16	③貝殻刺突文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい褐6/3 内 Hue10YR 灰黄褐6/2	半透明粒（1㎜～3㎜）多量 白色粒多量	堅	
70	17	14	N-10	②クシ歯状工具による刺突文と条痕文	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい褐6/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	半透明粒（1㎜～2㎜）多量 砂粒多量 黒色光沢粒多量	やや堅緻	
71	17	14	U-15	②貝殻刺突文	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい褐6/3 内 Hue10YR にぶい黄橙6/3	白色粒（1㎜～2㎜）多量 半透明粒多量 砂粒少量 雲母 黒色光沢粒	やや堅緻	
72	17	—	S-16	③横方向と斜方向の条痕	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR 浅黄橙8/3	白色粒（1㎜～4㎜）多量 雲母多量	やや堅	73と同一個体?
73	17	—	S-16	③横方向と斜方向の条痕	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	白色粒（1㎜～4㎜）多量 雲母多量 黒色光沢粒	やや堅	72と同一個体?
74	17	—	S-15	③クシ歯状工具による羽状文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	黒色粒 黒色光沢粒 乳白色粒	堅	

75	17	—	S-16	③クシ歯状工具による「ハ」字状文	③ナデ	外 Hue2.5YR 明赤褐5/6 内 Hue5YR にぶい赤褐5/4	黒色粒 乳白色粒 半透明光沢粒	堅	
76	17	—	U-16	③縦方向と横方向のクシ歯状文	③ナデ	外 Hue2.5YR 橙6/6 内 Hue5YR にぶい赤褐5/4	乳白色粒（2㎜前後）少量 透明光沢粒多量 黒色粒 黒色光沢粒（極小）	堅	
77	17	—	P-13	③クシ歯状工具による流水文	③ナデ	外 Hue5YR 橙6/6 内 Hue10YR にぶい黄橙6/4	透明光沢粒少量 乳白色粒 黒色粒 黒色光沢粒（極小）	堅	78と同一個体?
78	17	—	P-13	③クシ歯状工具による流水文	③ナデ	外 Hue5YR にぶい橙7/4 内 Hue7.5YR にぶい褐5/4	白色粒（1㎜～3㎜）多量 黒色光沢粒 半透明粒	堅	77と同一個体?
79	17	—	R-13	②クシ歯状工具による流水文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/2	黒色光沢粒 透明光沢粒	堅	
80	17	—	T-15	②横方向の条痕後クシ歯状工具による流水文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR 灰白8/2	半透明粒多量 黒色粒（極小）	堅	
81	17	14	S-14	②クシ歯状工具による流水文	②ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 灰白7/1	透明光沢粒（極小） 乳白色粒少量	堅	
82	17	—	S-15	②クシ歯状工具による流水文	②ナデ	外 Hue10YR 浅黄橙8/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/2	黒色光沢粒多量 白色粒多量	やや堅緻	
83	17	—	Q-15	③クシ歯状工具による縦方向流水文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙6/4	黒色粒多量 黒色光沢粒多量 乳白色粒少量	堅	
84	17	—	Q-15	③クシ歯状工具による縦方向流水文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙6/4	黒色粒少量 黒色光沢粒 乳白色粒	やや堅緻	
85	17	14	R-12	③沈線文間に撚糸文	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙6/3 内 Hue10YR にぶい黄橙6/4	半透明粒（1㎜～3㎜）多量 白色粒多量 雲母	堅緻	86と同一個体?
86	17	—	R-12	③沈線文間に撚糸文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい褐5/3 内 Hue7.5YR にぶい橙6/4	白色粒（1㎜～2㎜）多量 透明粒 雲母	堅緻	85と同一個体?
87	17	—	N-10	③4本の平行沈線文	③ナデ	外 Hue5YR にぶい橙6/4 内 Hue7.5YR にぶい橙6/4	黒色光沢粒 透明粒 乳白色粒 茶褐色粒（1㎜～5㎜）	やや堅緻	
88	20	15	N-10	②端部刻目クシ歯状工具による流水文・長さ5cm程の刻目突帯	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue2.5Y 灰黄6/2	白色粒少量 半透明粒（1㎜～3㎜）多量 赤色粒少量 軽石状のスコリア多量 黒色光沢粒	やや堅緻	89と同一個体?
89	20	—	N-10	③クシ歯状工具による流水文・長さ5cm程の刻目突帯	③ナデ	外 Hue10YR 浅黄橙8/3 内 Hue2.5Y 浅黄7/3	透明光沢粒多量 黒色光沢粒 乳白色粒多量 黒色砂粒多量	やや堅緻	88と同一個体?
90	20	—	S-15	②条痕文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/4	半透明粒多量 白色粒少量 赤色粒少量 黒色光沢粒	やや堅	
91	20	15	R-14	②条痕文	②ナデ	外 Hue2.5Y 浅黄7/3 内 Hue2.5Y 灰黄6/2	半透明粒多量 赤色粒少量 白色粒少量 軽石状のスコリア少量 黒色光沢粒多量	やや堅緻	
92	20	15	T-15	②条痕文	②ナデ	外 Hue2.5Y 灰黄6/2 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	白色粒多量 半透明粒多量 黒色光沢粒（極小）	堅	
93	20	—	R-11	②波状文	②ナデ	外 Hue2.5Y 黄灰6/1 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	白色粒多量 赤色粒少量 半透明粒少量	堅	
94	20	—	T-16	②刺突文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/2 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	茶色粒（1㎜～4㎜）多量 半透明粒多量 白色粒少量 黒色光沢粒多量	堅	
95	20	—	Q-14	③条痕後刺突文	③ナデ	外 Hue5YR にぶい橙7/4 内 Hue2.5YR 橙7/6	半透明粒少量 白色粒少量 砂粒少量 黒色粒	やや堅緻	
96	20	15	Q-13	②刺突文	②ナデ	外 Hue2.5Y 黄灰5/1 内 Hue10YR 浅黄橙8/4	半透明粒少量 黒色光沢粒少量	堅	

No.	挿図	図版	出土地点	文様・調整		色調	胎土	焼成	備考
				外面	内面				
97	20	—	Q-14	②縦の条痕	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/4	半透明粒多量 黒色光沢粒	堅	
98	20	—	R-14	②斜方向の条痕後、横方向へ条痕	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙6/4 内 Hue7.5YR 橙7/6	半透明粒少量 軽石状のスコリア少量 黒色光沢粒多量	やや堅	
99	20	—	T-16	②横方向へ条痕後、羽状文	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue5YR 橙7/6	黒色粒 半透明粒多量 白色粒少量 赤色粒少量 軽石状のスコリア少量	堅	
100	20	—	R-12	②横方向の条痕文	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue5YR 灰褐4/2	乳白色粒 透明光沢粒 白色粒	やや堅緻	
101	20	—	T-16	②横方向の条痕文	②ナデ	外 Hue2.5Y 浅黄7/3 内 Hue10YR 浅黄橙8/3	半透明粒多量 軽石状のスコリア多量 雲母 黒色光沢粒	堅	
102	20	—	U-15	②横方向の条痕文	②ナデ	外 Hue2.5Y 灰黄7/2 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	軽石状のスコリア多量 半透明粒多量 白色粒多量 黒色光沢粒多量	やや堅	
103	20	—	Q-14	②条痕	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/2 内 Hue10YR 灰黄褐6/2	半透明粒多量 白色粒多量 黒色光沢粒	堅緻	
104	20	—	R-15	②条痕	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue7.5YR にぶい橙6/4	白色粒多量 半透明粒多量 砂粒多量 黒色光沢粒	やや堅緻	穿孔あり
105	20	—	R-13	②条痕	②ナデ	外 Hue5YR 橙6/6 内 Hue5YR 黒褐3/1	半透明粒多量 白色粒多量 砂粒少量 黒色光沢粒少量	堅	
106	21	15	P-14	②横方向の条痕文 ③縦方向の条痕文	②・③ナデ	外 Hue2.5YR 明赤褐5/6 内 Hue5YR にぶい赤褐5/4	白色粒（1mm～3mm）多量 半透明粒多量 赤色粒少量 砂粒少量 黒色光沢粒	やや堅緻	
107	22	—	S-14	②条痕	②ナデ	外 Hue10YR 浅黄橙8/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/2	半透明粒多量 赤色粒少量 白色粒多量 軽石状のスコリア少量	やや堅緻	
108	22	—	Q-14	②条痕	②ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 淡黄8/3	半透明粒多量 白色粒少量 黒色光沢粒	堅緻	
109	22	—	T-16	②条痕	②ナデ	外 Hue10YR 浅黄橙8/3 内 Hue5YR にぶい橙7/4	乳白色粒多量 透明光沢粒多量 黒色粒 黒色光沢粒	やや堅緻	
110	22	—	Q-11	②条痕	②ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/4 内 Hue2.5Y 淡黄8/4	半透明粒多量 白色粒少量 砂粒多量 赤色粒少量 黒色光沢粒少量	堅	
111	22	—	U-17	②条痕	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR 褐灰6/1	乳白色粒 茶色砂粒（1mm～5mm） 透明光沢粒	やや堅緻	
112	22	—	V-16	②条痕	②ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/4 内 Hue2.5Y 灰黄6/2	白色粒 黒色粒 半透明光沢粒 黒色光沢粒	やや堅緻	
113	22	—	S-15	②ナデ	②ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/4 内 Hue2.5Y 暗灰黄4/2	乳白色粒（1mm～2mm） 黒色粒 半透明粒	やや堅	
114	22	—	T-16	②ナデ	②ナデ	外 Hue10YR 浅黄橙8/4 内 Hue10YR 浅黄橙8/4	透明光沢粒 乳白色粒 黒色粒 黒色光沢粒（極小）	やや堅	
115	22	—	Q-13	②貝殻刺突文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙6/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	半透明粒多量 黒色光沢粒少量	堅	
116	22	15	T-15	②沈線文	②ナデ	外 Hue10YR 浅黄橙8/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/2	赤色粒少量 白色粒多量 半透明粒多量 黒色光沢粒	堅	
117	22	15	U-15	②沈線文	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue10YR 灰黄褐6/2	白色粒多量 半透明粒多量 黒色光沢粒	堅	

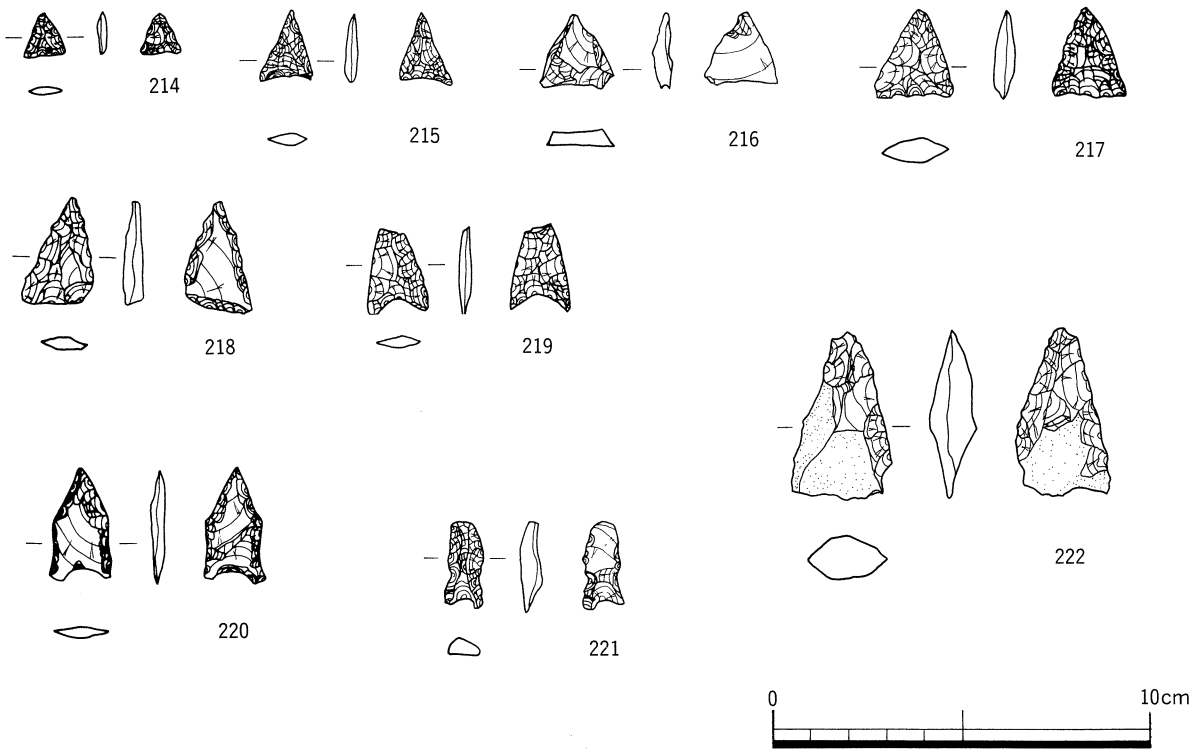
118	22	—	R-14	②撚糸文	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい褐6/3 内 Hue7.5YR 褐4/3	白色粒（1㎜～4㎜）多量 半透明粒（1㎜～2㎜）多量 赤色粒少量 黒色光沢粒	堅	
119	22	—	O-13	③縄文	③縄文	外 Hue5YR にぶい橙7/4 内 Hue7.5YR にぶい橙6/4	赤色粒少量 半透明粒少量 砂粒少量 黒色粒	堅	
120	22	—	U-16	③条痕 ④ナデ	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	白色粒 透明粒 黒色光沢粒	堅	
121	22	—	U-16	③・④ナデ	③ナデ	外 Hue7.5YR 橙7/6 内 Hue7.5YR 橙6/6	乳白色粒 透明粒 黒色光沢粒極少量	堅	
122	22	—	S-15	④側面は縦条痕	④ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙6/3 内 Hue5YR 明赤褐5/6	乳白色粒 白色粒 雲母極少量 黒色粒	堅	
123	22	—	U-16	④ナデ	④ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue5YR にぶい赤褐5/4	透明粒 黒色光沢粒	堅	
124	22	—	U-16	④側面は条痕	④ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/2	白色透明粒 白色粒 黒色粒 灰色粒	堅	
125	22	—	T-16	④ナデ	④ナデ	外 Hue2.5Y 浅黄7/3 内 Hue2.5Y 黄灰6/1	白色粒	やや堅	
126	22	—	V-16	④ナデ	④ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙6/3 内 Hue10YR 褐灰6/1	乳白色粒 黒色光沢粒（極小） 半透明粒多量	やや堅	
127	22	—	S-16	④ナデ	④ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	砂粒 黒色光沢粒	堅	
128	22	—	R-14	④ナデ	④ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/2 内 Hue10YR にぶい黄橙7/4	透明粒 砂粒 黒色光沢粒	堅	
129	22	—	S-16	④ナデ	④ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue2.5Y 灰黄6/2	黒色光沢粒微量 白色光沢粒微量	堅	
130	22	—	O-10	④ナデ	④条痕	外 Hue10YR 浅黄橙8/4 内 Hue10YR 褐灰4/1	乳白色粒	堅	
131	22	—	S-15	③条痕 ④ナデ	④ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue2.5Y 浅黄7/3	黒色光沢粒 雲母	堅	
132	22	—	T-16	④側面は条痕	④ナデ	外 Hue5Y 灰オリーブ6/2 内 Hue5Y 灰6/1	透明粒 茶褐色粒（2㎜前後）少量	やや堅	
133	22	—	Q-15	④ナデ	④ナデ	外 Hue5YR にぶい赤褐5/4 内 Hue10YR にぶい黄橙6/4	砂粒（2㎜前後） 黒色光沢粒 白色粒	堅	
134	22	—	S-15	④ナデ	④ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue2.5Y 浅黄7/3	黒色光沢粒	堅	
135	22	—	T-15	④ナデ	④ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 黄灰5/1	乳白色粒	やや堅	
136	22	—	Q-15	④ナデ	④ナデ	外 Hue5YR にぶい赤褐5/4 内 Hue10YR にぶい黄橙6/4	砂粒（2㎜前後） 黒色光沢粒 白色粒	堅	
137	22	—	Q-13	④ナデ	④ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue2.5Y 灰黄6/2	乳白色粒 黒色光沢粒（微量）	堅	
138	22	—	S-14	④ナデ	④ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue2.5Y 浅黄7/3	黒色光沢粒 乳白色光沢粒	堅	
139	22	—	V-16	③・④ナデ	③・④ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue7.5YR 褐灰6/1	乳白色粒	粗	

No.	挿図	図版	出土地点	文様・調整		色調	胎土	焼成	備考
				外面	内面				
140	22	—	R-12	③縦方向の条痕 ④ナデ	③・④ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	白色粒 黒色粒	堅緻	
141	23	—	T-16	①山形押型文 ②横位の山形押型文	②山形押型文	外 Hue5Y 淡黄8/3 内 Hue5Y 淡黄8/3	透明粒	堅	
142	23	—	Q-14	①山形押型文 ②縦位の山形押型文	②山形押型文	外 Hue7.5YR にぶい橙6/4 内 Hue10YR にぶい黄橙6/3	白色砂粒	堅緻	
143	23	—	S-15	②縦位の山形押型文	②山形押型文	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/2	黒色砂粒（1㎜～3㎜） 白色砂粒	堅緻	144・145と同一個体？
144	23	—	S-15	②縦位の山形押型文	②山形押型文	外 Hue10YR 灰黄褐6/2 内 Hue10YR にぶい黄褐7/3	茶褐色粒（2㎜前後）微量 透明粒 乳白色光沢粒	やや堅緻	143・145と同一個体？
145	23	—	S-15	②縦位の山形押型文	②山形押型文	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/4	乳白色粒 黒色粒	堅	143・144と同一個体？
146	23	—	T-16	③縦位の山形押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい褐5/4 内 Hue2.5Y 黄褐5/3	透明粒 白色砂粒	堅緻	
147	23	—	O-10	③崩れ気味の山形押型文	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙6/4 内 Hue7.5YR にぶい褐5/3	乳白色粒 白色粒 透明光沢粒 茶褐色粒	堅	
148	23	15	U-15	①山形押型文 ②縦位の間延び山形押型文	②山形押型文	外 Hue7.5YR 橙6/6 内 Hue7.5YR にぶい橙6/4	透明光沢粒多量 黒色粒 白色粒（2㎜～3㎜大）	堅	
149	23	—	T-16	③縦位の山形押型文	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙6/4 内 Hue10YR にぶい黄橙6/3	灰色粒 白色砂粒 黒色粒	堅緻	
150	23	—	Q-14	③縦位の間延び山形押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙6/4 内 Hue7.5YR にぶい橙6/4	白色砂粒（0.5㎜～2㎜）	堅緻	
151	23	—	R-15	③縦位と横位の山形押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙6/4 内 Hue5YR 橙6/6	白色光沢粒（2㎜前後） 半透明光沢粒	やや堅緻	
152	23	—	S-15	③横位の山形押型文	③ナデ	外 Hue5Y オリーブ黒3/1 内 Hue5Y 灰白7/1	透明粒（小）	堅	
153	23	—	S-15	③横位の山形押型文	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue2.5Y 灰黄6/2	白色砂粒 黒褐色粒（4㎜前後） 透明粒	堅	
154	23	—	R-15	③斜位と横位の間延び山形押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/4	白色砂粒	やや堅緻	
155	23	—	S-16	③横位の山形押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙6/4 内 Hue7.5YR にぶい橙7/4	乳白色透明粒 白色砂粒	堅	
156	23	—	U-16	③横位の間延び山形押型文	③ナデ	外 Hue2.5Y 浅黄7/4 内 Hue2.5Y にぶい黄6/4	透明光沢粒（1㎜～3㎜）多量 乳白色粒	堅	
157	23	—	R-16	③横位の山形押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙6/4 内 Hue7.5YR にぶい褐5/4	砂粒（2㎜～4㎜）多量 透明光沢粒 黒色光沢粒多量	堅	
158	23	—	Q-14	③崩れ気味の山形押型文	③ナデ	外 Hue5YR 灰褐5/2 内 Hue10YR にぶい黄褐5/3	透明粒 黒色光沢粒少量 白色粒 白色光沢粒	やや堅緻	
159	23	—	R-12	③崩れ気味の山形押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR 褐4/4 内 Hue10YR 黄橙8/6	黒色光沢粒少量 黒色砂粒 透明光沢粒 乳白色粒（1㎜前後）	堅	
160	23	—	R-15	③横位の山形押型文	③ナデ	外 Hue2.5Y 灰黄6/2 内 Hue2.5Y 浅黄7/4	乳白色粒（0.5㎜～2㎜） 黒色光沢粒多量 透明光沢粒	堅	

161	24	—	S-16	③横位の山形押型文	③ナデ	外 Hue10YR 明黄褐7/6 内 Hue2.5Y 浅黄7/4	乳白色粒 灰白色石（3㎜前後）少量 灰褐色石 半透明粒多量	堅	
162	24	—	Q-14	③横位の山形押型文	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙6/3 内 Hue2.5Y 浅黄7/3	黒色光沢粒 乳白色光沢粒 白色粒 半透明粒多量	堅	
163	24	—	R-12	③縦位の山形押型文	③ナデ	外 Hue5YR にぶい赤褐5/4 内 Hue5YR にぶい赤褐5/4	白色砂粒多量 乳白色粒（2㎜前後） 半透明粒	堅	
164	24	—	S-15	③横位の山形押型文	③ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 灰黄6/2	黒色光沢粒多量 乳白色粒（3㎜前後）1ケ 灰色粒	堅	165・166と同一個体？
165	24	—	S-15	③横位と斜位の山形押型文	②山形押型文	外 Hue2.5Y 淡黄8/4 内 Hue2.5Y 浅黄7/3	乳白色粒（8㎜前後1ケ） 透明光沢粒 黒色光沢粒多量 赤褐色粒少量	堅	164・166と同一個体？
166	24	—	S-15	③斜位の山形押型文	③ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/4 内 Hue2.5Y 浅黄7/3	透明光沢粒 乳白色粒 茶褐色粒少量	堅	164・165と同一個体？
167	24	—	R-15	③斜位の山形押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙6/4 内 Hue7.5YR にぶい褐6/3	乳白色粒多量 半透明粒 黒色粒	堅	
168	24	—	R-15	③斜位の山形押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙6/4 内 Hue7.5YR にぶい橙6/4	乳白色粒多量 透明粒 黒色粒	堅	
169	24	—	T-16	③斜位の山形押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR 橙6/6 内 Hue7.5YR にぶい褐5/4	乳白色粒多量 半透明粒多量 黒色粒 雲母	堅	
170	24	—	Q-14	③斜位の山形押型文	③ナデ	外 Hue10YR にぶい橙7/3 内 Hue2.5Y 淡黄8/4	透明光沢粒 黒色粒 白色粒 半透明粒	堅	
171	24	—	Q-14	③斜位の山形押型文	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue2.5Y 浅黄7/4	灰色粒 透明光沢粒 黒色粒多量	堅	
172	24	—	R-13	②斜位の山形押型文	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙6/4 内 Hue10YR にぶい黄橙6/4	乳白色半透明粒多量 黒色光沢粒	やや堅緻	
173	24	—	R-14	③横位の山形押型文	③ナデ	外 Hue5YR 橙6/6 内 Hue7.5YR にぶい橙7/4	乳白色粒 黒色光沢粒	堅	
174	24	15	S-15	①連続押圧文 ②横位の崩れた山形押型文	②崩れた山形押型文	外 Hue5YR にぶい橙6/4 内 Hue5YR にぶい橙6/4	半透明粒少量 黒色光沢粒少量	堅緻	
175	24	—	S-16	③横位の崩れた山形押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR 浅黄橙8/4 内 Hue2.5Y 淡黄8/3	半透明粒（1㎜～2㎜）多量 白色粒多量 黒色光沢粒	やや堅緻	
176	25	15	S-15	①山形押型文 ②斜位に帯状の山形押型文	②山形押型文	外 Hue10YR にぶい黄橙6/4 内 Hue10YR にぶい黄橙6/4	白色粒多量 乳白色光沢粒 黒色粒	堅緻	
177	25	—	U-16	③斜位の山形押型文	③ナデ	外 Hue10YR 明黄褐6/6 内 Hue10YR にぶい黄褐5/4	雲母 乳白色粒多量 茶褐色粒	堅	
178	25	—	R-14	③斜位の山形押型文 ④ナデ	③・④ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙6/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	乳白色粒多量 透明粒多量 黒色光沢粒多量	やや堅緻	
179	25	—	T-15	②横位の楕円押型文	②楕円押型文	外 Hue7.5YR にぶい褐5/3 内 Hue10YR 灰黄褐5/2	透明粒 黒色光沢粒	やや堅	
180	25	—	Q-14	②横位の楕円押型文	②山形押型文	外 Hue2.5Y 淡黄8/4 内 Hue2.5Y 浅黄7/4	黒色光沢粒 透明光沢粒（極小） 白色砂粒（7㎜大）1ケ	堅	
181	25	—	V-16	②縦位の楕円押型文	②楕円押型文	外 Hue2.5Y 浅黄7/3 内 Hue10YR 浅黄橙8/4	黒色光沢粒少量	堅	
182	25	—	U-16	②縦位の楕円押型文	②楕円押型文	外 Hue7.5YR にぶい褐5/4 内 Hue10YR にぶい黄褐5/3	半透明粒少量	堅緻	

No.	挿図	図版	出土地点	文様・調整		色調	胎土	焼成	備考
				外面	内面				
183	25	—	R-14	②縦位の楕円押型文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	白色砂粒（1㎜～3㎜）少量 灰色粒	堅緻	
184	25	—	T-16	③縦位の楕円押型文	③ナデ	外 Hue2.5Y 黄灰6/1 内 Hue2.5Y 淡黄8/3	黒色光沢粒 透明粒多量 雲母 白色粒	堅	
185	25	—	U-16	③縦位の楕円押型文	③ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/4 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	黒色光沢粒 半透明光沢粒多量 灰色粒	やや堅緻	
186	25	—	R-11	③縦位の楕円押型文	③ナデ	外 Hue2.5Y 浅黄7/4 内 Hue2.5Y 浅黄7/4	乳白色光沢粒多量 黒色光沢粒少量	堅	
187	25	—	S-16	③縦位の楕円押型文	③ナデ	外 Hue2.5Y 浅黄7/4 内 Hue2.5Y 浅黄7/3	乳白色光沢粒 黒色光沢粒	堅	
188	25	—	R-14 R-15	③横位の楕円押型文	③ナデ	外 Hue2.5Y 浅黄7/3 内 Hue2.5Y 灰黄6/2	白色粒 乳白色光沢粒	やや堅緻	
189	25	—	R-14 R-15	③縦位と横位の楕円押型文	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙6/4 内 Hue2.5Y にぶい黄6/3	乳白色光沢粒多量	堅	
190	25	—	T-16	③横位と斜位の楕円押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	黒色光沢粒（0.5㎜～2㎜） 白色粒	やや堅緻	
191	25	—	U-15	③横位と斜位の崩れ気味の楕円押型文	③ナデ	外 Hue2.5Y にぶい黄6/3 内 Hue2.5Y にぶい黄6/3	雲母 白黄色粒 灰色光沢粒（2㎜前後）	堅緻	
192	25	—	R-15	③横位と斜位の楕円押型文		外 Hue7.5YR 橙7/6 内 Hue7.5YR にぶい橙6/4	透明光沢粒（極小） 黒色粒 白色粒	やや堅	
193	26	—	V-16	③横位と斜位の楕円押型文	③ナデ	外 Hue5YR 橙6/6 内 Hue2.5Y 浅黄7/3	透明粒多量 黒色光沢粒多量	堅	
194	26	—	U-15	③斜位の楕円押型文	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄褐5/3 内 Hue10YR にぶい黄褐7/4	黒色光沢粒 砂粒（3㎜前後） 白色粒	堅	
195	26	—	U-15	③斜位の楕円押型文	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙6/4 内 Hue10YR 明黄褐7/6	砂粒（1㎜～5㎜） 灰色粒 白色粒 黒色光沢粒	堅	
196	26	—	T-15	②斜位の楕円押型文	②柵状文（原体条痕）・山形押型文	外 Hue7.5YR にぶい褐6/3 内 Hue2.5Y 浅黄7/3	半透明粒 黒色光沢粒	堅	
197	26	—	T-15	②斜位の楕円押型文	②横位の押型文	外 Hue5YR にぶい赤褐5/4 内 Hue5YR にぶい赤褐5/4	白色粒（2㎜前後）1ケ	堅	
198	26	—	R-14	③斜位の楕円押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR 橙7/6 内 Hue2.5Y 浅黄7/3	黒色光沢粒 乳白色光沢粒	堅	
199	26	—	R-15	③斜位の楕円押型文	③ナデ	外 Hue5YR にぶい赤褐5/4 内 Hue5Y 暗赤褐3/6	乳白色光沢粒 黒色光沢粒 砂粒（2㎜～4㎜）少量	やや堅緻	
200	26	—	R-15	③斜位の楕円押型文	③ナデ	外 Hue5YR にぶい橙6/4 内 Hue5YR 明赤褐5/6	砂粒（3㎜前後）	やや堅緻	
201	26	—	T-16	②斜位の楕円押型文	②楕円押型文	外 Hue2.5Y 淡黄8/4 内 Hue2.5Y 浅黄7/3	乳白色光沢粒 黒色粒	堅	
202	26	—	T-15	③縦位のひし形楕円押型文	③ナデ	外 Hue5YR 橙6/6 内 Hue2.5Y 浅黄7/4	透明光沢粒（極小） 灰色砂粒 乳白色粒	堅	
203	26	15	S-15	③縦位のひし形楕円押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR 橙7/6 内 Hue7.5YR にぶい橙6/4	乳白色粒	堅	

204	26	—	R-15	③縦位のひし形楕円押型文	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙6/3 内 Hue10YR にぶい黄橙6/4	光沢粒（極小） 乳白色粒（0.5㎜～2㎜）少量 茶色粒	やや堅緻	
205	26	—	Q-11	③横位のひし形楕円押型文	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue2.5Y 浅黄7/4	乳白色粒（極小～3㎜） 半透明粒 黒色粒（極小）	堅	
206	26	—	Q-15	③横位のひし形楕円押型文	③ナデ	外 Hue10YR 黄橙8/6 内 Hue2.5YR 浅黄7/4	透明光沢粒 黒色粒多量	堅	
207	26	—	R-14	③斜位のひし形楕円押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR 橙7/6 内 Hue7.5YR にぶい橙6/4	透明光沢粒（極小） 黒色粒	堅	
208	26	—	Q-15	③斜位のひし形楕円押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue2.5Y 淡黄8/4	黒色粒多量	堅	
209	26	—	R-12	②格子目状押型文	②柵状文（原体条痕）・格子目状押型文	外 Hue2.5Y 淡黄8/4 内 Hue2.5Y 淡黄8/4	黒色光沢粒多量 透明光沢粒 乳白色粒	堅	
210	26	15	O-13	②格子目状押型文	②柵状文（原体条痕）・格子目状押型文	外 Hue2.5Y 浅黄7/4 内 Hue2.5Y 浅黄7/3	半透明粒（1㎜～2㎜）多量 白色粒（1㎜～2㎜）多量 砂粒少量 黒色光沢粒多量	やや堅緻	穿孔あり
211	28	—	U-16	③撚糸文	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	半透明粒多量 黒色光沢粒	堅	
212	28	15	Q-15	③沈線文	③ナデ	外 Hue2.5Y 浅黄7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/4	半透明粒多量 砂粒多量 赤色粒少量 黒色光沢粒少量	堅緻	
213	28	—	U-16	③撚糸文	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	黒色光沢粒少量 半透明粒多量 軽石状のスコリア少量	堅	



第29図　A地区第Ⅳ層石器実測図(1)

的で菱形状のものを「楕円Ｂ類」に分け、さらに施文方向や施文部位等でそれぞれ分類した。ただし胴部については一括で取り扱った。また、176などⅧ類の手向山式と思われるものも存在するが、Ⅶ類の中に分類した。Ａ地区の押型文土器は表２のとおりである。出土状況は、調査区東側に集中して分布している。

山形Ａ類　Ａ地区では口縁部の出土はなく胴部のみである。Ｓ16グリット付近に分布している。

山形Ｂ類　口縁部の施文方向は一定でなく横、縦、斜に分かれる。174は横施文で、口唇部に柵状文（原体条痕）の代替かと思われる連続押圧文を施している。176は、胴部から頚部にかけて内傾し口縁部は垂直に立ち上がる。文様は、斜位帯状に施す。164～166は同一個体と思われる。177は無文の部分がある。

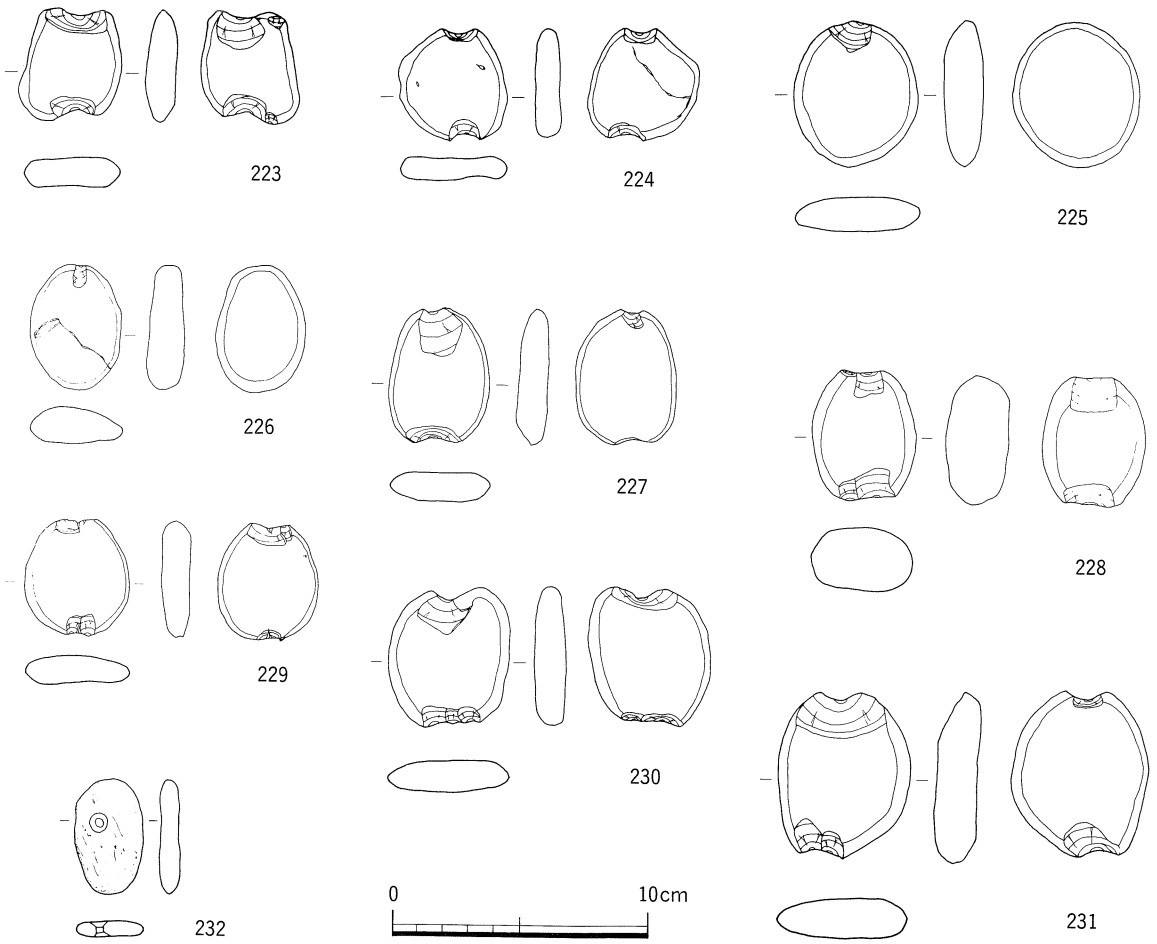
楕円Ａ類　180は裏側施文が山形押型文である。196も裏側施文が間延びした山形押型文で柵状文を施す。

楕円Ｂ類　202～208は胴部で直線的な菱形状の押型文である。Ｑ16・Ｒ16グリット付近に分布している。

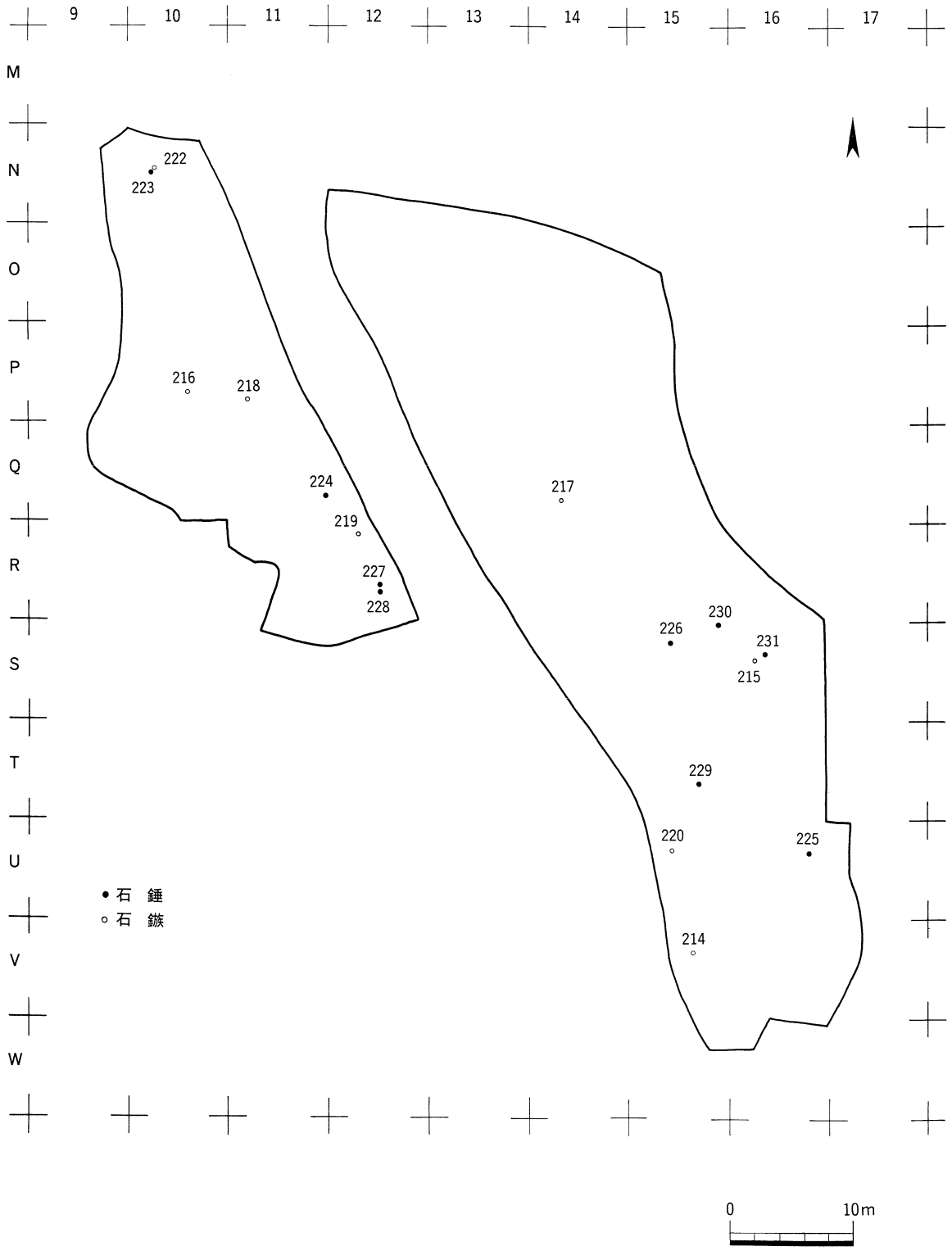
格子目押型文（209・210）210はＯ13グリットで出土し口縁部下に穿孔をもつ。

Ⅷ類土器（211～213）

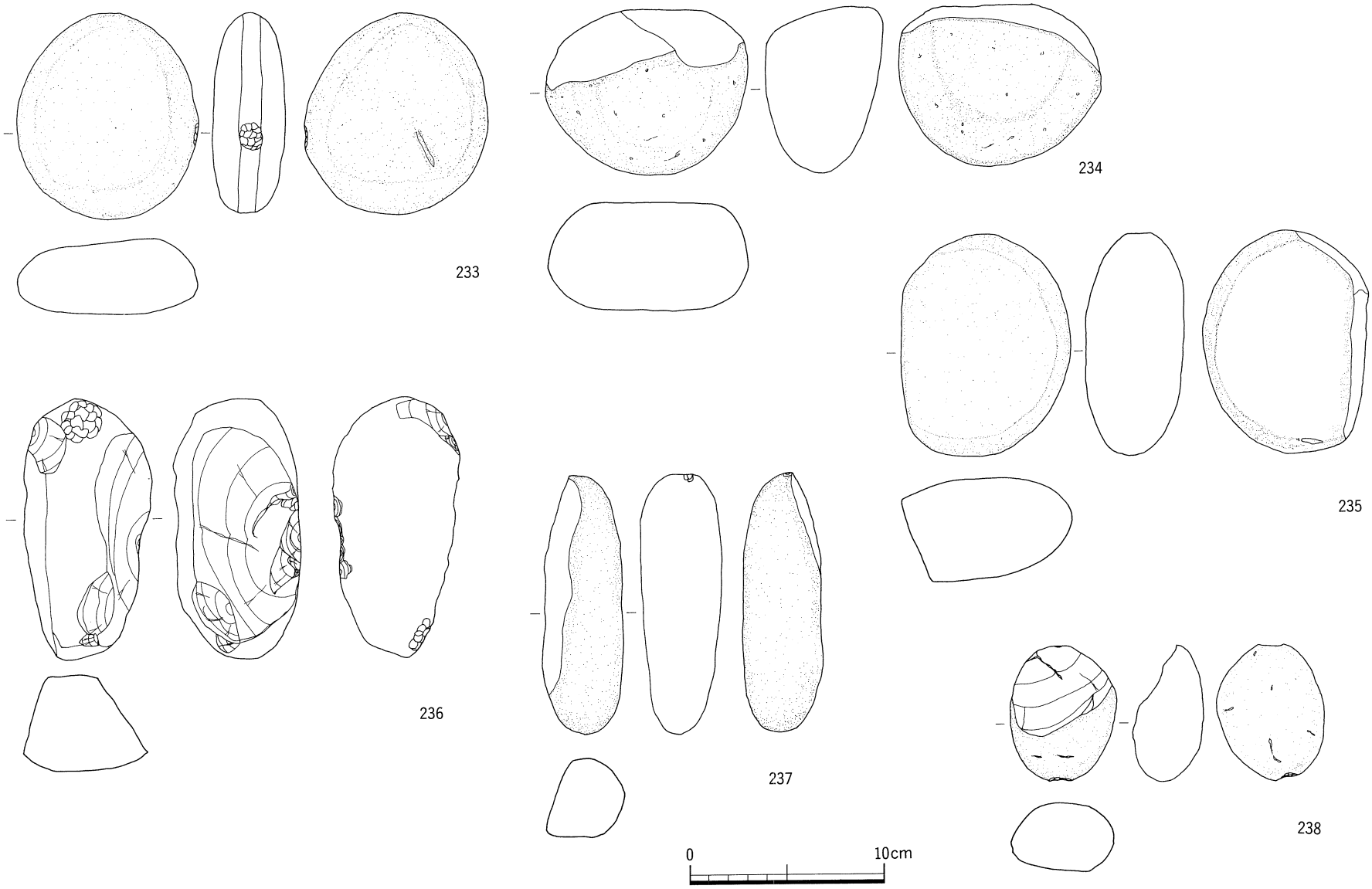
「手向山式」で、器形は口縁部大きく外反し胴部で屈曲する。文様は、212の沈線文や211・213の撚糸文を施す。押型文施文はⅦ類に分類した。



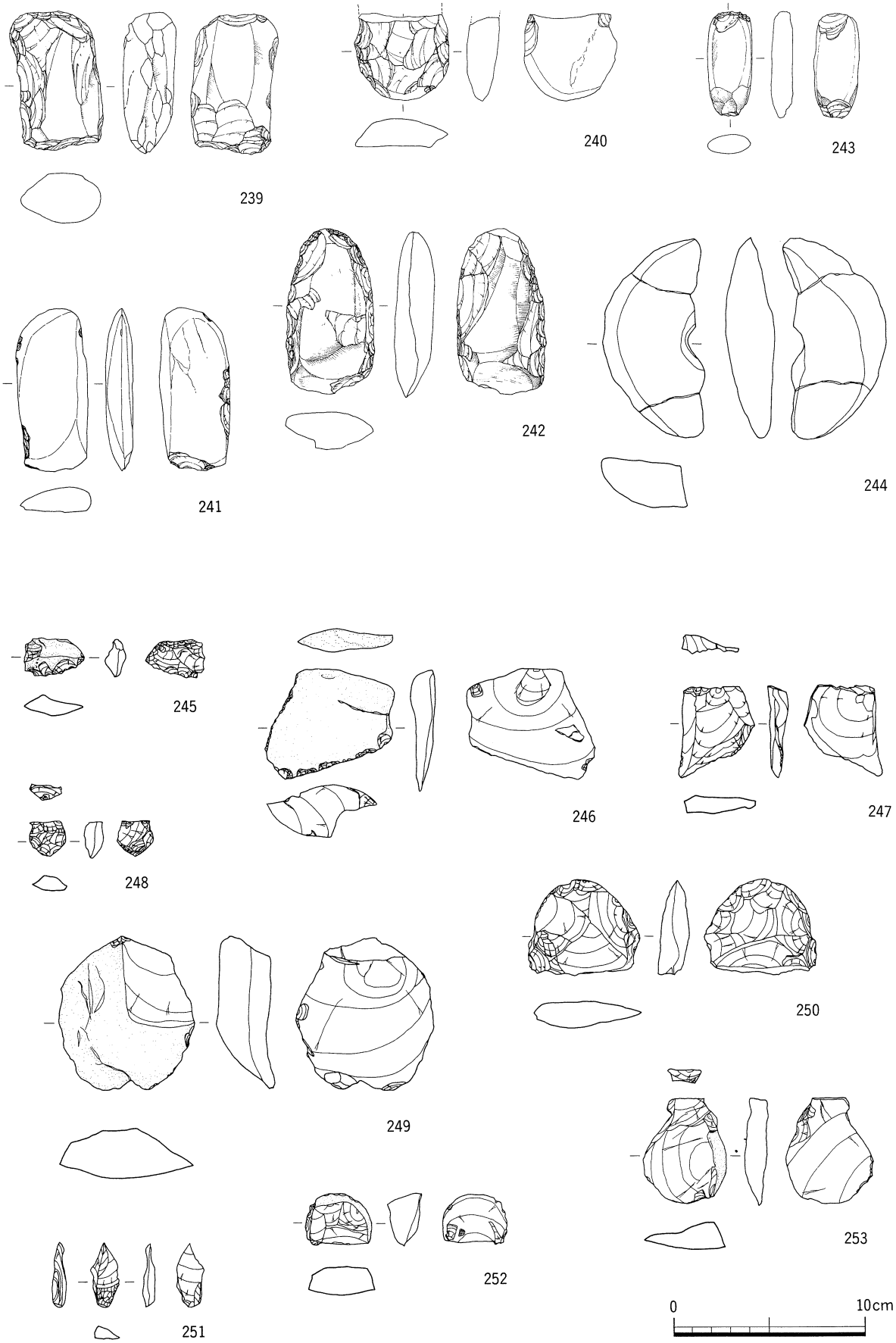
第30図　Ａ地区第Ⅳ層石器実測図(2)



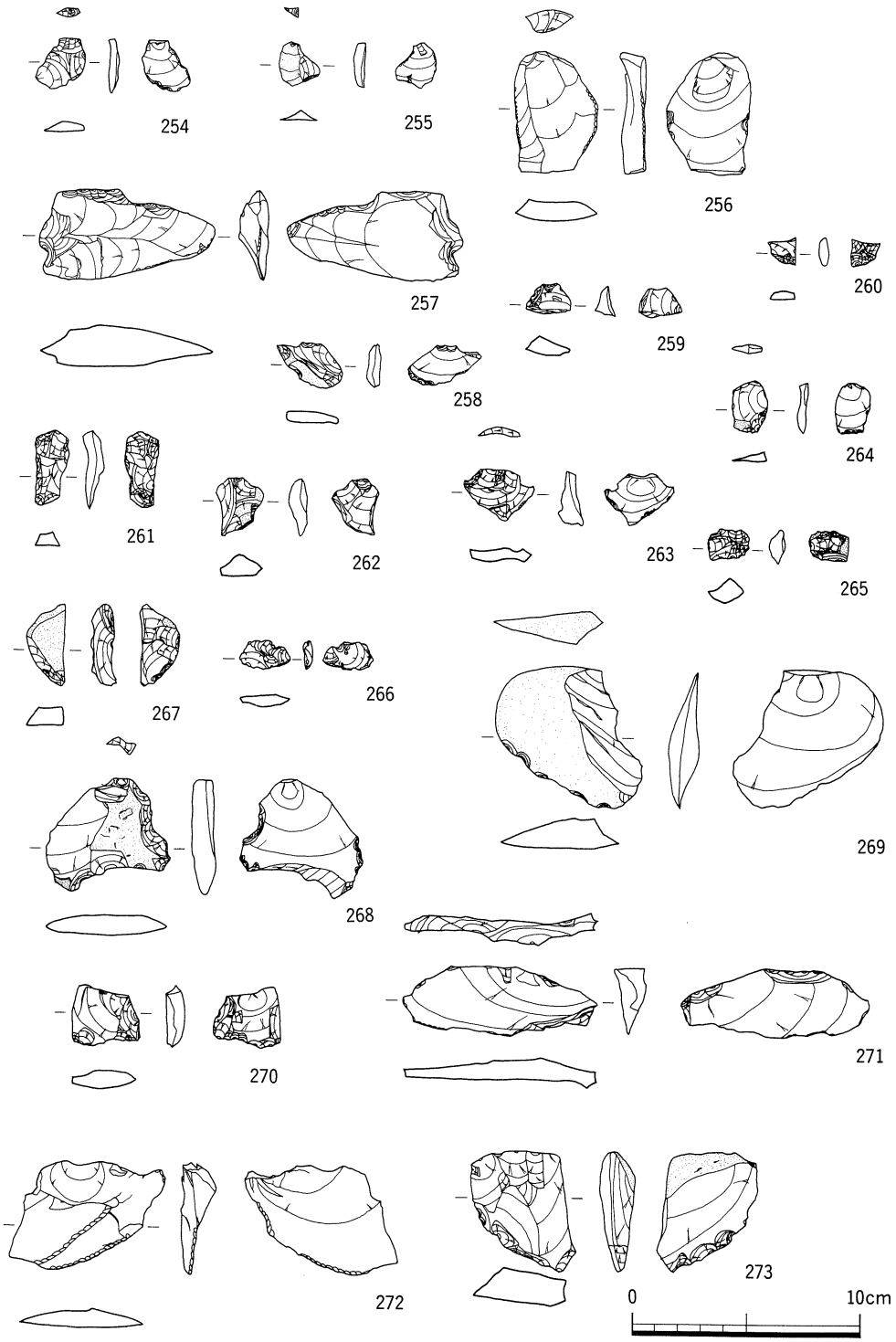
第31図　A地区第Ⅳ層石器分布図(1)



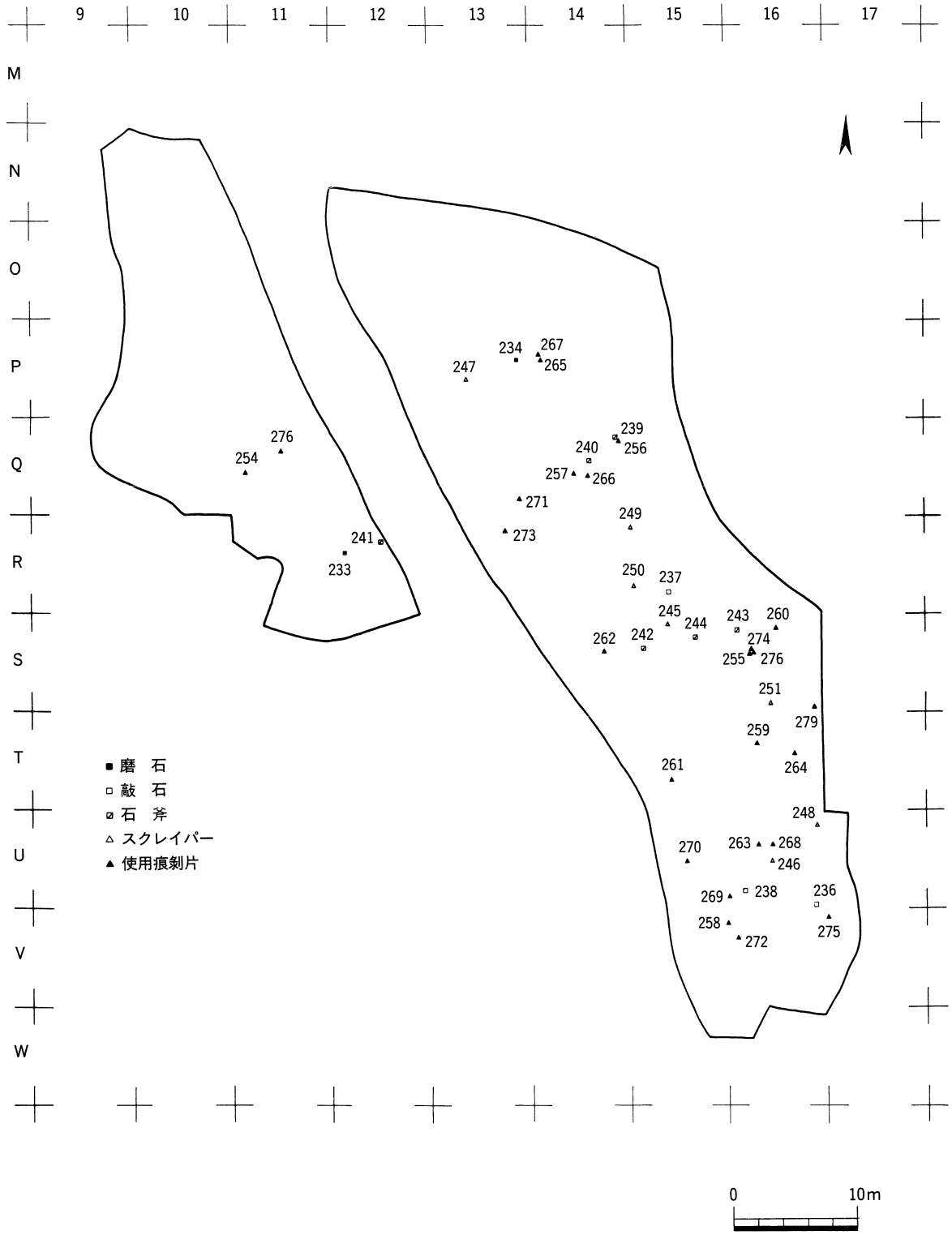
第32図　A地区第Ⅳ層石器実測図(3)



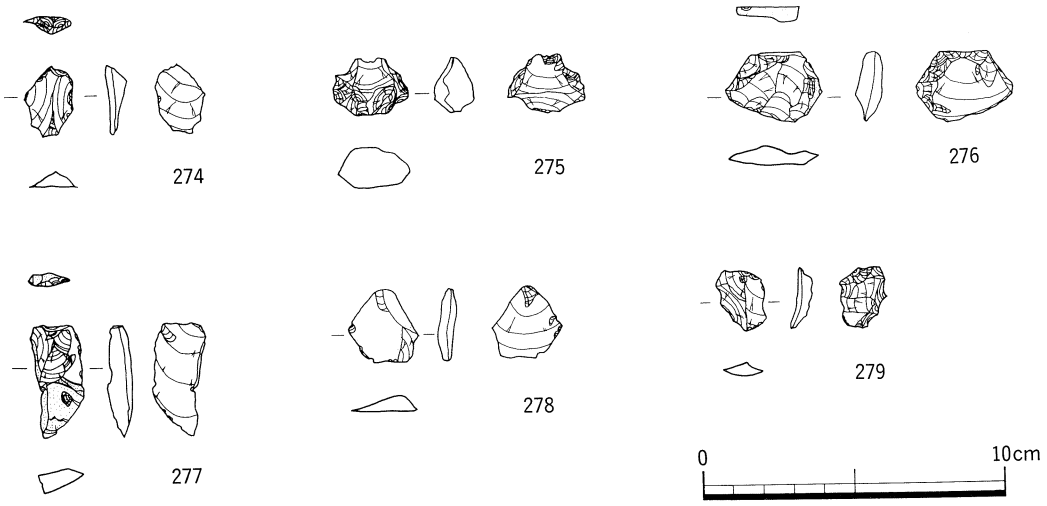
第33図　A地区第Ⅳ層石器実測図(4)



第34図　A地区第Ⅳ層石器実測図(5)



第35図　A地区第Ⅳ層石器分布図(2)

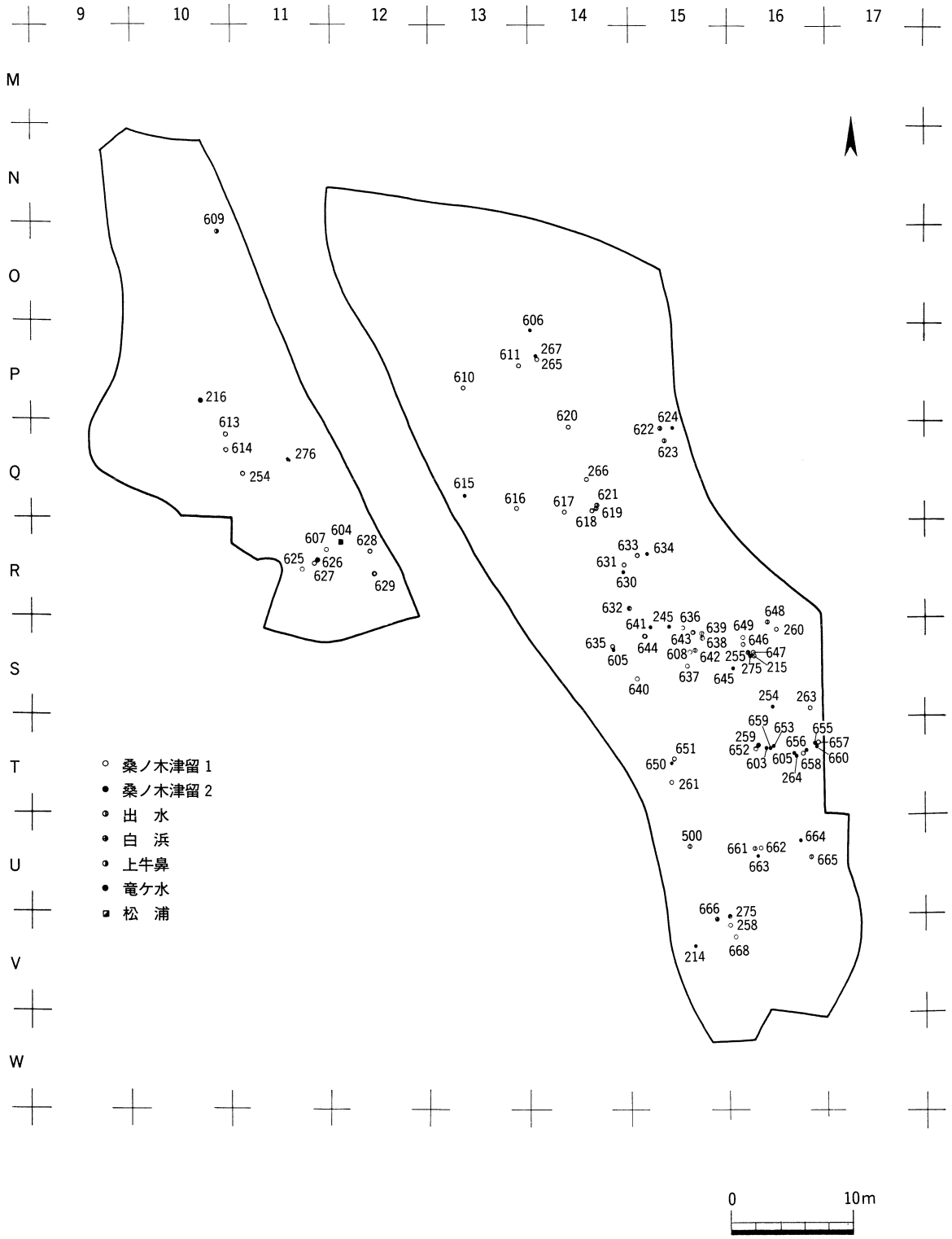


第36図　A地区第Ⅳ層石器実測図(6)

表―4　A地区第Ⅳ層石器観察表

No.	挿　図	図版	出土地点	器　　種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重　量 (g)	石　　材	備　　考
214	29	—	V-15	石　　鏃	1.15	1.0	0.25	0.5	黒曜石a	
215	29	—	S-16	石　　鏃	1.90	1.4	0.3	0.5	黒曜石a	
216	29	—	P-10	石　　鏃	2.0	1.95	0.45	1	黒曜石d	
217	29	19	Q-14	石　　鏃	2.3	2.1	0.55	2	チャート	
218	29	—	P-11	石　　鏃	3.0	1.75	0.55	2	頁岩（硬質）	
219	29	19	R-12	石　　鏃	2.45	1.55	0.35	1	頁岩	
220	29	19	U-15	石　　鏃	3.1	1.6	0.35	1	チャート	
221	29	19	Q-11	石　　鏃	2.45	1.0	0.55	1	黒曜石	異形石鏃？
222	29	—	N-10	石　　鏃	4.45	2.55	1.2	10	頁岩	
223	30	19	N-10	石　　錘	4.4	3.95	1.15	29	砂岩	
224	30	—	Q-11	石　　錘	4.35	4.20	1.05	26	砂岩	
225	30	—	U-16	石　　錘	5.75	5.0	1.5	53	砂岩	
226	30	—	S-15	石　　錘	4.95	3.5	1.5	31	砂岩	
227	30	—	R-12	石　　錘	5.35	3.95	1.2	34	砂岩	
228	30	19	R-12	石　　錘	5.15	4.05	2.45	69	砂岩	
229	30	—	T-15	石　　錘	4.6	3.95	1.1	30	砂岩	
230	30	—	S-15	石　　錘	5.25	4.7	1.25	49	砂岩	
231	30	20	S-16	石　　錘	6.3	5.3	1.65	79	砂岩	
232	30	20	O-10	浮　　子	4.5	2.15	0.85	3	軽石	
233	32	20	R-12	磨　　石	10.45	9.45	3.7	466	砂岩（中粒）	側面敲打痕あり
234	32	—	P-13	磨　　石	8.35	10.3	5.95	700	尾鈴山酸性岩	
235	32	—	Q-14	磨　　石	11.4	8.75	5.05	730	砂岩（細粒）	
236	32	—	U-16	敲　　石	13.25	6.6	6.25	715	流紋岩	
237	32	—	R-15	敲　　石	13.2	4.15	4.2	316	砂岩（細粒）	

238	32	—	U-16	敲　　石	6.95	5.5	3.5	150	珪質砂岩	
239	33	—	Q-14	石　　斧	7.25	4.2	2.65	120	ホルンフェルス	
240	33	—	Q-14	石　　斧	4.4	4.8	1.6	46	ホルンフェルス	
241	33	20	R-12	石　　斧	8.45	3.6	1.35	57	ホルンフェルス	
242	33	20	S-15	石　　斧	8.65	4.5	1.95	96	頁岩	
243	33	20	S-16	石　　斧	5.45	2.25	1.1	17	硬質頁岩	
244	33	20	S-15	石　　斧	10.45	4.95	2.5	81	溶結凝灰岩	環状石斧
245	33	—	S-15	スクレイパー	1.95	3.0	1.05	5	黒曜石a	
246	33	20	U-16	スクレイパー	5.3	6.4	1.2	41	頁岩	
247	33	—	P-13	スクレイパー	4.5	3.65	0.95	15	ホルンフェルス	
248	33	—	U-16	スクレイパー	1.8	1.8	1.0	3	黒曜石k	
249	33	20	R-15	スクレイパー	7.8	7.0	2.65	154	頁岩	
250	33	—	R-15	スクレイパー	4.9	5.7	1.5	49	頁岩	
251	33	—	S-16	スクレイパー	3.35	1.4	0.6	2	黒曜石a	
252	33	—	S-15	スクレイパー	2.6	3.4	1.7	14	黒曜石	
253	33	—	V-16	スクレイパー	5.5	4.5	1.15	28	頁岩	
254	34	—	Q-11	使用痕剥片	2.1	1.9	0.4	2	黒曜石a	
255	34	—	S-16	使用痕剥片	1.95	1.6	0.5	3	黒曜石a	
256	34	—	Q-14	使用痕剥片	5.3	3.45	1.05	18	流紋岩	
257	34	—	Q-14	使用痕剥片	3.8	7.45	1.25	34	頁岩	
258	34	—	V-16	使用痕剥片	1.85	2.55	0.55	2	黒曜石a	
259	34	—	T-16	使用痕剥片	1.2	1.9	0.8	1	黒曜石f	
260	34	—	S-16	使用痕剥片	1.25	1.15	0.4	0.5	黒曜石a	
261	34	—	T-15	使用痕剥片	3.3	1.45	0.7	3	黒曜石a	
262	34	—	S-14	使用痕剥片	2.35	2.0	0.8	2	黒曜石a	
263	34	—	S-16	使用痕剥片	2.25	2.95	0.95	3	黒曜石a	
264	34	—	T-16	使用痕剥片	2.2	1.55	0.35	1	黒曜石a	
265	34	—	P-14	使用痕剥片	1.2	1.75	0.7	2	黒曜石a	
266	34	—	Q-14	使用痕剥片	1.2	2.2	0.35	1	黒曜石a	
267	34	—	P-14	使用痕剥片	3.55	1.6	0.9	7	黒曜石a	
268	34	—	U-16	使用痕剥片	4.0	5.2	0.95	23	頁岩	
269	34	—	U-16	使用痕剥片	5.9	5.55	1.3	42	頁岩	
270	34	—	U-15	使用痕剥片	2.6	2.85	0.75	7	流紋岩	
271	34	—	Q-13	使用痕剥片	2.95	8.3	1.25	24	流紋岩	
272	34	—	V-16	使用痕剥片	4.6	5.45	1.4	26	頁岩	
273	34	—	R-13	使用痕剥片	5.45	3.9	1.55	30	流紋岩	
274	36	—	S-16	使用痕剥片	2.3	1.55	0.7	1	黒曜石e	
275	36	—	V-16	使用痕剥片	1.9	2.5	1.3	6	黒曜石a	
276	36	—	Q-11	使用痕剥片	2.3	3.2	0.85	6	黒曜石a	
277	36	—	S-16	使用痕剥片	3.65	1.55	0.8	4	黒曜石b	
278	36	—	S-14	使用痕剥片	2.35	2.25	0.5	2	黒曜石a	
279	36	—	S-16	使用痕剥片	2.0	1.45	0.45	1	黒曜石a	



第37図　A地区第Ⅳ層黒曜石分布図

Ⅸ類土器（103～105・107～114）

無文のもので、条痕調整のものとナデ調整のものがある。

1類（103・107～112）条痕調整のみのもの。

2類（113・114）ナデ調整だけの無文のもの。

Ⅹ類土器

その他としてまとめた。また、底部もここに一括した。90は口縁部に7本1単位の条痕を横から斜めに施す。115は器面全体に縦の貝殻刺突文を施す。116と117は沈線文で幾何学文様を浅く施す。118は撚糸文で、119は縄文である。120～140は底部で垂直気味に立ち上がるものとやや外開きに立ち上がるものがある。すべて平底である。120は胴部条痕である。122は底部側辺に縦位の刻線をめぐらす。130は底部内側に条痕調整がみられる。140は縦方向の荒目の条痕である。

b石器

石器は、合計72点出土し、そのほとんどはA地区東側で出土している。スクレイパーや使用痕剥片は全域に分布しており、また石錘もまとまりのない出土状況である。石材は、剥片石器では黒曜石や頁岩の利用が多く、石錘は砂岩、磨石は尾鈴山酸性岩類の利用がみられる。黒曜石は、桑ノ木津留第1群と第2群がほとんどで全域に散布し、竜ヶ水や上牛鼻がA地区東南部で数点みられる。また、西北九州からのものは、A地区ではR12グリットで1点のみ出土した。

石鏃（214～222）

石鏃の形状により3角形のもの（214～218）と抉りをもつもの（219・220）に分けられる。また、222のように大型のものや221のような異形石鏃も出土している。

石錘（223～231）

石錘はすべて打ち欠きで、長軸方向の両側に打撃を加えている。長さ6㎝前後、幅4㎝前後、重さは30g前後が多い。石材は、ほとんど砂岩を使用している。

浮子（232）

浮子は1点のみ出土している。形状は扁平な長楕円状で穿孔が1箇所施される。軽石製である。

磨石・敲石（233～238）

233は磨石で、側面に敲打痕がある。236～238は敲石で、石材は他の遺跡と同様で、砂岩や尾鈴山酸性岩類である。

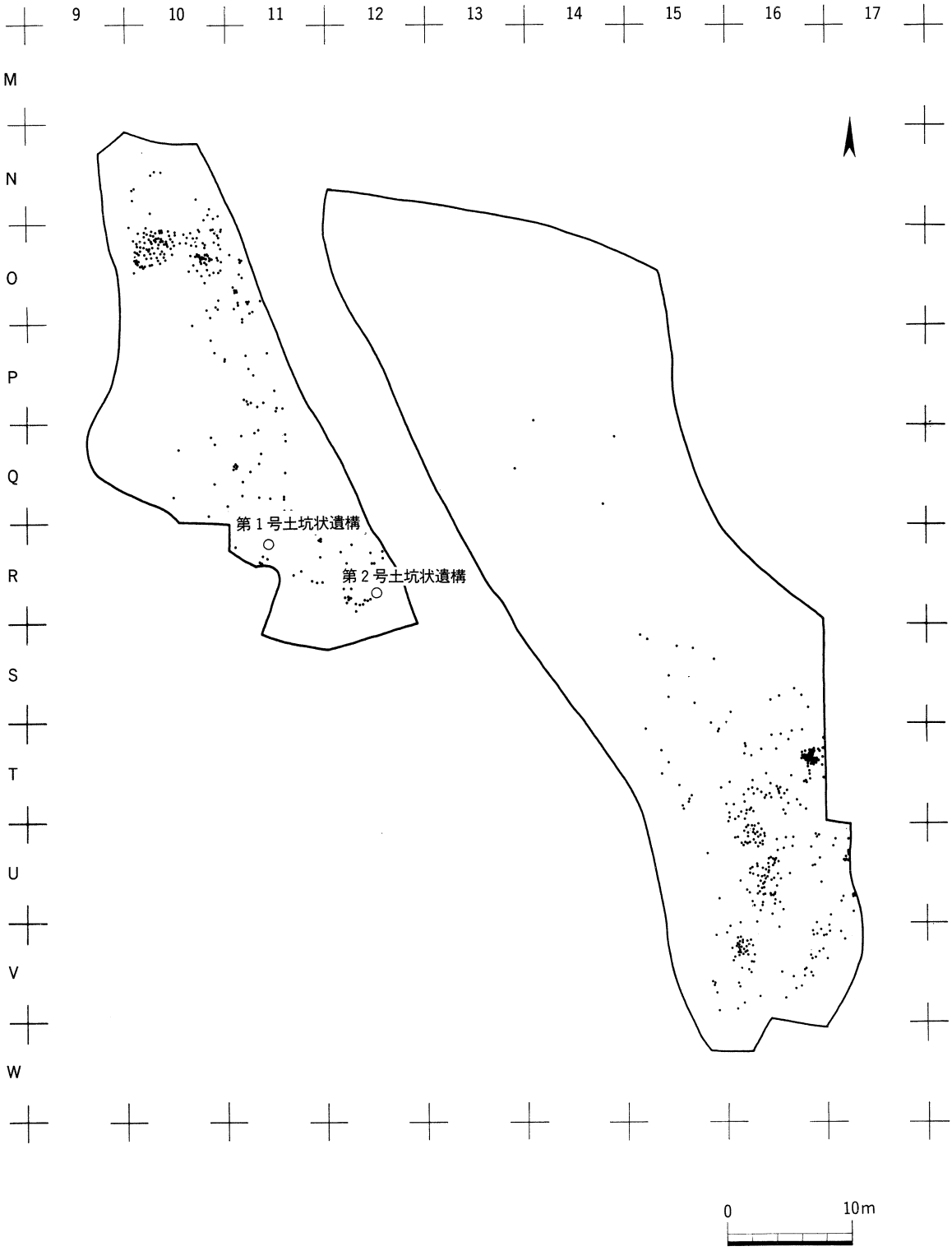
石斧（239～244）

239は欠損。241は刃部のみ研磨され、自然面を残す。242はほぼ完形品で、両側を加工して先端部を研磨し刃部を作っている。243は小型石斧で、上下は欠損している。刃部は研磨されており丁寧な加工である。244は、片面が扁平な溶結凝灰岩の環状石斧である。そのほかの石斧は頁岩かホルンフェルスが使用されている。

スクレイパー（245～253）

スクレイパーは、黒曜石や頁岩など硬質の石材が使用されている。エンドスクレイパーとするもの（245・246）、ラウンドスクレイパーとするもの（248～250）、サイドスクレイパーとするもの（251～253）がある。

使用痕剥片（254～279）



第38図　Ａ地区第Ⅱ層調査状況図

使用痕を有する剥片は、剥離痕の形状により三明形のもの（254～257・274～278）、長方形状の剥離が認められるもの（258～266・279）、深い弧状の輪郭をもつもの（267～273）がある。石材は、黒曜石が圧倒的に多く使用されている。

2　第Ⅱ層の遺構と遺物

1 遺構

遺構は、調査区西側で土坑状遺構が2基検出されただけである。遺物が集中するO10グリット周辺でも遺構の痕跡はまったくみられなかった。

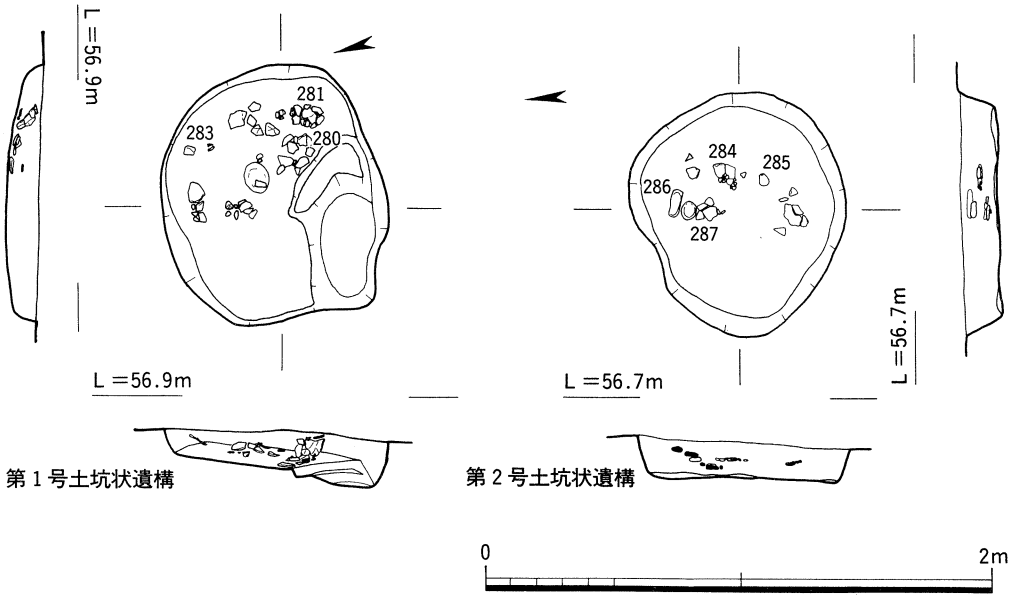
a 土坑状遺構

土坑状遺構は2基検出された。これは落ち込みのようなもので、いずれも調査区西側のRグリットから検出された。このグリット南側辺りは、表土下に2次アカホヤ（Ⅱa）層が極浅く堆積するのみで、アカホヤ（Ⅱb）層の堆積はほとんどなく、すぐにⅢ層が露呈する。そのため、あたかもⅢ層から掘り込まれたかのような状況で検出され、検出面がはっきりしない。さらに、埋土も2次アカホヤ（Ⅱa）層と称している土壌と粘質性に違いはあれ、色調はやや暗い感があるだけで酷似している。

第1号土坑状遺構（第39図）

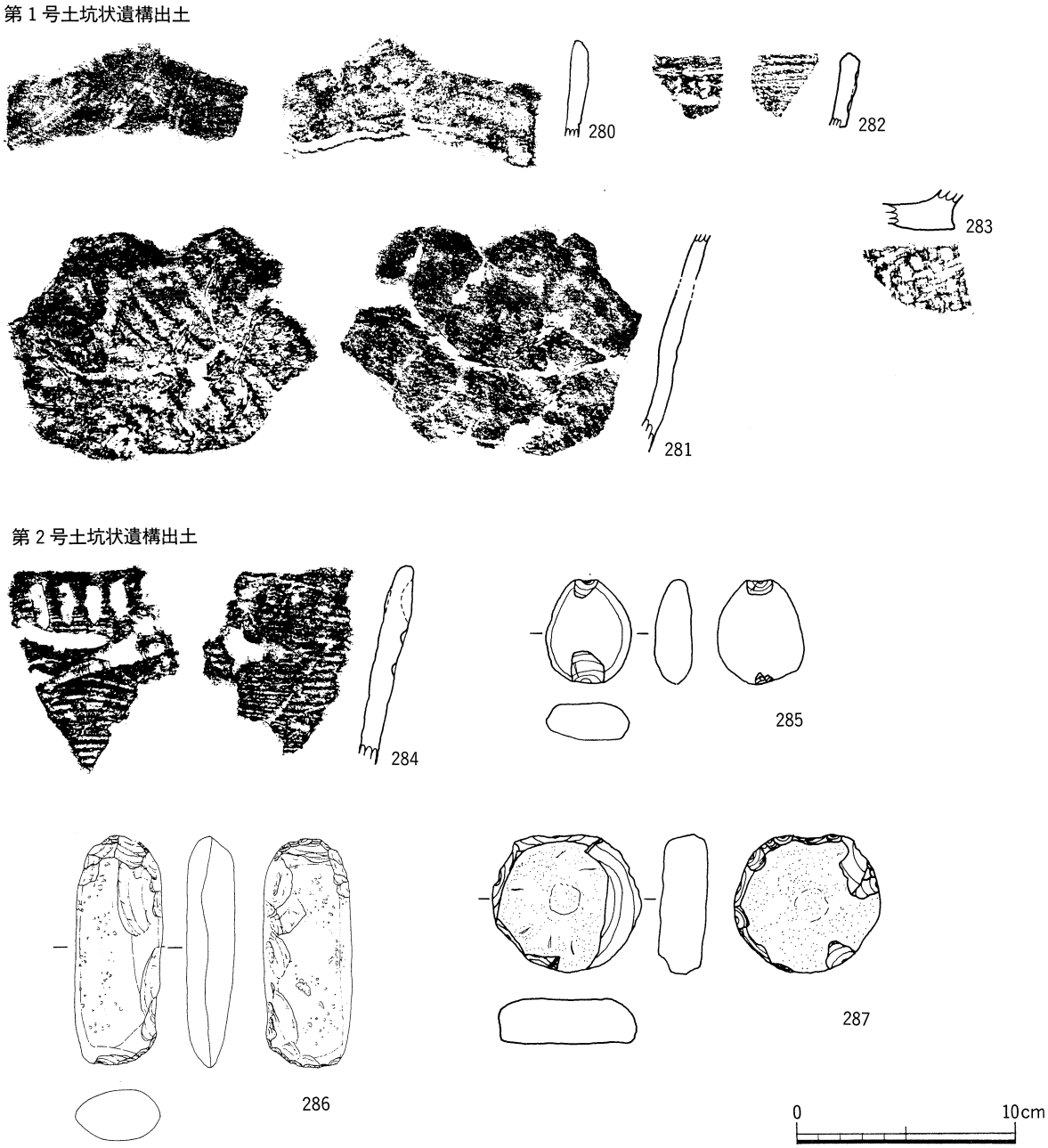
この遺構は0.9m×1.0mのやや楕円状の落ち込みである。床面は3つのテラス状の段からなり、最上段で遺物が出土している。壁の立ち上がりはしっかりしており、深さは、浅いところで0.15m、深いところで0.25mを計る。埋土は暗黄色土である。遺物は土器を中心に出土した。280と281は、ヘラ状工具によるナデ調整のみの無文系土器で同一個体と思われる。器形は、胴部は張りをもたずまっすぐ開き気味に立ち上がり、口縁部は山形口縁でやや開き気味となる。色調は浅黄橙色である。282は口縁部に沈線を2本平行させ、その間に貝殻連続刺突文を施した磨消縄文を意識した土器である（Ⅳ―3類・分類基準は後述の「2遺物」参照）。口唇部は平坦で、内面とともに貝殻状痕がみられる。色調は浅黄橙色である。283は底部で、網代痕がある。色調はにぶい黄橙色である。

第2号土坑状遺構（第39図）



第39図　A地区第Ⅱ層第1・2号土坑状遺構実測図

第２号土坑状遺構は、Ｒ12グリットで検出された。1.0m×0.85mのやや楕円形を呈する遺構である。床面は全体に平坦で壁の立ち上がりはしっかりしている。深さは0.15m前後である。遺物が土坑中央で出土している。遺物は土器と石器が出土している。284は縦長の列点文を施し、その下に沈線文を廻らす。器面に貝殻条痕を残すが明瞭に見られるのは、この遺跡内ではこの１点のみで、他のものと比較すると違和感さえ感じられる。口縁部の文様形態等による分類ではＩ－４類である。色調はにぶい橙色である。285～287は石器である。285は石錘で、細粒砂岩を使用し長軸両端を打ち欠く。長さ4.6cm、幅4.0cm、重さ36ｇである。286は頁岩を使用した石斧で、両端を剥離させただけでそれ以外は磨かれている。長さ10.4cm、幅3.9cm、重さ134ｇである。287は側面に剥離調整を施した用途不明の石製品である。径6.5㎝、器厚2.0㎝、重さ144ｇの円錐（円盤）状で頁岩を使用し中央にヘソのような自然文様をもつ。



第40図　Ａ地区第Ⅱ層第１・２号土坑状遺構出土遺物実測図

2 遺物

a 土器

土器は小片なものが多く全体の形状や文様が把握できるものは少ない。そのため、口縁部の文様形態から、おもにヘラ状工具による列点文（Ⅰ類）、貝殻腹縁による刺突文（Ⅱ類）、沈線文のみ（Ⅲ類）、磨消縄文系（Ⅳ・Ⅴ類）に分類した。分布状況は、出土範囲が調査区内である程度まとまっており、特にO10グリット周辺に密集している。詳細は表－5のとおりである。

Ⅰ類土器（288～345）

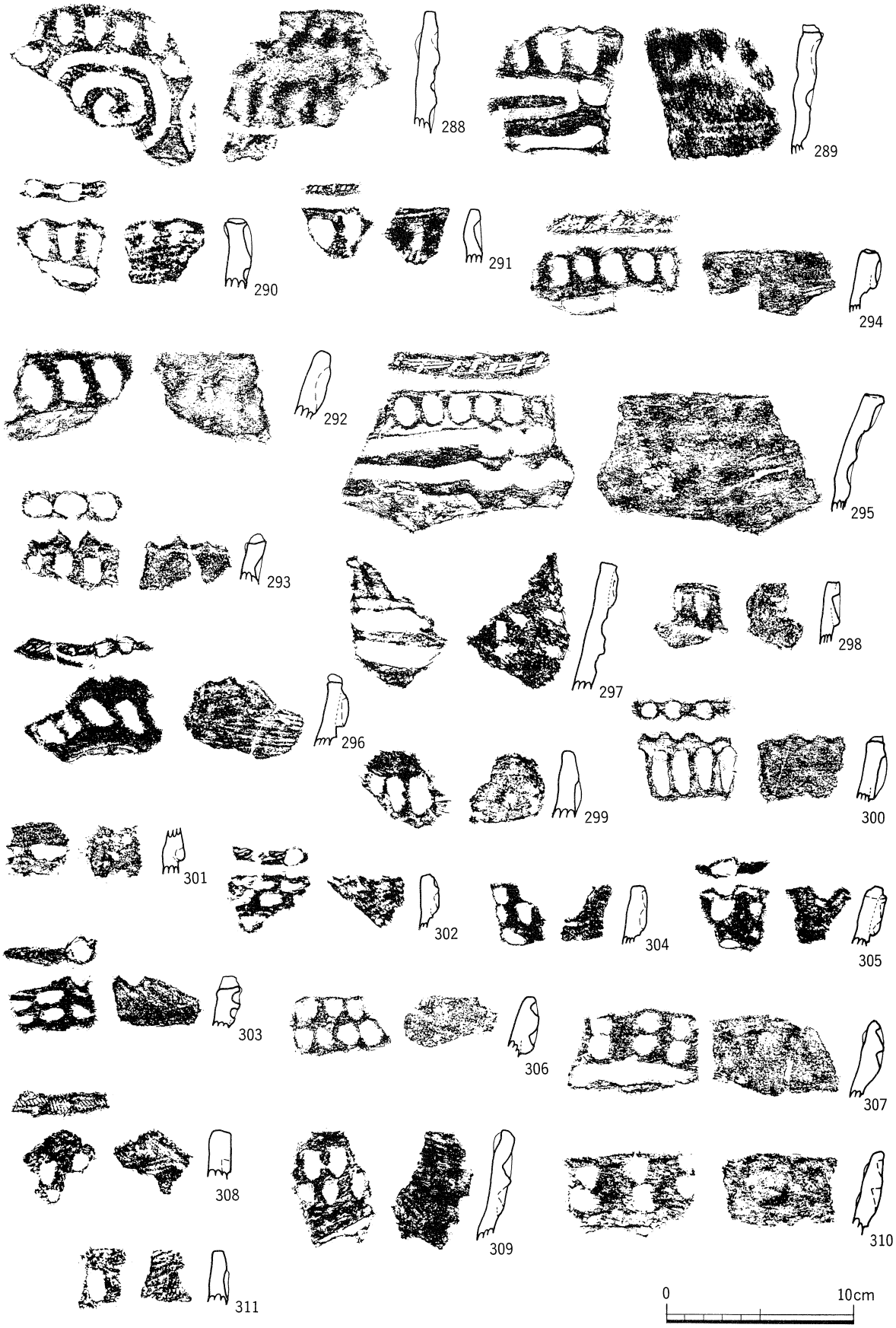
口縁部にヘラ状のもので列点文を施し、その下に沈線文を施す。条痕調整はナデ消されるものが多い口縁部のみの個体が多く胴部については定かでないことから、口縁部の文様形態のみから7類に分類した。1・2類は太めの列点文を1段施すのみで、列点文の施文幅が3類と比較して狭い。3類はさらに3分類されるが基本的には同じで、Ⅰ類のなかでは一番強く口縁部を誇張する。

1 a類（288・289）大きな列点文を1段施し、やや幅広の沈線を施す。器壁は厚い。b類よりも素朴さを感じる。288は列点文下に渦巻状の沈線文を施す。289は、口唇部の押圧状の刻目文に布状のような痕跡を残す。

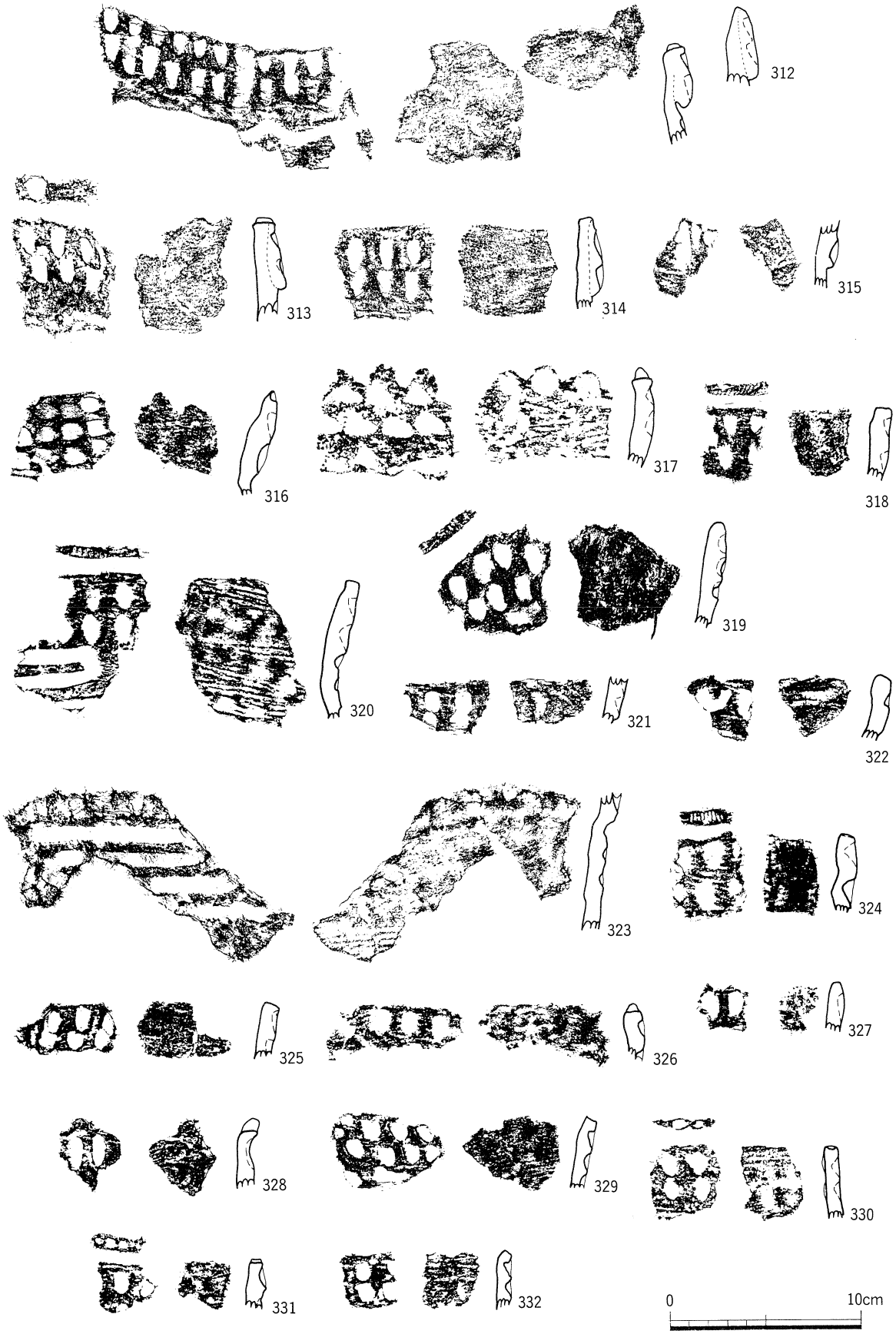
b類（290～293）大きな列点文を1段施し、やや幅広の沈線を施す。a類よりも直線的である。基本的に

表－5　A地区第Ⅱ層縄文土器最低個体数集計表

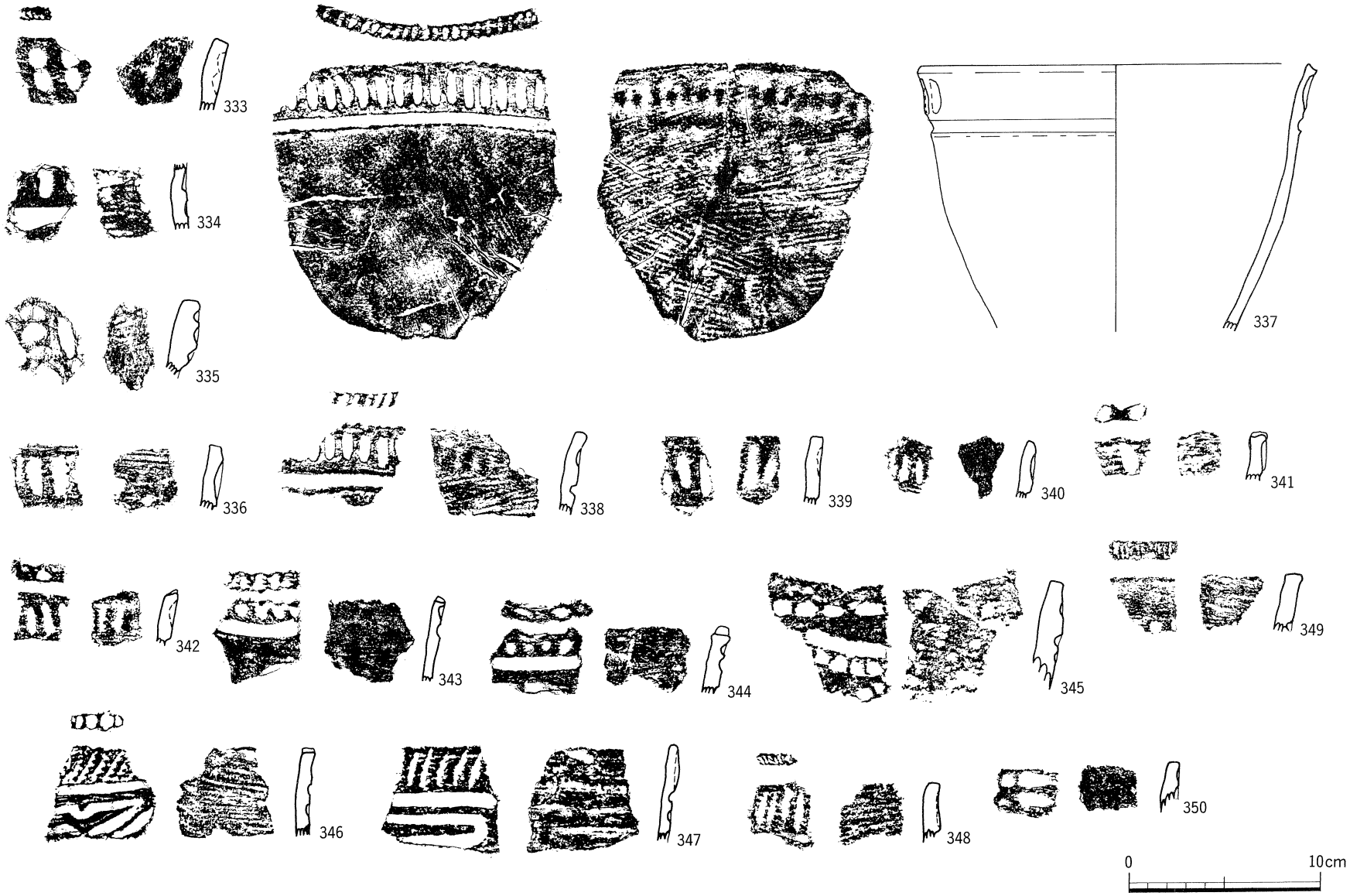
	1										Ⅱ	Ⅲ			Ⅳ			Ⅴ			Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ			計
	1		2		3			4	5	6		1	2	3	1	2	3	1	2	3			1	2	3	
	a	b	a	b	a	b	c																			
N-10							1																	1		2
O-10	1	2	2	7	5	9	9	4			1	5	1		1		1			1		1	6	4		60
O-11		1										1					2		1		1					6
P-11																								2		2
Q-11	1					1																		1		3
Q-13				1																						1
R-11		1					1	1	2		1			1		1										8
R-12							3	1								1							1			6
R-14																	1									1
T-15		1		1																						2
T-16										1		1						1					3	2		8
U-15																								1		1
U-16				1	1								1										4	1		8
U-17				1			1																2			4
V-16				2	1						1	1						1						1		7
V-17																									1	1
小計	2	5	2	13	7	10	15	6	2	1	3	8	2	1	1	2	4	2	1	1	1	1	16	13	1	
計	63										3	11			7			4			1	1	30			120



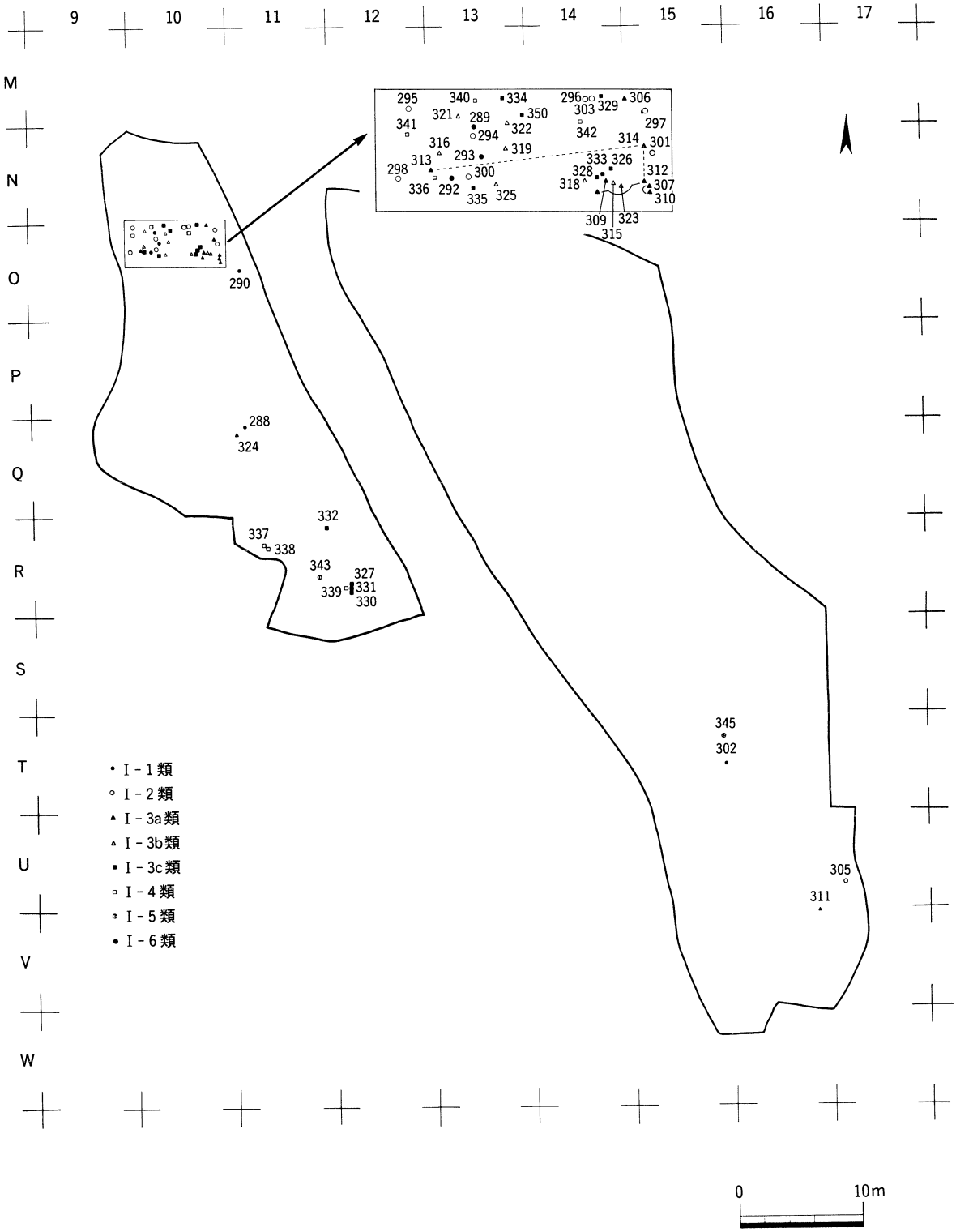
第41図　A地区第Ⅱ層縄文土器実測図(1)



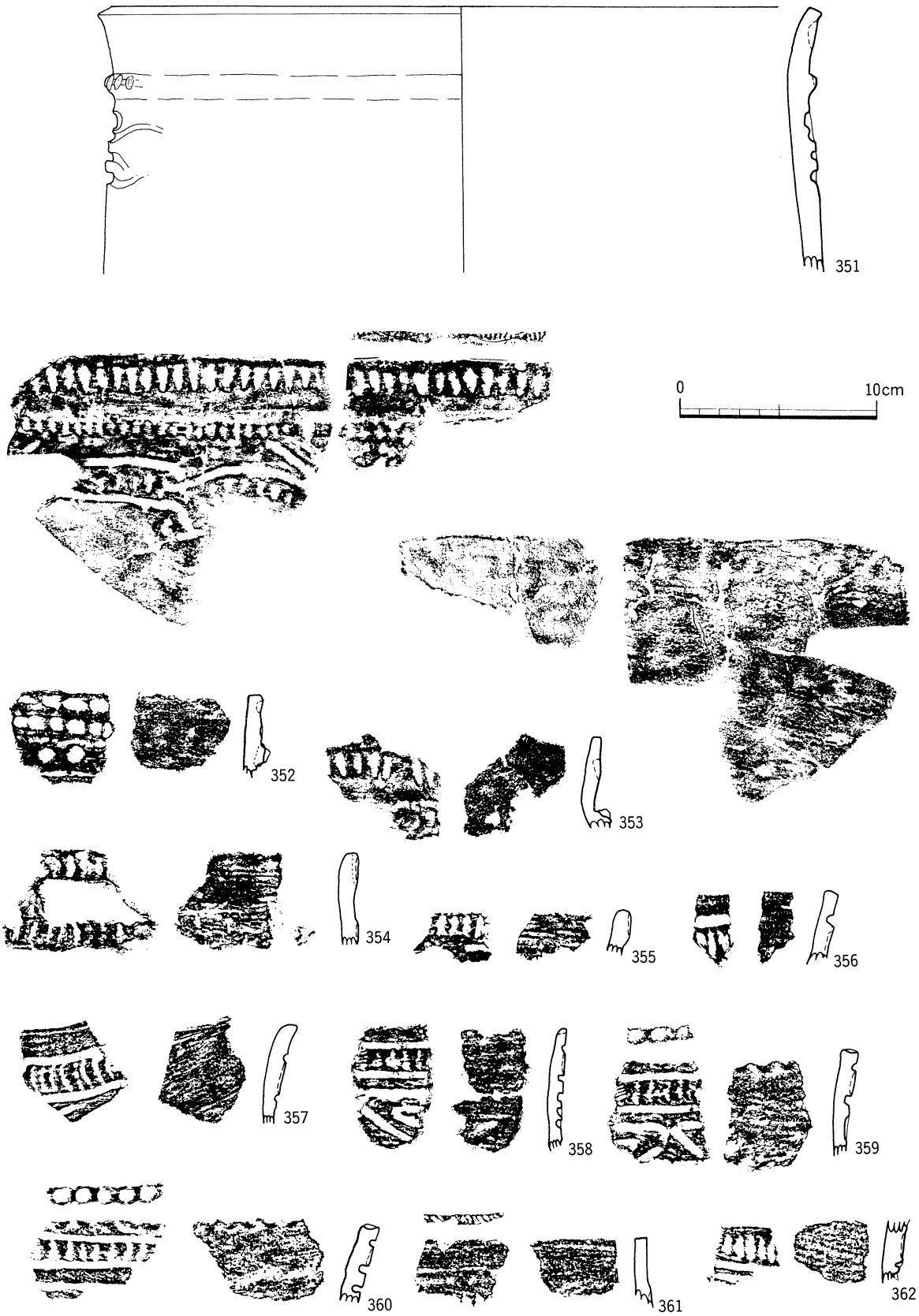
第42図　A地区第Ⅱ層縄文土器実測図(2)



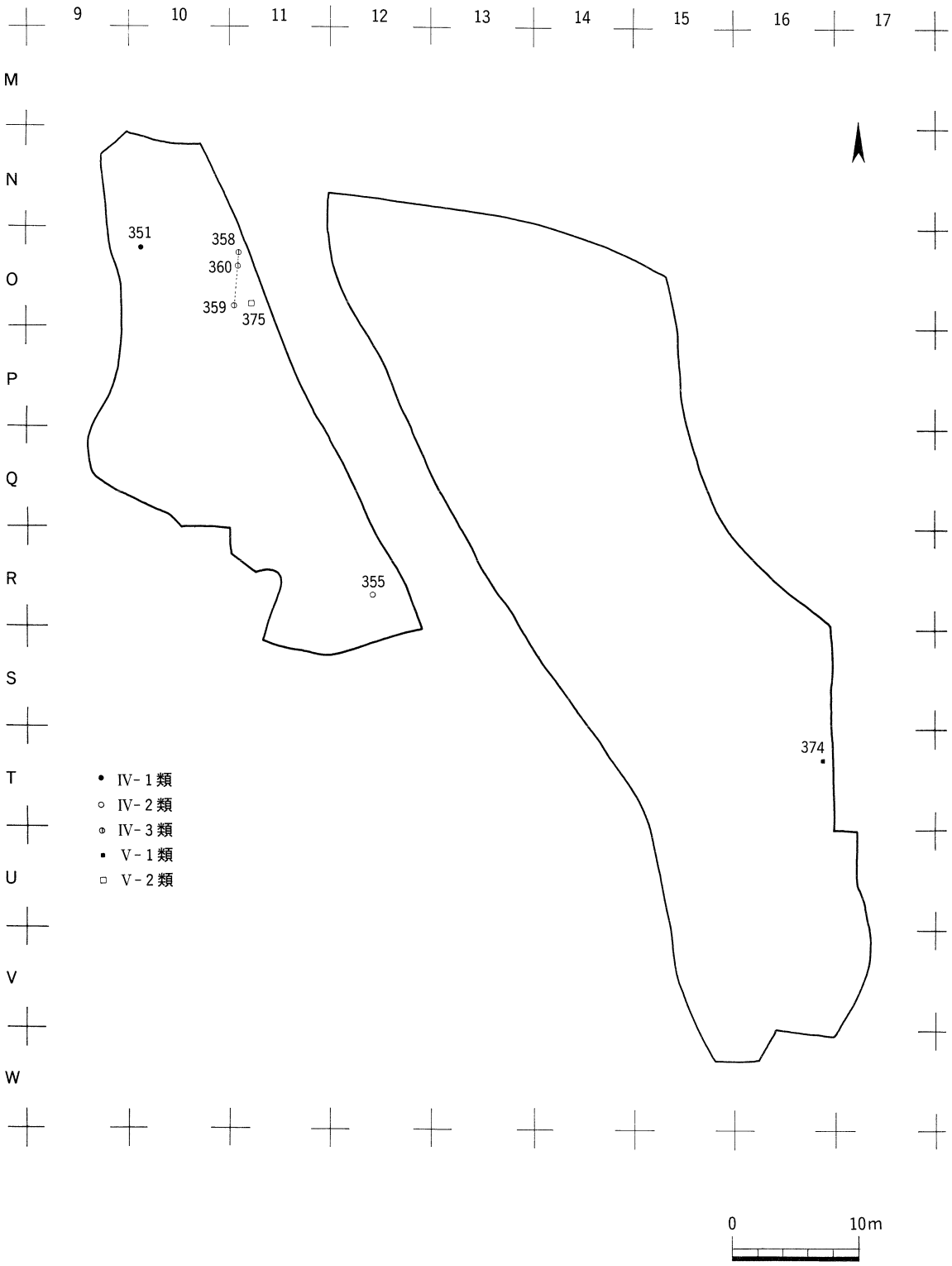
第43図　A地区第Ⅱ層縄文土器実測図(3)



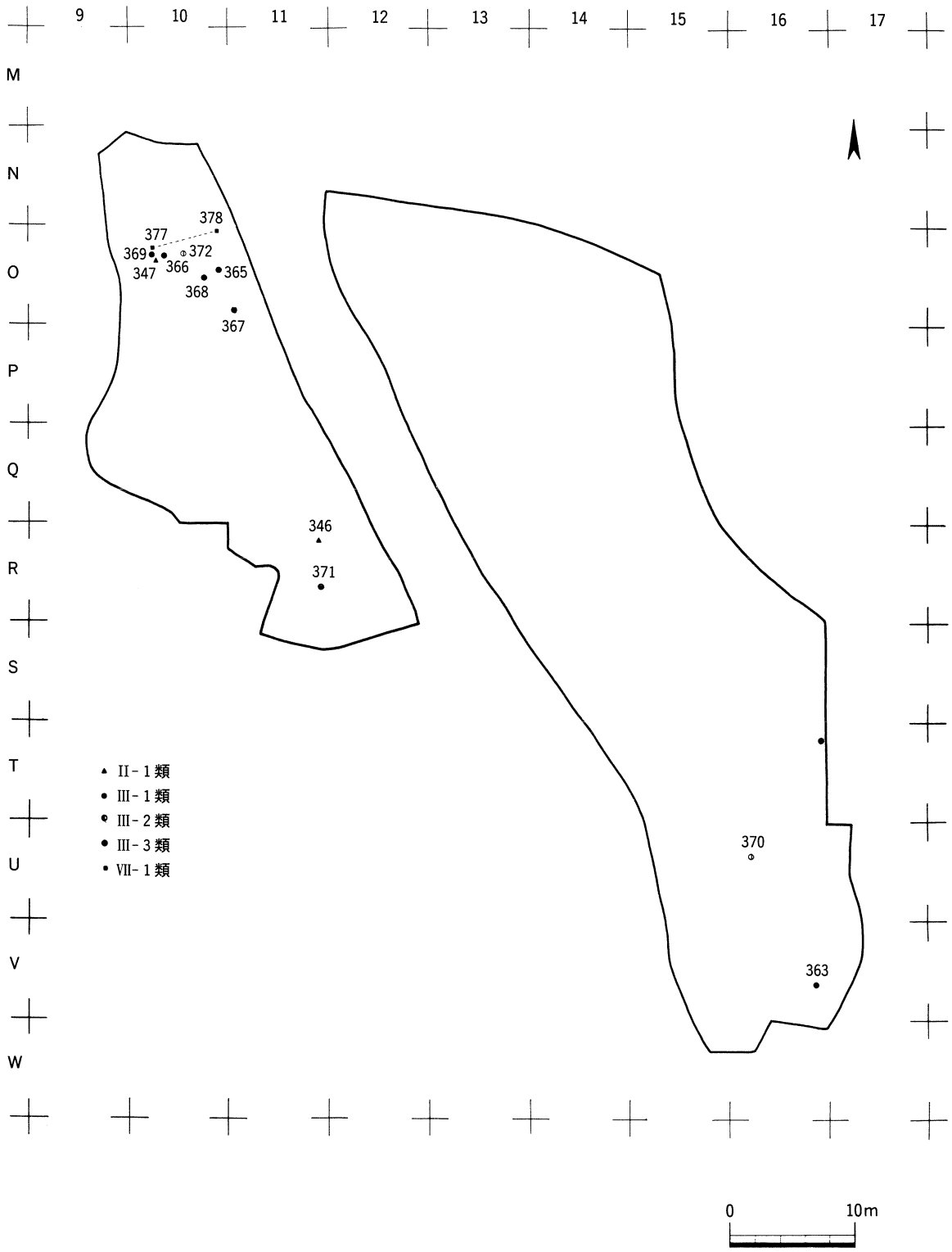
第44図　A地区第Ⅱ層縄文土器（Ⅰ類）分布図



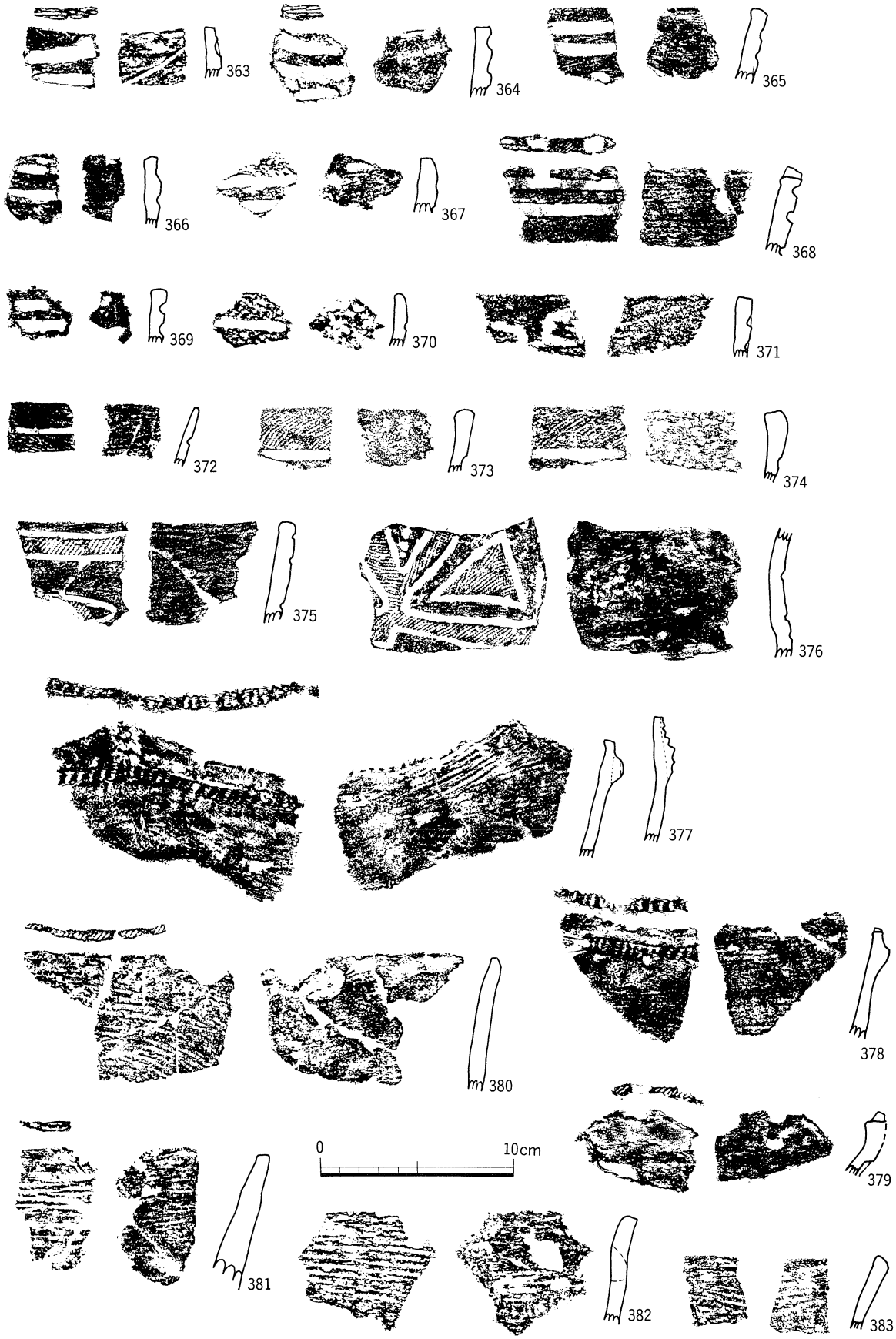
第45図　A地区第Ⅱ層縄文土器実測図(4)



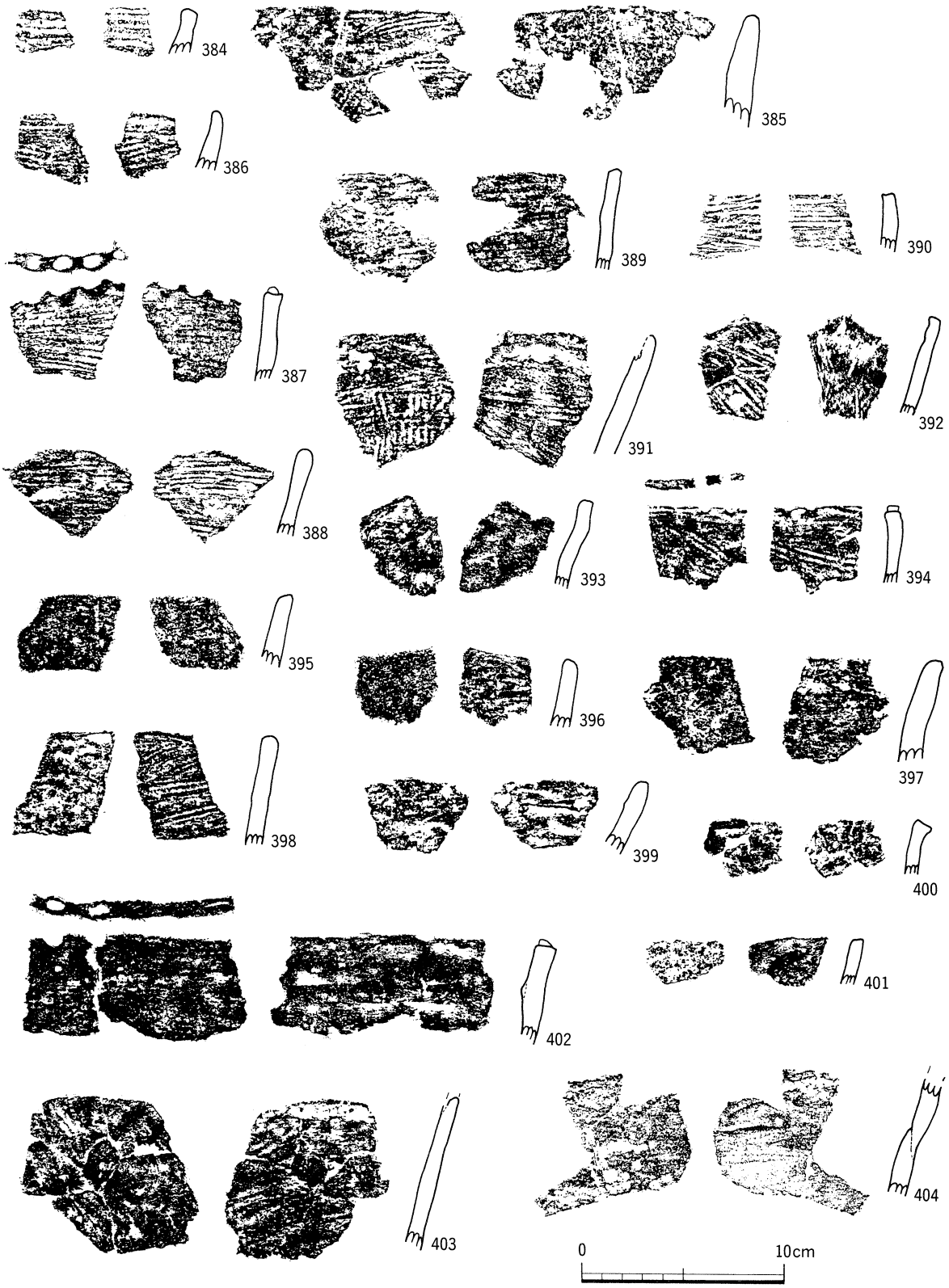
第46図　A地区第Ⅱ層縄文土器（Ⅳ・Ⅴ類）分布図



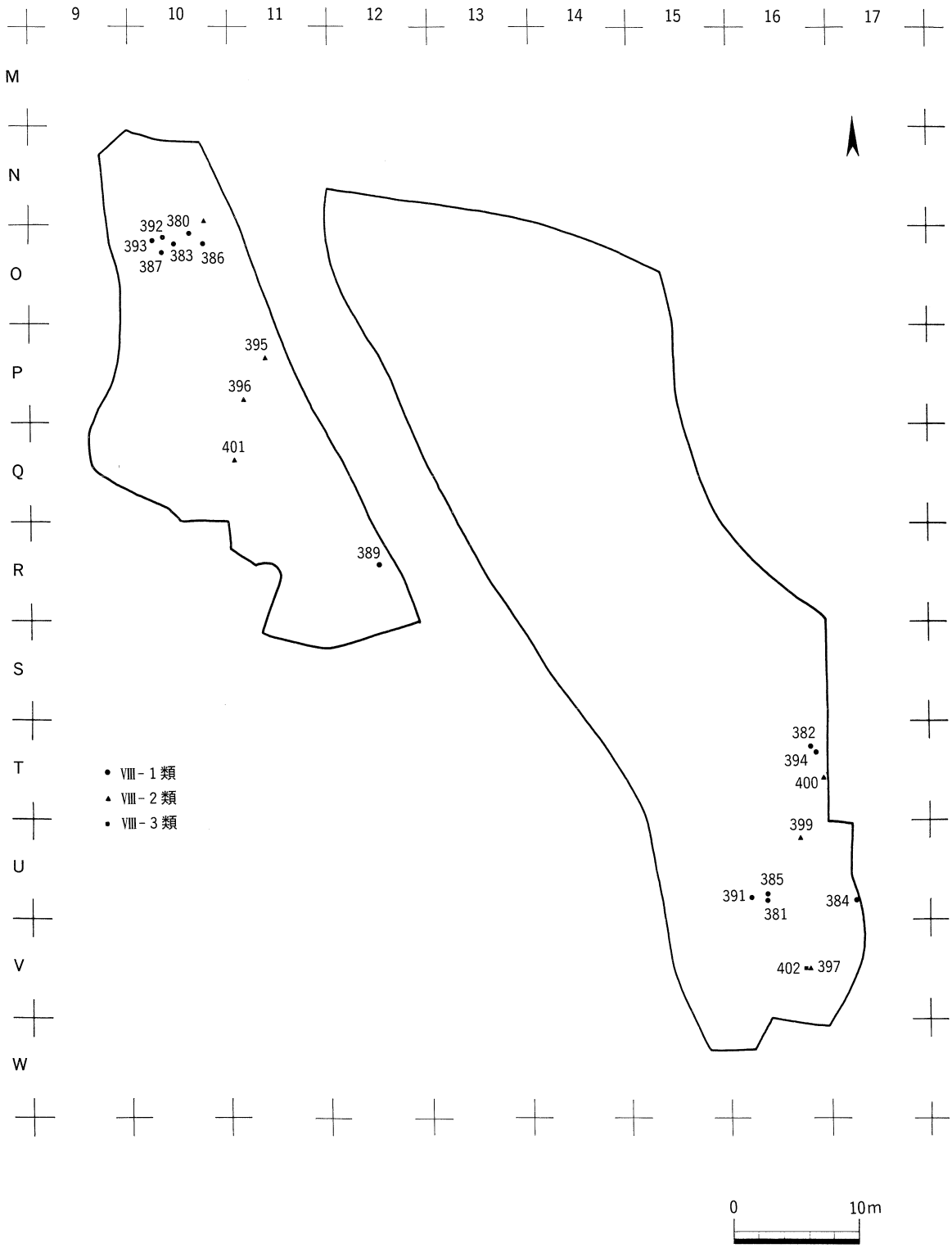
第47図　A地区第Ⅱ層縄文土器実測図(5)



第48図　A地区第Ⅱ層縄文土器（Ⅱ・Ⅲ・Ⅶ類）分布図

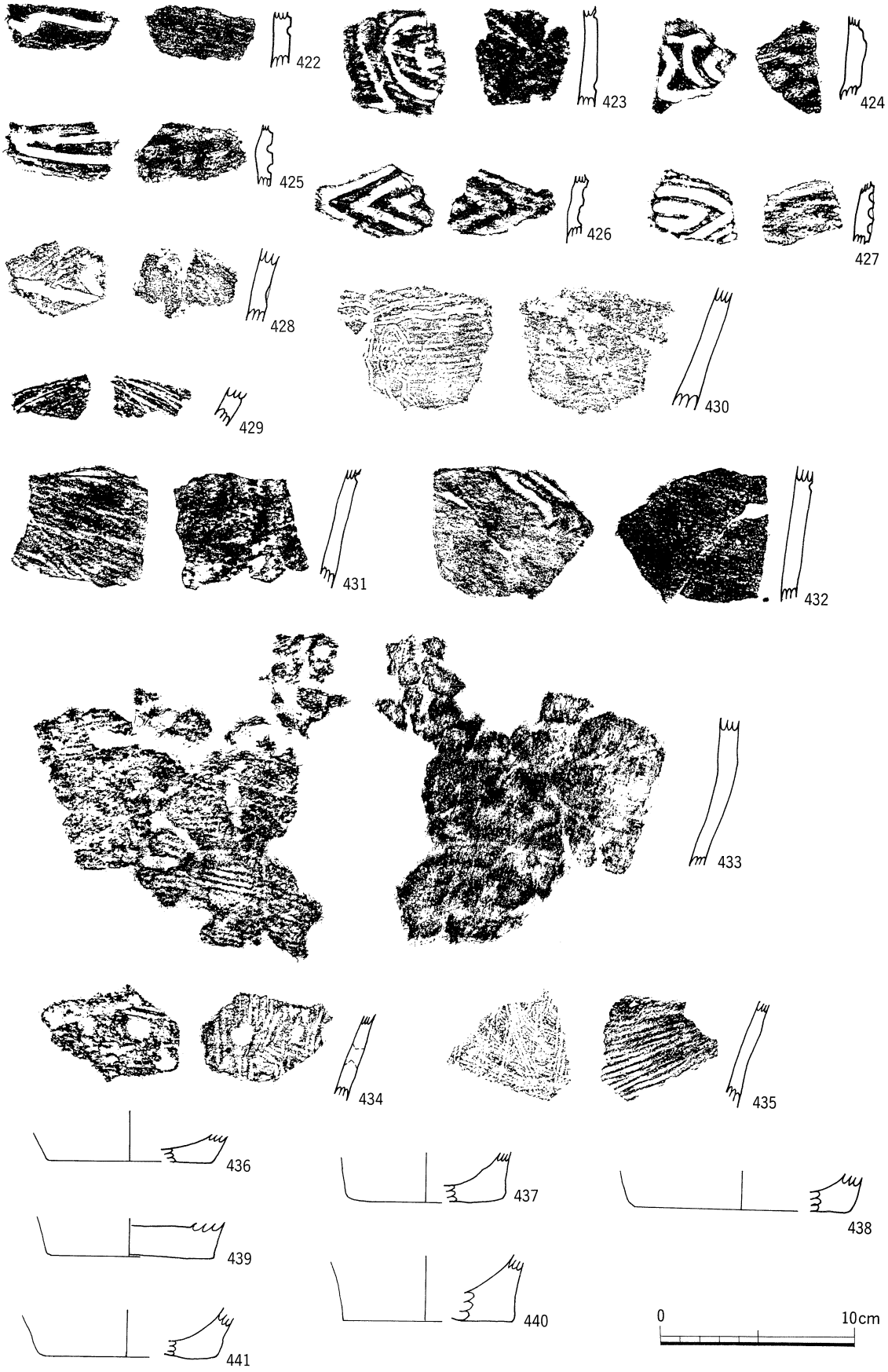


第49図　A地区第Ⅱ層縄文土器実測図(6)



第50図　A地区第Ⅱ層縄文土器（Ⅷ類）分布図

第51図　A地区第Ⅱ層縄文土器実測図(7)



第52図　A地区第Ⅱ層縄文土器実測図(8)

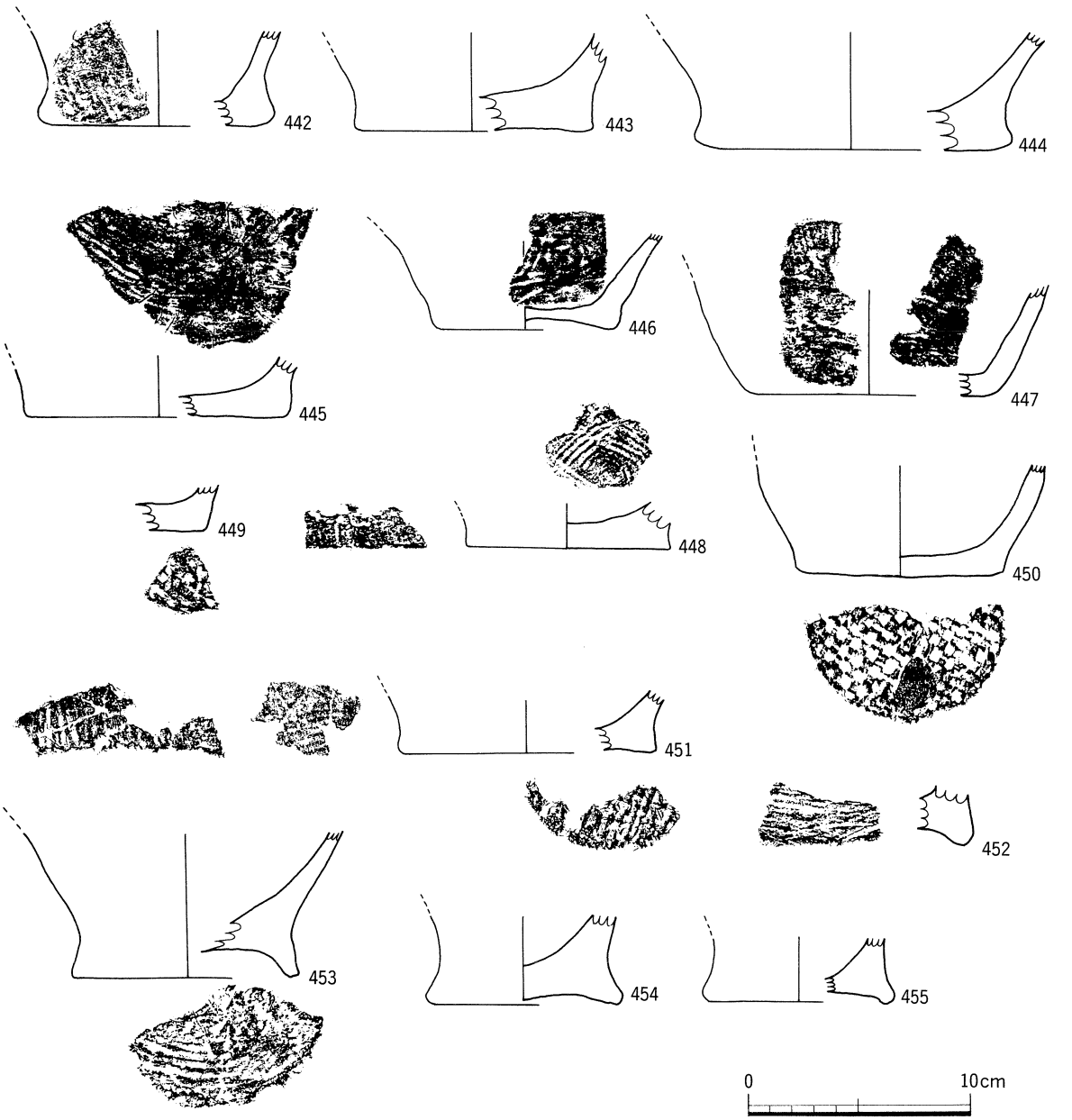
a・b類とも口縁部は肥厚しない。290は口唇部に刺突を、293は大きな押圧状の刻目を施す。291はやや斜めの刻目を施す。

2 a類（294・295）口縁部に幅狭の粘土紐を貼りつけ、そのうえに列点文を施す。b類よりも素朴さがある。294・295は同一個体と思われる。口唇部は貝殻条痕後にやや斜めに間隔をあけて貝殻により刺突する。

b類（296～305）口縁部に幅狭の粘土紐を貼りつけ、そのうえに列点文を施す。301～303は横位の列点文を施す。296・303は、山形口縁で頂部口唇部に大きな刻目を施す。300は口唇部に大きな刻目を施す。301～303は横方向に小規模な列点文を施す。

3 a類（306～314）口縁部に粘土を貼りつけて肥厚させ、深目の列点文を施文する。口縁部を誇張する。列点文は2段平行に規則的に施文している。312～314は同一個体と思われ、山形口縁の谷部と頂部に押圧状の大きな刻目がある。

b類（315～321・323～325）口縁部に粘土を貼りつけ列点文を施すが、a類のように肥厚しない。文様幅



第53図　A地区第Ⅱ層縄文土器実測図(9)

はａ類と同じである。315は口縁端部が欠損しているが、３段からなる丸い列点文を施す。317は口唇部におおきな押圧状の刻目を施す。323は列点文の状態はわからないが、胴部は320と同様に逆Ｓ字状に沈線を走らせる。

ｃ類（326～335・350）器壁が薄く、口縁部は肥厚しない。小さい列点文を施し、列点文自体は丸くなるものが多い。330は口唇部を小さく刺突する。333は口唇部に刻目を施す。335は頂部面のみ粘土を貼りつけ横位の押圧文を施す。350は横位の列点文である。

４類（336～342・352・353）縦長に１段細い列点文を施し、その下に細い沈線を廻らす。沈線はやや直線的であるが、口縁部下の文様については337以外は不明である。337は口唇部に刻目、口縁部には縦位に細長の列点文と口縁に対して平行に細い沈線を１本廻らす。この沈線で口縁帯を作出している。胴部は貝殻条痕による調整のみである。341や342は口唇部に大きな刻目を施す。352と353は339や340の列点文に似ているが、その下に沈線の代わりに刻目突帯を巡らせている。

５類（343・344）口唇部に連続刺突や連続押圧を施し、口縁部に小さな丸い列点文（343）や竹管文（344）と沈線文を施す。口縁部文様帯はかなり狭い。343は口唇部に貝殻による連続刺突文を斜方向から施す。

６類（345）横位の列点文を１段施し、その下には沈線文と列点文とを平行に施文する。

Ⅱ類土器（346～348）

口縁部に縦位の貝殻連続刺突文、その下に沈線文を施すもの。基本的には列点文のものと変わらないものと思われる。器壁は薄く、裏面調整は貝殻条痕である。346は口唇部に貝殻による連続刺突がみられ、348は刻目がみられる。

Ⅲ類土器（363～372）

口縁部に沈線文を施すもの。

１類（363～369）やや幅広の沈線を施すもの。365～369は２本の沈線が口縁と平行に施される。363・364は口唇部に貝殻条痕を残し、368は大きな刻目を施す。

２類（370・372）細い沈線を施すもの。

３類（371）曲線状に沈線を施すもの。

Ⅳ類土器（351・360）

沈線間に文様を施すもの。口縁部文様の施文により３つに分類した。

１類（351）口縁部に細長の列点文を施文し、沈線間に同じ列点文を縦方向に施文するもの。列点文の下には沈線文ではなく、口縁に平行して刻目突帯を廻らせ口縁帯とする。列点文は縦長で細く353や340のものと同じである。口唇部は刻目を施す。

２類（354・355）口縁部に短めの貝殻連続刺突文を施す。354は幅広の凹線状にし、その下に同じく短めの貝殻連続刺突文を施す。個体のうえからは沈線間に文様を施しているかどうかという判断は困難であるが、一応ここの分類にいれた。

３類（356～360・362）口縁部に２本の平行沈線を施し、その間に貝殻連続刺突文を施すもの。358などは口唇部に大きな刻目を施し在地的要素が多分にみられる。

Ⅴ類土器（373～376）

磨消縄文を施すもの。

１類（373・374）口縁部に縄文帯をもつもの。

２類（375）口縁部に２本の平行沈線を施し、その間に縄文がみられるもの。沈線が細く丁寧なつくりで

表－6　A地区第Ⅱ層縄文土器観察表

※①口唇部 ②口縁部 ③胴部 ④底部

No.	挿図	図版	出土地点	文様・調整 外面	文様・調整 内面	色調	胎土	焼成	備考
288	41	16	Q-11	①貝殻条痕 ②列点文やや幅広の沈線文	②ナデ	外 Hue7.5YR 橙7/6 内 Hue7.5YR 橙6/6	半透明粒（2㎜前後）多量 黒色光沢粒少量 黒粒 白色粒多量	堅	
289	41	16	Q-10	①連続押圧 ②縦長の太い列点文やや幅広の沈線文	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue7.5YR 橙7/6	白色粒少量 半透明粒多量 黒色光沢粒少量	堅	
290	41	—	Q-11	①刺突 ②縦長の太い列点文沈線文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR 橙3/3	黒色光沢粒多量 半透明粒多量	やや堅緻	
291	41	—	R-11 R-12	①刻目 ②太目の列点文	②ナデ	外 Hue10YR 褐灰6/1 内 Hue10YR 褐灰6/1	半透明粒多量 黒色光沢粒少量	やや堅緻	
292	41	—	O-10	②太目の縦長列点文やや幅広の沈線文	②ナデ	外 Hue2.5YR 黄灰6/1 内 Hue2.5YR 黄灰6/1	白色粒少量 半透明粒多量 黒色光沢粒少量	堅	
293	41	—	O-10	①連続押圧 ②列点文	②ナデ	外 Hue10YR 浅黄橙8/3 内 Hue10YR 灰白8/2	半透明粒多量 軽石状のスコリア少量 黒色光沢粒少量	堅	
294	41	—	O-10	①貝殻条痕、貝殻による刺突 ②粘土帯に列点状に押圧文・やや幅広の沈線文	②ナデ	外 Hue 5 YR 橙7/6 内 Hue 5 YR 橙6/6	半透明粒（1～2㎜）多量 茶色粒（1～2㎜）少量 軽石状のスコリア少量 黒色光沢粒多量	堅	
295	41	16	O-10	①貝殻条痕後、貝殻による刺突 ②粘土帯に列点状に押圧文・やや幅広の沈線文	②ナデ	外 Hue7.5YR 橙7/6 内 Hue7.5YR 橙6/6	砂粒多量 黒色光沢粒多量 軽石状のスコリア少量	堅	
296	41	16	O-10	①貝殻条痕後、頂部に押圧凹み ②粘土帯に列点文・沈線文	②貝殻条痕	外 Hue10YR 浅黄橙8/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/4	半透明粒多量 砂粒多量 黒色光沢粒 黒色粒	堅	山形口縁
297	41	—	O-10	②粘土帯に列点文・幅広の沈線文	②ナデ	外 Hue 5 YR 淡黄8/3 内 Hue2.5YR 灰白8/2	半透明粒（1～3㎜）多量 砂粒多量 黒色粒 黒色光沢粒少量	堅	
298	41	—	O-10	粘土帯に列点文	②ナデ	外 Hue2.5YR 灰黄7/2 内 Hue2.5YR 灰黄7/2	砂粒多量 半透明粒少量 黒色光沢粒	堅	
299	41	—	V-16	粘土帯に列点文	②ナデ	外 Hue2.5YR 淡黄8/32 内 Hue2.5YR 淡黄7/3	半透明粒多量 砂粒多量 黒色光沢粒少量	堅	
300	41	16	O-10	①連続押圧 ②粘土帯に縦長の列点文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	半透明粒少量 黒色光沢粒少量	やや堅緻	
301	41	—	O-10	粘土帯に横位の列点文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/2 内 Hue2.5YR 黄灰6/1	半透明粒多量 黒色粒	堅	
302	41	17	T-15	①貝殻条痕後、押圧凹み ②粘土帯に横位の列点文を2段	②条痕	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR 灰黄褐6/2	茶色粒多量 砂粒多量 半透明粒多量 黒色光沢粒少量	堅	
303	41	17	O-10	①押圧凹み ②粘土帯に横位の列点文を2段	②ナデ	外 Hue7.5YR 橙6/6 内 Hue7.5YR 橙6/6	茶色粒多量 半透明粒多量 黒色光沢粒少量	堅	山形口縁
304	41	—	V-16	②粘土帯に横位の列点文を2段	②ナデ	外 Hue2.5Y 浅黄7/3 内 Hue2.5Y 浅黄7/3	半透明粒多量 軽石状のスコリア少量 黒色光沢粒多量	堅	
305	41	—	U-17	①頂部に押圧凹み ②粘土帯に列点文・沈線文	②ナデ	外 Hue2.5Y 灰黄7/2 内 Hue2.5Y 浅黄7/3	半透明粒多量 黒色光沢粒少量	堅	山形口縁

306	41	—	O-10	②肥厚した口縁帯に列点文２段	②ナデ	外 Hue2.5Y 黄灰6/1 内 Hue2.5Y 黄灰5/1	半透明粒多量 軽石状のスコリア少量 黒色光沢粒	堅	山形口縁？
307	41	16	O-10	②肥厚した口縁帯に列点文 沈線文	②ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/4 内 Hue2.5Y 淡黄8/4	半透明粒多量 茶色粒少量 軽石状のスコリア多量 黒色光沢粒	堅	310と同一固体?
308	41	—	U-16	①刻目 ②列点文	②ナデ	外 Hue5YR にぶい橙7/4 内 Hue7.5YR にぶい橙7/4	半透明粒多量 黒色光沢粒	堅	山形口縁
309	41	—	O-10	②肥厚した口縁帯に列点文２段 沈線文	②ナデ	外 Hue5YR にぶい橙7/4 内 Hue5YR にぶい橙7/4	半透明粒多量 茶色粒多量 軽石状のスコリア少量	やや堅緻	
310	41	—	O-10	②肥厚した口縁帯に列点文２段	②ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 淡黄8/4	半透明粒多量 軽石状のスコリア多量 茶色粒多量 黒色光沢粒多量	堅	307と同一固体?
311	41	—	V-16	②肥厚した口縁帯に列点文	②条痕	外 Hue2.5Y 灰黄7/2 内 Hue2.5Y 浅黄7/3	半透明粒多量 砂粒多量 黒色光沢粒多量	堅	
312	42	16	O-10	①押圧凹み ②肥厚した口縁帯に列点文２段・沈線文	②ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 黄灰6/1	茶色粒少量 半透明粒多量 黒色光沢粒多量	堅	313・314と同一固体　山形口縁
313			O-10	②肥厚した口縁帯に列点文２段	②ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 黄灰5/1	半透明粒多量 黒色光沢粒多量	堅	312・314と同一固体　山形口縁
314	42	—	O-10	①頂部に押圧凹み ②肥厚した口縁帯に列点文・沈線文	②ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	半透明粒 黒色光沢粒	堅	312・313と同一固体　山形口縁
315	42	—	O-10	②口縁帯に列点文２段	②ナデ	外 Hue7.5YR 橙6/6 内 Hue2.5YR 橙7/6	半透明粒多量 軽石状のスコリア少量 黒色粒	堅	
316	42	16	O-10	②口縁帯に横位の列点文３段	②ナデ	外 Hue 5 YR 橙6/6 内 Hue 5 YR 橙6/6	半透明粒（１～２㎜）多量 軽石状のスコリア少量 黒色光沢粒	やや堅	
317	42	16	O-10	①連続押圧文 ②口縁帯に横位の列点文２段	②ナデ	外 Hue2.5YR 浅黄7/3 内 Hue2.5YR 浅黄7/3	半透明粒（２㎜前後）少量 茶色粒（２㎜前後）少量 黒色光沢粒少量	堅	
318	42	—	O-10	①刻目 ②口縁帯に列点文２段	②ナデ	外 Hue2.5Y 黄灰6/1 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	半透明粒多量 軽石状のスコリア多量 黒色光沢粒少量	堅	
319	42	16	O-10	①刻目・頂部に押圧凹み ②口縁帯に列点文２段・沈線文	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい褐5/3 内 Hue 5 YR 橙6/6	半透明粒多量 白色粒少量 砂粒少量 黒色粒	堅	山形口縁
320	42	16	O-10	①刻目 ②口縁帯に列点文２段	②貝殻条痕	外 Hue2.5Y 灰黄7/2 内 Hue 5 Y 灰5/1	半透明粒（２㎜前後）多量 スコリア（３㎜前後）少量 黒色光沢粒少量	堅	323と同一固体?
321	42	—	O-10	①口縁帯に列点文２段以上	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙6/4 内 Hue10YR 灰黄褐5/2	半透明粒多量 軽石状のスコリア少量	やや堅緻	
322	42	—	O-10	②Ｕ字形に沈線文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/2 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	半透明粒多量 黒色光沢粒少量	堅	
323	42	16	O-10	②口縁帯に列点文 ②沈線文	②貝殻条痕（一部ナデ）	外 Hue2.5Y 灰黄7/2 内 Hue2.5Y 黄灰6/1	軽石状のスコリア多量 半透明粒少量 黒色光沢粒少量	堅	320と同一固体?
324	42	—	Q-11	①刻目 ②口縁帯に貝殻条痕後、列点文２段	②ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/4 内 Hue2.5Y 淡黄8/3	半透明粒少量 砂粒多量 黒色光沢粒	堅	
325	42	—	O-10	②口縁帯に列点文２段以上	②ナデ	外 Hue10YR 灰黄褐6/2 内 Hue10YR 灰黄褐6/2	白色粒少量 半透明粒少量 軽石状のスコリア少量 黒色光沢粒少量	堅	

No.	挿図	図版	出土地点	文様・調整		色調	胎土	焼成	備考
				外面	内面				
326	42	—	O-10	①押圧凹み ②列点文	②ナデ	外 Hue2.5Y 浅黄7/3 内 Hue N 灰 5/1	茶色粒（1～3㎜）多量 半透明粒多量	やや堅緻	
327	42	—	R-12	②列点文	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue7.5YR 橙7/6	茶色粒（2㎜前後）少量 半透明粒多量 砂粒少量	やや堅緻	
328	42	—	O-10	①押圧凹み ②列点文2段以上	②条痕	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 黄灰6/1	半透明粒（1～2㎜）多量 軽石状のスコリア少量 白色粒多量 黒色光沢粒少量	粗	
329	42	16	O-10	②列点文2段　沈線文	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙6/4 内 Hue 5 YR 橙6/6	半透明粒多量 軽石少量	堅	
330	42	—	R-12	①連続刺突 ②列点文2段　沈線文	②ナデ	外 Hue7.5YR 橙7/6 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	砂粒少量 半透明粒多量 黒色光沢粒	やや堅緻	
331	42	—	R-12	①連続刺突 ②列点文2段	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue10YR 浅黄橙8/4	半透明粒多量 軽石状のスコリア多量	堅	
332	42	—	R-11	②列点文2段　沈線文	②条痕	外 Hue 5 YR にぶい橙7/4 内 Hue 5 YR にぶい橙7/4	軽石状のスコリア少量 半透明粒多量 黒少量	やや堅緻	
333	43	—	O-10	①刻目 ②列点文2段	②ナデ	外 Hue 5 YR にぶい橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	半透明粒多量 白色粒少量 砂粒少量 黒色光沢粒少量	やや堅緻	
334	43	—	O-10	②列点文2段以上　沈線文	②ナデ	外 Hue10YR 灰黄褐6/2 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	半透明粒多量 黒色光沢粒	やや堅	
335	43	17	O-10	①条痕 ②頂部面に横位の押圧文・縦長の列点文・沈線文	②貝殻条痕	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue7.5YR にぶい橙7/3	茶色粒多量 砂粒多量	堅緻	山形口縁
336	43	—	O-10	②列点文	②貝殻条痕	外 Hue 5 YR 橙6/6 内 Hue 5 YR 橙6/6	半透明粒（1～3㎜）多量 黒色光沢粒少量 透明粒	堅	
337	43	16	R-11	①刻目 ②縦長の列点文 沈線文 ③貝殻条痕	②・③貝殻条痕	外 Hue2.5Y 浅黄7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/2	半透明粒少量 黒色光沢粒多量	堅緻	338と同一固体
338	43	—	R-11	①刻目 ②縦長の列点文 沈線文	②貝殻条痕	外 Hue2.5Y 浅黄7/3 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	半透明粒多量 茶色粒少量 黒色光沢粒	堅緻	337と同一固体
339	43	—	R-12	②縦長の列点文 沈線文	②ナデ	外 Hue 5 YR にぶい橙7/4 内 Hue7.5YR にぶい橙7/4	半透明粒多量 砂粒少量 黒色光沢粒少量	やや堅緻	
340	43	—	O-10	①刻目 ②縦長の列点文	②条痕	外Hue7.5YR にぶい褐6/3 内 Hue10YR にぶい黄橙6/3	白色粒少量 半透明粒多量	やや堅緻	
341	43	—	O-10	①連続刺突 ②列点文 沈線文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue10YR 浅黄橙8/4	半透明粒多量 黒色光沢粒少量	やや堅緻	
342	43	—	O-10	①刺突 ②縦長の列点文 沈線文	②ナデ	外 Hue 5 YR 淡橙8/4 内 Hue7.5YR にぶい黄橙7/4	半透明粒少量 白色粒少量 黒色光沢粒少量	堅	
343	43	17	R-11	①貝殻連続刺突 ②列点文 沈線文	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい褐6/3 内 Hue7.5YR にぶい褐6/3	黒色光沢粒少量 透明光沢粒 白色粒	堅緻	
344	43	17	R-11	①連続押圧文 ②竹管文 沈線文	②条痕	外 Hue7.5YR 橙7/6 内 Hue7.5YR にぶい橙7/4	半透明粒多量 軽石状のスコリア少量 透明光沢粒 黒色光沢粒少量	堅緻	

345	43	17	T-16	②横位の列点文 沈線文	②ナデ	外 Hue7.5YR 浅黄橙8/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	半透明粒多量 砂粒多量 黒色光沢粒多量	堅	山形口縁
346	43	17	R-11	①連続刺突 ②貝殻連続刺突文 沈線文	②貝殻条痕	外 Hue 5 YR 橙6/6 内 Hue 5 YR にぶい橙6/4	透明光沢粒多量 白色粒 黒色光沢粒 半透明粒	堅緻	
347	43	17	O-10	②貝殻連続刺突文 沈線文	②貝殻条痕	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	半透明粒多量 赤色粒少量 黒色光沢粒少量	やや堅緻	
348	43	—	V-16	①刻目 ②貝殻連続刺突文 沈線文	②貝殻条痕	外 Hue7.5YR にぶい橙7/3 内 Hue7.5YR にぶい黄橙7/4	茶色粒（1～3㎜）多量 半透明粒多量 黒色粒	やや堅緻	
349	43	—	O-10	①刻目 ②列点文	②条痕	外 Hue10YR 浅黄橙8/3 内 Hue10YR にぶい橙7/4	軽石状のスコリア多量 半透明粒多量 黒色粒	やや堅	
350	43	—	O-10	②列点文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/2	白色粒少量 半透明粒少量 軽石状のスコリア少量	やや堅	
351	45	—	O-10	①刻目 ②縦長の列点文 ③沈線文間に縦長の列点文	②ナデ	外 Hue2.5Y 浅黄7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	軽石状のスコリア 半透明粒多量 茶色粒少量	堅	
352	45	17	O-10	②横位の列点文２段 刻目突帯（押圧）	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/4	半透明粒多量 透明粒光沢粒多量 黒色粒	堅緻	
353	45	17	O-10	②縦長の列点文 刻目突帯（押圧）	②ナデ	外 Hue2.5Y 灰黄6/2 内 Hue2.5Y 灰黄6/2	半透明粒多量 白色粒多量 黒色光沢粒	やや堅緻	山形口縁？
354	45	17	R-11	②短い貝殻連続刺突文 凹線の凹み 貝殻連続刺突文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	半透明粒（2㎜前後）少量 茶色粒（2㎜前後）微量 黒色光沢粒少量	堅	
355	45	17	R-12	②短い貝殻連続刺突文 凹線状の凹み	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	茶色粒少量 半透明粒多量 白色粒少量	やや堅	
356	45	18	O-10	②沈線下に貝殻連続刺突文	②ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/4 内 Hue2.5Y にぶい黄6/3	半透明粒多量 茶色粒少量 黒色粒	やや堅緻	山形口縁
357	45	17	R-14	②沈線間に貝殻連続刺突文	②貝殻条痕	外 Hue 5 YR にぶい橙7/4 内 Hue 5 YR にぶい橙6/4	白色粒 黒色光沢粒 半透明粒 透明粒（極小）	堅緻	
358	45	18	O-10	①連続押圧 ②沈線間に貝殻連続刺突文	②貝殻条痕	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue7.5YR にぶい橙7/4	軽石状のスコリア多量 半透明粒多量 茶色粒少量	やや堅緻	359・360と同一固体？
359	45	18	O-11	①連続押圧 ②沈線間に貝殻連続刺突文	②ナデ	外 Hue7.5YR 浅黄橙8/4 内 Hue7.5YR にぶい橙7/4	茶色粒（2㎜以上）多量 半透明粒（2㎜前後） 白色粒（2㎜前後）少量 黒色光沢粒	やや堅緻	357・358と同一固体？
360	45	—	O-11	①連続押圧 ②沈線間に貝殻連続刺突文	②貝殻条痕	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue7.5YR にぶい橙7/4	半透明粒（1～2㎜）多量 茶色粒（1～2㎜）少量 軽石状のスコリア （1～2㎜）少量 黒色光沢粒少量	やや堅緻	358・359と同一固体？
361	45	18	O-10	①刻目 ②口縁帯下に貝殻刺突文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue 5 YR にぶい橙7/4	半透明粒少量 茶色粒多量 砂粒多量 黒色光沢粒多量	やや堅緻	
362	45	18	R-11	②沈線文間に貝殻連続刺突	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue7.5YR にぶい橙7/4	半透明粒少量 砂粒少量 黒色光沢粒	やや堅緻	
363	47	—	V-16	①条痕 ②沈線文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	半透明粒 砂粒少量 黒色光沢粒	堅緻	
364	47	—	O-10	①条痕 ②沈線文	②ナデ	外 Hue2.5Y 灰黄7/2 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	半透明粒（2㎜前後）少量 砂粒多量 黒色光沢粒	堅緻	

No.	挿図	図版	出土地点	文様・調整		色調	胎土	焼成	備考
				外面	内面				
365	47	17	O-10	②沈線文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	半透明粒（1～2㎜）多量 軽石状のスコリア多量 黒色光沢粒少量	堅緻	
366	47	—	O-10	②沈線文	②貝殻条痕	外 Hue2.5Y 黄灰6/1 内 Hue2.5Y 黄灰6/1	白色粒多量 半透明粒少量 軽石状のスコリア少量	堅	
367	47	—	O-11	②沈線文	②ナデ	外 Hue2.5Y 灰色8/2 内 Hue2.5Y 灰色7/1	黒色光沢粒多量 半透明粒多量	やや堅	
368	47	17	O-10	①押圧凹み ②沈線文	②貝殻条痕	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue 5 Y 灰5/1	茶色粒 半透明粒（1～2㎜）多量 軽石状のスコリア少量 黒色光沢粒	やや堅緻	
369	47	—	O-10	②沈線文	②ナデ	外 Hue2.5Y 灰黄6/2 内 Hue2.5Y 黄灰6/1	茶色粒 半透明粒多量 白色粒 透明光沢粒 黒色粒	やや堅緻	
370	47	—	U-16	②沈線文	②ナデ	外 Hue2.5Y 浅黄7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	白色粒（1～3㎜）多量 砂粒少量 黒色光沢粒	堅	
371	47	17	R-11	②沈線文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/4	半透明粒（2㎜前後）多量 砂粒 黒色光沢粒	堅	
372	47	—	O-10	②沈線文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙6/3 内 Hue10YR にぶい黄橙6/3	半透明粒多量 白色粒少量 軽石状のスコリア少量 黒色光沢粒	堅緻	
373	47	18	V-16	②磨消縄文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙6/4 内 Hue10YR にぶい黄橙6/4	半透明粒（2㎜前後） 軽石状のスコリア多量 白色粒 黒色光沢粒	やや堅緻	
374	47	18	T-16	②磨消縄文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙6/3 内 Hue10YR にぶい黄橙6/4	半透明粒（2㎜前後）多量 軽石状のスコリア多量 白色粒 黒色光沢粒	堅	
375	47	18	O-11	②磨消縄文	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙6/4	灰色石（5㎜大）少量 白色粒少量	堅緻	
376	47	18	O-10	③磨消縄文 竹管文	②ていないなナデ	外 Hue7.5YR にぶい褐6/3 内 Hue7.5YR にぶい褐6/3	灰色粒（1～2㎜） 灰褐色粒（8㎜前後） 暗赤褐色粒 雲母極少量	堅緻	
377	47	18	O-10	①刻目 ②刻目突帯	②貝殻条痕	外 Hue 5 YR にぶい橙7/4 内 Hue2.5Y 淡黄8/3	砂粒少量 半透明粒少量 茶色粒少量 黒色光沢粒多量	堅	378と同一固体? 山形口縁
378	47	—	O-10	①刻目 ②刻目突帯	②貝殻条痕	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue2.5Y 淡黄8/3	黒色光沢粒 半透明粒	堅	377と同一固体?
379	47	—	V-17	①刻目と押圧凹み ②突帯貼付痕	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	半透明粒多量 茶色粒少量 黒色光沢粒	堅	
380	47	—	O-10	①刻目 ②貝殻条痕	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/4	半透明粒（1～2㎜）多量 黒色光沢粒 白色粒	堅	
381	47	—	U-16	①条痕 ②貝殻条痕	②貝殻条痕	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/2	半透明粒多量 茶色粒少量 黒色光沢粒少量	堅	
382	47	—	T-16	②貝殻条痕	②貝殻条痕	外 Hue10YR にぶい黄橙7/2 内 Hue2.5Y 灰7/1	半透明粒多量 茶色粒多量 軽石状のスコリア多量 黒色光沢粒	やや堅緻	
383	47	—	O-10	②貝殻条痕	②貝殻条痕	外 Hue10YR にぶい黄橙7/2 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	砂粒少量 半透明粒少量 茶色粒 黒色光沢粒	堅緻	

384	49	—	U-17	②貝殻条痕	②貝殻条痕	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue2.5Y 灰黄6/2	半透明粒多量 軽石状のスコリア多量 透明光沢粒 黒色光沢粒	やや堅緻	
385	49	—	U-16	②貝殻条痕	②ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 淡黄8/3	茶色粒多量 半透明粒多量 軽石状のスコリア多量 黒色光沢粒	堅	
386	49	—	O-10	②貝殻条痕	②貝殻条痕	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 淡黄8/4	半透明粒多量 砂粒少量 黒色光沢粒少量	堅	
387	49	—	O-10	①連続押圧 ②貝殻条痕	②条痕	外 Hue2.5Y 浅黄7/3 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	半透明粒少量 白色粒少量 黒色光沢粒少量	やや堅緻	山形口縁
388	49	—	T-16	②貝殻条痕	②貝殻条痕	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/2	砂粒多量 半透明粒多量 黒色光沢粒	やや堅緻	
389	49	—	R-12	②条痕	②貝殻条痕	外 Hue10YR にぶい黄橙7/2 内 Hue2.5Y 灰黄6/2	半透明粒多量 砂粒多量 黒色光沢粒多量	やや堅緻	
390	49	—	U-16	②貝殻条痕	②貝殻条痕	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 浅黄7/3	軽石状のスコリア多量 半透明粒少量 白色粒少量 黒色光沢粒多量	やや堅緻	
391	49	—	U-16	②貝殻条痕？	② 貝殻条痕？ 成形痕	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	半透明粒多量 黒色光沢粒少量	堅	
392	49	—	O-10	②貝殻条痕	②ナデ	外 Hue 5 Y 灰5/1 内 Hue 5 Y 灰5/1	半透明粒多量 白色粒少量 黒色光沢粒少量	やや堅	山形口縁
393	49	18	O-10	①押圧凹み ②貝殻条痕	②ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/4 内 Hue2.5Y 淡黄8/4	軽石状のスコリア少量 半透明粒多量 黒色光沢粒	堅	
394	49	18	T-16	①押圧凹み ②貝殻条痕	②貝殻条痕	外 Hue2.5Y 灰黄7/2 内 Hue2.5Y 黄灰6/1	白色粒（1～2㎜）少量 半透明粒（1～2㎜）多量 黒色光沢粒少量	堅	
395	49	—	P-11	②ナデ	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/4	半透明粒 黒色光沢粒	やや堅緻	
396	49	—	P-11	②ナデ	②条痕	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/4	半透明粒 透明光沢粒 黒色光沢粒 白色粒	やや堅緻	
397	49	—	V-16	②ナデ	②ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 黄灰6/1	白色粒少量 半透明粒少量 砂粒少量 軽石状のスコリア多量 黒色光沢粒	堅	
398	49	—	T-16	②ナデ	②貝殻条痕	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	砂粒多量 半透明粒多量 軽石状のスコリア少量 黒色粒	堅	
399	49	—	U-16	②ナデ	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/2	半透明粒少量 軽石状のスコリア少量 黒色粒	やや堅緻	
400	49	—	T-16	②ナデ	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/4	白色粒少量 半透明粒多量 砂粒少量	やや堅	
401	49	—	Q-11	②ナデ	②ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue 5 Y 灰色8/2	軽石状のスコリア 半透明粒 砂粒 黒色光沢粒	堅	
402	49	—	V-16	①押圧凹み ②ナデ	②ナデ 断面三角突帯	外 Hue7.5YR にぶい褐6/3 内 Hue 5 YR にぶい橙6/4	白色粒多量 黒色粒少量	やや堅緻	
403	49	—	O-10	③ナデ	③ナデ	外 Hue2.5Y 浅黄7/3 内 Hue2.5Y 浅黄7/3	半透明粒少量 軽石状のスコリア多量 黒色光沢粒	やや堅緻	

No.	挿図	図版	出土地点	文様・調整		色調	胎土	焼成	備考
				外面	内面				
404	49	—	O-10	③ナデ	③ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/4 内 Hue2.5Y 淡黄8/4	半透明粒多量 軽石状のスコリア少量 黒色粒	堅	
405	51	—	Q-11	③沈線文	③ナデ	外 Hue 5 YR にぶい橙7/4 内 Hue7.5YR にぶい橙6/4	半透明粒（2㎜前後）多量 白色粒少量 透明光沢粒 黒色光沢粒少量	堅	
406	51	—	O-10	③沈線文	③ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 淡黄8/4	砂粒多量 半透明粒多量 軽石状のスコリア少量 黒色光沢粒多量	やや堅緻	312・408と同一固体？
407	51	—	O-11	③沈線文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙6/4 内 Hue7.5YR にぶい橙6/4	半透明粒 茶色粒多量 黒色光沢粒	やや堅緻	
408	51	18	O-10	③条痕（一部ナデ）沈線文	③貝殻条痕	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 淡黄8/3	砂粒多量 半透明粒少量 黒色光沢粒多量	堅	312・406と同一固体？
409	51	—	O-11	③沈線文	③貝殻条痕	外 Hue10YR 浅黄橙8/3 内 Hue10YR 浅黄橙8/4	茶色粒（1～2㎜）多量 半透明粒（1～2㎜）多量 黒色光沢粒多量	やや堅緻	
410	51	—	P-11	③沈線文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/4	砂粒多量 半透明粒多量 黒色光沢粒多量	やや堅緻	
411	51	—	Q-13	③沈線文	③貝殻条痕	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue7.5YR にぶい橙7/3	砂粒少量 半透明粒少量 黒色光沢粒少量	堅緻	
412	51	—	O-10	③沈線文	③貝殻条痕	外 Hue7.5YR にぶい橙6/4 内 Hue7.5YR にぶい橙7/3	半透明粒多量 黒色光沢粒少量	堅緻	
413	51	—	Q-11	③沈線文	③貝殻条痕	外 Hue2.5Y 黄灰6/1 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	砂粒多量 半透明粒（1～2㎜）多量 軽石状のスコリア多量	やや堅緻	
414	51	—	P-10	③沈線文	③ナデ	外 Hue7.5Y 灰4/1 内 Hue10Y 灰4/1	半透明粒（1～2㎜）多量 白色粒（1～2㎜）多量 黒色粒少量	堅	
415	51	—	R-14	③沈線文	③ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	白色粒少量 半透明粒多量 黒色光沢粒少量	やや堅	
416	51	—	U-17	③沈線文	③貝殻条痕	外 Hue2.5Y 淡黄8/4 内 Hue2.5Y 灰色8/2	半透明粒多量 砂粒少量 黒色粒	やや堅	
417	51	—	O-10	③沈線文	③ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	半透明粒多量 軽石状のスコリア多量 黒色光沢粒少量	やや堅	
418	51	—	O-10	③沈線文	③貝殻条痕	外 Hue2.5Y 浅黄7/4 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	半透明粒多量 黒色光沢粒	やや堅	
419	51	—	P-11	③沈線文	③貝殻条痕	外 Hue 5 Y 淡黄8/3 内 Hue 5 Y 灰6/1	半透明粒多量 軽石状のスコリア多量 黒色光沢粒	やや堅緻	
420	51	—	Q-11	③沈線文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙6/4 内 Hue7.5YR にぶい橙7/4	半透明粒多量 茶色粒多量 砂粒多量 白色粒多量 黒色光沢粒	堅	
421	51	—	R-12	③沈線文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい褐6/3 内 Hue10YR にぶい黄橙6/3	軽石状のスコリア多量 半透明粒（1～2㎜）多量 黒色光沢粒少量	堅緻	
422	52	—	O-10	③沈線文	③ナデ	外 Hue 5 YR にぶい橙6/4 内 Hue 5 YR にぶい橙6/3	砂粒少量 半透明粒多量 軽石状のスコリア多量 黒色光沢粒少量	堅緻	

423	52	—	O-10	③沈線文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい褐5/3 内 Hue10YR 灰黄褐6/2	半透明粒多量 黒色光沢粒	やや堅緻	
424	52	—	O-10	③沈線文	③ナデ	外 Hue2.5Y 灰黄7/2 内 Hue2.5Y 黄灰6/1	半透明粒少量 白色粒（多量） 黒色光沢粒少量	やや堅緻	
425	52	—	O-10	③沈線文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/2	砂粒多量 半透明粒多量 雲母少量 黒色光沢粒	堅	
426	52	18	P-11	③沈線文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/3 内 Hue7.5YR にぶい橙7/3	半透明粒多量 黒色粒	やや堅緻	
427	52	—	P-11	③沈線文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/3 内 Hue7.5YR にぶい橙7/3	半透明粒多量	堅緻	
428	52	—	U-17	③貝殻条痕後沈線文	③ナデ	外 Hue2.5Y 黄灰6/1 内 Hue 5 Y 灰5/1	半透明粒多量 黒色光沢粒多量	やや堅	
429	52	—	U-17	③２本平行沈線文	③ナデ	外 Hue2.5Y 灰黄6/2 内 Hue2.5Y 黄灰5/1	軽石状のスコリア多量 白色粒少量 半透明粒少量 黒色光沢粒	やや堅	
430	52	18	T-16	③貝殻条痕後・２本平行沈線文	③ナデ	外 Hue2.5Y 灰色7/1 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	赤色粒（１～３㎜）少量 砂粒多量 半透明粒少量 黒色光沢粒	やや堅	
431	52	—	P-10	③沈線文	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue2.5Y 浅黄7/3	半透明粒 黒色光沢粒 黒褐色粒（４㎜前後）１ケ 乳白色粒（３㎜前後）極少量	やや堅緻	
432	52	—	O-10	③沈線文	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	半透明粒多量 軽石状のスコリア多量 黒色光沢粒多量	堅緻	
433	52	—	U-17	③貝殻条痕	③貝殻条痕	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	茶色粒多量 半透明粒多量 砂粒多量 軽石状のスコリア多量 黒色粒	堅	
434	52	—	T-16	③貝殻条痕	③貝殻条痕	外 Hue7.5YR にぶい橙7/3 内 Hue7.5YR にぶい橙6/4	半透明粒多量 軽石状のスコリア多量 茶褐色粒 黒色光沢粒 白色粒	堅	穿孔あり
435	52	—	U-17	③条痕	③貝殻条痕	外 Hue7.5YR 橙6/6 内 Hue10YR にぶい黄橙6/4	半透明粒多量 白色粒少量 砂粒少量 黒色光沢粒	やや堅緻	
436	52	—	O-10	④ナデ	④ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 浅黄7/4	茶色粒 透明光沢粒 半透明粒 黒色光沢粒	堅	
437	52	—	R-11 R-12	④ナデ	④ナデ	外 Hue10YR 浅黄橙8/4 内 Hue10YR 浅黄橙8/4	黒色光沢粒 乳白色粒 半透明粒	やや堅	
438	52	—	R-12	④ナデ	④ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	半透明粒 乳白色粒 黒色光沢粒	やや堅	
439	52	—	O-10	④ナデ	④ナデ	外 Hue2.5Y 浅黄7/4 内 Hue2.5Y 浅黄7/4	白色粒 黒色光沢粒少量 砂粒多量	粗	
440	52	—	T-16	④ナデ	④ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/4 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	赤褐色粒（１～３㎜） 半透明粒多量 黒色光沢粒	粗	
441	52	—	Q-11	④ナデ	④ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue2.5Y 灰黄6/2	黒色光沢粒 半透明粒多量 乳白色粒	堅	
442	53	—	V-16	④側面に条痕	④ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/4 内 Hue2.5Y 灰色8/2	黒色光沢粒 茶褐色粒 白色粒少量	堅	

No.	挿図	図版	出土地点	文様・調整		色調	胎土	焼成	備考
				外面	内面				
443	53	—	O-10	④ナデ	④ナデ	外 Hue2.5Y 浅黄7/3 内 Hue2.5Y 黄灰6/1	黒色光沢粒 黒色粒 砂粒多量	堅	
444	53	—	U-16	④ナデ	④ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/4 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	半透明粒 透明粒 白色粒多量 茶色粒（1～3㎜）	やや堅	
445	53	—	O-10	④ナデ	④貝殻条痕	外 Hue2.5Y 淡黄8/4 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	黒色光沢粒 半透明粒	堅	
446	53	—	N-10	④ナデ	④貝殻条痕	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	茶色粒（1～3㎜） 黒色光沢粒 半透明粒 透明光沢粒	堅	
447	53	—	R-12	④側面は貝殻条痕	④貝殻条痕	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	黒色光沢粒 半透明粒	やや堅	
448	53	—	O-10	④側面は貝殻条痕	④貝殻条痕	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 灰色7/1	黒色光沢粒 透明光沢粒 白色粒多量 茶褐色粒	やや堅	
449	53	—	R-11	④網代痕	④ナデ	外 Hue10YR 浅黄橙8/4 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	黒色光沢粒多量 白色粒多量 茶褐色粒 半透明粒	堅	
450	53	—	O-10	④網代痕	④条痕	外 Hue2.5Y 浅黄7/3 内 Hue2.5Y 浅黄7/3	黒色光沢粒多量 茶褐色 透明粒微量	やや堅	
451	53	—	O-10	④網代痕 側面は貝殻条痕	④貝殻条痕	外 Hue2.5Y 黄灰6/1 内 Hue2.5Y 黄灰6/1	半透明粒 白色粒	粗	
452	53	—	V-16	④側面は貝殻条痕	④ナデ	外 Hue2.5Y 浅黄7/3 内 Hue2.5Y 灰黄6/2	半透明粒 白色粒 黒色光沢粒 乳白色粒	堅	
453	53	—	T-16	④貝殻条痕	④ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/4 内 Hue2.5Y 淡黄8/3	白色粒多量 灰褐色粒	やや堅	
454	53	—	U-17	④ナデ	④ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/4 内 Hue 5 Y 灰6/1	乳白色粒多量 黒色光沢粒 透明粒 茶褐色粒	堅	
455	53	—	U-17	④ナデ	④ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/2	茶褐色粒（1～3㎜）微量 黒色粒 黒色光沢粒 半透明粒多量 乳白色粒多量	やや堅	

ある。

3類（376）幾何学文様状に沈線を施し、沈線間に縄文がみられるもの。

Ⅵ類土器（349・361）

口縁部下に文様を施す。口縁部の上半分は無文帯とし、下半分から文様を施すものである。

1類（349）列点文を施すもの。

2類（361）貝殻刺突文を施すもの。

Ⅶ類土器（377・378）

口唇部に貝殻による刻目状の連続刺突を施し、口縁部に突帯文を施す。突帯は貝殻により連続刺突される。377は、口縁頂部に縦の粘土帯と口縁部に横の粘土帯を貼りつけ連続刻みを施す。379は突帯が剥離したものと思われる。口唇部は頂部に大きな刻目を入れている。

Ⅷ類土器（380～402）

無文系のもの

1類（380～394）貝殻による調整条痕を残すもの。380は口唇部には斜方向の刻目を、381は公園に平行する条痕を施している。387は口唇部に貝殻による連続刺突を、394は大きな刻目を2つ並べて施す。

2類（395～401）ナデ調整のもの。

3類（402）ナデ調整で口縁部内側に断面三角状の突帯を貼りつけるもの。口唇部は大きな刻目を2つ並べて施文する。

Ⅸ類土器（403～435）

胴部片をまとめた。胴部に沈線文を施すものと無文系のものに分けられる。

1類（405～412）やや幅広の沈線を施すもの。405・407は311の胴部ではないかと思われる。

2類（413～428・431・432）細目の沈線を施すもの。沈線が直線的となる。428は沈線を粗雑に施文する。

3類（429・430）細い平行沈線を施す。430は不規則な曲線文様を描く。

4類（433～435）条痕調整だけのものである。胴部片だけで数千点の数量を数える。

5類（403・404）ナデ調整のもの。

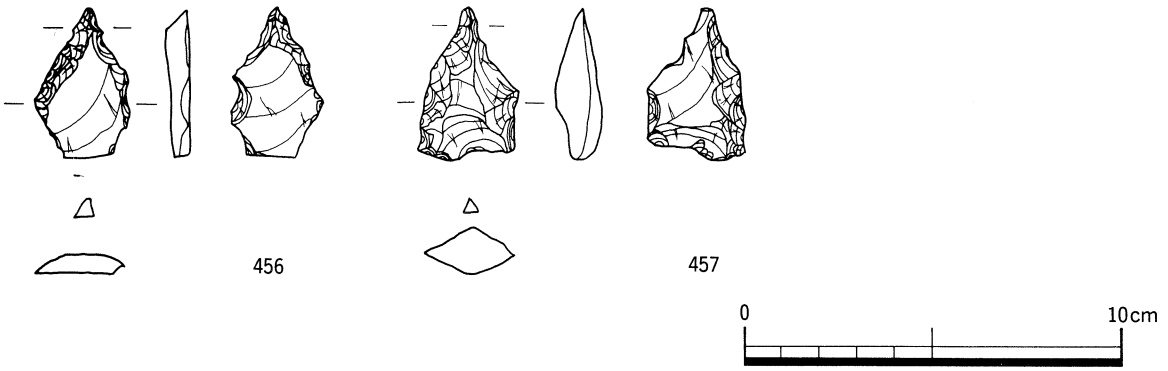
Ⅹ類土器

その他とした。また、底部もここにいれた。452・453は上げ底となり貝殻条痕を施す。他はすべて平底である。449～451は網代痕を残す。

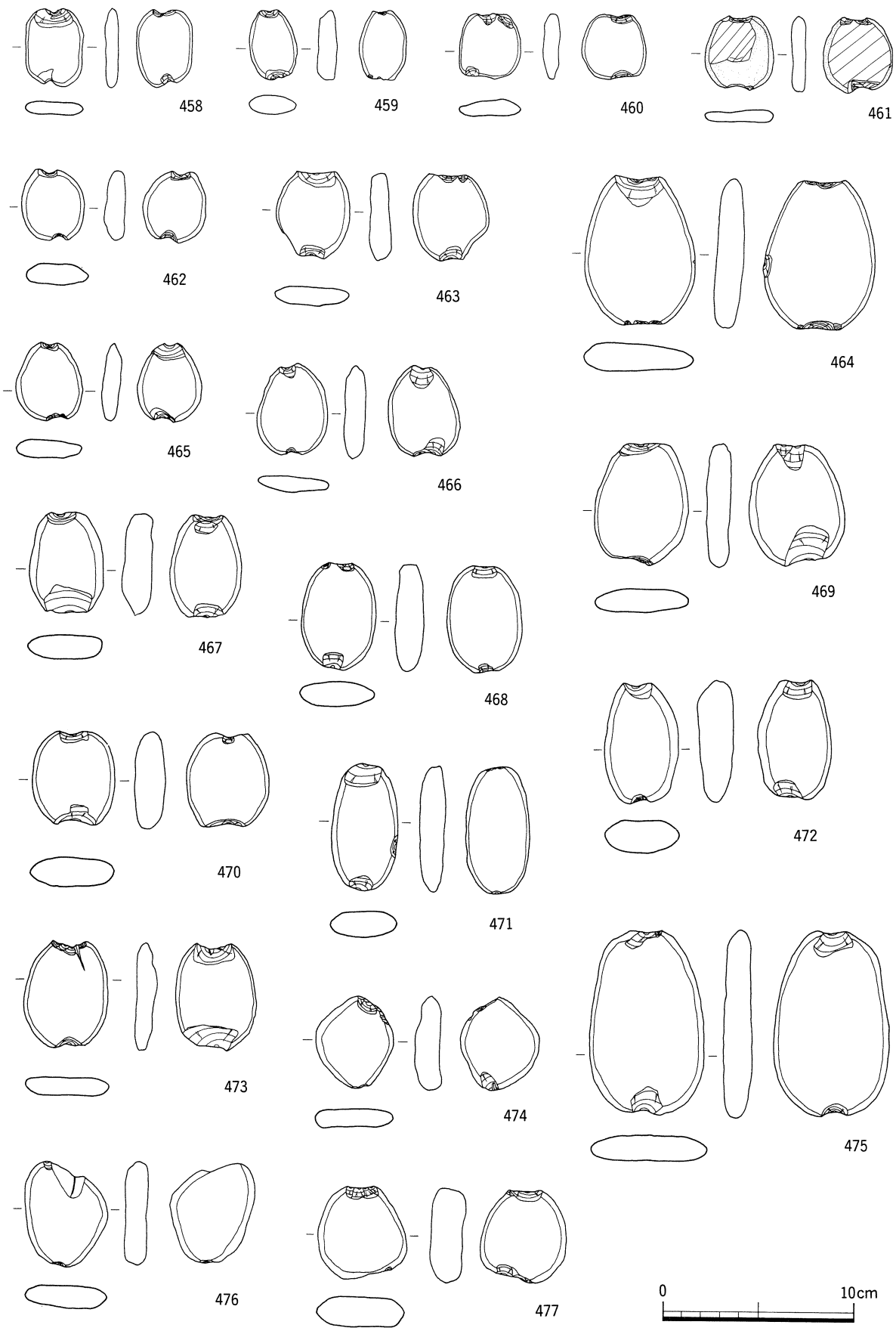
b石器

石器は、66点出土した。分布状況をみると、土器の分布状況とは反対に、S16グリットより南側に集中している。O10グリット周辺では、スクレイパー、石斧、磨石が出土している。石錘は全域に分布しているが、RグリットやT・Uグリットに集中している。石材では、石錘に砂岩を、剥片石器類は流紋岩、頁岩、黒曜石を多用している。黒曜石を産地別にみると桑ノ木津留や出水産のものがほとんどを占める。

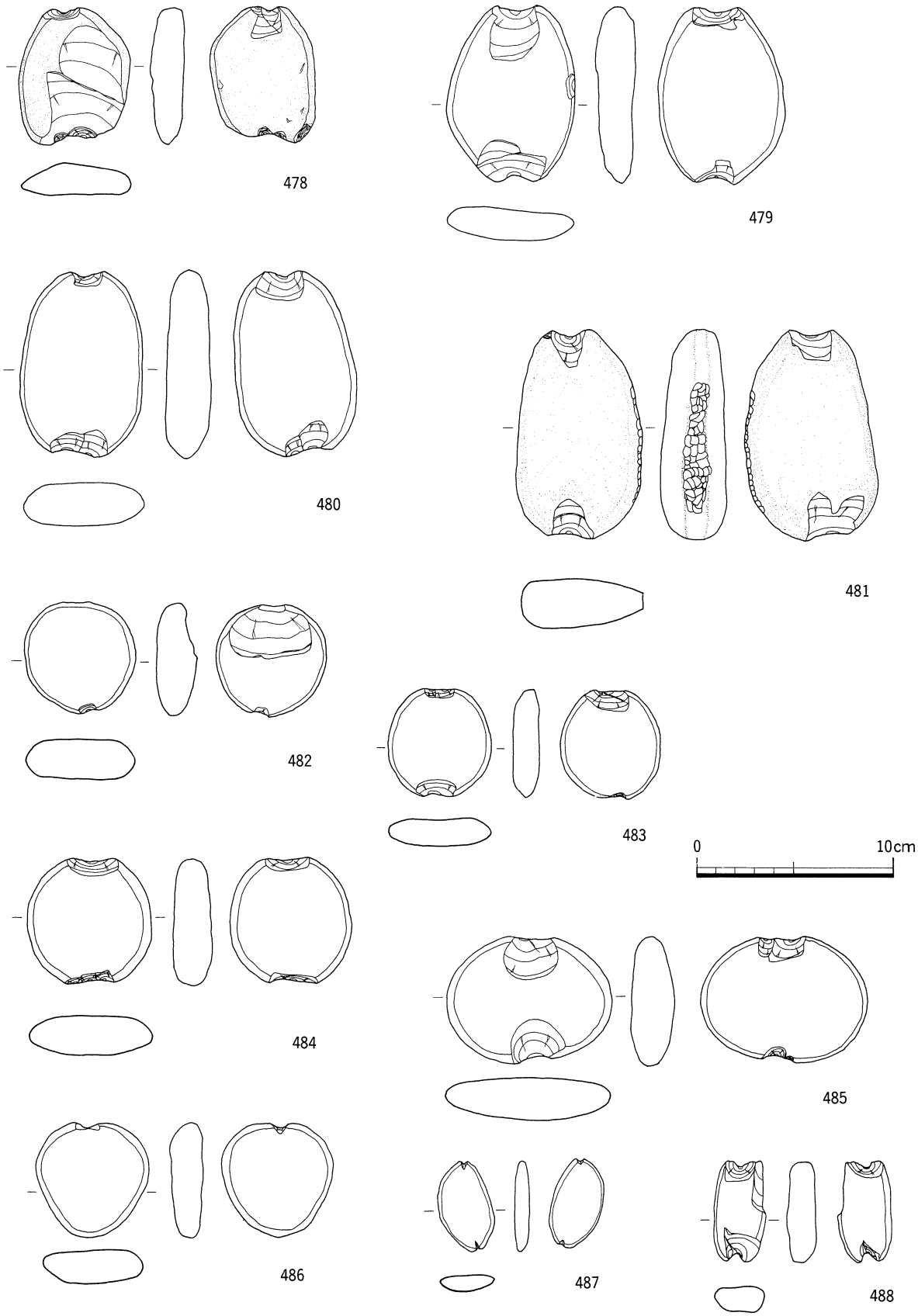
石錐（456・457）



第54図　A地区第Ⅱ層石器実測図(1)



第55図　A地区第Ⅱ層石器実測図(2)

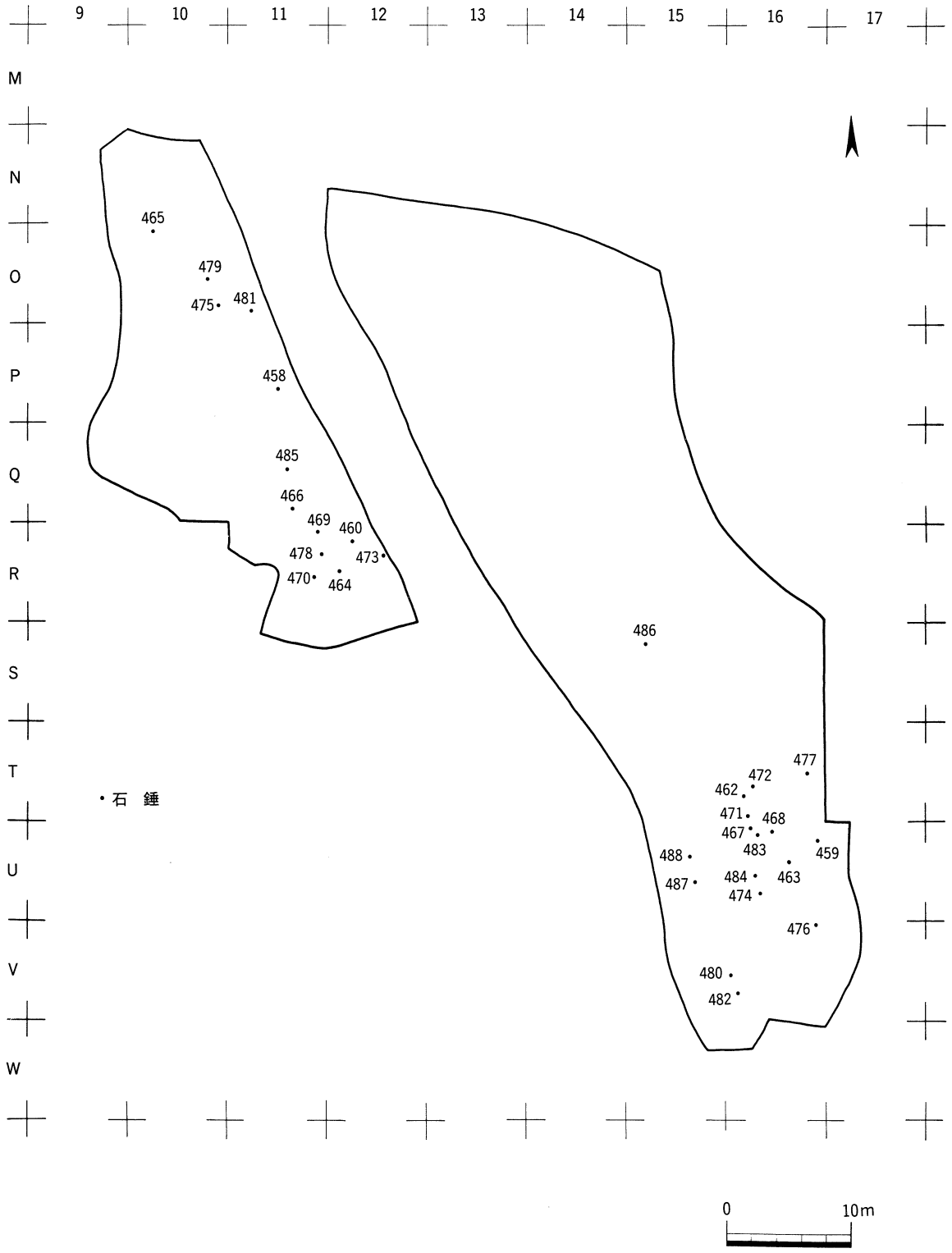


第56図　A地区第Ⅱ層石器実測図(3)

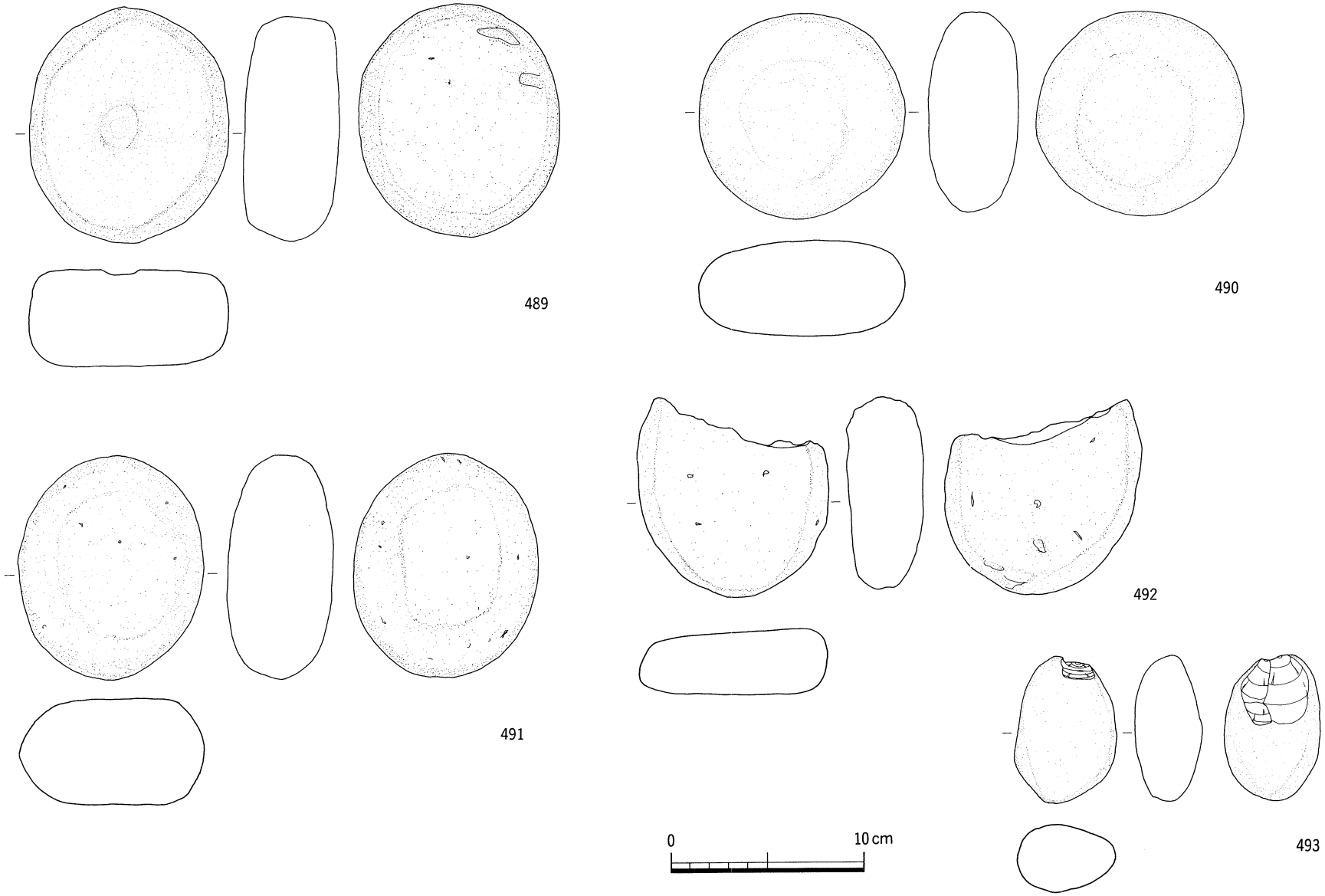
両方ともU16グリットで出土した。石材は流紋岩を使用し、457は456と比較すると最大厚で重量が2倍ある。

石錘（458～488）

石錘は全部で31点出土した。長楕円形状で長軸方向を打ち欠いたもの（459～481）、やや円盤形で相対す



第57図　A地区第Ⅱ層石器分布図(1)

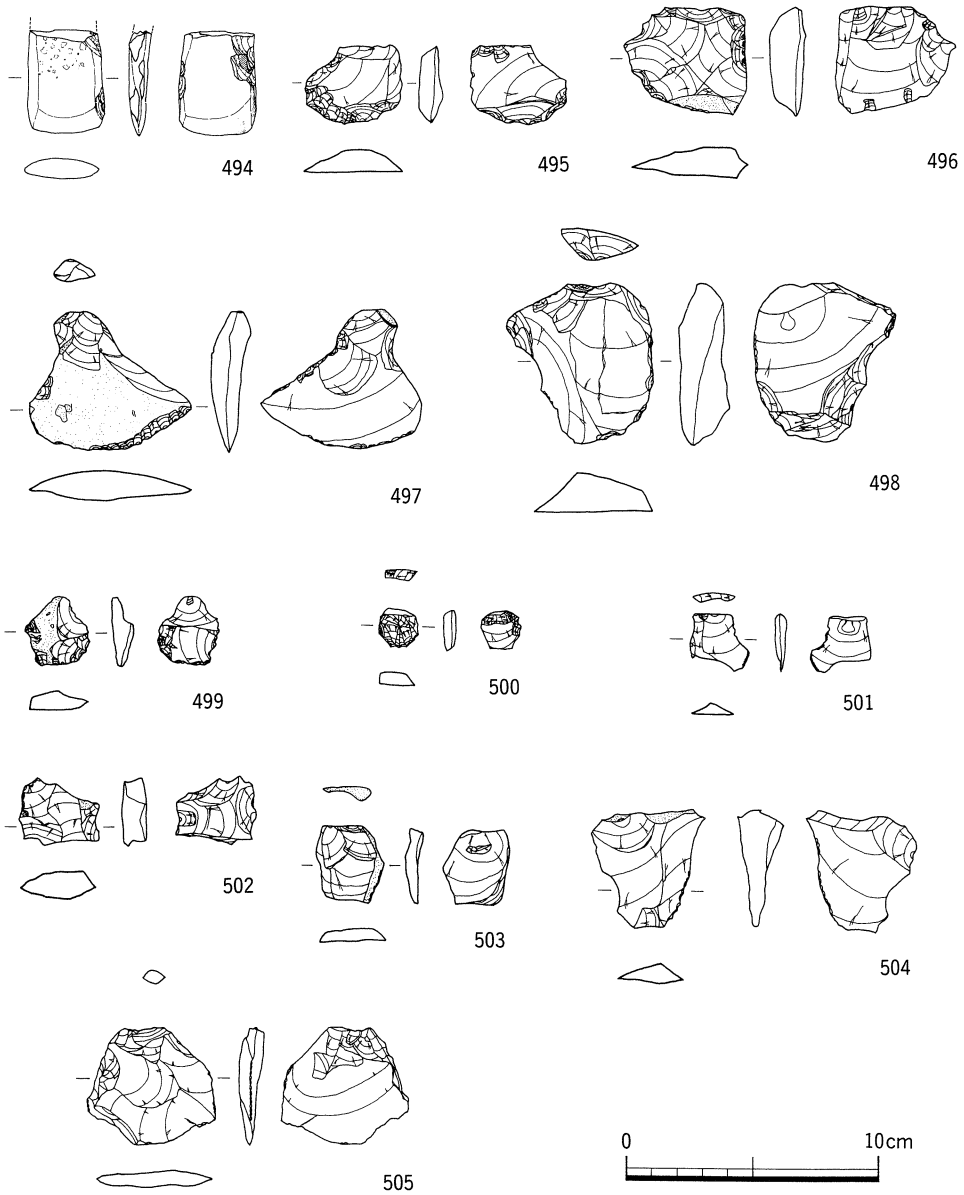


第58図　A地区第Ⅱ層石器実測図(4)

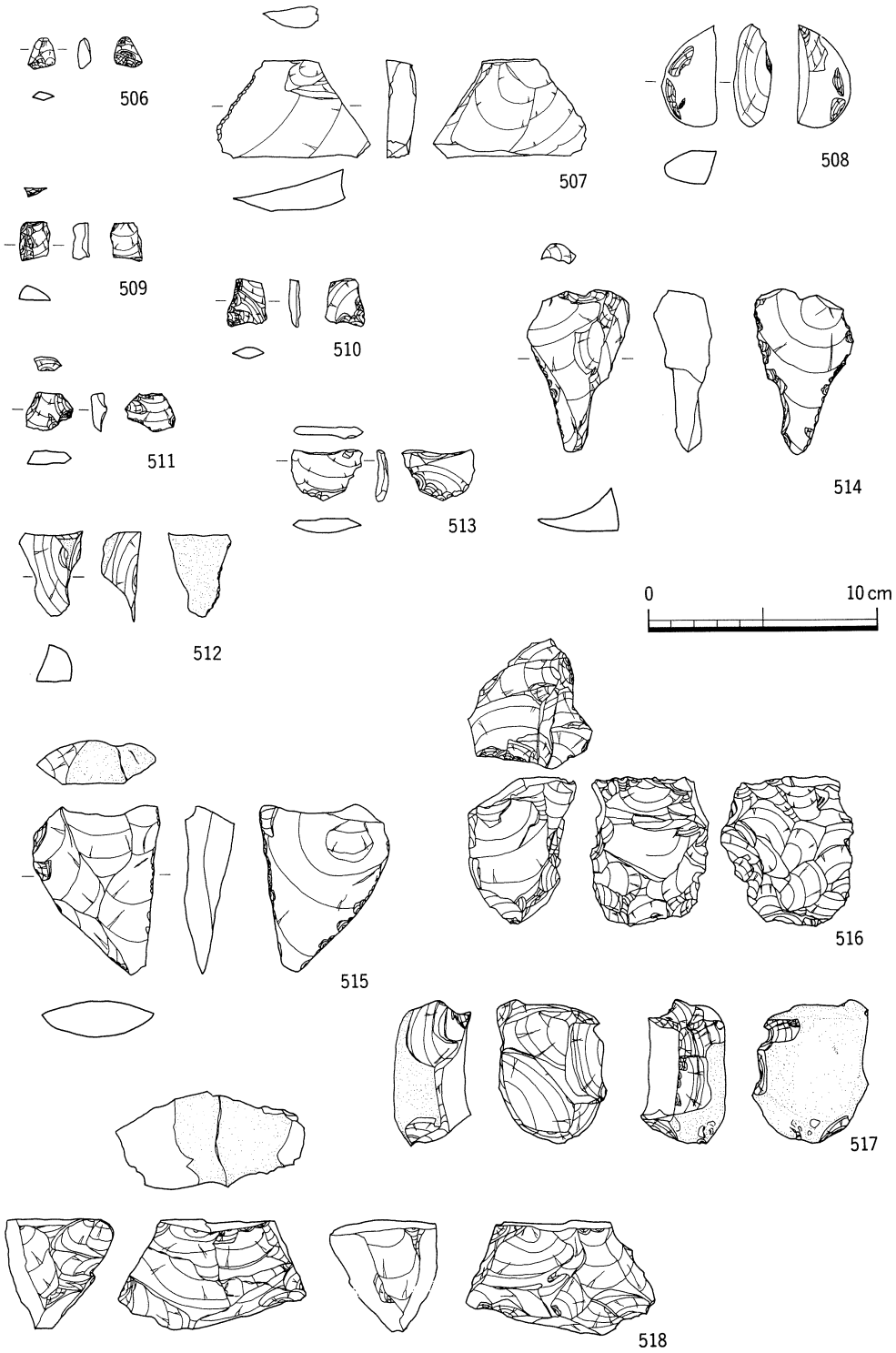
る部分を打ち欠くもの（482～484）長楕円形状で短軸方向を打ち欠くもの（485）、形状は様々であるが長軸方向に切り目を入れるもの（486～488）がある。重量は器形には関係なく、10ｇから重たいもので300ｇを越える。切り目石錘は11ｇ～67ｇを示す。石材は砂岩が圧倒的で流紋岩や頁岩も使用される。481は敲打痕のようなものがみられる。

凹石・磨石・敲石（489～493）

489は中央を小さく凹ませる。側面全体には磨った痕跡がある。490～492は磨石である。石材は尾鈴山酸性岩類や安山岩が使用されている。



第59図　A地区第Ⅱ層石器実測図(5)



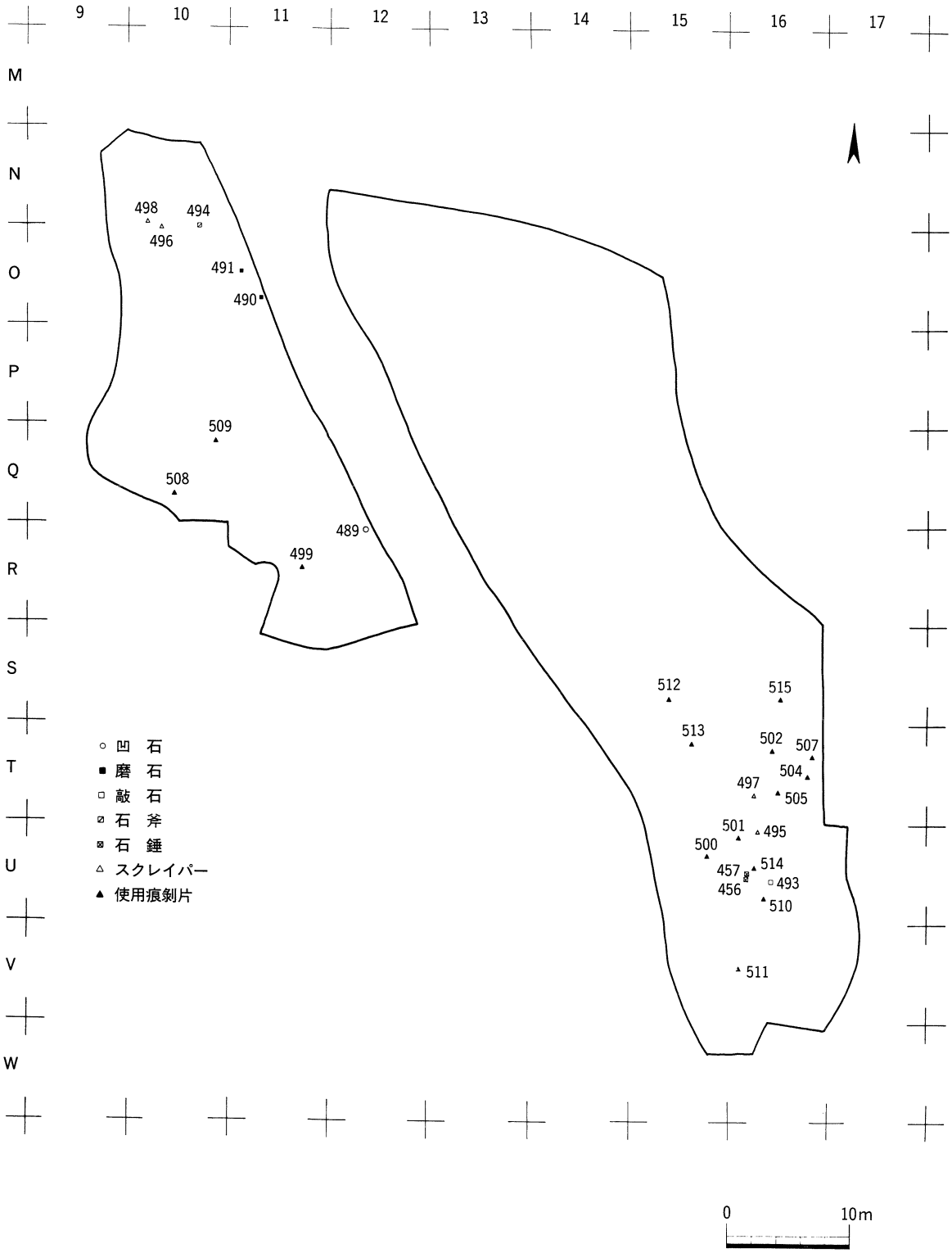
第60図　A地区第Ⅱ層石器実測図(6)

石斧（494）

欠損しており刃部のみである。

スクレイパー（495～498）

497は自然面を残した面に細かい調整を行なっている。



第61図　A地区第Ⅱ層石器分布図(2)

表—7　A地区第Ⅱ層石器観察表

No.	挿　図	図版	出土地点	器　　種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重　量(g)	石　　材	備　　考
456	54	19	U-16	石　　錐	4.0	2.4	0.65	7	流紋岩	
457	54	19	U-16	石　　錐	3.8	2.5	1.15	11	流紋岩	
458	55	—	P-11	石　　錘	4.1	2.9	0.7	13	頁岩	
459	55	—	U-16	石　　錘	3.6	2.5	0.95	11	流紋岩	
460	55	—	R-12	石　　錘	3.35	3.35	0.8	13	砂岩	
461	55	—	O-10	石　　錘	3.9	3.6	0.7	15	頁岩	
462	55	19	T-16	石　　錘	3.55	3.3	1.05	17	砂岩	
463	55	—	U-16	石　　錘	4.5	3.95	1.1	25	砂岩	
464	55	—	R-12	石　　錘	7.75	5.8	1.4	91	砂岩	
465	55	—	O-10	石　　錘	4.1	3.35	0.95	18	砂岩	
466	55	—	Q-11	石　　錘	4.8	3.7	1.05	23	砂岩	
467	55	—	U-16	石　　錘	5.35	3.8	1.55	45	砂岩（粗粒）	
468	55	19	U-16	石　　錘	5.65	3.85	1.45	43	砂岩（粗粒）	
469	55	—	R-11	石　　錘	6.45	5.0	1.25	54	砂岩	
470	55	19	R-11	石　　錘	4.85	4.3	1.6	49	砂岩	
471	55	—	U-16	石　　錘	6.6	3.4	1.3	48	砂岩（粗粒）	
472	55	19	T-16	石　　錘	6.25	3.85	1.85	57	砂岩	
473	55	—	R-12	石　　錘	5.6	4.35	1.05	35	砂岩	
474	55	—	U-16	石　　錘	4.8	4.05	1.25	31	砂岩	
475	55	—	O-10	石　　錘	9.7	6.0	1.45	130	砂岩	
476	55	—	V-16	石　　錘	5.25	4.3	1.15	38	砂岩	
477	55	—	T-16	石　　錘	4.8	4.55	1.65	53	砂岩	
478	56	—	R-11	石　　錘	6.9	5.5	1.7	81	頁岩	
479	56	19	O-10	石　　錘	9.0	6.5	2.0	148	砂岩	
480	56	—	V-16	石　　錘	9.4	6.2	2.25	180	砂岩	
481	56	19	O-11	石　　錘	10.65	6.45	3.35	320	砂岩	
482	56	—	V-16	石　　錘	5.7	5.55	2.05	80	砂岩	
483	56	19	U-16	石　　錘	5.5	5.05	0.85	62	砂岩（粗粒）	
484	56	19	U-16	石　　錘	6.4	6.2	1.95	104	砂岩	
485	56	19	Q-11	石　　錘	6.55	8.45	2.2	148	砂岩	
486	56	19	S-15	石　　錘	5.8	5.65	1.65	67	頁岩	
487	56	19	U-15	石　　錘	4.6	2.7	0.7	12	頁岩	
488	56	19	U-15	石　　錘	5.1	2.65	1.4	26	砂岩	

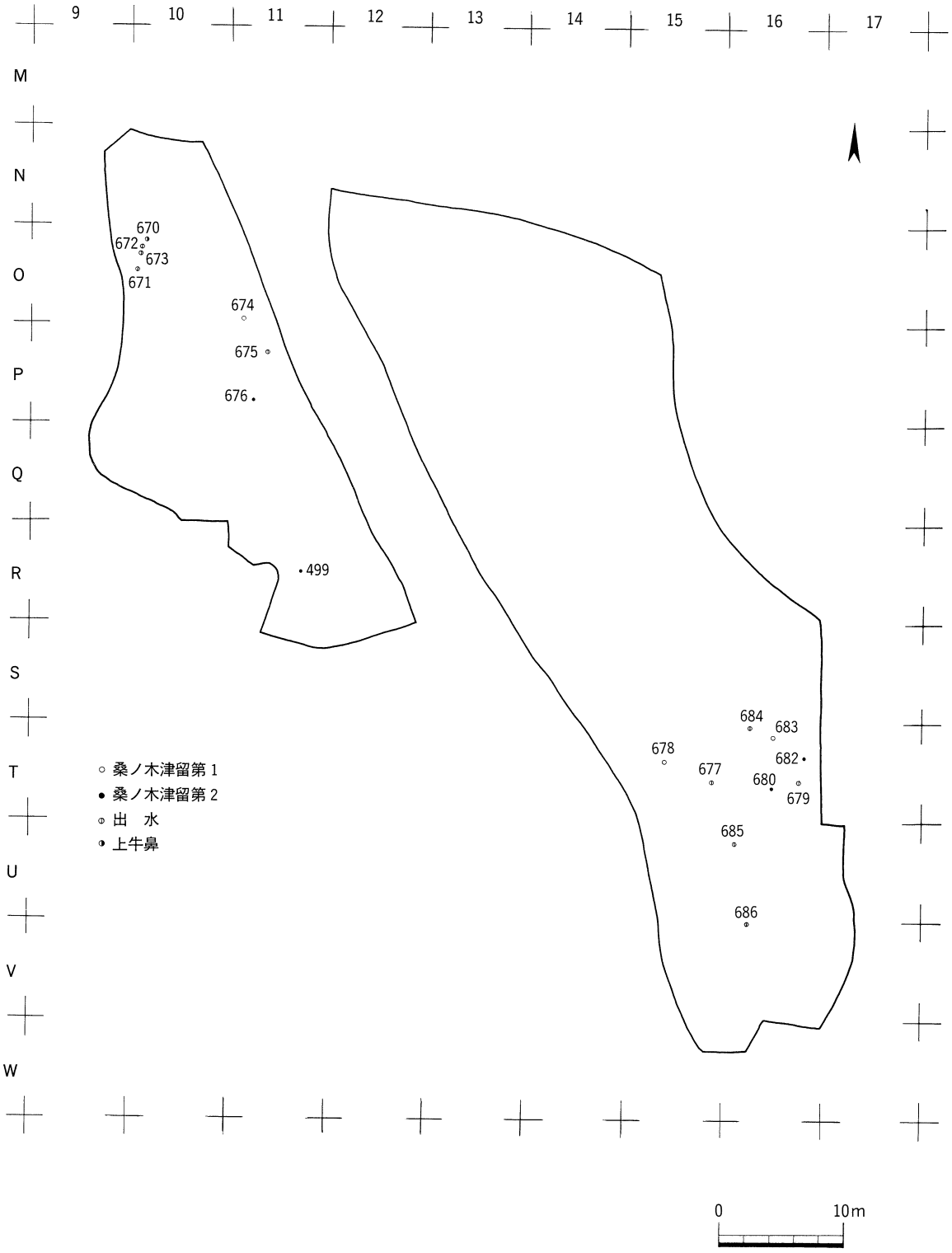
489	58	20	R-12	磨　　石	11.95	10.4	4.95	985	尾鈴山酸性岩	
490	58	—	O-11	磨　　石	10.4	10.65	4.7	795	尾鈴山酸性岩	
491	58	—	O-11	磨　　石	11.5	9.6	5.45	830	尾鈴山酸性岩	
492	58	—	V-16	磨　　石	8.5	10.0	4.0	378	安山岩	
493	58	20	U-16	敲　　石	7.55	5.25	5.2	172	ホルンフェルス	
494	59	20	O-10	石　　斧	4.15	3.0	0.8	15	ホルンフェルス	
495	59	—	U-16	スクレイパー	3.15	3.25	0.95	13	流紋岩	
496	59	—	O-10	スクレイパー	4.15	4.75	1.5	30	流紋岩	
497	59	20	T-16	スクレイパー	5.45	6.3	1.25	34	頁岩	
498	59	—	N-10	スクレイパー	6.3	5.6	1.9	54	頁岩	
499	59	—	R-11	使用痕剥片	2.7	2.45	0.8	4	黒曜石b	
500	59	—	U-15	使用痕剥片	1.5	1.5	1.5	1	黒曜石C	
501	59	—	U-16	使用痕剥片	2.1	2.35	2.25	2	流紋岩	
502	59	—	T-16	使用痕剥片	2.5	3.0	0.95	9	砂岩	
503	59	—	V-16	使用痕剥片	2.95	2.5	0.5	4	頁岩	
504	59	—	T-16	使用痕剥片	4.65	4.1	1.75	21	流紋岩	
505	59	—	T-16	使用痕剥片	4.6	4.9	0.9	17	ホルンフェルス	
506	60	—	O-10	使用痕剥片	1.3	1.2	0.55	0.5	ホルンフェルス	
507	60	—	T-16	使用痕剥片	4.2	6.5	1.15	37	頁岩	
508	60	—	Q-10	使用痕剥片	4.25	2.2	1.6	22	流紋岩	
509	60	—	Q-10	使用痕剥片	1.6	1.25	0.75	1	黒曜石a	
510	60	—	U-16	使用痕剥片	2.0	1.65	0.45	1	流紋岩	
511	60	—	V-16	使用痕剥片	1.65	4.2	0.65	2	黒曜石	
512	60	—	S-15	使用痕剥片	3.45	2.15	1.55	10	流紋岩	
513	60	—	T-15	使用痕剥片	2.05	3.0	0.45	4	流紋岩	
514	60	—	U-16	使用痕剥片	7.0	4.15	2.3	27	流紋岩	
515	60	—	S-16	使用痕剥片	7.05	5.4	2.05	62	砂岩	
516	60	—	T-16	ブランク	6.5	5.75	—	152	頁岩	
517	60	—	T-16	ブランク	6.0	4.8	—	126	流紋岩	
518	60	—	O-10	ブランク	8.1	4.8	—	172	ホルンフェルス	

使用痕剥片（499～515）

剥離痕の形状により三日月形のもの（502～505）、長方形状の剥離が認められるもの（499・500・506・507）、深い弧状の輪郭をもつもの（508～515）がある。石材は、流紋岩や頁岩が多用されている。

石核（516～518）

516は頁岩、517は流紋岩、518はホルンフェルスである。



第62図　A地区第Ⅱ層黒曜石分布図

第２節　Ｂ地区の調査

１　第Ⅳ層の遺構と遺物

１遺構

Ｂ地区の大まかな地形はＧ～Ｉ－８～10グリッド付近が約57.6ｍと最も標高が高く、北に向かって傾斜し、Ｇ～Ｋ－０～２グリッド周辺は標高約54.6ｍで南にのびる舌状台地の基部にあたり、その北西側は等高線がきつくなり、急傾斜で落ちている。

集石遺構は総数で16基検出されたが、大きくはＧ～Ｉ－８～10グリッド付近（ａ群）および標高約55.0～54.6ｍの北緩斜面に分布し、後者はさらにＢ・Ｃ－７～９グリッド（ｂ群）、Ｆ～Ｋ－０・１グリッド周辺（ｃ群）の二箇所に分れる。

ａ礫群

礫は集石遺構を除くと調査区全体で約20,750個検出されたが、特にＨ～Ａ－０・１グリッド付近に密集しており、その分布はさらに南に延びると推定される。また、集石遺構の分布にほぼ一致するのはｃ群のみで、ａ群では南に礫のまとまりがみられ、ｂ群では集石遺構と一致するが検出された量は少ないなど違いがあり、三つの群の間には空白部分も存在する。重量でみると50ｇ未満が約11,890個と最も多く、以下51～100ｇ未満約8,300個、101～150ｇ未満約4,390個と重くなるにつれて数量は減少する。2000ｇを超える礫は集石遺構の配石や台石として使用された可能性があるが総数は20点、多くは集石遺構や土器、石器などの遺物の分布とは正反対の状況を示し、集石遺構および礫空白部分に検出されている。

ｂ集石遺構

集石遺構は総数で16基検出されたが、形態としては土坑および配石を有するもの（Ａ－１類）３基、土坑のみのもの（Ａ－２類）４基、土坑をもたず礫のみが集積されたもの（Ｂ－２類）９基となる。ａ群では２基検出され、Ｂ－２類のみ、ｂ群では４基（Ａ－２類２基、Ｂ－２類２基）、ｃ群では10基（Ａ－１類３基、Ａ－２類２基、Ｂ－２類５基）とｃ群に分布の中心があり、さらに形態においてもｃ群のみにＡ－１類がみられる。

出土遺物は非常に少なく、第41・42号集石遺構から土器が２点検出されたにすぎなかった。

第31号集石（第66図）

第31号集石は、Ｉ２グリッド第36号集石の東約12ｍに位置する。Ⅳ層中から検出され、Ⅴ層まで掘り込まれる。掘り込みは、長径1.13ｍ、短径約1.06ｍ、深さ約0.30ｍの不整円形を呈す。礫は874個あり約1.3ｍ×1.0ｍの方形状に広がる。４～18㎝大の礫が掘り込み全体に詰り、床面にのみ30㎝前後の礫が４個配されている。

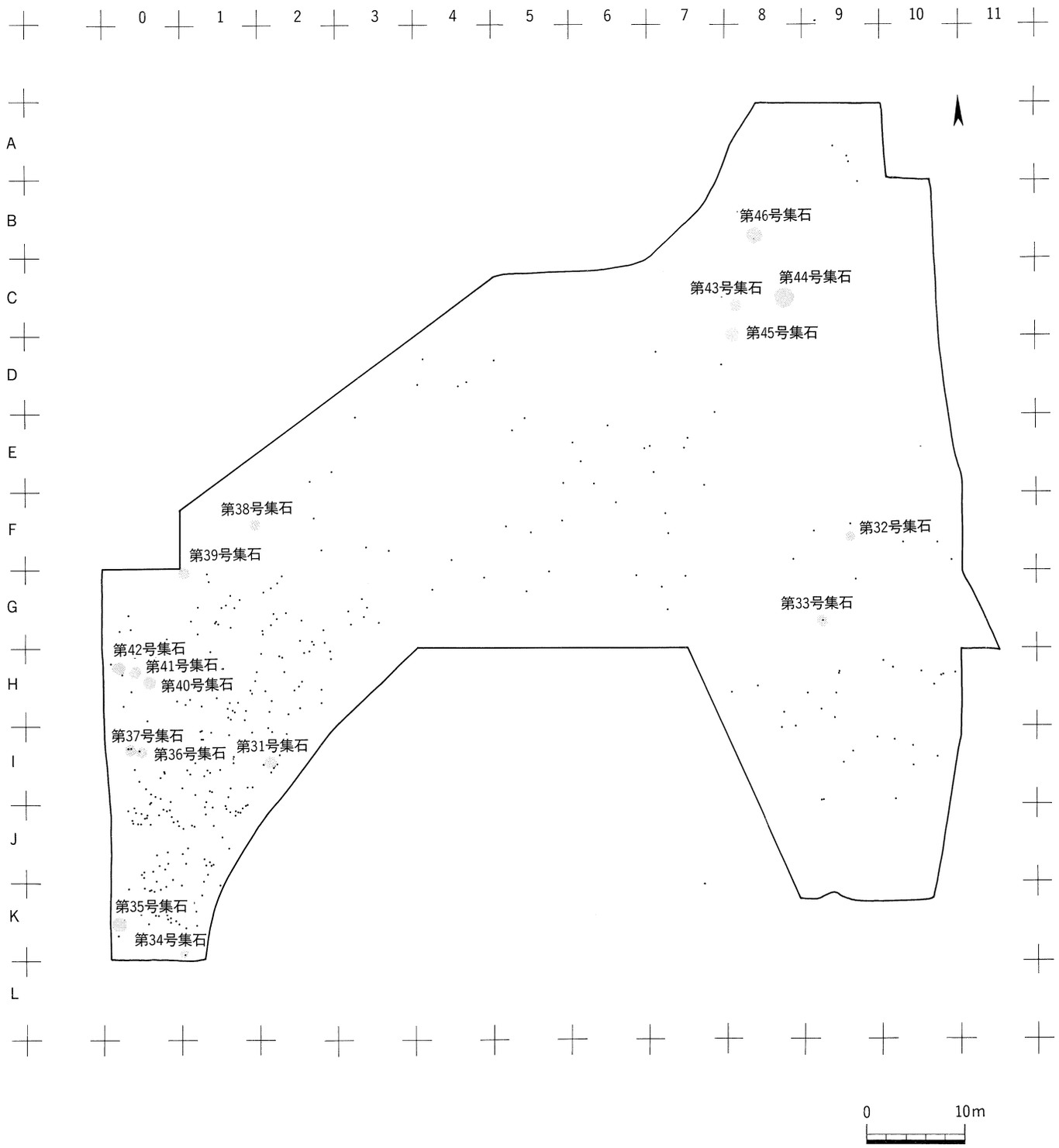
第32号集石（第64図）

第32号集石はＦ９グリッド、第33号集石の北約12ｍに位置する。礫は241個検出され、1.0ｍ×0.65ｍの範囲に重なりあって集積している。調査では掘り込みは確認できなかったが、礫の断面の状況や1000ｇを超える礫３点を検出していることなどから掘り込みを有していた可能性が高い。炭化物や焼土は確認できなかった。

第33・34号集石（第64図）

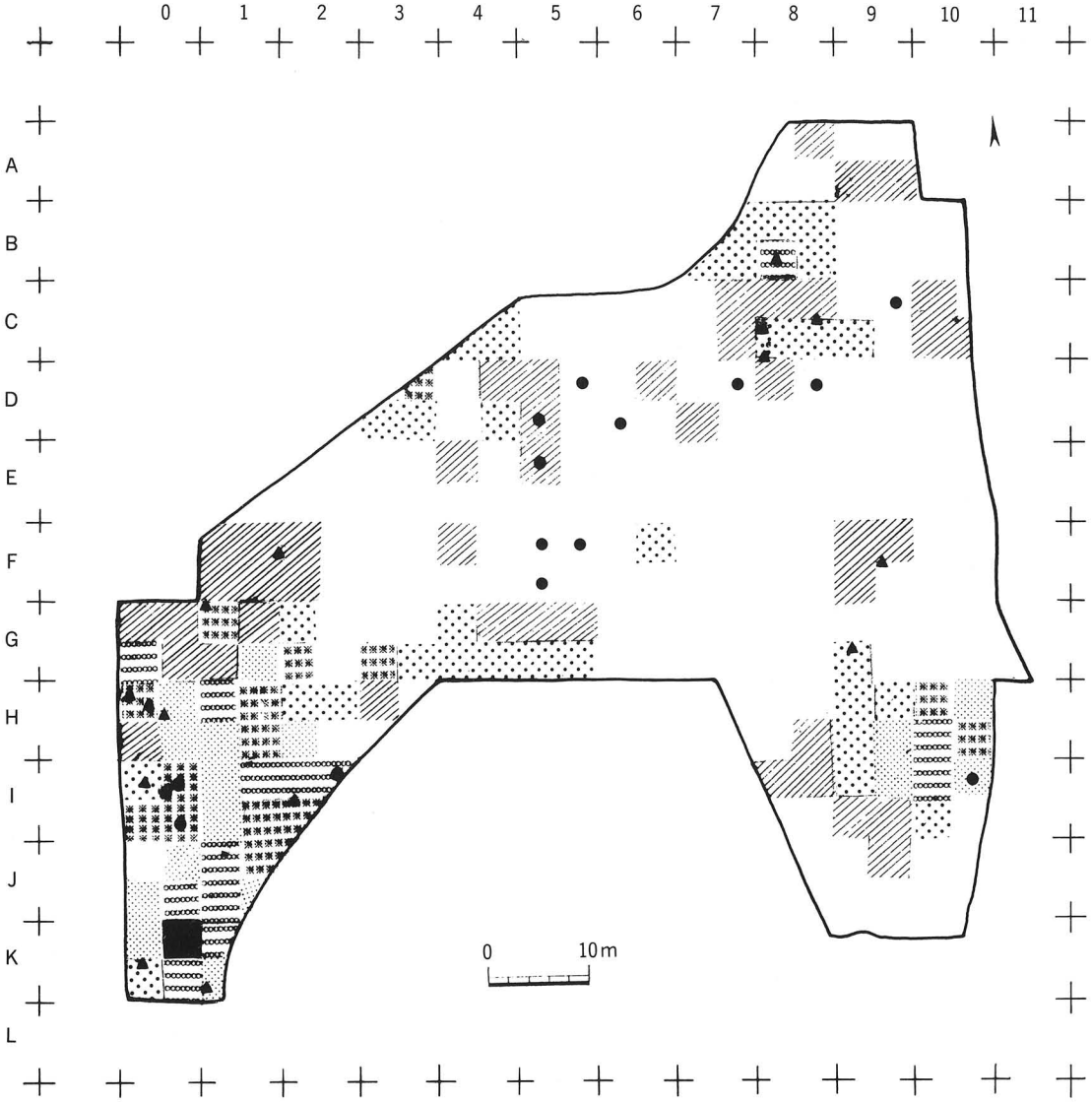
Ⅳ層中で検出されたが、何れも掘り込みをもたない形態で、礫も平面的な広がりをなす。また、炭化物や焼土は確認できなかった。

第33号集石はＧ９グリッド、第32号集石の南約12ｍに位置する。1.25ｍの範囲に散漫に157個の礫が分布



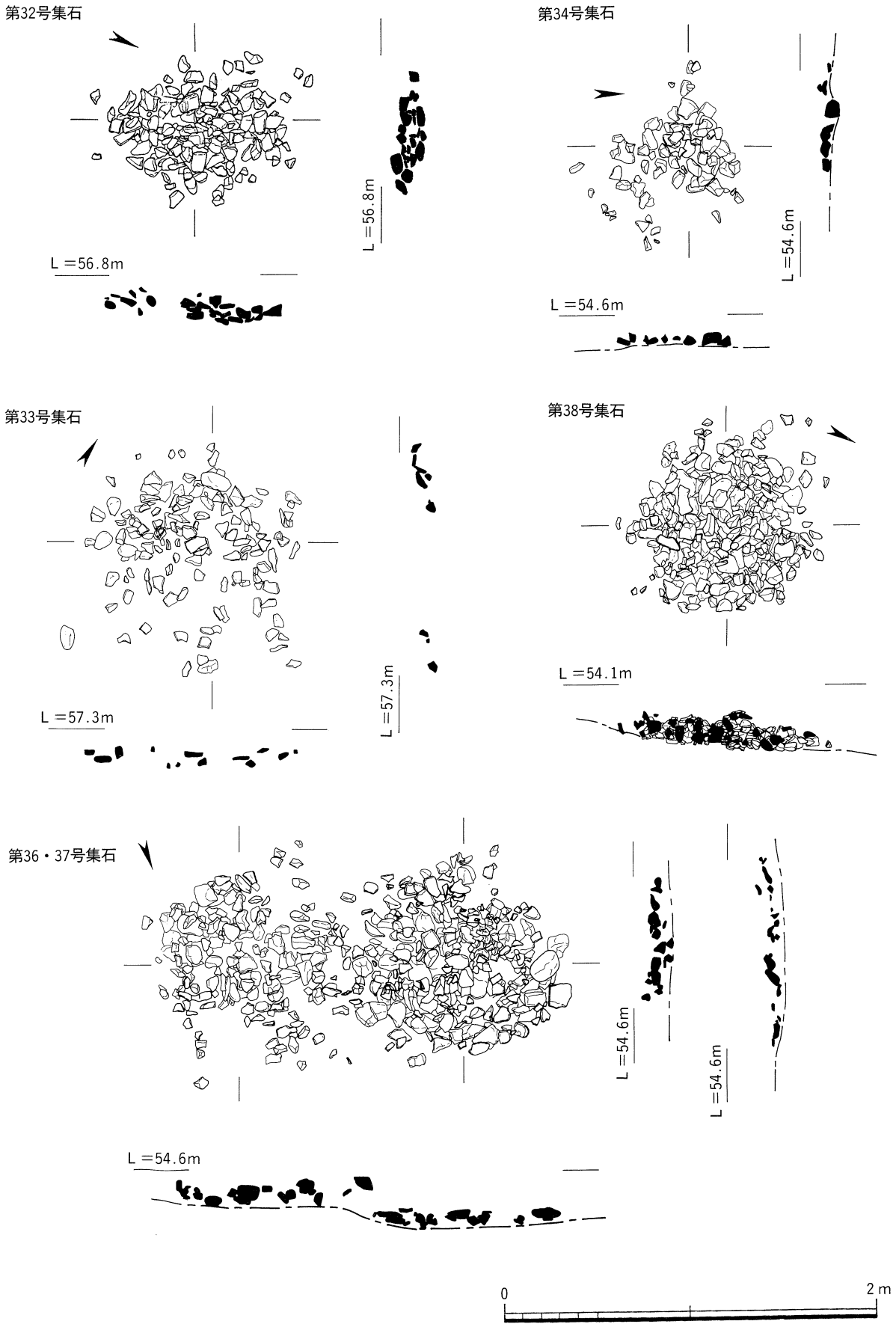
第63図　B地区第Ⅳ層調査状況図

表—8　B地区第Ⅳ層グリット別礫構成表

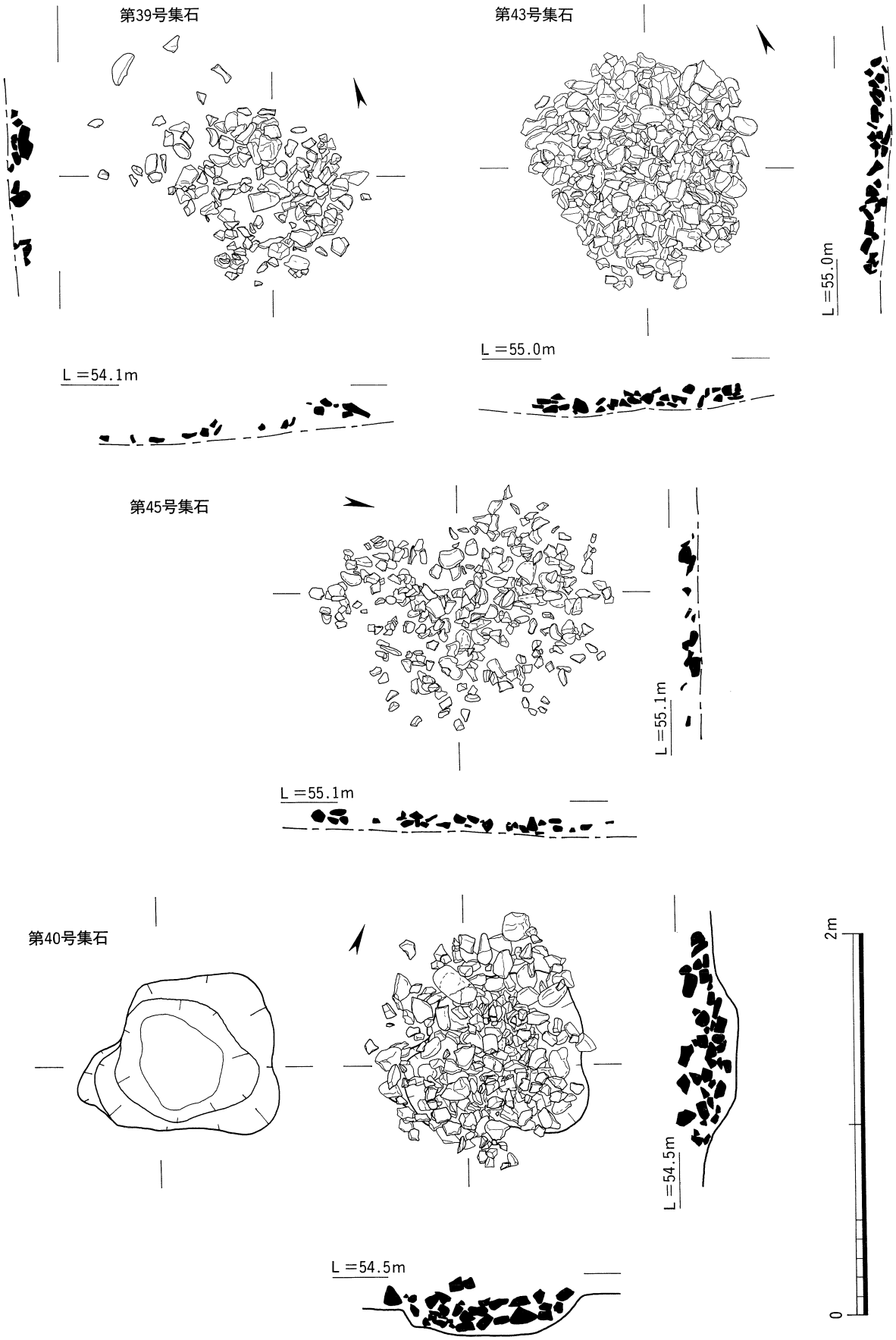


出土礫数

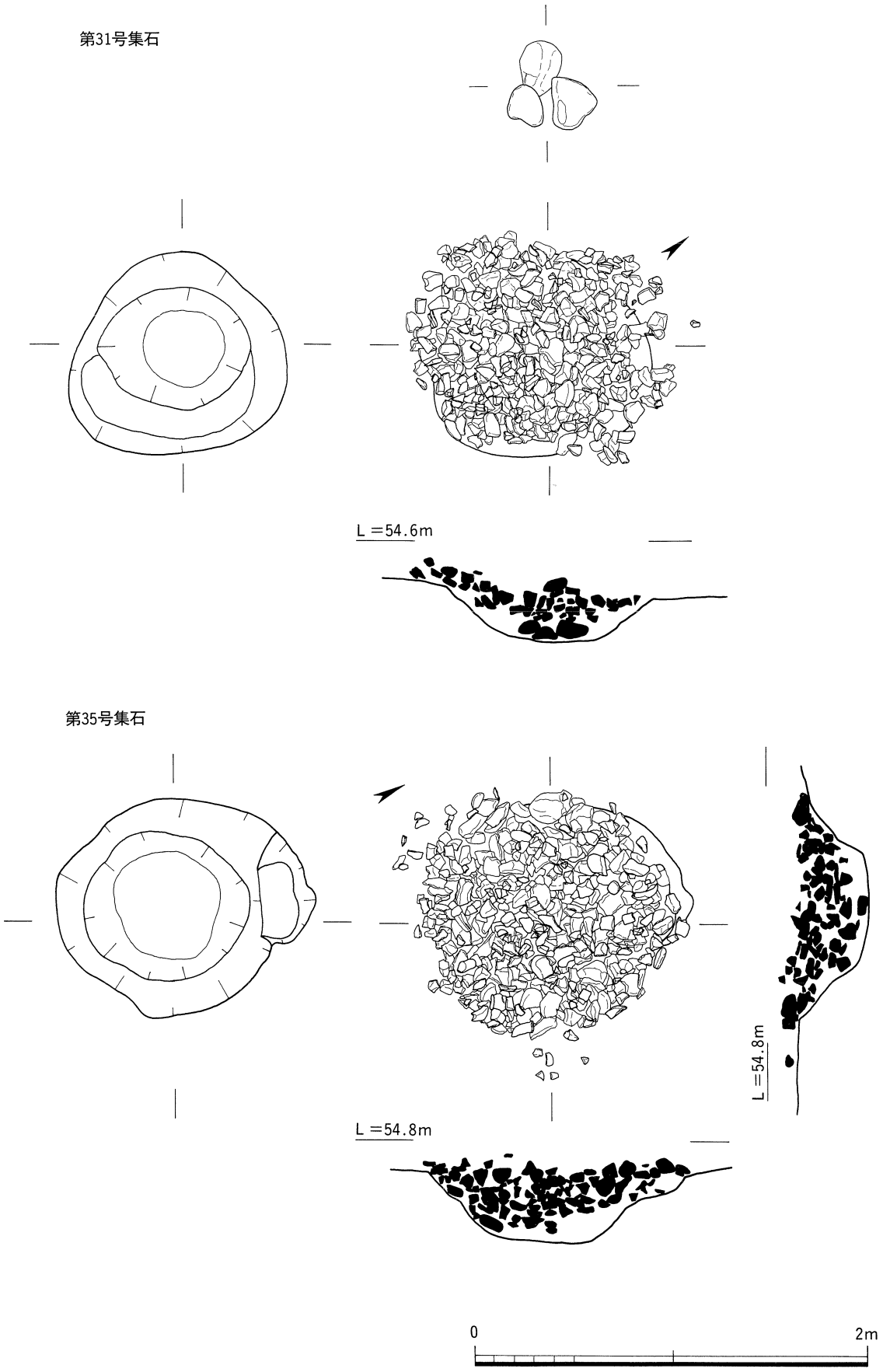
- 1,001～個
- 501～1,000個
- 201～500個
- 101～200個
- 51～100個
- 25～50個
- 0～24個
- ● 2,000g以上の礫
- ▲ 集石遺構



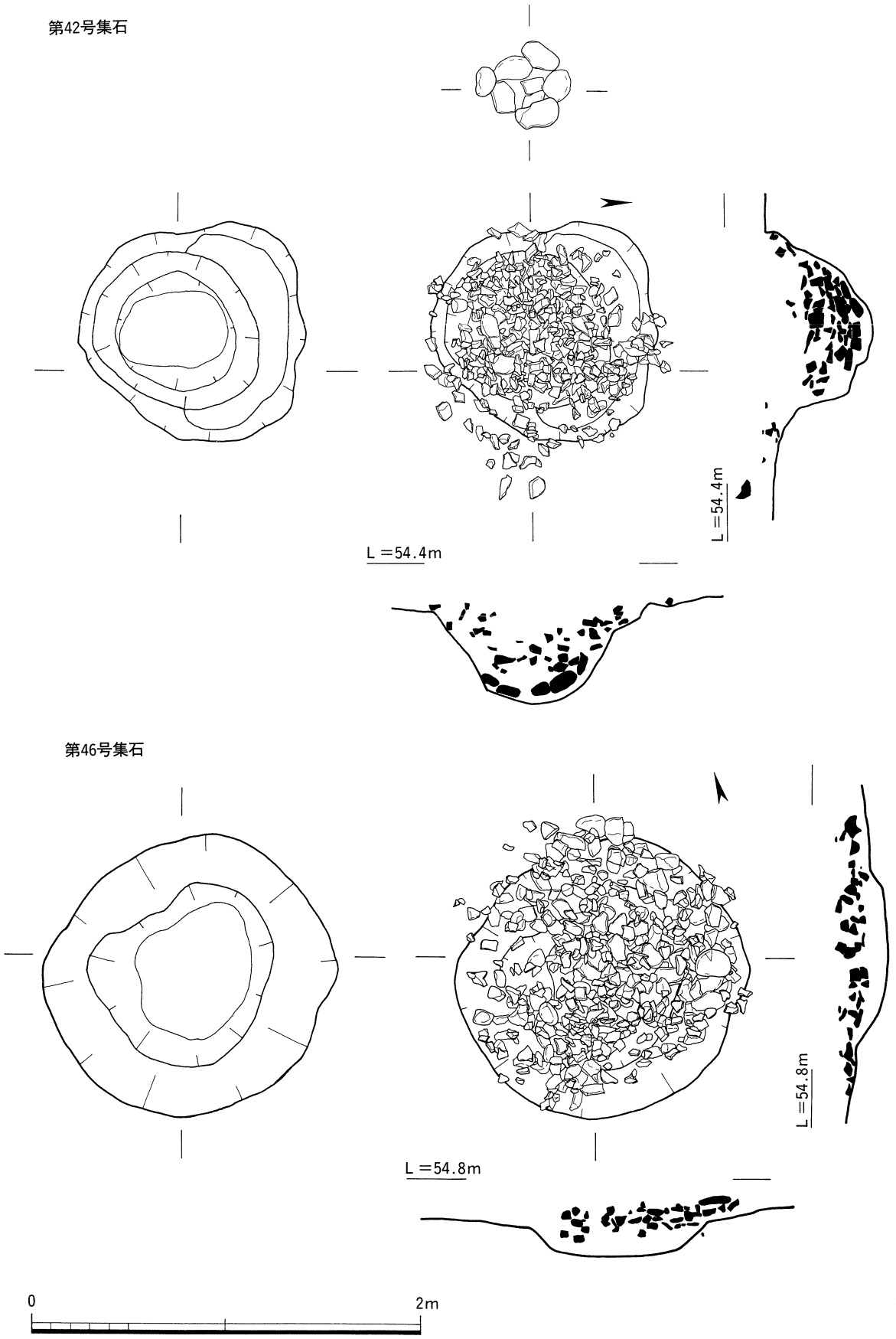
第64図　B地区第Ⅳ層集石遺構実測図(1)



第65図　B地区第Ⅳ層集石遺構実測図(2)



第66図　B地区第Ⅳ層集石遺構実測図(3)



第67図　B地区第Ⅳ層集石遺構実測図(4)

している。500ｇを超える礫は含まれない。第34号集石はＫ１グリッドに位置し、0.8mの狭い範囲に広がる。91個からなるが500ｇを超えるものはない。

第35号集石（第66図）

第35号集石は、Ｋ０グリッドⅣ層中から検出され、第34号集石の北西約６ｍに位置する。掘り込みは二段に掘られ、長径1.31m、短径約1.11m、深さ約0.37mの不整楕円形を呈す。埋土は炭化物を微量含む褐色土、床面から約20cmの高さ（二段目の掘り込み）付近からは炭化物を含むやや軟質の黒褐色土となり、礫にも多量の炭化物が付着している。検出面での礫は径約1.25mの範囲に広がるが、掘り込み内に配石はみられない。ただ、2000ｇを超す礫が３点検出されているものの、多くは10cm内外の小さな礫が掘り込み内に詰っている。焼土は確認できなかった。

第36・37号集石（第64図）

第36・37号集石は、Ｉ０グリッドに隣接して検出された。いずれも加熱によるヒビ割れをなしているものが多いが、炭化物、スス、焼土等は認められなかった。また、明瞭な掘り込みや配石もみられない。第36号集石は平面的に約１ｍの範囲に広がり、第37号集石は15cm前後の偏平な礫と小振りの礫約400個が重なりあって集積され36号と対象的な状況を示している。さらに埋土の状況に違いがないことや礫の堆積状況にレベル差が認められることから時期差が想定される。

第38号集石（第64図）

第38号集石は、Ｆ１グリッドⅣ層中から検出され、第39号集石の北東約8mに位置する。掘り込みは検出面では確認できなかったが、礫の堆積状況からすれば掘り込みを有していた可能性がある。礫は約320個からなり10cm前後の大きさのものが多く、径約0.9mの範囲に広がり、重なって集積されているが、配石らしい大きめのものは見られない。炭化物や焼土も確認できなかった。

第39・43・45号集石（第65図）

Ⅳ層中で検出されたが、何れも掘り込みをもたない形態をなす。

第39号集石はＧ１グリッド、第38号集石の南西約７ｍに位置する。径0.8mの範囲に礫が集中しているが礫のほとんどは重ならず平面的に広がる。第43号集石はＣ８グリッド、第44号集石の西約４ｍに位置する。礫は10cm内外の破砕礫が重なりあって集積されている。第45号集石はＣ８グリッド、第43号集石の南約２ｍに位置する。礫は２～５cmの赤変した破砕礫約330個が径1.55m×1.1mの範囲に平面的に広がる。礫群の中央付近では厚さ５cm程度黒褐色土が堆積している。炭化物は全体に観察され、床面にも認められた。

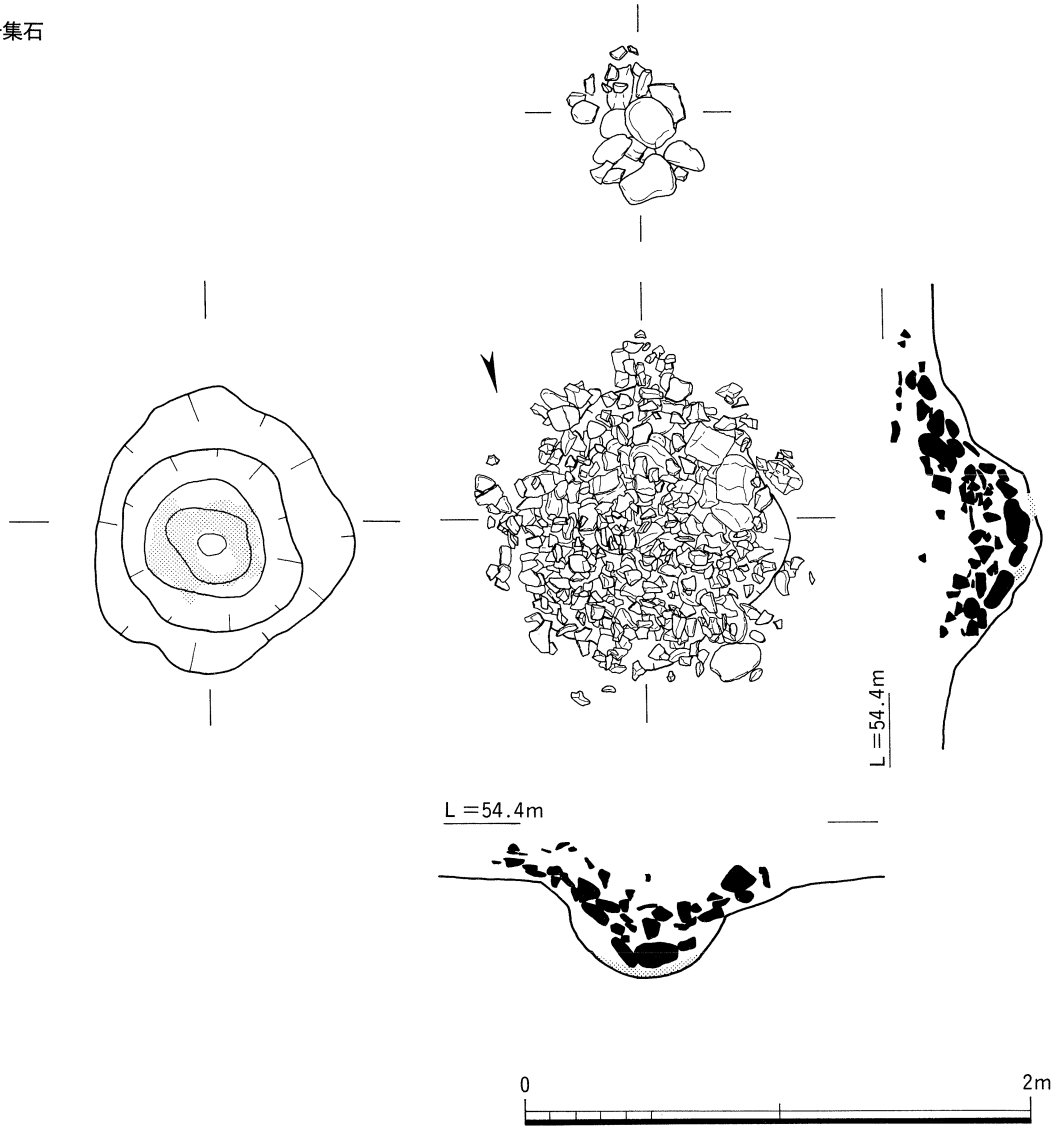
第40号集石（第65図）

第40号集石は、Ｈ０グリッドⅣ層中から検出され、第41集石に隣接する。掘り込みを有し、長径0.97m、短径約0.80m、深さ約0.21mを測る。礫は約390個検出され、径約1.2mの範囲に広がるが、配石は見られず、７～15cm大の礫が掘り込み全体に詰り、床面から約10cm付近で特に密集している。

第41号集石（第68図）

第41号集石は、Ｈ０グリッドⅣ層中から検出され、第40・42号集石に挟まれている。下部に掘り込みを有し、長径1.13m、短径約0.98m、深さ約0.37mの不整形を呈す。埋土は上層が炭化物を微量含む暗褐色土、下層が炭化物を含む黒褐色土。礫は径約1.2mの範囲に広がり、比較的大きめで偏平な礫が掘り込みの床面および傾斜に沿って配されている。さらにその配石の上部には10cm内外の小さな礫が多量に詰っている。礫総数は約880個で、2000ｇを超えるものが８点検出されている。また、焼土が配石の下、掘り込み床面で認められた。

第41号集石



第68図　B地区第Ⅳ層集石遺構実測図(5)

遺物としては、土器が１点出土している。519は山形の押型文土器で斜位帯状に施文される。色調はにぶい橙色である。胎土は黒色光沢粒、透明粒、白色粒と小石粒を微量含む。

第42号集石（第66図）

第42号集石は、Ｈ０グリッドⅣ層において不明瞭ながら落ち込みが認められた。掘り込みは、長径1.17m、短径約1.11m、深さ約0.45mの不整円形をなし、床面は径約0.62mの範囲で10cm程度深く掘り下げられる。埋土は上層が炭化物を微量含む暗褐色土、下層が炭化物を多量に含む黒褐色土。礫は10cm以下の小さなもので、掘り込みの中位から下位にかけて検出され、床面から約５cm浮いた位置で７個の偏平な礫が配されている。焼土は確認できなかったが床面が部分的に赤変し固くしまっている箇所が認められた。

遺物としては、土器が１点出土している。520は内側が剥離している。櫛歯状の工具で縦方向に段を構成して浅く条痕状に連続施文される。色調はにぶい橙色で、胎土は半透明砂粒を多く含む。Ⅳ類に属すると思われる。（分類基準はⅡ－第２節遺跡の概要参照）

第44号集石（第66図）

第44号集石はＣ８グリッド、第43集石の東約４m北側の緩斜面に位置する。礫の広がりでは最大規模の集石遺構で、径約２mを測る。礫総数は約1,850個、2,000ｇを超えるものが39点。検出された礫は３～20cm程度の大きさであるが10cm内が大部分を占め、下部の方に１～３cmの小振りの礫が多くなる。掘り込みは、長径2.17m、短径約1.95m、深さ約0.15mの不整円形をなす。配石はみられない。埋土は炭化物を含む暗褐色土で、埋土中に部分的に焼土がみられ、礫にもススや炭化物が付着しているものが認められた。炭化物は下層になるにつれ0.5～２mmの大きなものが多くなる。

第46号集石（第68図）

第46号集石は、Ｂ８グリッド、調査区の北端に位置する。掘り込みを有するが配石はない。径約1.5mの円形を呈す。掘り方は周囲は浅い皿状をなし、中央部さらに15cm程度一段深く掘り込まれる。礫は褐色土埋土とするこの浅い皿状の部分に検出され、礫を取り除くと下位に炭化物（0.1～１cm大）を混入した黒褐色土が堆積しているが、焼土は確認できなかった。

このように、集石遺構やその形態による分布、あるいは礫やあとで述べる遺物の分布状況などをみると、それらは生活活動の違いを表出している可能性があり、遺物の分布や炉として想定される土坑内に配石を有する集石遺構がｃ群のみにみられる状況は示唆的である。礫および遺物のまとまりを人間の生活活動の結果と考えれば、ｃ群がその中心であったことは想定される。それに対し遺物および礫の検出が少ないａ・ｂ群についてもやはり何らかの活動の痕跡であり、それはやはり集石遺構の機能差に求めるべきであろうか。時期比定は当然のことながら、礫の焼成の有無の判断、予備礫・廃棄礫の認定など現段階では詳細には言及できない。

２遺物

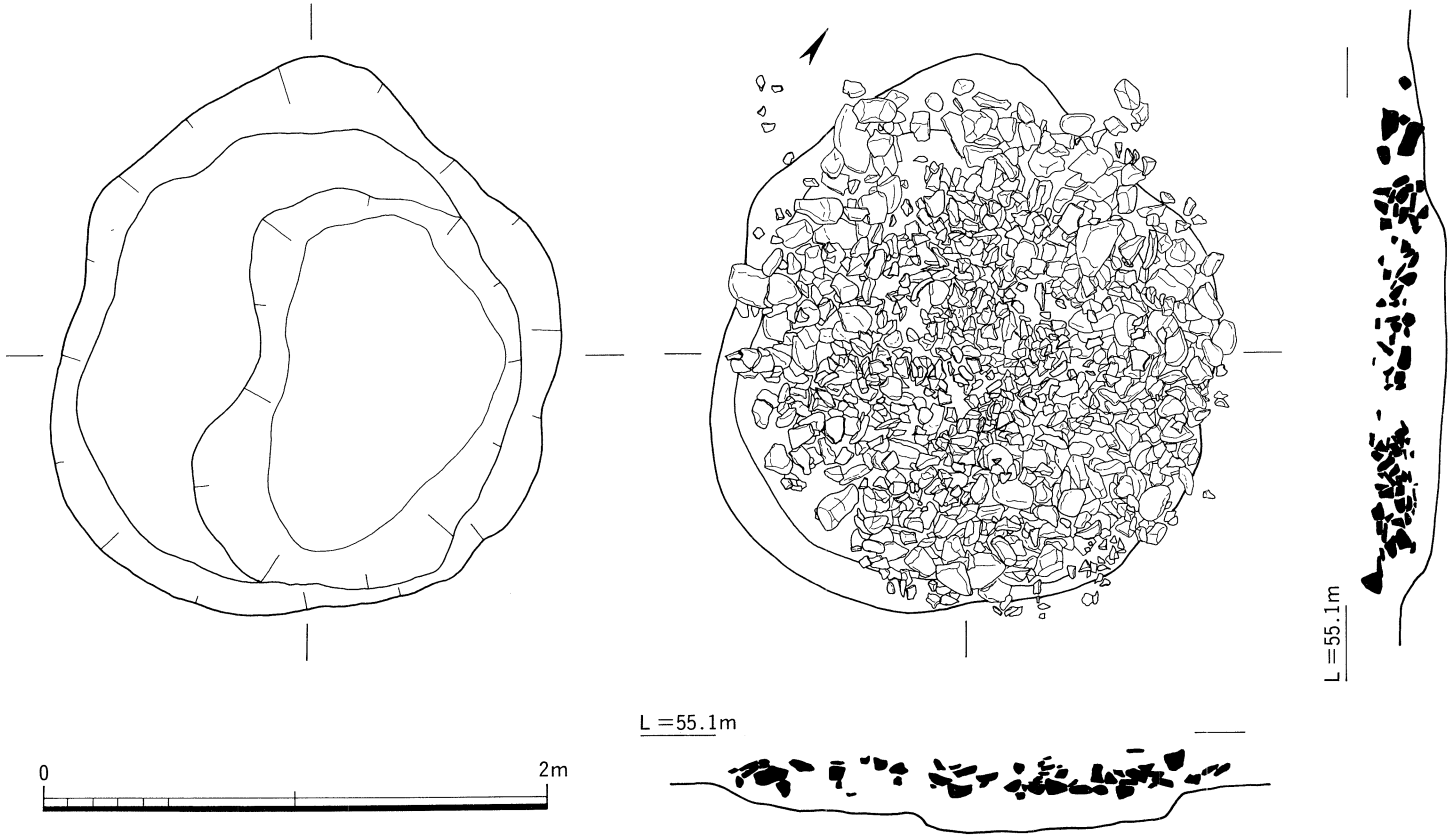
ａ土器

Ｂ地区の出土遺物は、前平式を中心とするＩ類や押型文土器のⅦ類が大勢を占める。その分布状況は、平面的には調査区西側に集中し、垂直分布状況は他の遺物も含めてみても明確に区分する事はできなかった。

Ｉ類土器（521～541）

口縁部に貝殻やヘラ状工具を用いて、押圧又は刺突するなどして施文するものである。

第44号集石



第69図　B地区第Ⅳ層集石遺構実測図(6)

1類（526）口縁端にヘラ状工具による連続押圧文（刺突文）を施す。

2類（521～525・527）口縁部に篦状工具による2段の連続押圧文と横方向の貝殻条痕文を施す。521・522は太いヘラ状工具で深めに施文する。523は押圧文を上段と下段で交互に施文し、貝殻条痕は、524・525と同様で横方向に太く施文する。器形は、全て直行する口縁部で口唇部が527以外は平坦となる。527は、口唇部が尖口気味となる。

3類（528～530）口縁部に貝殻復縁連続刺突文を施す。528・529は縦位に貝殻刺突文を浅く施されることからa類に属する。530は斜位に間隔をあけて貝殻刺突文を浅く施文する。b類に属すると思われる。

5類（538・540）ヘラ状工具や貝殻腹縁により上から下に縦条痕を施す。538は斜位の貝殻条痕を施した後に1段のみ長さ約1cm程の縦条痕を入れる。540は横位の貝殻条痕後2段に列点文状に施す。口唇部は斜方向の刻目を施す。

6類（531～537）ヘラ状工具や貝殻腹縁により連続刺突をするなどして縦位に浅くて細く条痕状に施すものである。531・532は口縁端部に浅く短く施文し、斜位に貝殻条痕を施す。

Ⅲ類土器（545）

口縁部や胴部に斜位又は綾杉状に連続刺突文を施すもので、545はヘラ状工具で綾杉文を施し、横位の貝殻復縁刺突文もみられる。

Ⅳ類土器（544）

貝殻やクシ歯状工具等を使用して羽状や流水状に施文するもので、544は1類に属し、クシ歯状のもので斜位・羽状に短く施文するものである。

Ⅴ類土器（546～548）

塞ノ神・平栫式土器である。

1類（546）口縁部や頸部に貝殻連続刺突文を施すものである。三代寺式といわれている。546は口縁部に縦位の貝殻刺突文を巡らせている。

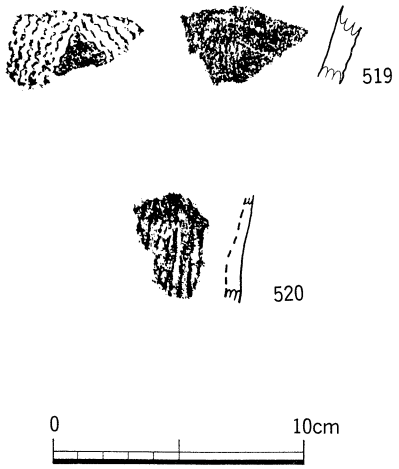
3類（547・548）2本の平行沈線間に撚糸文を施すもので栫ノ原式といわれている。547は丁寧な作りで器壁は薄い。口唇部両端に斜位の刻目を入れ、口縁部は二本の平行沈線を直線的に施す。548は横位の平行沈線を3本入れ、その下に撚糸文を施す。

Ⅶ類土器

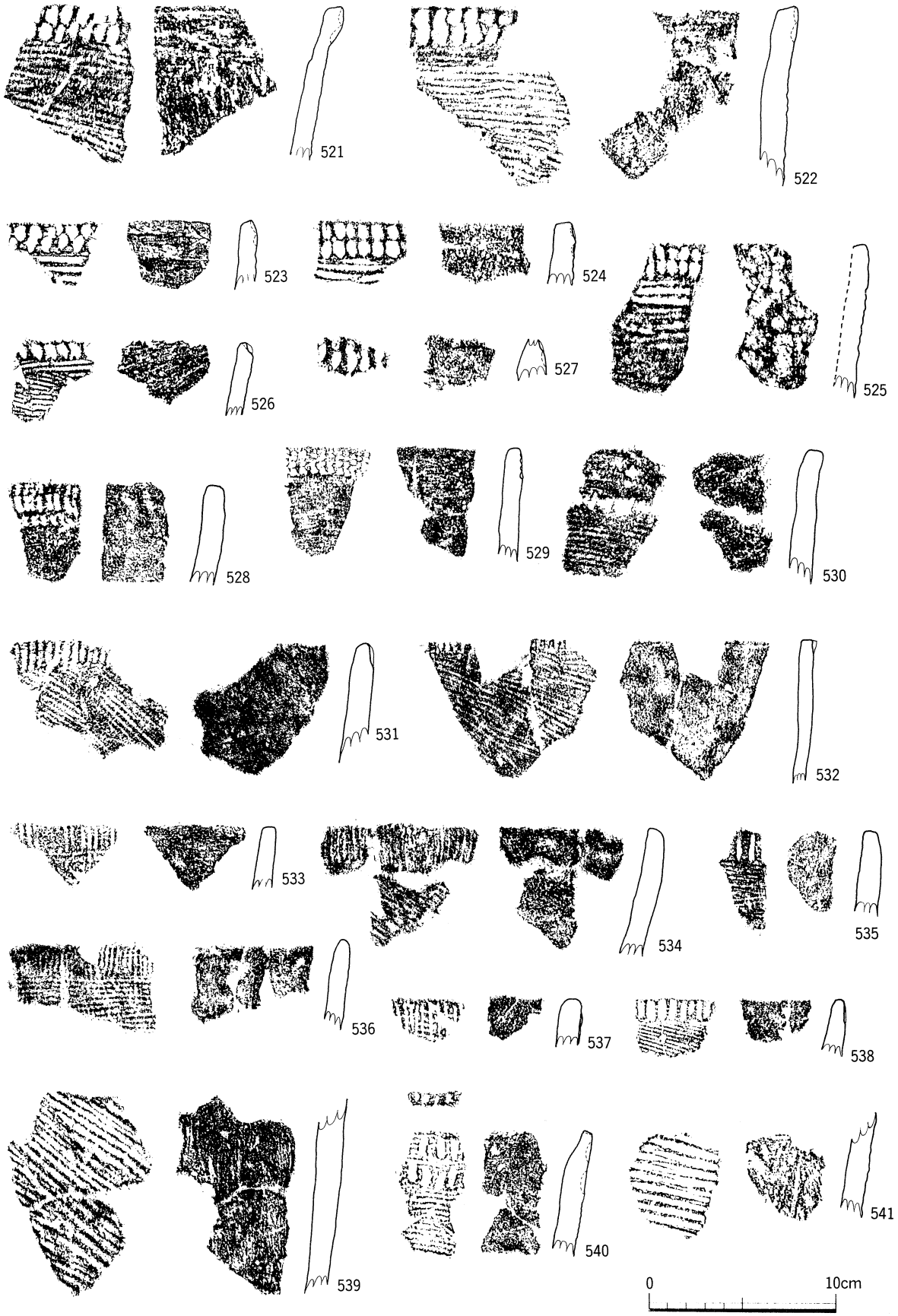
押型文土器である。文様形態により、山形・楕円・格子目の三種類に分類した。それを、山形施文については、施文状況が密で丁寧に施してあるものを「山形A類」とし、施文が雑で間延びしたようなものや文施文単位が大きなものを「山形B類」とした。また、楕円については、丸味のあるものを「楕円A類」とし直線的で菱形状のものを「楕円B類」に分け、さらに施文方向や施文部位等でそれぞれ分類した。ただし胴部のについては一括で取り扱った。B地区の押型文土器は表9のとおりである。押型文土器のほとんどは、調査区西側で出土しており、垂直分布による分類は他の土器同様不可能である。

山形A類口縁部は縦施文の564で口唇部に竹管状のもので小さく連続刺突される。口縁部内側は横位の山形押型文が施される。

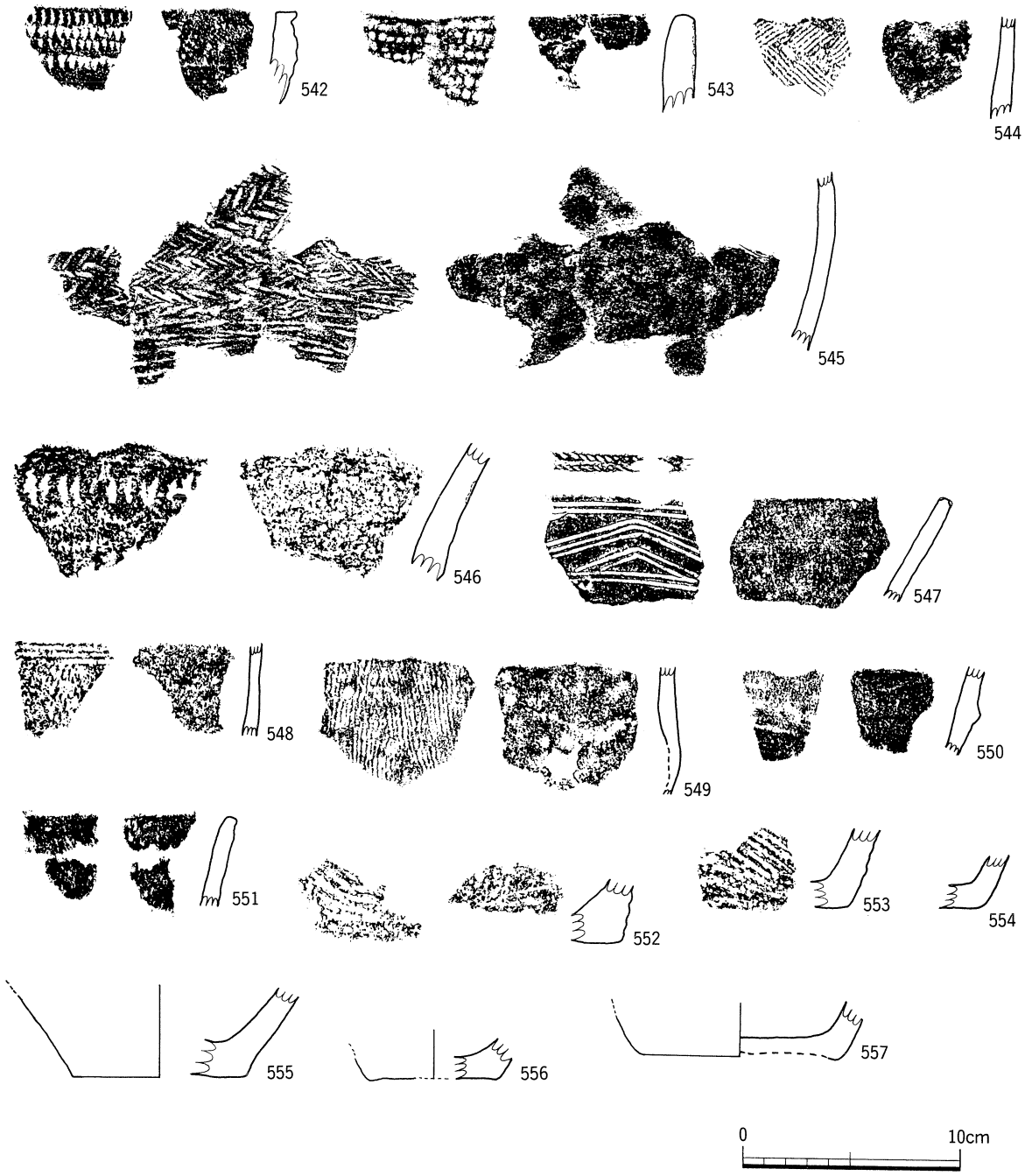
山形B類口縁部の施文方向は一定でなく、横、縦、斜に分けられる。



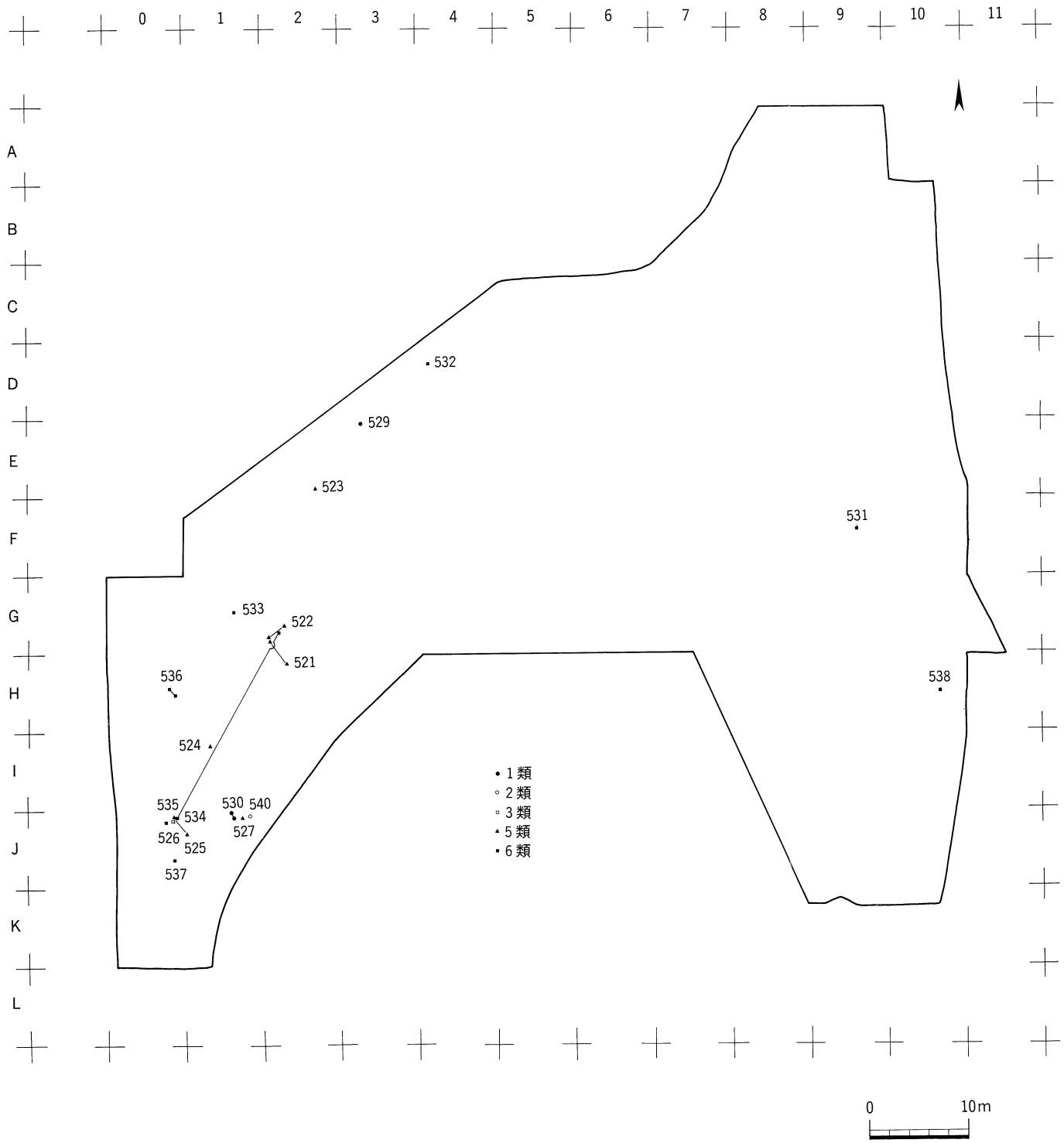
第70図　B地区第Ⅳ層集石遺構出土遺物実測図



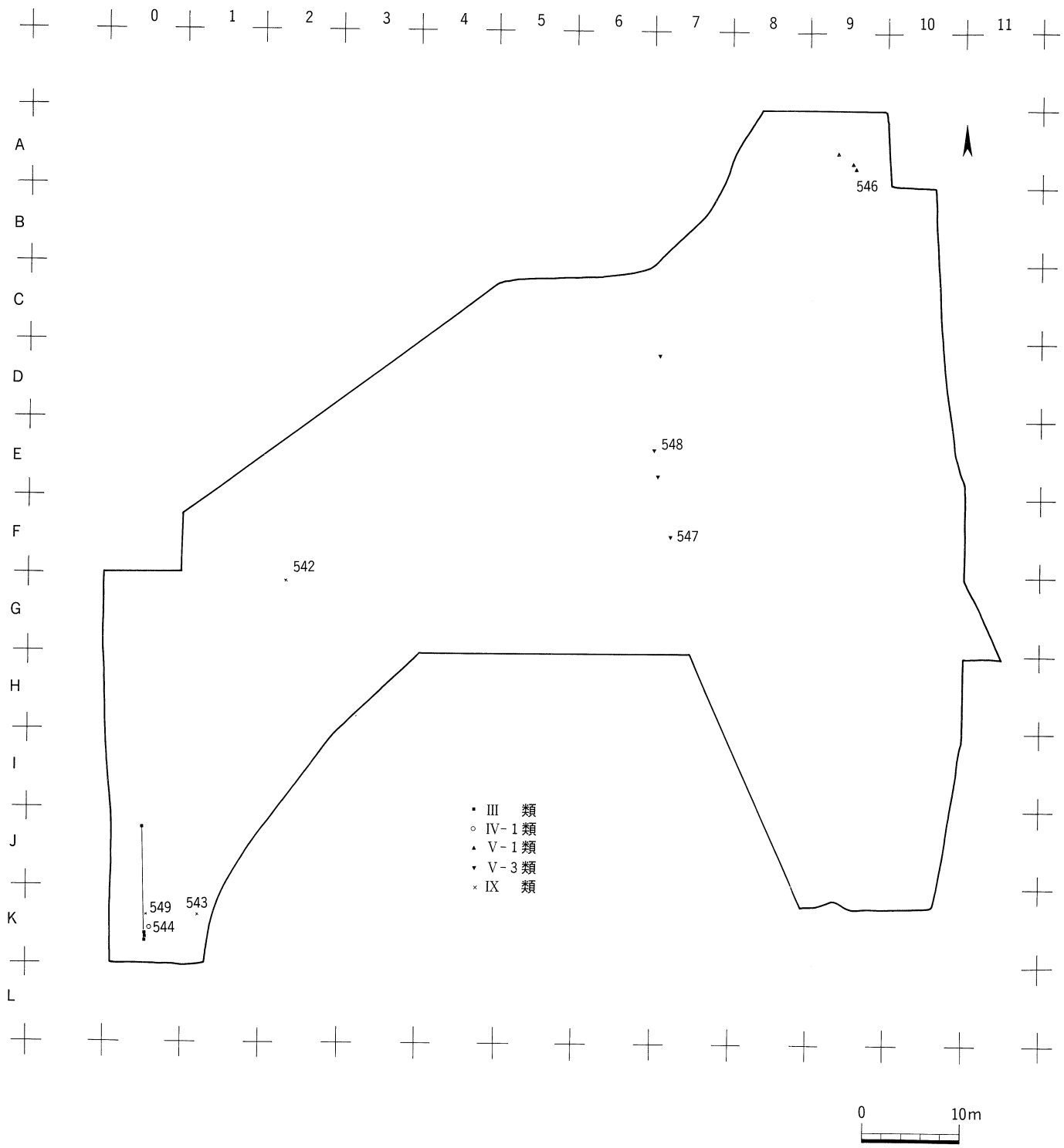
第71図　B地区第Ⅳ層縄文土器実測図(1)



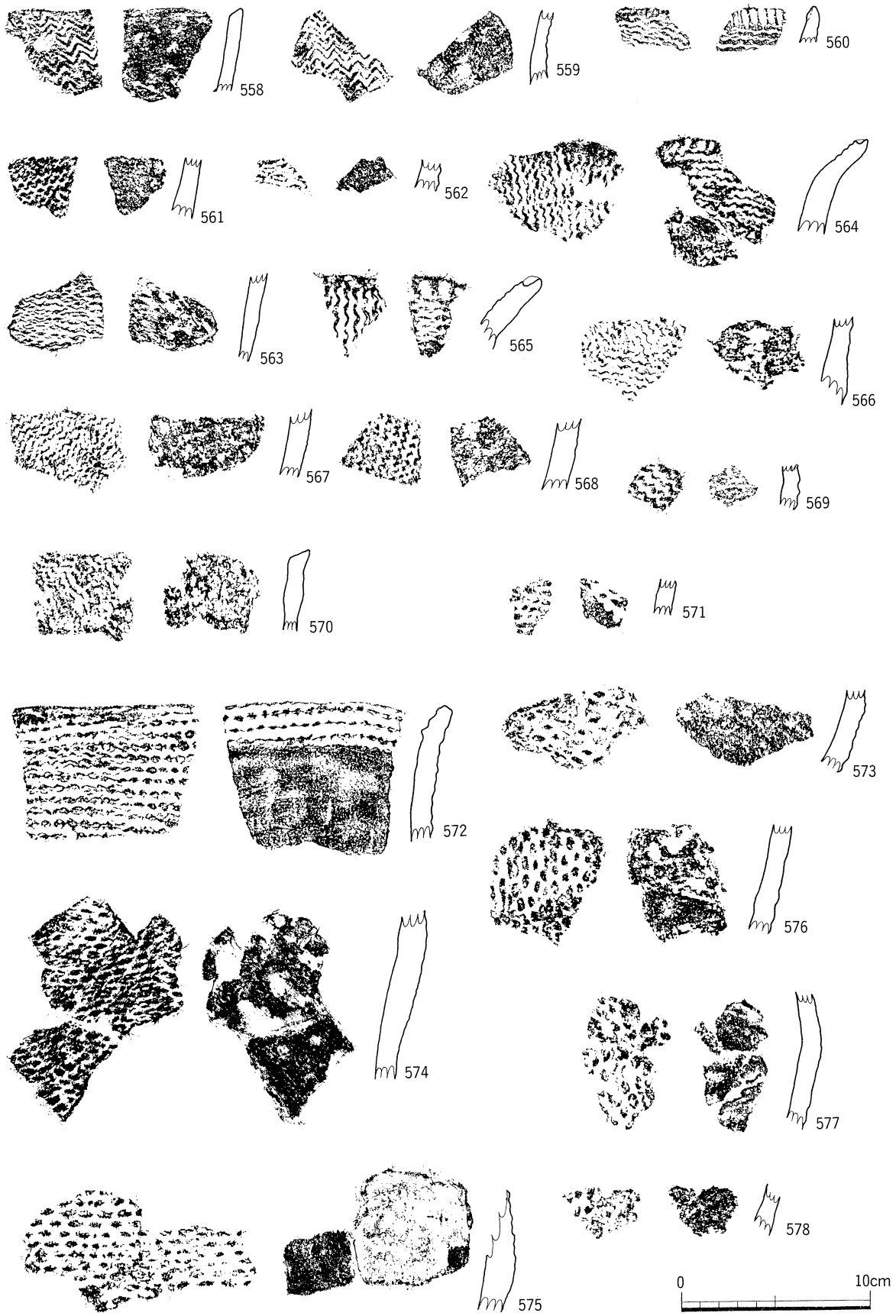
第72図　B地区第Ⅳ層縄文土器実測図(2)



第73図　B地区第Ⅳ層縄文土器（Ⅰ類）分布図



第74図　B地区第Ⅳ層縄文土器（Ⅲ～Ⅴ・Ⅸ類）分布図



第75図　B地区第Ⅳ層縄文土器実測図(3)

表－9　B地区第Ⅳ層縄文土器第Ⅶ類口縁部分類表

分類記号			外面施文	内面施文	柵状文	口唇施文	器　形	備　考
山形A	1	a	縦方向	○	×	○	外　反	564
山形B	1	a	横方向	×	×	×	直　開	558
		b	横方向	×	×	×	やや外反	559
	2	a	縦方向	○	×	○	外　反	565
	3	a	斜方向	○	○	×	直　開	560
		b	斜方向	×	×	×	直　開	570
楕円A	2	b	縦方向	○	×	○	やや外反	572
	3	c	斜方向	○	×	×	外　反	571

558・570は口縁部外側のみの山形押型文である。560は口縁部内側に唯一短い柵状文（原体条痕）が施される。565の口唇部は564と同じ手法であるが565は大きく施文される。胴部も施文方向は部位の違いがあるものの一定しない。563は横位で施文が重なり合っている。

楕円A類口縁部施文方向は横と斜方向である。Ｉ１・Ｊ１グリットに分布している。572は口縁部内側に横位の楕円押型文が施文される。

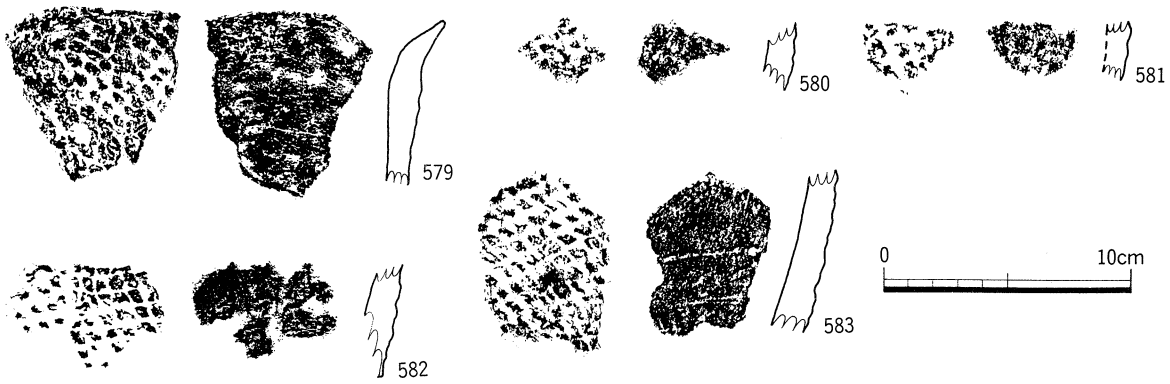
楕円B類すべて胴部で横方向の施文である。

Ⅸ類土器（550・551）

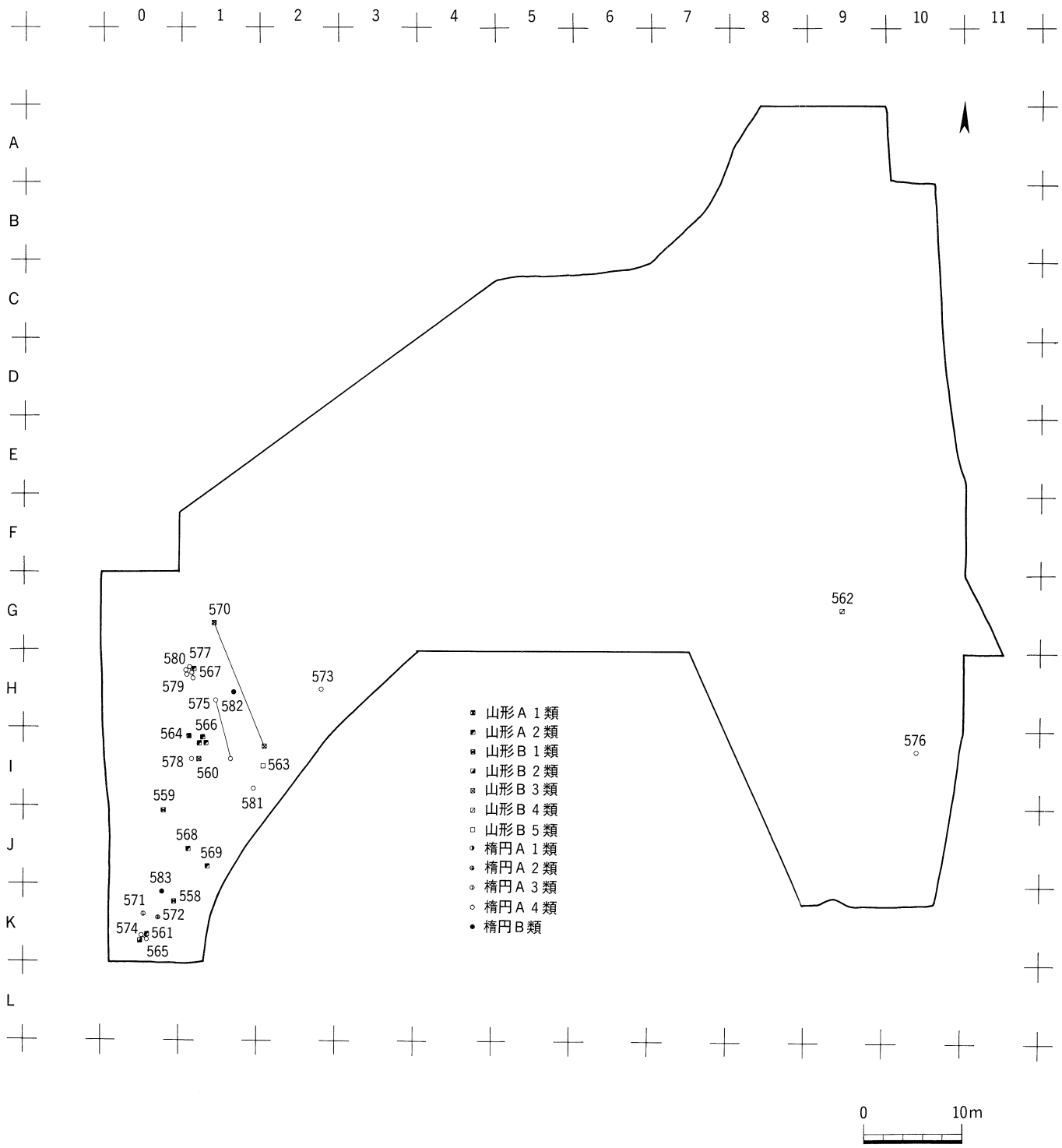
２類無文系の土器である。550はナデ調整で突帯を有する。

Ⅹ類土器

その他としてまとめた。542は口縁部に縦位の短い貝殻連続刺突文を４段に分けて施される。543は口縁部に横位の貝殻腹縁刺突文を数段巡らす。549は、縦位の撚糸文を施す。



第76図　B地区第Ⅳ層縄文土器実測図(4)



第77図　B地区第Ⅳ層縄文土器（Ⅶ類）分布図

表—10　B地区第Ⅳ層縄文土器観察表

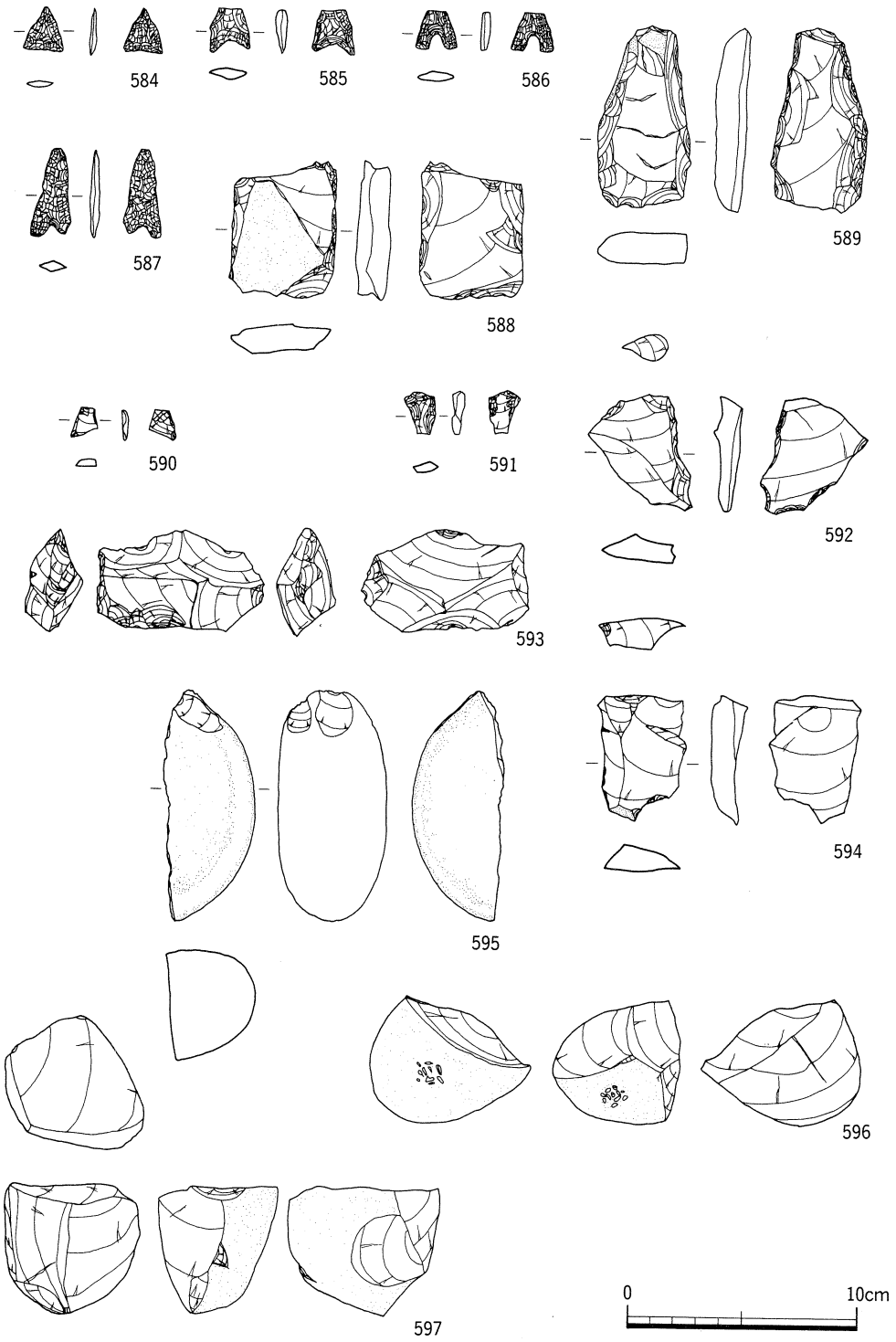
※①口唇部 ②口縁部 ③胴部 ④底部

No.	挿図	図版	出土地点	文様・調整		色調	胎土	焼成	備考
				外面	内面				
521	71	—	H—2	②ヘラ状工具による2段連続押圧文 ③貝殻条痕	②横方向のケズリ風ナデ ③下から上方向へのケズリ風ナデ	外 Hue2.5Y 黒褐3/1 内 Hue10YR にぶい黄橙7/4	半透明粒（1mm前後）多量 白色粒（1mm～3mm）多量 軽石状のスコリア少量	やや堅緻	
522	71	14	J—1	②ヘラ状工具による2段連続押圧文 ③貝殻条痕	②横方向のケズリ風ナデ ③下から上方向へのケズリ風ナデ	外 Hue10YR 浅黄橙8/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/2	白色粒（1mm～3mm）多量 半透明粒（1mm前後）多量 軽石状のスコリア少量	やや堅緻	
523	71	—	J—1	②ヘラ状工具による2段連続押圧文 ③貝殻条痕	②横方向のていねいなナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙6/4 内 Hue5YR にぶい橙7/4	白色粒（1mm以下）少量 半透明粒（1mm前後）	堅緻	
524	71	—	K—1	②ヘラ状工具による2段連続押圧文	②ナデ	外 Hue10YR 黒褐3/1 内 Hue7.5YR 橙6/6	半透明粒（1mm前後）多量 白色粒（1mm前後）多量 砂粒少量 軽石状のスコリア多量	やや堅緻	
525	71	—	J—0	②ヘラ状工具による2段連続押圧文 ③貝殻条痕		外 Hue7.5YR 灰褐4/2 内 Hue5YR 橙7/6	白色粒（1mm～5mm）多量 半透明粒（1mm前後）多量 赤色粒（1mm前後）少量	やや堅緻	
526	71	—	J—1	②端部にヘラ状工具による連続押圧文		外 Hue2.5Y 浅黄7/3 内 Hue2.5Y 浅黄7/3	白色粒（1mm以下）多量 半透明粒（1mm以下）多量	堅緻	
527	71	—	J—1	②ヘラ状工具による2段連続押圧文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙6/3	半透明粒（1～4mm）多量 白色粒（1mm前後）多量 砂粒少量 雲母多量	堅	
528	71	—	K—1	②縦の貝殻腹縁連続刺突文 ③ナデ	②横方向のナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/2 内 Hue10YR 灰黄7/2	白色粒（1mm～2mm）多量 半透明粒（1mm前後）多量 軽石状のスコリア少量	やや堅緻	
529	71	14	K—1	②縦の貝殻腹縁連続刺突文 ③条痕	②横方向のナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue7.5YR 浅黄橙8/4	半透明粒（1mm以下）多量 白色粒（1mm以下）少量 赤色粒（1mm以下）少量	堅緻	
530	71	—	J—1	②斜位の貝殻腹縁連続刺突文	②ナデ	外 Hue2.5Y 浅黄8/4 内 Hue2.5Y 淡黄8/4	白色粒（1mm前後）多量 半透明粒（1mm前後）多量 砂粒多量	やや堅	
531	71	—	J—1	②ヘラ状工具による縦の連続刺突文	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue7.5YR にぶい橙7/3	白色粒（1mm前後）多量 半透明粒（1mm前後）多量 赤色粒（1mm前後）少量 砂粒少量	堅	
532	71	14	K—1	②ヘラ状工具による縦の連続刺突文 ③貝殻条痕	②横方向のナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/2 内 Hue10YR 褐灰6/1	雲母多量 軽石状のスコリア少量 半透明粒（1mm以下）多量 白色粒（1mm以下）多量 赤色粒（1mm以下）少量	やや堅緻	
533	71	—	K—1	②ヘラ状工具による縦の連続刺突文 ③貝殻条痕	②横方向のナデ	外 Hue2.5Y 浅黄7/3 内 Hue5Y 灰6/1	半透明粒（1mm以下）多量 白色粒（1mm以下）少量 軽石状のスコリア少量	やや堅緻	
534	71	—	K—1	②ヘラ状工具による縦の連続刺突文 ③貝殻条痕	②ナデ	外 Hue2.5Y 浅黄7/3 内 Hue2.5Y 浅黄7/3	軽石状のスコリア少量 白色粒（1mm以内）多量 半透明粒（1mm以内）多量	堅	
535	71	—	J—0	②ヘラ状工具による縦の連続刺突文 ③条痕	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue7.5YR にぶい褐6/3	半透明粒（1mm以下）多量 白色粒（1mm以下）少量 軽石状のスコリア少量	堅	

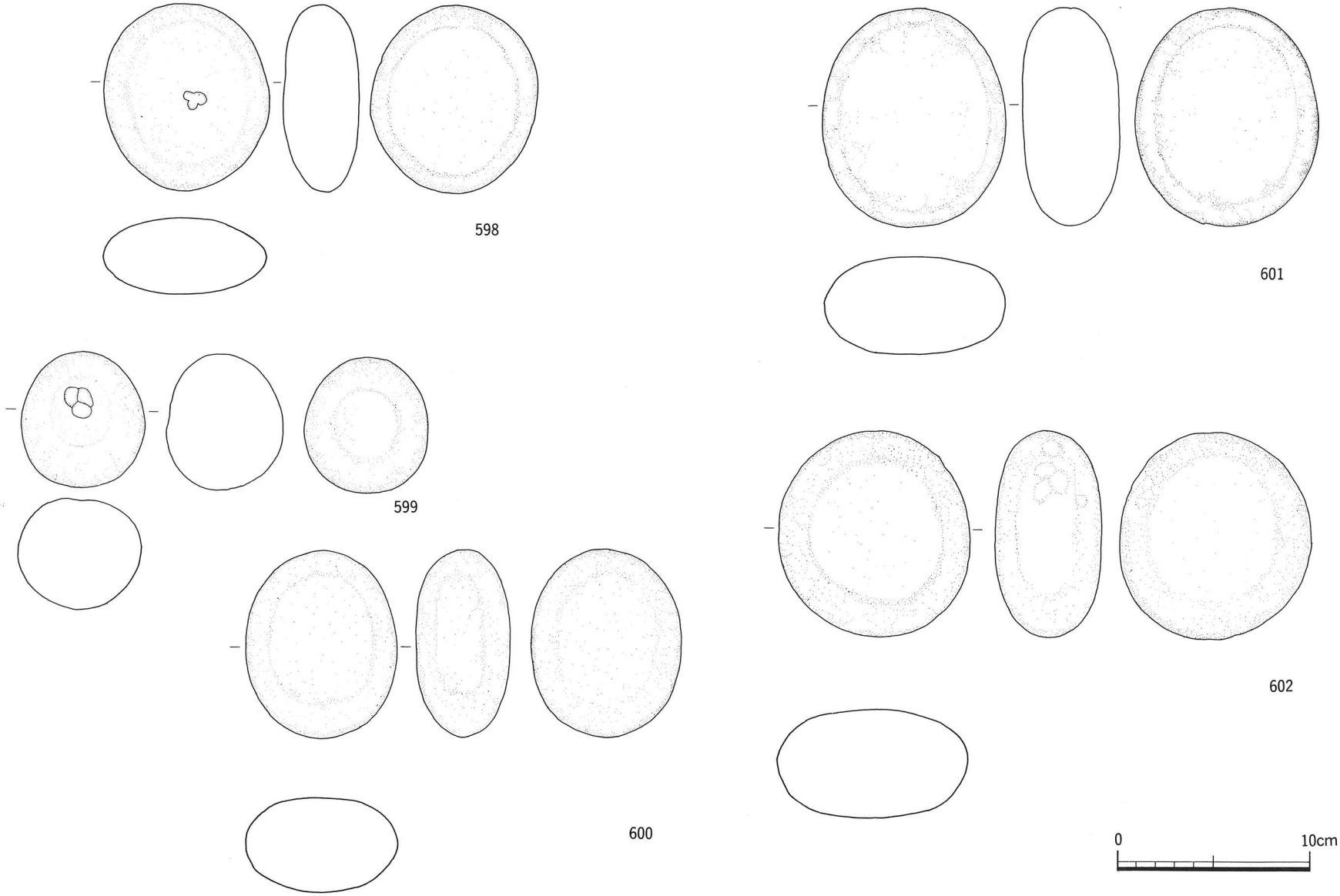
No.	挿図	図版	出土地点	文様・調整		色調	胎土	焼成	備考
				外面	内面				
536	71	—	J—1	②ヘラ状工具による縦の連続刺突文 ③貝殻条痕	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue10YR 灰黄褐6/2	白色粒（1mm以下）多量 半透明粒（1mm以下）多量 赤色粒（1mm以下）少量	堅	
537	71	—	J—1	②ヘラ状工具による縦の連続刺突文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR 灰黄褐6/2	半透明粒（1mm以下）少量 白色粒（1mm以下）少量	堅	
538	71	—	J—1	②ヘラ状工具による上から下方向への条痕 ③貝殻条痕	②ナデ	外 Hue2.5Y 明灰黄5/2 内 Hue2.5Y 黄灰5/1	半透明粒（1mm前後）多量 白色粒（1mm前後）少量	やや堅緻	
539	71	—	J—1	③貝殻条痕	③縦方向のナデ	外 Hue2.5YR 橙6/8 内 Hue5YR 橙6/6	白色粒（1mm以下）多量 半透明粒（1mm以内）多量 赤色粒（1mm以内）少量	堅緻	
540	71	—	K—1	①刻目 ②貝殻腹縁条痕後2段に縦の連続刺突文 ③貝殻条痕	②横方向のナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue10YR 褐灰6/1	半透明粒（1mm前後）多量 砂粒少量	堅	
541	71	14	I—0	③貝殻条痕	③下から上方向へのケズリ風ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/4	白色粒（2mm～3mm）多量 雲母多量 赤色粒（1mm前後）多量	堅	
542	72	—	I—9	②縦の貝殻連続刺突文	②ていねいなナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙6/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/4	砂粒多量 半透明粒（1mm以下）少量 赤色粒（1mm以下）少量	堅緻	
543	72	15	I—9	②横の貝殻腹縁刺突文	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい褐5/4 内 Hue5YR にぶい赤褐5/4	白色粒（1mm～2mm）多量 雲母多量	堅	
544	72	—	I—10	③クシ状工具による連続鋸歯文	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙6/3 内 Hue5YR 灰オリーブ5/2	白色粒（1mm～3mm）多量 砂粒少量 軽石状のスコリア多量	やや堅緻	
545	72	—	I—9	③ヘラ描の綾杉文と貝殻腹縁刺突文	③横方向のナデ	外 Hue5YR にぶい赤褐5/4 内 Hue5YR にぶい赤褐5/3	白色粒（1mm前後）多量 赤色粒（1mm前後）少量	堅緻	
546	72	14	I—9	②貝殻腹縁連続刺突文	②ナデ	外 Hue5YR にぶい橙7/4 内 Hue2.5YR 橙6/6	黒色粒少量 半透明粒（1mm前後）多量 白色粒（1mm前後）多量 赤色粒（1mm前後）多量	堅	
547	72	14	I—8	①両端に刻目 ②沈線文	②横方向のナデ	外 Hue5YR にぶい赤褐5/4 内 Hue10YR にぶい黄橙6/3	雲母多量 白色粒（1mm前後）多量 半透明粒（1mm前後）少量 軽石状のスコリア多量	堅緻	
548	72	14	I—10	③撚糸文 沈線文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙6/4 内 Hue2.5YR 明赤褐5/6	白色粒（1mm～2mm）多量 雲母多量 赤色粒（1mm前後）多量	やや堅緻	
549	72	—	I—8	③クシ状工具による条痕	③ナデ	外 Hue5YR にぶい橙6/4 内 Hue5YR 橙6/6	半透明粒（1mm前後）少量 赤色粒（1mm前後）少量 砂粒多量 軽石状のスコリア少量	やや堅緻	
550	72	—	I—10	③突帯 ナデ	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue2.5Y 黄灰5/1	半透明粒（1mm以下）少量 白色粒（1mm以下）多量 砂粒少量	やや堅緻	
551	72	—	I—10	②ナデ	②ナデ	外 Hue2.5Y 灰黄7/2 内 Hue2.5Y 黄灰5/1	半透明粒（1mm～2mm）多量 赤色粒（1mm前後）少量 軽石状のスコリア少量	堅	

No.	挿図	図版	出土地点	文様・調整		色調	胎土	焼成	備考
				外面	内面				
552	72	—	J—1	④側部は貝殻腹縁条痕文	④ケズリ風ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/4	白色粒（2mm～3mm）多量 雲母多量 赤色粒（1mm前後）多量	堅	
553	72	—	J—1	④側部は貝殻腹縁条痕文	④ナデ	外 Hue5YR 明赤褐5/6 内 Hue7.5YR 橙6/6	半透明粒（1mm～2mm）少量 白色粒（1mm前後）少量 軽石状のスコリア少量	やや堅	
554	72	—	I—1	④ナデ	④ナデ	外 Hue10YR 浅黄橙8/4 内 Hue10YR 褐灰6/1	白色粒（1mm以下）多量 半透明粒（1mm以下）多量	やや堅	
555	72	—	I—1	④ナデ	④ナデ	外 Hue7.5YR 浅黄橙8/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	砂粒多量 半透明粒（1mm前後）多量 白色粒（1mm前後）多量 軽石状のスコリア多量	堅	
556	72	—	I—1	④ていねいなナデ	④ナデ	外 Hue10YR 浅黄橙8/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/2	半透明粒（1mm前後）多量 白色粒（1mm前後）多量 砂粒多量	堅	
557	72	—	J—1	④剥離している	④ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue10YR 浅黄橙8/4	赤色粒（1mm以下）多量 白色粒（1mm以下）少量	堅	
558	75	—	H—9	②横位の山形押型文	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙6/4 内 Hue10YR 灰黄褐6/2	半透明粒（1mm以下）多量 砂粒少量 軽石状のスコリア多量	やや堅緻	
559	75	—	H—9	②横位の山形押型文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	半透明粒（1mm前後）多量 砂粒少量 軽石状のスコリア多量	やや堅緻	
560	75	—	H—10	②横位の山形押型文	②ヘラ状工具による条痕状の押圧文　横位の山形押型文	外 Hue7.5YR にぶい橙6/4 内 Hue7.5YR にぶい褐6/3	雲母多量 白色粒（1mm前後）多量	堅緻	
561	75	—	H—8	②横位の山形押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい黄橙7/4 内 Hue2.5Y 淡黄8/3	砂粒少量 白色粒（1mm前後）少量	堅緻	
562	75	—	H—10	②横位の山形押型文	③ナデ	外 Hue2.5Y 浅黄7/3 内 Hue2.5Y 灰黄6/2	半透明粒（1mm前後）少量	やや堅緻	
563	75	—	H—8	②横位の山形押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい褐6/3 内 Hue2.5Y 灰黄6/2	白色粒（1mm～3mm）多量 赤色粒（1mm～3mm）少量 砂粒多量 雲母多量	堅緻	
564	75	—	F—9	②縦位の山形押型文	②端部へヘラ状工具による連続刺突　横位の山形押型文	外 Hue7.5YR にぶい褐6/4 内 Hue7.5YR にぶい褐5/3	白色粒（1mm前後）多量 半透明粒（1mm前後）少量 赤色粒（1mm～2mm）少量 砂粒少量 軽石状のスコリア少量	堅	
565	75	—	H—10	②縦位の山形押型文	②端部にヘラ状工具による連続刺突　横位の山形押型文	外 Hue5YR にぶい橙6/4 内 Hue5YR にぶい赤褐5/4	雲母多量 白色粒（1mm前後）多量 軽石状のスコリア少量	堅緻	
566	75	—	H—9	③縦位と横位の山形押型文	③ナデ	外 Hue5YR にぶい橙7/4 内 Hue7.5YR にぶい褐6/3	半透明粒（1mm前後）少量 赤色粒（1mm前後）少量 白色粒（1mm前後）多量	やや堅緻	
567	75	—	H—9	③斜位の山形押型文	③ナデ	外 Hue2.5YR 明赤褐5/6 内 Hue2.5YR にぶい赤褐5/3	雲母多量 白色粒（1mm前後）多量	堅緻	

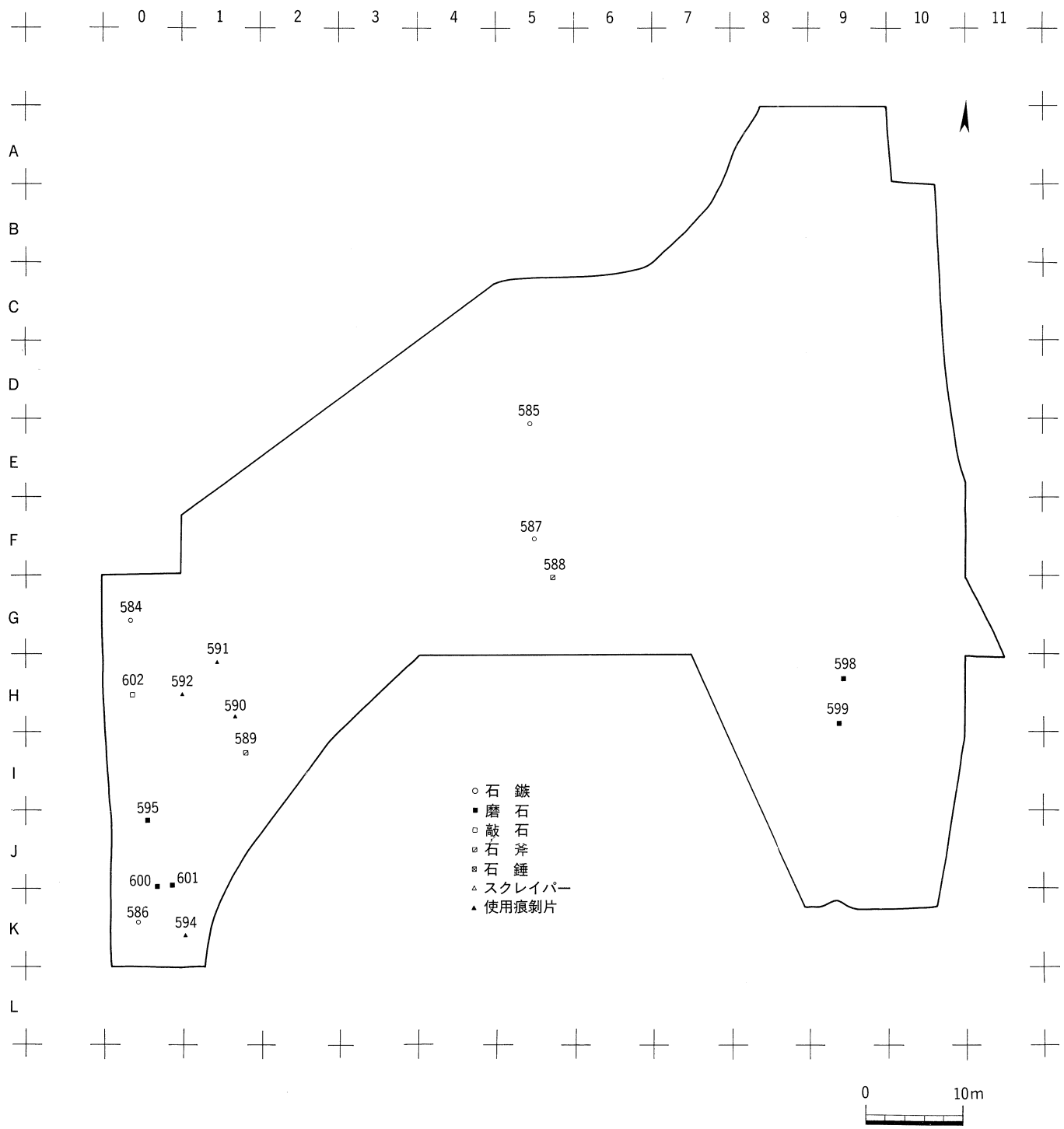
No.	挿図	図版	出土地点	文様・調整		色調	胎土	焼成	備考
				外面	内面				
568	75	—	H—10	③斜位の山形押型文	③ナデ	外 Hue5YR にぶい橙7/4 内 Hue2.5Y 浅黄7/3	赤色粒（1mm～2mm）少量 半透明粒（1mm前後）少量 軽石状のスコリア少量	やや堅緻	
569	75	—	H—10	③斜位の山形押型文	③ナデ	外 Hue5YR にぶい橙6/4 内 Hue7.5YR にぶい褐5/3	白色粒（1mm～2mm）多量 雲母多量 赤色粒（1mm前後）少量	堅緻	
570	75	—	G—1	③斜位の山形押型文	②横方向のナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙6/4 内 Hue7.5YR にぶい褐5/4	白色粒（1mm～4mm）多量 半透明粒（1mm前後）多量 黒色光沢粒少量	やや堅緻	
571	75	—	J—0	②横位の楕円形押型文	②横位の楕円形押型文	外 Hue5YR 橙6/6 内 Hue7.5YR 橙6/6	半透明粒（1mm以内）少量 軽石状のスコリア少量	やや堅緻	
572	75	—	F—10	②横位の楕円形押型文	②横位の楕円形押型文	外 Hu10R 赤5/6 内 Hue10R 赤5/6	半透明粒（1mm前後）多量 白色粒（1mm前後）多量	堅緻	
573	75	—	H—2	②横位の楕円形押型文	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	半透明粒（1mm前後）多量 砂粒少量 軽石状のスコリア多量	やや堅緻	
574	75	—	F—10	③横位から斜位への楕円形押型文	③ナデ	外 Hue2.5YR 橙6/8 内 Hue5YR 橙6/6	白色粒（1mm前後）多量 赤色粒（1mm前後）少量 半透明粒（1mm前後）少量 砂粒少量	堅	
575	75	—	F—10	③横位の楕円形押型文	③ナデ	外 Hue5YR 橙6/6 内 Hue7.5YR にぶい褐6/3	白色粒（1mm～3mm）多量 赤色粒（1mm前後）少量 半透明粒（1mm～4mm）多量	やや堅緻	
576	75	—	H—10	③縦位の楕円形押型文	③ナデ	外 Hue2.5YR 明赤褐5/6 内 Hue2.5YR にぶい赤褐5/4	白色粒（1mm～3mm）多量 半透明粒（1mm～2mm）多量	やや堅緻	
577	76	—	H—1	③縦位の楕円形押型文	③ナデ	外 Hue2.5YR 明赤褐5/6 内 Hue2.5YR にぶい赤褐4/3	白色粒（2mm～3mm）多量 赤色粒（2mm～3mm）多量 半透明粒（1mm前後）少量	堅緻	
578	76	—	G—9	③斜位の楕円形押型文	③ナデ	外 Hue2.5YR 明赤褐5/6 内 Hue5YR にぶい赤褐5/3	砂粒（2mm～3mm）少量	やや堅緻	
579	76	—	H—8	③斜位の楕円形押型文	②横方向のナデ	外 Hue10R 赤4/6 内 Hue5YR にぶい赤褐5/3	赤色粒（1mm～4mm）多量 半透明粒（1mm以下）多量 白色粒（1mm前後）多量	堅緻	
580	76	—	F—9	③斜位の楕円形押型文	③ナデ	外 Hue2.5YR 明赤褐5/6 内 Hue2.5YR にぶい赤褐5/3	白色粒（1mm前後）多量 砂粒少量	やや堅緻	
581	76	—	F—8	③斜位の楕円形押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR 橙7/6 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	白色粒（1mm前後）少量 砂粒少量	堅	
582	76	—	H—9	③横位のひし形楕円形押型文	③横方向のナデ	外 Hue7.5YR にぶい黄橙7/4 内 Hue7.5YR 褐灰6/1	半透明粒（1mm前後）多量 黒色光沢粒少量	堅	
583	76	—	H—9	③横位のひし形楕円形押型文	③ていねいなナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue2.5Y 浅黄7/4	半透明粒（1mm前後）多量 白色粒（1mm前後）少量 黒色光沢粒多量	堅緻	



第78図　B地区第Ⅳ層石器実測図(1)



第79図　B地区第Ⅳ層石器実測図(2)



第80図　B地区第Ⅳ層石器分布図

b 石器

石器の分布は２点の磨石がＨ９グリットで出土した以外は、ほとんど調査区西側で土器の分布状況に似ている。石材は、Ａ地区と状況は似ている。ただ、黒曜石の原産地については、Ａ地区ではほとんど確認されなかった腰岳や姫島等の九州北部のものが出土し、半分以上がそれである。分布状況については他の遺物と同じような状況で調査区西側に分布する。

石鏃（584～587）

585～587は基部に抉りをもつ。586は両面とも調整が細かく施される。587は刃部長3.5cmで長く、両面に細かな調整が施される。

石斧（588・589）

588は刃部のみである。頁岩を使用し両サイドにも剥離を入れている。589も頁岩を使用し両サイドには丁寧に剥離が施され調整している。

使用痕剥片（590～592・594）

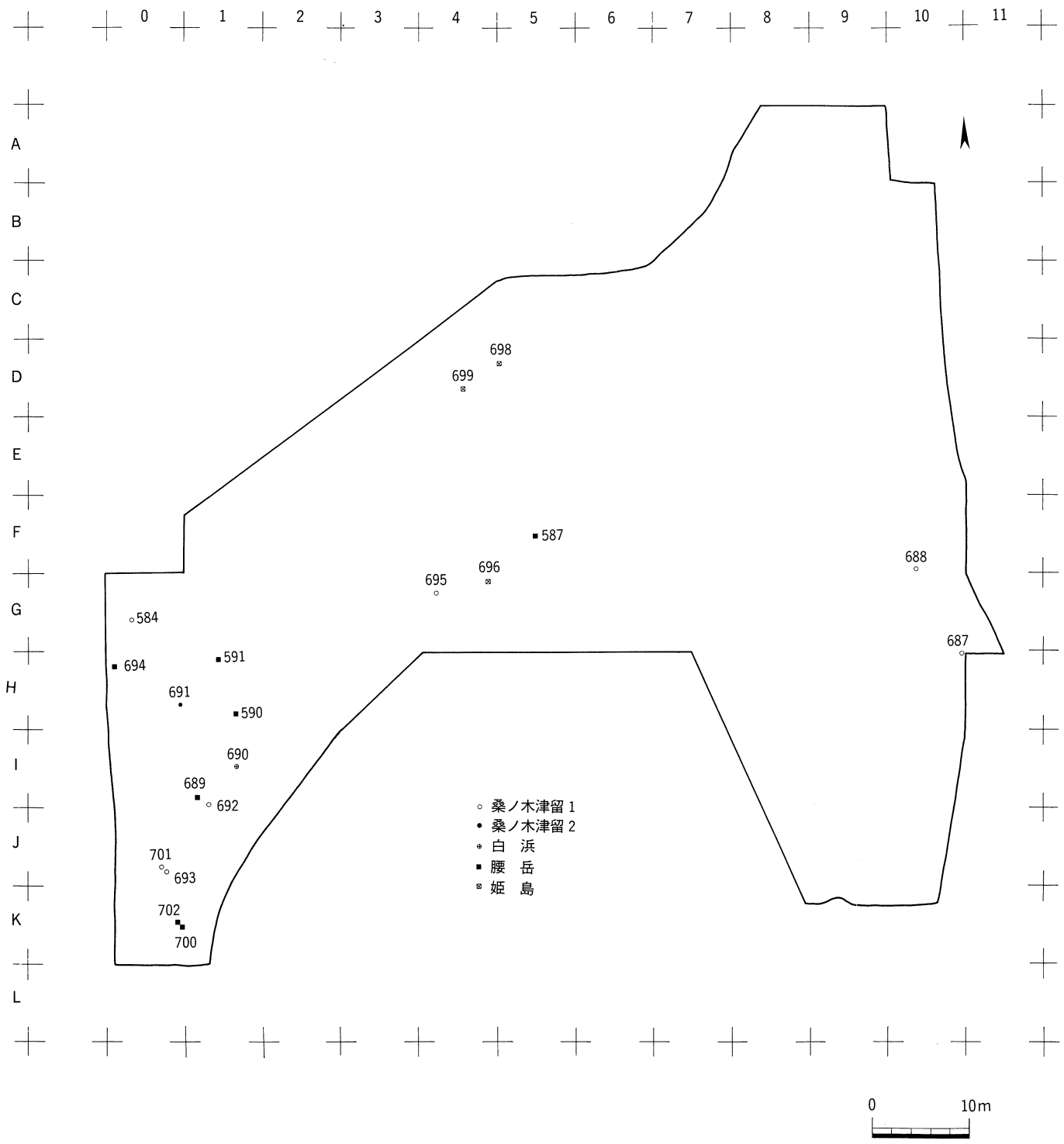
黒曜石ないし頁岩が使用されている。592・594は半弧状の使用痕剥離がみられる。591は台形状の使用痕剥離がみられる。

磨石（595・598～601）

砂岩ないし尾鈴山酸性岩類を使用している。595は爪形の剥離がみられる。598・599は、中央部に径１～２cmほどの凹みがみられる。

表－11　B地区第Ⅳ層石器観察表

NO	挿図	図版	出土地点	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	石材	備考
584	78	—	G－0	石鏃	1.9	1.8	0.3	1	黒曜石a	
585	78	—	E－5	石鏃	1.9	1.6	0.6	2	黒曜石	
586	78	19	K－0	石鏃	1.6	1.8	0.5	1	チャート	
587	78	19	F－5	石鏃	3.9	1.7	0.4	2.5	黒曜石g	
588	78	—	G－5	石斧	6.0	4.5	1.5	55	頁岩	
589	78	20	I－1	石斧	7.8	4.1	1.3	75	頁岩	
590	78	—	H－1	使用痕剥片	1.3	1.1	0.3	0.5	黒曜石g	
591	78	—	H－1	使用痕剥片	1.8	1.3	0.6	1	黒曜石g	
592	78	—	H－1	使用痕剥片	5.0	5.0	1.2	20	頁岩	
593	78	—	G－5	石核	4.4	7.1	2.1	80	頁岩	
594	78	—	K－1	使用痕剥片	5.5	4.0	1.5	25	頁岩	
595	78	—	J－0	磨石	10	4	4.7	240	尾鈴山酸性岩	
596	78	—	K－0	ブランク	5.5	7.0	5.6	220	頁岩	
597	78	—	J－0	ブランク	5.9	5.6	5.1	220	頁岩	
598	79	20	H－9	磨石	9.65	8.6	3.9	430	砂岩（細粒）	
599	79	20	H－9	磨石	7	6.4	6	360	砂岩	
600	79	—	J－0	磨石	9.7	7.7	4.85	550	尾鈴山酸性岩	
601	79	—	J －0	磨石	11.3	9.5	5	765	砂岩（中粒）	
602	79	—	H－0	敲石	10.7	9.85	5.5	820	砂岩（中･細粒）	



第81図　B地区第Ⅳ層黒曜石分布図

Ⅳ 分　　析

橋山第１遺跡出土の黒曜石製遺物の原材産地分析

藁 科 哲 男
（京都大学原子炉実験所）

はじめに

自然科学的な手法を用いて、石器石材の産地を客観的に、かつ定量的に推定し、古代の交流、交易および文化圏、交易圏を探ると言う目的で、蛍光Ｘ線分析法により研究を行っている。当初は手近に入手できるサヌカイトを中心に、分析方法と定量的な産地の判定法との確立を目標として研究したが、サヌカイトで一応の成果を得た後に、同じ方法を黒曜石にも拡張し、本格的に産地推定を行なっている[1). 2). 3).]。サヌカイト、黒曜石などの主成分組成は、原産地ごとに大きな差はみられないが、不純物として含有される微量成分組成には異同があると考えられるため、微量成分を中心に元素分析を行ない、これを産地を特定する指標とした。

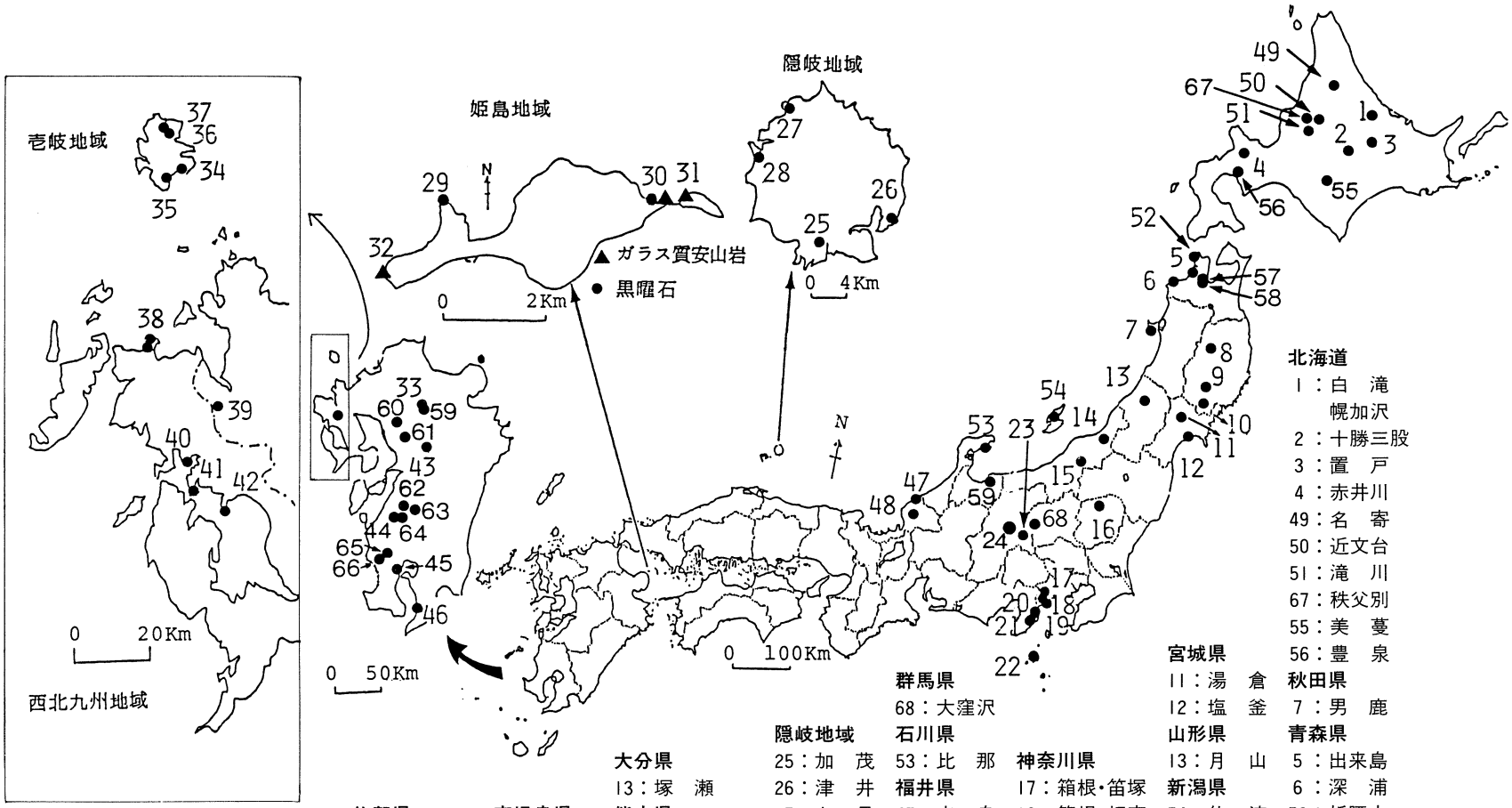
蛍光Ｘ線分析法は試料を破壊せずに分析することができて、かつ、試料調整が単純、測定の操作も簡単である。石器のような古代人の日用品で多数の試料を分析しなければ遺跡の正しい性格が分からないという場合にはことさら有利な分析法である。分類の指標とする元素組成を遺物について求め、あらかじめ、各原産地ごとに数十個の原石を分析して求めておいた各原石群の元素組成の平均値、分散などと、遺物のそれを対比して産地を推定する。この際多変量解析の手法を用いて、各産地に帰属される確率を求めて産地を同定する。

今回分析した縄文時代早期と後期の黒曜石製遺物は、宮崎県東諸県郡高岡町に位置する橋山第１遺跡のＡ地区出土のNO.1～NO.109の109個、Ｂ地区出土のNO.110～NO.129の20個で合計129個について産地分析の結果が得られたので報告する。

黒曜石原石の分析

黒曜石原石の風化面を打ち欠き、新鮮面を出し、塊状の試料を作り、エネルギー分散型蛍光Ｘ線分析装置によって元素分析を行なう。分析元素はAl、Si、K、Ca、Ti、Mn、Fe、Rb、Ｓｒ、Y、Zr、Nbの12元素をそれぞれ分析した。塊試料の形状差による分析値への影響を打ち消すために元素量の比を取り産地を特定する指標とした。黒曜石ではCa/K、Ti/K、Mn/Zr、Fe/Zr、Rb/Zr、Ｓｒ/Zr、Y/Zr、Nb/Zrをそれぞれ用いる。

黒曜石の原産地は北海道、東北、北陸、東関東、中信高原、伊豆箱根、伊豆七島の神津島、山陰、九州、の各地に黒曜石の原産地は分布する。調査を終えた原産地を第82図に示す。黒曜石原産地のほとんどすべてがつくされている。元素組成の上から、これら原石を分類すると表12に示すように96個の原石群に分かれる。佐賀県の腰岳地域および大分県の姫島地域の観音崎、両瀬の両地区は黒曜石の有名な原産地で、姫島地域ではガラス質安山岩もみられ、これについても分析を行なった。隠岐島、壱岐島、青森県、和田峠の一部の黒曜石には、Srの含有量が非常に少なく、この特徴が産地分析を行う際に他の原産地と区別する、有用な指標となっている。九州西北地域の原産地で採取された原石は、相互に組成が似た原石がみられる（表13）。西北九州地域で似た組成を示す黒曜石の原石群は、腰岳、古里第一、松浦第一の各群（腰岳系と仮称する）および淀姫、中町第一、古里第三、松浦第四の各群（淀姫系と仮称する）などである。また、古里第二群原石と肉眼的および成分的に似た原石は嬉野町松尾地区でも採取でき、この原石は姫島産乳灰色黒曜石と同色調をしているが、組成によって姫島産の黒曜石と容易に区別できる。もし似た組成の原石で遺物が作られたと



北海道
1：白　滝
　幌加沢
2：十勝三股
3：置　戸
4：赤井川
49：名　寄
50：近文台
51：滝　川
67：秩父別
55：美　蔓
56：豊　泉

秋田県
7：男　鹿

青森県
5：出来島
6：深　浦
52：折腰内
57：戸　門
58：鶴ケ坂

岩手県
8：雫　石
9：折　居
10：花　泉

宮城県
11：湯　倉
12：塩　釜

山形県
13：月　山

新潟県
54：佐　渡
14：板　山
15：大白川

栃木県
16：高原山

東京都
22：神津島

群馬県
68：大窪沢

石川県
53：比　那

福井県
47：安　島
48：三里山

長野県
23：麦草峠
24：霧ケ峰
　和田峠
　男女倉

神奈川県
17：箱根・笛塚
18：箱根・畑宿
19：鍛冶屋

静岡県
20：上多賀
21：柏峠西

富山県
59：魚　津

隠岐地域
25：加　茂
26：津　井
27：久　見
28：福　浦

姫島地域
29：観音崎
30：両　瀬
31：稲　積
32：オイ崎

大分県
13：塚　瀬

熊本県
59：小　国
60：南　関
61：　轟
43：冠ケ岳
62：白　浜
63：桑ノ木津留

鹿児島県
44：日　東
64：五女木
65：上牛鼻
66：平木場
45：竜ケ水
46：長　谷

佐賀県
39：腰　岳

壱岐地域
34：久喜ノ辻
35：君ケ浦
36：角　川
37：貝　畑

西北九州地域

長崎県
38：松　浦
40：淀　姫
41：中町、古里
42：大　崎

第82図　黒曜石原産地

き、この遺物は複数の原産地に帰属され原石産地を特定できない場合がある。たとえ遺物の原石産地がこれら腰岳系、淀姫系の原石群の中の１個の群および古里第二群のみに帰属されても、この遺物の原石産地は腰岳系、淀姫系および古里第二群の原石を産出する複数の地点を考えなければならない。角礫の黒曜石の原産地は腰岳および淀姫で、円礫は松浦、中町、古里（第二群は角礫）の各産地で産出していることから、似た組成の原石産地の区別は遺物の自然面から円礫か角礫かを判断すれば原石産地の判定に有用な情報となる。また、九州中部地域の塚瀬と小国の原産地は隣接し、黒曜石の生成マグマは同質と推測され両産地は区別できない。また、熊本県の南関、轟、冠ヶ岳の各産地の原石はローム化した阿蘇の火砕流の層の中に含まれる最大で親指大の黒曜石で、非常に広範囲な地域から採取される原石である。従って南関産に同定された遺物の原材産地を局所的に特定できない。桑ノ木津留原産地の原石は元素組成によって２個の群に区別することができる。桑の木津留第１群は道路切り通し面の露頭から採取できるが、桑ノ木津留第２群は転礫として採取でき、これら両者を肉眼的に区別はできない。遺物の産地分析によって桑ノ木津留第１群と第２群の使用頻度を遺跡毎に調査して比較することにより、遺跡相互で同じ比率であれば遺跡間の交易、交流が推測できるであろう。鹿児島県の樋脇町上牛鼻産および平木場産の両原石の各元素比は似ているため区別はできない。これは両黒曜石を作ったマグマは同じで地下深くにあり、このマグマが地殻の割れ目を通って上牛鼻および平木場地区に吹きだしたときには、両者の原石の組成は似ると推定できる。また、出水産原石組成と同じ原石は日東、五女木の各原産地から産出していてこれらは相互に区別できない。

結果と考察

遺跡から出土した黒曜石製石器、石片は風化に対して安定で、表面に薄い水和層が形成されているにすぎないため、表面の泥を水洗するだけで完全な非破壊分析が可能であると考えられる。黒曜石製の石器で、水和層の影響を考慮するとすれば、軽い元素の分析ほど表面分析になるため、水和層の影響を受けやすいと考えられる。Ca/K、Ti/K、の両軽元素比量を除いて産地分析を行なった場合、また除かずに産地分析を行った場合、いずれの場合にも同定される産地は同じである。他の元素比量についても風化の影響を完全に否定することができないので、得られた確率の数値にはやゝ不確実さを伴うが、遺物の石材産地の判定を誤るようなことはない。今回分析した遺物の結果を表14に示した。

石器の分析結果から石材産地を同定するためには数理統計の手法を用いて原石群との比較をする。説明を簡単にするためRb/Zrの一変量だけを考えると、表12の試料番号32541番の遺物ではRb/Zrの値は1.136で、桑ノ木津留第２群の［平均値］±［標準偏差値]］は、1.242±0.060である。遺物と原石群の差を標準偏差値（σ）を基準にして考えると遺物は原石群から1.7σ離れている。ところで桑ノ木津留第２群の原産地から100ヶの原石を採ってきて分析すると、平均値から±1.7σのずれより大きいものが９個ある。すなわち、この遺物が、桑ノ木津留第２群の原石から作られていたと仮定しても、1.7σ以上離れる確率は９％であると言える。だから、桑ノ木津留第２群の平均値から1.7σしか離れていないときには、この遺物が桑ノ木津留第２群の原石から作られたものでないとは、到底言いきれない。ところがこの遺物を腰岳群に比較すると、腰岳群の平均値からの隔たりは、約７σである。これを確率の言葉で表現すると、腰岳の産地の原石を採ってきて分析したとき、平均値から７σ以上離れている確率は、千万分の一であるといえる。このように、千万個に一個しかないような原石をたまたま採取して、この遺物が作られたとは考えられないから、この遺物は、腰岳産の原石から作られたものではないと断定できる。これらのことを簡単にまとめて言うと、「この遺物は桑ノ木津留第２群に９％、腰岳群に十万分の一％の確率でそれぞれ帰属される」。各遺物について、この判断を表12のすべての原石群について行ない、低い確率で帰属された原産地を消していくと残るのは、桑ノ

木津留第２群の産地だけとなり、桑ノ木津留産地の石材が使用されていると判定される。実際はRb/Zrといった唯１ヶの変量だけでなく、前述した８ヶの変量で取り扱うので変量間の相関を考慮しなければならない。例えばＡ原産地のＡ群で、Ca元素とRb元素との間に相関があり、Caの量を計ればRbの量は分析しなくても分かるようなときは、Ａ群の石材で作られた遺物であれば、Ａ群と比較したとき、Ca量が一致すれば当然Rb量も一致するはずである。もしRb量だけが少しずれている場合には、この試料はＡ群に属していないと言わなければならない。このことを数量的に導き出せるようにしたのが相関を考慮した多変量統計の手法であるマハラノビスの距離を求めて行なうホテリングのＴ^{2}検定である。[4)5)] これによって、それぞれの群に帰属する確率を求めて、産地を同定する。表15に遺跡より出土した遺物の産地推定の結果を示す。原産地は確率の高い産地のものだけを選んで記した。原石群を作った原石試料は直径３cm以上であるが、小さな遺物試料によって原石試料と同じ測定精度で元素含有量を求めるには、測定時間を長くしなければならない。しかし、多数の試料を処理するために、１個の遺物に多くの時間をかけられない事情があり、短時間で測定を打ち切る。また、検出された元素であっても、含有量の少ない元素では、得られた遺物の測定値には大きな誤差範囲が含まれ、原石群の元素組成のバラツキの範囲を越て大きくなる。したがって、小さな遺物の産地推定を行なったときに、判定の信頼限界としている0.1％に達しない確率を示す場合が比較的多くみられる。この場合には、原石産地（確率）の欄の確率値に替えて、マハラノビスの距離Ｄ^{2}の値を記した。この遺物については、記入されたＤ^{2}の値が原石群の中で最も小さなＤ^{2}値で、この値が小さい程、遺物の元素組成はその原石群の組成と似ているといえるため、推定確率は低いが、そこの原石産地と考えてほゞ間違いないと判断されたものである。

今回分析した縄文時代早期と後期の橋山第１遺跡および参考試料として縄文時代早期の天ヶ城跡出土黒曜石遺物の原石産地別使用頻度を表16に示した。橋山第１遺跡のＡ地区出土のNO.1～NO.109の第Ⅳ層出土分90個の各原石産地別使用頻度を見ると桑ノ木津留第１群、第２群では50％、21％で出水産が13％で、白浜は２％、上牛鼻は２％、竜ヶ水は３％で、松浦第３群に同定された試料番号32545番の遺物は表13に示すように松浦半島の大石、牟田地区以外に針尾島の淀姫、古里地区からも採取できるため一地区に原石産地が特定できず、西北九州地域原産地から伝播したと結論した。また、原石産地が特定できなかった遺物は３％（４個）である。Ｂ地区出土のN0.110～N0.129の第Ⅳ層出土分20個では桑ノ木津留第１群、第２群では35％、白浜産が５％、腰岳産が35％、姫島産20％でＡ地区に比べて北部九州の腰岳、姫島産の使用頻度が55％と高くなっている。天ヶ城跡出土の121個の遺物では桑ノ木津留第１群、第２群では30％、４％で出水産が３％で、白浜産が１％で、九州西北部の腰岳産が54％、淀姫産が２％、東北部九州の姫島産の使用頻度は３％で、北部九州からの原石の伝播状況は橋山第１遺跡Ｂ地区に比較的似ているようである。また、原石産地が特定できなかった遺物は３％（２個）である。直径約１メートルの範囲に集中して出土した天ヶ城跡の169個は全て桑ノ木津留第１群であった。これら遺物の出土状況と産地分析の結果で推考することにより考古学上の興味深い推論ができると思われる。

参考文献

1）藁科哲男・東村武信（1975）蛍光Ｘ線分析法によるサヌカイト石器の原産地推定（Ⅱ）考古学と自然科学8:61-69

2）藁科哲男・東村武信・鎌木義昌（1977）（1978）蛍光Ｘ線分析法によるサヌカイト石器の原産地推定（Ⅲ）（Ⅳ）考古学と自然科学10,11:53-81:33-47

3）藁科哲男・東村武信（1983）石器原材の産地分析考古学と自然科学16:59-89

4）東村武信（1976）産地推定における統計的手法考古学と自然科学9:77-90

5）東村武信（1980）考古学と物理化学学生社

表－12　各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値（$\bar{X}$）と標準偏差値（σ）

原産地	原石群名	分析個数	Ca/K $\bar{X}\pm\sigma$	Ti/K $\bar{X}\pm\sigma$	Mn/Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Fe/Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Rb/Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Sr/Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Y/Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Nb/Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Al/K $\bar{X}\pm\sigma$	Si/K $\bar{X}\pm\sigma$
北海道	名寄第一	114	0.478±0.011	0.121±0.005	0.035±0.007	2.011±0.063	0.614±0.032	0.574±0.022	0.120±0.017	0.024±0.016	0.033±0.002	0.451±0.010
	〃第二	12	0.315±0.011	0.106±0.003	0.023±0.005	1.796±0.070	0.692±0.043	0.264±0.017	0.293±0.018	0.039±0.020	0.029±0.002	0.401±0.010
	白滝第一	130	0.173±0.014	0.061±0.003	0.079±0.013	2.714±0.142	1.340±0.059	0.283±0.019	0.341±0.030	0.073±0.026	0.028±0.002	0.374±0.010
	幌加沢	23	0.139±0.009	0.023±0.001	0.099±0.015	2.975±0.102	1.794±0.077	0.104±0.110	0.470±0.037	0.103±0.027	0.027±0.002	0.369±0.007
	白滝第二	27	0.138±0.004	0.021±0.002	0.102±0.015	3.049±0.181	1.855±0.088	0.097±0.016	0.492±0.039	0.107±0.019	0.027±0.002	0.368±0.006
	近文台第一	30	0.819±0.013	0.165±0.006	0.081±0.010	3.266±0.117	0.604±0.031	0.941±0.030	0.165±0.020	0.039±0.016	0.039±0.002	0.457±0.008
	〃第二	107	0.517±0.011	0.099±0.005	0.067±0.090	2.773±0.097	0.812±0.037	0.818±0.034	0.197±0.024	0.041±0.019	0.035±0.002	0.442±0.009
	〃第三	17	0.514±0.012	0.098±0.005	0.066±0.014	2.765±0.125	0.814±0.068	0.815±0.042	0.199±0.039	0.078±0.008	0.034±0.002	0.443±0.011
	秩父別第一	51	0.249±0.017	0.122±0.006	0.078±0.011	1.614±0.068	0.995±0.037	0.458±0.022	0.235±0.024	0.023±0.021	0.022±0.004	0.334±0.013
	〃第二	25	0.506±0.016	0.098±0.005	0.070±0.011	2.750±0.099	0.805±0.042	0.808±0.032	0.197±0.026	0.027±0.016	0.027±0.003	0.371±0.010
	滝川第一	31	0.253±0.018	0.122±0.006	0.077±0.009	1.613±0.090	1.017±0.045	0.459±0.025	0.233±0.029	0.038±0.018	0.025±0.003	0.370±0.023
	〃第二	15	0.510±0.015	0.098±0.005	0.068±0.009	2.740±0.072	0.802±0.019	0.812±0.019	0.192±0.026	0.032±0.023	0.030±0.004	0.393±0.031
	置戸	65	0.326±0.008	0.128±0.005	0.045±0.008	1.813±0.062	0.824±0.034	0.454±0.020	0.179±0.023	0.044±0.020	0.030±0.002	0.412±0.010
	十勝三股	60	0.256±0.018	0.074±0.005	0.068±0.010	2.281±0.087	1.097±0.055	0.434±0.023	0.334±0.029	0.064±0.025	0.029±0.002	0.396±0.013
	美蔓第一	41	0.499±0.020	0.124±0.007	0.052±0.010	2.635±0.181	0.802±0.061	0.707±0.044	0.199±0.029	0.039±0.023	0.033±0.002	0.442±0.015
	〃第二	28	0.593±0.036	0.144±0.012	0.056±0.010	3.028±0.251	0.762±0.040	0.764±0.051	0.197±0.026	0.038±0.022	0.034±0.002	0.449±0.009
	赤井川	50	0.254±0.029	0.070±0.004	0.086±0.010	2.213±0.104	0.969±0.060	0.428±0.021	0.249±0.024	0.058±0.023	0.027±0.002	0.371±0.009
	豊泉	75	0.473±0.019	0.148±0.007	0.060±0.015	1.764±0.072	0.438±0.027	0.607±0.028	0.157±0.020	0.025±0.017	0.032±0.002	0.469±0.013
青森県	折腰内	35	0.190±0.015	0.075±0.003	0.040±0.008	1.575±0.066	1.241±0.046	0.318±0.014	0.141±0.033	0.076±0.021	0.024±0.002	0.348±0.010
	出来島	27	0.364±0.022	0.132±0.007	0.231±0.019	2.268±0.085	0.865±0.044	1.106±0.056	0.399±0.038	0.179±0.031	0.038±0.003	0.499±0.013
	深浦	36	0.080±0.008	0.097±0.011	0.013±0.002	0.697±0.021	0.128±0.008	0.002±0.002	0.064±0.007	0.035±0.004	0.026±0.002	0.379±0.010
	戸門第一	28	0.250±0.024	0.069±0.003	0.068±0.012	2.358±0.257	1.168±0.062	0.521±0.063	0.277±0.065	0.076±0.025	0.026±0.002	0.362±0.015
	〃第二	28	0.084±0.006	0.104±0.004	0.013±0.002	0.691±0.021	0.123±0.006	0.002±0.002	0.069±0.010	0.033±0.005	0.025±0.002	0.369±0.007
	鶴ケ坂	33	0.344±0.017	0.132±0.007	0.232±0.023	2.261±0.143	0.861±0.052	1.081±0.060	0.390±0.039	0.186±0.037	0.037±0.002	0.496±0.018
秋田県	男鹿	43	0.293±0.007	0.087±0.004	0.223±0.015	1.637±0.072	1.512±0.082	0.920±0.054	0.287±0.042	0.125±0.031	0.027±0.002	0.362±0.006
岩手県	雫石	25	0.636±0.033	0.187±0.012	0.052±0.007	1.764±0.061	0.305±0.016	0.431±0.021	0.209±0.016	0.045±0.014	0.041±0.003	0.594±0.014
	折居	22	0.615±0.055	0.180±0.016	0.058±0.007	1.751±0.062	0.306±0.033	0.421±0.051	0.228±0.079	0.045±0.011	0.041±0.005	0.594±0.055
	花泉	30	0.596±0.046	0.177±0.018	0.056±0.008	1.742±0.072	0.314±0.019	0.420±0.025	0.220±0.016	0.044±0.013	0.041±0.003	0.586±0.030
宮城県	湯倉	21	2.174±0.068	0.349±0.017	0.057±0.005	2.544±0.149	0.116±0.009	0.658±0.024	0.138±0.015	0.020±0.013	0.073±0.003	0.956±0.040
	塩釜	37	4.828±0.395	1.630±0.104	0.178±0.017	11.362±1.150	0.168±0.018	1.298±0.063	0.155±0.016	0.037±0.018	0.077±0.002	0.720±0.032
山形県	月山	44	0.285±0.021	0.123±0.007	0.182±0.016	1.906±0.096	0.966±0.069	1.022±0.071	0.276±0.036	0.119±0.033	0.033±0.002	0.443±0.014
新潟県	佐渡第一	34	0.228±0.013	0.078±0.006	0.020±0.005	1.492±0.079	0.821±0.047	0.288±0.018	0.142±0.018	0.049±0.017	0.024±0.004	0.338±0.013

新潟県	〃第二	12	0.263±0.032	0.097±0.018	0.020±0.006	1.501±0.053	0.717±0.106	0.326±0.029	0.091±0.022	0.046±0.015	0.026±0.002	0.338±0.009
	板　山	44	0.232±0.011	0.068±0.003	0.169±0.017	2.178±0.110	1.772±0.098	0.772±0.046	0.374±0.047	0.154±0.034	0.027±0.002	0.359±0.009
	大白川	22	0.569±0.012	0.142±0.007	0.033±0.005	1.608±0.049	0.261±0.012	0.332±0.011	0.150±0.015	0.033±0.011	0.036±0.003	0.491±0.014
栃木県	高原山	40	0.738±0.067	0.200±0.010	0.044±0.007	2.016±0.110	0.381±0.025	0.502±0.028	0.190±0.017	0.023±0.014	0.036±0.002	0.516±0.012
東京都	神津島第一	56	0.381±0.014	0.136±0.005	0.102±0.011	1.729±0.079	0.471±0.027	0.689±0.037	0.247±0.021	0.090±0.026	0.036±0.003	0.504±0.012
	〃　第二	23	0.317±0.016	0.120±0.008	0.114±0.014	1.833±0.069	0.615±0.039	0.656±0.050	0.303±0.034	0.107±0.026	0.033±0.002	0.471±0.009
神奈川県	箱根・笛塚	30	6.765±0.254	2.219±0.057	0.228±0.019	9.282±0.622	0.048±0.017	1.757±0.061	0.252±0.017	0.025±0.019	0.140±0.008	1.528±0.046
	〃・畑宿	41	2.056±0.064	0.669±0.019	0.076±0.007	2.912±0.104	0.062±0.007	0.680±0.029	0.202±0.011	0.011±0.010	0.080±0.005	1.126±0.031
	鍛冶屋	31	1.663±0.071	0.381±0.019	0.056±0.007	2.139±0.097	0.073±0.008	0.629±0.025	0.154±0.009	0.011±0.009	0.067±0.005	0.904±0.020
静岡県	上多賀	31	1.329±0.078	0.294±0.018	0.041±0.006	1.697±0.068	0.087±0.009	0.551±0.023	0.138±0.011	0.010±0.009	0.059±0.004	0.856±0.018
	柏峠西	35	1.213±0.164	0.314±0.028	0.031±0.004	1.699±0.167	0.113±0.007	0.391±0.022	0.143±0.007	0.009±0.009	0.047±0.004	0.663±0.020
富山県	魚　津	12	0.278±0.013	0.065±0.004	0.064±0.008	2.084±0.095	0.906±0.057	0.641±0.046	0.194±0.014	0.102±0.021	0.027±0.002	0.372±0.009
石川県	比　那	17	0.370±0.014	0.087±0.004	0.060±0.009	2.699±0.167	0.639±0.028	0.534±0.023	0.172±0.028	0.052±0.018	0.032±0.002	0.396±0.017
福井県	安　島	21	0.407±0.007	0.123±0.005	0.038±0.006	1.628±0.051	0.643±0.041	0.675±0.030	0.113±0.020	0.061±0.016	0.032±0.002	0.450±0.010
	三里山	21	0.350±0.018	0.123±0.008	0.036±0.006	1.561±0.081	0.608±0.031	0.798±0.039	0.069±0.020	0.062±0.013	0.028±0.002	0.381±0.008
群馬県	大窪沢	42	1.481±0.117	0.466±0.021	0.042±0.006	2.005±0.135	0.182±0.011	0.841±0.044	0.105±0.010	0.009±0.008	0.033±0.005	0.459±0.012
長野県	霧ヶ峰	171	0.138±0.009	0.066±0.003	0.104±0.011	1.339±0.057	1.076±0.047	0.360±0.023	0.275±0.030	0.112±0.023	0.026±0.002	0.361±0.013
	和田峠第一	143	0.167±0.028	0.049±0.008	0.117±0.011	1.346±0.085	1.853±0.124	0.112±0.056	0.409±0.048	0.139±0.026	0.025±0.002	0.355±0.016
	〃　第二	17	0.146±0.003	0.032±0.003	0.151±0.010	1.461±0.039	2.449±0.135	0.036±0.012	0.517±0.044	0.186±0.025	0.027±0.002	0.368±0.007
	〃　第三	62	0.248±0.048	0.064±0.012	0.114±0.011	1.520±0.182	1.673±0.140	0.274±0.104	0.374±0.048	0.122±0.024	0.025±0.003	0.348±0.017
	〃　第四	37	0.144±0.017	0.063±0.004	0.094±0.009	1.373±0.085	1.311±0.037	0.206±0.030	0.263±0.038	0.090±0.022	0.023±0.002	0.331±0.019
	〃　第五	47	0.176±0.019	0.075±0.010	0.073±0.011	1.282±0.086	1.053±0.196	0.275±0.058	0.184±0.042	0.066±0.023	0.021±0.002	0.306±0.013
	〃　第六	53	0.156±0.011	0.055±0.005	0.095±0.012	1.333±0.064	1.523±0.093	0.134±0.031	0.279±0.039	0.010±0.017	0.021±0.002	0.313±0.012
	鷹山・和田	53	0.138±0.004	0.042±0.002	0.123±0.010	1.259±0.041	1.978±0.067	0.045±0.010	0.442±0.039	0.142±0.022	0.026±0.002	0.360±0.010
	男女倉	119	0.223±0.026	0.102±0.010	0.059±0.008	1.169±0.081	0.701±0.109	0.409±0.052	0.128±0.024	0.053±0.017	0.026±0.002	0.354±0.008
	麦草峠	68	0.263±0.020	0.138±0.011	0.049±0.008	1.403±0.069	0.532±0.048	0.764±0.031	0.101±0.018	0.056±0.016	0.029±0.002	0.401±0.017
島根県	加　茂	20	0.154±0.008	0.092±0.009	0.018±0.003	0.943±0.029	0.289±0.016	0.006±0.003	0.047±0.010	0.144±0.019	0.022±0.001	0.269±0.017
	津　井	30	0.150±0.008	0.100±0.003	0.015±0.002	0.919±0.033	0.305±0.010	0.013±0.003	0.046±0.013	0.132±0.007	0.022±0.001	0.258±0.006
	久　見	31	0.142±0.004	0.061±0.002	0.020±0.003	0.981±0.048	0.398±0.013	0.001±0.002	0.093±0.015	0.229±0.010	0.023±0.002	0.317±0.006
大分県	観音崎	41	0.216±0.017	0.045±0.003	0.428±0.057	6.897±0.806	1.829±0.220	1.572±0.180	0.325±0.088	0.622±0.099	0.035±0.002	0.418±0.011
	両瀬　第一	33	0.221±0.021	0.045±0.003	0.450±0.061	7.248±0.668	1.917±0.194	1.660±0.173	0.355±0.057	0.669±0.105	0.035±0.002	0.419±0.009
	※〃第二	32	0.634±0.047	0.140±0.013	0.194±0.026	4.399±0.322	0.614±0.077	3.162±0.189	0.144±0.031	0.240±0.041	0.038±0.002	0.451±0.011
	※〃第三	10	1.013±0.140	0.211±0.026	0.126±0.016	3.491±0.231	0.305±0.067	4.002±0.174	0.109±0.021	0.137±0.028	0.040±0.004	0.471±0.017
	※オイ崎	29	1.074±0.110	0.224±0.024	0.122±0.012	3.460±0.301	0.286±0.048	4.010±0.197	0.101±0.022	0.133±0.025	0.040±0.003	0.469±0.014
	※稲　積	25	0.653±0.066	0.141±0.016	0.189±0.030	4.398±0.425	0.605±0.096	3.234±0.264	0.151±0.033	0.245±0.050	0.037±0.002	0.448±0.015
	塚　瀬	30	0.313±0.023	0.127±0.009	0.065±0.010	1.489±0.124	0.600±0.051	0.686±0.082	0.175±0.018	0.102±0.020	0.028±0.002	0.371±0.009

佐賀県	腰　岳	26	0.214±0.015	0.029±0.001	0.076±0.012	2.694±0.110	1.686±0.085	0.441±0.030	0.293±0.039	0.257±0.029	0.027±0.002	0.356±0.008
長崎県	久喜ノ辻	37	0.165±0.012	0.066±0.002	0.034±0.003	1.197±0.030	0.403±0.012	0.005±0.004	0.114±0.012	0.326±0.008	0.024±0.002	0.294±0.008
	君ケ浦	28	0.161±0.011	0.064±0.002	0.034±0.003	1.209±0.032	0.405±0.008	0.005±0.004	0.119±0.016	0.322±0.010	0.025±0.002	0.294±0.006
	角　川	29	0.138±0.010	0.037±0.002	0.056±0.007	1.741±0.083	1.880±0.076	0.012±0.012	0.303±0.038	0.652±0.036	0.026±0.002	0.358±0.010
	松浦第一	23	0.218±0.010	0.029±0.002	0.085±0.013	2.692±0.125	1.674±0.064	0.439±0.027	0.284±0.047	0.266±0.028	0.027±0.002	0.359±0.012
	〃第二	17	0.176±0.016	0.030±0.004	0.062±0.022	2.364±0.389	1.607±0.245	0.308±0.074	0.277±0.056	0.210±0.050	0.026±0.002	0.361±0.010
	〃第三	16	0.245±0.019	0.060±0.006	0.045±0.012	1.975±0.240	0.878±0.099	0.421±0.081	0.130±0.030	0.145±0.023	0.026±0.002	0.358±0.013
	〃第四	22	0.287±0.019	0.067±0.004	0.044±0.007	1.906±0.106	0.765±0.074	0.484±0.034	0.115±0.023	0.117±0.018	0.028±0.001	0.367±0.007
	淀　姫	44	0.329±0.014	0.080±0.005	0.042±0.007	1.804±0.065	0.539±0.022	0.504±0.035	0.077±0.018	0.117±0.014	0.029±0.002	0.374±0.009
	中町第一	25	0.248±0.017	0.058±0.008	0.057±0.007	1.884±0.085	0.832±0.092	0.403±0.026	0.112±0.021	0.152±0.017	0.026±0.002	0.363±0.007
	〃第二	17	0.327±0.030	0.080±0.017	0.045±0.007	1.832±0.074	0.653±0.088	0.488±0.030	0.090±0.030	0.093±0.023	0.027±0.002	0.358±0.012
	古里第一	40	0.192±0.020	0.027±0.003	0.080±0.016	2.699±0.215	1.780±0.164	0.413±0.065	0.312±0.056	0.259±0.040	0.027±0.002	0.358±0.008
	〃第二	22	0.414±0.012	0.073±0.006	0.102±0.015	2.898±0.204	1.221±0.094	1.951±0.124	0.133±0.047	0.261±0.034	0.031±0.002	0.383±0.010
	〃第三	19	0.257±0.035	0.062±0.009	0.054±0.009	1.939±0.131	0.812±0.113	0.436±0.052	0.101±0.029	0.145±0.037	0.028±0.002	0.364±0.011
	大　崎	25	0.161±0.011	0.051±0.002	0.037±0.006	1.718±0.056	0.948±0.030	0.179±0.018	0.191±0.026	0.137±0.019	0.024±0.002	0.340±0.006
熊本県	小　国	30	0.317±0.023	0.127±0.005	0.063±0.007	1.441±0.070	0.611±0.032	0.703±0.044	0.175±0.233	0.097±0.017	0.023±0.002	0.320±0.007
	南　関	30	0.261±0.016	0.214±0.007	0.034±0.003	0.788±0.033	0.326±0.012	0.278±0.015	0.069±0.012	0.031±0.009	0.021±0.002	0.243±0.008
	轟	44	0.258±0.009	0.214±0.006	0.033±0.005	0.794±0.078	0.329±0.017	0.275±0.010	0.066±0.011	0.033±0.009	0.020±0.003	0.243±0.008
	冠ケ岳	21	0.261±0.012	0.211±0.008	0.032±0.003	0.780±0.038	0.324±0.011	0.279±0.017	0.064±0.011	0.037±0.006	0.025±0.002	0.277±0.009
	白　浜	40	0.197±0.020	0.104±0.008	0.025±0.006	1.405±0.073	1.048±0.087	0.348±0.028	0.163±0.023	0.033±0.017	0.019±0.001	0.273±0.007
	桑ノ木津留											
	第一群	47	0.207±0.015	0.094±0.006	0.070±0.009	1.521±0.075	1.080±0.048	0.418±0.020	0.266±0.034	0.063±0.024	0.020±0.003	0.314±0.011
	第二群	33	0.261±0.015	0.094±0.006	0.066±0.010	1.743±0.095	1.242±0.060	0.753±0.039	0.205±0.029	0.047±0.036	0.022±0.002	0.323±0.019
鹿児島県	出水(日東)	42	0.262±0.018	0.143±0.006	0.022±0.004	1.178±0.040	0.712±0.028	0.408±0.025	0.100±0.018	0.029±0.013	0.019±0.001	0.275±0.006
	五女木	37	0.266±0.021	0.140±0.006	0.019±0.003	1.170±0.064	0.705±0.027	0.405±0.021	0.108±0.015	0.028±0.013	0.019±0.001	0.275±0.006
	上牛鼻	41	1.629±0.098	0.804±0.037	0.053±0.006	3.342±0.215	0.188±0.013	1.105±0.056	0.087±0.009	0.022±0.009	0.036±0.002	0.391±0.011
	平木場	34	1.944±0.054	0.912±0.028	0.062±0.005	3.975±0.182	0.184±0.011	1.266±0.049	0.093±0.010	0.021±0.010	0.038±0.003	0.408±0.010
	竜ケ水	28	0.514±0.032	0.167±0.008	0.063±0.009	1.524±0.079	0.619±0.038	0.719±0.054	0.115±0.019	0.082±0.016	0.037±0.003	0.523±0.009
	長　谷	30	0.553±0.032	0.137±0.006	0.065±0.010	1.815±0.062	0.644±0.028	0.553±0.029	0.146±0.021	0.066±0.020	0.037±0.003	0.524±0.012
	JG-1a*1	127	0.755±0.010	0.202±0.005	0.076±0.011	3.759±0.111	0.993±0.036	1.331±0.046	0.251±0.027	0.105±0.017	0.028±0.002	0.342±0.004

※：ガラス質安山岩　a)：Ando, A., Kurasawa, H., Ohmori, T. & Takeda, E. (1974). 1974 compilation of data on the GSJ geochemical reference samples JG-1 granodiorite and JB-1 basalt. Geochemical Journal Vol. 8, 175-192.

表—13　九州西北地域原産地採取原石が各原石群に同定される割合の百分率（%）

原石群	九州西北地域原産地地区名（原石個数）						
	腰岳	淀姫	古里陸地	古里海岸	中町	牟田	大石
	(26)	(44)	(66)	(21)	(44)	(46)	(39)
腰岳群	100		37			24	33
淀姫群		100					
古里第一群	100		63	5		43	51
第二群			8	57	2		
第三群		95	25	33	91	50	26
中町第一群		12	14	24	61	26	18
第二群			14	24	64	39	28
松浦第一群	88	98	32			24	33
第二群	96		51	5	2	39	51
第三群		51	24	33	82	54	49
第四群		88	17	24	82	52	33

表—14　橋山第1遺跡（A・B地区）出土の黒曜石製遺物分析結果

遺物番号	試料番号	元素比									
		Ca/K	Ti/K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/K	Si/K
251	32541	.275	.092	.051	1.473	1.136	.718	.237	.071	.024	.350
245	32542	.268	.092	.047	1.675	1.154	.776	.221	.076	.000	.288
603	32543	.277	.097	.053	1.459	1.075	.738	.227	.105	.022	.343
275	32544	.169	.061	.053	1.329	.996	.705	.228	.052	.013	.217
604	32545	.209	.056	.048	1.703	.863	.409	.167	.187	.024	.341
262	32546	.265	.092	.046	1.378	1.085	.777	.175	.064	.020	.308
605	32547	.287	.100	.054	1.655	1.088	.780	.254	.072	.023	.349
264	32548	.301	.102	.072	1.608	1.124	.776	.211	.080	.023	.342
606	32549	.295	.114	.029	1.431	.977	.694	.202	.059	.026	.350
607	32550	.228	.093	.060	1.299	.981	.433	.299	.089	.023	.306
608	32551	.214	.093	.061	1.410	.993	.384	.270	.095	.022	.327
609	32554	.250	.139	.020	1.191	.703	.395	.087	.052	.021	.296
216	32559	.200	.099	.021	1.358	1.123	.354	.177	.040	.020	.282
610	32562	.109	.065	.087	1.549	1.161	.425	.260	.086	.017	.240
611	32563	.180	.088	.056	1.423	.971	.393	.288	.078	.021	.318
267	32564	.293	.107	.053	1.562	.931	.695	.190	.073	.025	.354
265	32565	.218	.099	.076	1.476	.992	.441	.289	.058	.020	.331
612	32566	.298	.100	.058	1.599	1.050	.845	.160	.041	.021	.343
613	32567	.245	.101	.056	1.427	1.010	.377	.226	.082	.025	.343
614	32569	.229	.098	.072	1.585	1.067	.450	.262	.074	.022	.340
276	32570	.297	.105	.047	1.589	1.007	.706	.169	.046	.024	.367
254	32571	.213	.095	.062	1.467	1.042	.395	.288	.082	.022	.322
615	32573	.270	.085	.063	1.780	1.296	.790	.223	.086	.022	.350
616	32574	.183	.091	.078	1.559	.976	.384	.256	.079	.022	.334
617	32575	.207	.089	.069	1.508	1.067	.413	.264	.064	.024	.337

618	32576	.222	.093	.065	1.504	1.012	.412	.257	.079	.025	.357
619	32577	.243	.129	.019	1.165	.757	.437	.070	.027	.020	.284
266	32578	.290	.101	.057	1.654	1.052	.728	.167	.044	.025	.362
620	32579	.187	.097	.069	1.465	1.043	.419	.299	.077	.022	.319
621	32580	.238	.134	.028	1.168	.703	.397	.086	.024	.018	.288
622	32581	.244	.145	.019	1.142	.729	.398	.124	.038	.021	.288
623	32582	.212	.131	.015	1.220	.753	.410	.098	.061	.023	.292
624	32583	.285	.102	.047	1.490	.973	.667	.179	.051	.022	.331
625	32585	.138	.085	.062	1.505	.997	.413	.252	.087	.021	.306
626	32586	.209	.099	.029	1.298	1.038	.333	.169	.062	.020	.275
627	32587	.185	.090	.072	1.512	1.052	.401	.218	.079	.023	.350
628	32589	.182	.092	.069	1.500	1.080	.416	.252	.049	.020	.318
629	32590	.208	.090	.068	1.532	1.110	.400	.243	.087	.023	.341
630	32591	.320	.113	.047	1.467	.963	.710	.122	.062	.023	.354
631	32592	.161	.088	.094	1.546	1.135	.440	.261	.077	.024	.319
632	32593	.247	.128	.014	1.081	.671	.381	.124	.022	.020	.278
633	32594	.215	.089	.069	1.569	1.065	.404	.258	.071	.025	.332
634	32595	.272	.100	.045	1.475	1.005	.729	.240	.054	.020	.303
278	32596	.154	.064	.063	1.448	1.027	.369	.247	.062	.016	.251
635	32597	.213	.087	.061	1.521	1.031	.391	.272	.065	.020	.341
636	32598	.184	.092	.080	1.367	1.022	.388	.258	.081	.022	.346
647	32599	.209	.090	.069	1.556	1.120	.418	.308	.094	.025	.341
638	32600	.253	.137	.015	1.100	.674	.399	.116	.041	.021	.282
639	32601	.276	.147	.018	1.115	.728	.412	.127	.057	.020	.281
640	32602	.176	.090	.073	1.414	1.048	.392	.261	.050	.022	.343
641	32603	.297	.109	.053	1.646	1.025	.722	.173	.043	.027	.385
642	32605	.283	.124	.022	1.171	.716	.425	.110	.026	.021	.299
643	32606	.201	.090	.066	1.488	1.077	.421	.313	.000	.022	.339
644	32607	.200	.094	.063	1.391	.986	.380	.219	.057	.023	.340
263	32608	.226	.090	.064	1.513	1.065	.443	.255	.060	.024	.336
645	32609	.294	.107	.057	1.574	.967	.692	.130	.020	.025	.350
646	32610	.172	.093	.071	1.590	1.056	.435	.262	.077	.024	.355
647	32611	.215	.103	.058	1.536	1.095	.413	.277	.057	.021	.329
215	32612	.234	.085	.064	1.516	.898	.416	.264	.079	.023	.342
255	32613	1.557	.790	.037	2.926	.227	1.123	.090	.026	.032	.388
648	32614	.239	.145	.019	1.109	.648	.367	.120	.043	.021	.295
649	32615	.222	.095	.081	1.845	1.102	.450	.275	.067	.024	.338
260	32616	.221	.094	.081	1.618	.986	.412	.313	.076	.024	.325
261	32617	.191	.096	.073	1.444	1.012	.407	.276	.079	.021	.334
650	32621	.303	.112	.060	1.677	1.069	.765	.158	.031	.023	.341
651	32622	.199	.090	.083	1.705	1.153	.438	.303	.053	.021	.319
259	32623	.507	.162	.045	1.363	.603	.694	.102	.070	.030	.445
652	32624	.214	.089	.082	1.664	1.053	.406	.307	.068	.025	.344
653	32625	.281	.103	.057	1.580	1.013	.705	.175	.072	.023	.371
654	32628	.164	.099	.021	1.089	.767	.432	.098	.067	.016	.220
655	32630	.279	.101	.062	1.560	1.030	.775	.216	.057	.021	.349
656	32631	.285	.108	.054	1.588	1.017	.735	.149	.055	.022	.326
657	32632	.229	.102	.069	1.449	1.086	.454	.213	.061	.024	.334
658	32633	.190	.096	.079	1.462	1.003	.368	.249	.077	.025	.335
659	32634	.292	.105	.058	1.616	.975	.699	.194	.044	.024	.362
660	32639	.269	.102	.049	1.446	.963	.659	.160	.038	.022	.326
500	32640	.242	.143	.013	1.122	.662	.381	.112	.031	.020	.291

661	32641	.253	.148	.022	1.245	.724	.404	.110	.042	.021	.292
248	32642	.152	.086	.019	1.121	.749	.424	.055	.039	.016	.200
662	32643	.215	.091	.076	1.620	1.149	.443	.281	.069	.024	.337
663	32644	.257	.092	.066	1.511	.957	.684	.143	.046	.019	.307
664	32645	.277	.100	.042	1.650	1.016	.698	.164	.059	.024	.341
665	32647	.257	.139	.021	1.161	.707	.376	.128	.037	.022	.282
666	32648	.650	.168	.062	1.424	.594	.837	.092	.074	.034	.479
258	32649	.179	.095	.059	1.466	1.096	.395	.305	.036	.024	.336
275	32650	.472	.164	.060	1.460	.630	.662	.101	.097	.031	.445
667	32651	.284	.085	.053	1.393	.659	.761	.137	.056	.018	.263
668	32654	.221	.093	.072	1.515	.969	.407	.316	.078	.023	.322
669	32655	.216	.086	.071	1.535	1.086	.436	.321	.068	.020	.320
214	32656	.301	.100	.037	1.536	.943	.709	.185	.022	.027	.358
670	32552	1.486	.767	.053	2.735	.191	1.020	.090	.039	.036	.413
671	32553	.244	.139	.022	1.163	.726	.411	.099	.043	.019	.290
672	32555	.263	.143	.017	1.170	.722	.413	.118	.038	.022	.287
673	32557	.232	.140	.022	1.016	.666	.399	.129	.037	.023	.286
674	32558	.253	.101	.075	1.589	.964	.420	.213	.058	.025	.335
675	32560	.293	.130	.014	1.118	.725	.423	.125	.048	.021	.291
676	32561	.288	.107	.061	1.658	1.056	.751	.194	.000	.021	.353
509	32568	.300	.108	.055	1.517	.981	.653	.194	.048	.023	.343
499	32584	.282	.106	.052	1.658	1.049	.755	.189	.058	.022	.334
677	32618	.277	.150	.028	1.165	.702	.423	.076	.028	.020	.286
678	32619	.215	.088	.076	1.686	1.153	.453	.288	.000	.028	.362
679	32626	.253	.149	.016	1.178	.676	.366	.107	.027	.017	.280
680	32627	.230	.090	.079	1.605	1.049	.548	.286	.092	.022	.334
681	32629	.225	.118	.012	1.146	.608	.377	.104	.025	.018	.240
682	32635	.311	.115	.039	1.372	.908	.716	.175	.036	.024	.327
683	32637	.185	.089	.076	1.474	1.038	.407	.269	.099	.023	.320
684	32638	.253	.147	.023	1.185	.713	.432	.103	.018	.019	.284
685	32646	.240	.136	.026	1.145	.708	.397	.136	.030	.021	.307
686	32653	.257	.141	.021	1.020	.677	.352	.128	.033	.021	.279
687	32657	.215	.090	.078	1.642	1.136	.436	.238	.062	.023	.336
688	32658	.212	.094	.057	1.343	1.014	.393	.251	.053	.027	.307
689	32659	.215	.031	.088	2.643	1.676	.448	.334	.236	.023	.315
690	32660	.168	.097	.024	1.265	.990	.328	.216	.040	.018	.275
691	32661	.312	.107	.053	1.713	1.020	.759	.186	.036	.024	.358
584	32662	.196	.090	.077	1.492	1.001	.397	.262	.066	.018	.309
591	32663	.176	.029	.089	2.740	1.711	.471	.257	.237	.023	.329
590	32664	.169	.030	.088	2.715	1.676	.445	.305	.259	.023	.344
692	32665	.213	.096	.062	1.548	1.063	.422	.249	.033	.022	.321
693	32666	.219	.097	.065	1.409	1.094	.419	.207	.060	.023	.316
694	32667	.217	.028	.086	2.678	1.544	.413	.297	.278	.026	.344
695	32669	.207	.094	.059	1.360	1.022	.407	.246	.078	.023	.322
587	32670	.221	.034	.064	2.936	1.894	.497	.305	.236	.022	.331
696	32671	.125	.031	.374	6.303	1.957	1.538	.431	.609	.023	.282
697	32672	.255	.068	.517	7.586	1.743	1.641	.398	.521	.035	.369
698	32673	.239	.045	.551	7.203	1.865	1.624	.500	.559	.034	.388
699	32674	.234	.046	.542	8.230	2.493	2.096	.443	.643	.029	.359
700	32675	.224	.030	.065	2.682	1.609	.446	.309	.236	.023	.301
701	32676	.164	.085	.095	1.577	1.011	.422	.215	.087	.000	.315
702	32677	.225	.039	.055	2.569	1.632	.495	.373	.172	.002	.274

表—15　橋山第１遺跡（Ａ・Ｂ地区）出土の黒曜石製石器、石片の原材産地推定結果

遺物番号	試料番号	地区	グリット	層位	原石産地（確率）	判定	備考
251	32541	A	S—16	Ⅳ	桑ノ木津留第2群（18%）	桑ノ木津留	
245	32542	A	S—15	Ⅳ	桑ノ木津留第2群（9%）	桑ノ木津留	
603	32543	A	T—16	Ⅳ	桑ノ木津留第2群（3%）	桑ノ木津留	
275	32544	A	S—16	Ⅳ	桑ノ木津留第2群（D^2=116）	桑ノ木津留	
604	32545	A	R—12	Ⅳ	松浦第3群(4%)、古里第3群(1%)	松　浦	
262	32546	A	S—14	Ⅳ	桑ノ木津留第2群（0.1%）	桑ノ木津留	
605	32547	A	T—16	Ⅳ	桑ノ木津留第2群（0.3%）	桑ノ木津留	
264	32548	A	T—16	Ⅳ	桑ノ木津留第2群（0.2%）	桑ノ木津留	
606	32549	A	P—14	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（D^2=74）	桑ノ木津留	
607	32550	A	R—11	Ⅳ	桑ノ木津留（53%）	桑ノ木津留	
608	32551	A	S—15	Ⅳ	桑ノ木津留（81%）	桑ノ木津留	
609	32554	A	O—10	Ⅳ	出水(86%)、五女木(72%)、白浜(2%)	出　水	日東産の可能性
216	32559	A	P—10	Ⅳ	白浜（75%）	白　浜	茶色
610	32562	A	P—13	Ⅳ	桑ノ木津留第1群(D^2=83)、霧ケ峰(D^2=47%)	桑ノ木津留	
611	32563	A	P—13	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（26%）	桑ノ木津留	
267	32564	A	P—14	Ⅳ	和田峠第3群(D^2=72)桑ノ木津留第2群(D=73)	桑ノ木津留	
265	32565	A	P—14	Ⅳ	桑ノ木津留第1群(24%)、滝川第1(5%)	桑ノ木津留	
612	32566	A	P—14	Ⅳ			
613	32567	A	Q—10	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（18%）	桑ノ木津留	
614	32569	A	Q—10	Ⅳ	桑ノ木津留第1群(22%)、滝川第1(8%)	桑ノ木津留	
276	32570	A	Q—11	Ⅳ	桑ノ木津留第2群（0.1%）	桑ノ木津留	
254	32571	A	Q—11	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（96%）	桑ノ木津留	
615	32573	A	Q—13	Ⅳ	桑ノ木津留第2群（44%）	桑ノ木津留	
616	32574	A	Q—13	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（10%）	桑ノ木津留	
617	32575	A	Q—14	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（65%）	桑ノ木津留	
618	32576	A	Q—14	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（70%）	桑ノ木津留	
619	32577	A	Q—14	Ⅳ	出水(1%)、五女木(6%)、白浜（1%）	出　水	日東産の可能性
266	32578	A	Q—14	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（67%）	桑ノ木津留	
620	32579	A	Q—14	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（91%）	桑ノ木津留	
621	32580	A	Q—14	Ⅳ	出水(22%)、五女木(22%)、白浜(1%)	出　水	少し茶入る、白浜の可能性
622	32581	A	Q—15	Ⅳ	五女木(88%)、出水(67%)白浜(0.5%)	出　水	日東産の可能性
623	32582	A	Q—15	Ⅳ	五女木(9%)、出水(2%)、白浜(0.6%)	出　水	日東産の可能性
624	32583	A	Q—15	Ⅳ	桑ノ木津留第2群（1%）	桑ノ木津留	
625	32585	A	R—11	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（0.4%）	桑ノ木津留	
626	32586	A	R—11	Ⅳ	白浜（45%）	白　浜	
627	32587	A	R—11	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（68%）	桑ノ木津留	
628	32589	A	R—12	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（39%）	桑ノ木津留	
629	32590	A	R—12	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（27%）	桑ノ木津留	
630	32591	A	R—14	Ⅳ	和田峠第3群(D^2=73)、桑ノ木津留第2群(D^2=109)	桑ノ木津留	
631	32592	A	R—14	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（0.5%）	桑ノ木津留	
632	32593	A	R—14・15	Ⅳ	五女木(44%)、出水(11%)、白浜(4%)	出　水	黒、白浜の可能性?日東産?
633	32594	A	R—15	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（83%）	桑ノ木津留	
634	32595	A	R—15	Ⅳ	桑ノ木津留第2群（2%）	桑ノ木津留	
278	32596	A	R—14	Ⅳ	霧ケ峰(D^2=45)桑ノ木津留第1群(D^2=55)	桑ノ木津留	
635	32597	A	R—14	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（48%）	桑ノ木津留	
636	32598	A	S—15	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（6%）	桑ノ木津留	

637	32599	A	S—15	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（55%）	桑ノ木津留	
638	32600	A	S—15	Ⅳ	出水(46%)、五女木(80%)、白浜(2%)	出　　水	白浜の可能性
639	32601	A	S—15	Ⅳ	出水（58%）、五女木（31%）	出　　水	日東産の可能性
640	32602	A	S—15	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（30%）	桑ノ木津留	
641	32603	A	S—15	Ⅳ	桑ノ木津留第2群（0.1%）	桑ノ木津留	
642	32605	A	S—15	Ⅳ	出水(22%)、五女木(44%)、白浜(5%)	出　　水	円礫
643	32606	A	S—15	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（31%）	桑ノ木津留	
644	32607	A	S—15	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（49%）	桑ノ木津留	
263	32608	A	S—16	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（76%）	桑ノ木津留	
645	32609	A	S—16	Ⅳ	桑ノ木津留第2群（D^2=70）	桑ノ木津留	
646	32610	A	S—16	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（22%）	桑ノ木津留	
647	32611	A	S—16	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（66%）	桑ノ木津留	
215	32612	A	S—16	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（0.3%）	桑ノ木津留	
255	32613	A	S—16	Ⅳ	上牛鼻（0.1%）	上　牛　鼻	
648	32614	A	S—16	Ⅳ	出水（46%）、五女木（30%）	出　　水	白浜産
649	32615	A	S—16	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（0.2%）	桑ノ木津留	
260	32616	A	S—16	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（5%）	桑ノ木津留	
261	32617	A	T—15	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（55%）	桑ノ木津留	
650	32621	A	T—15	Ⅳ	桑ノ木津留第2群（D^2=70）	桑ノ木津留	
651	32622	A	T—15	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（64%）	桑ノ木津留	
259	32623	A	T—16	Ⅳ	竜ケ水（63%）	竜　ケ　水	
652	32624	A	T—16	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（25%）	桑ノ木津留	
653	32625	A	T—16	Ⅳ	桑ノ木津留第2群（1%）	桑ノ木津留	
654	32628	A	T—16	Ⅳ			
655	32630	A	T—16	Ⅳ	桑ノ木津留第2群（D^2=59）	桑ノ木津留	
656	32631	A	T—16	Ⅳ	桑ノ木津留第2群（D^2=63）	桑ノ木津留	
657	32632	A	T—16	Ⅳ	桑ノ木津留第1群(23%)、滝川第1群(9%)	桑ノ木津留	
658	32633	A	T—16	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（29%）	桑ノ木津留	
659	32634	A	T—16	Ⅳ	桑ノ木津留第2群（0.1%）	桑ノ木津留	
660	32639	A	T—16	Ⅳ	桑ノ木津留第2群（1%）	桑ノ木津留	
500	32640	A	U—15	Ⅳ	出水(56%)、五女木(42%)、白浜(1%)	出　　水	日東
661	32641	A	U—16	Ⅳ	出水(89%)、五女木(88%)	出　　水	日東
248	32642	A	U—16	Ⅳ			
662	32643	A	U—16	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（85%）	桑ノ木津留	
663	32644	A	U—16	Ⅳ	桑ノ木津留第2群（0.1%）	桑ノ木津留	
664	32645	A	U—16	Ⅳ	桑ノ木津留第2群（0.2%）	桑ノ木津留	
665	32647	A	U—16	Ⅳ	出水(79%)、五女木(76%)、白浜(2%)	出　　水	日東
666	32648	A	V—15	Ⅳ	竜ケ水（4%）	竜　ケ　水	
258	32649	A	V—16	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（21%）	桑ノ木津留	
275	32650	A	V—16	Ⅳ	竜ケ水（76%）	竜　ケ　水	
667	32651	A	V—16	Ⅳ			
668	32654	A	V—16	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（26%）		
669	32655	A	V—17	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（58%）	桑ノ木津留	
214	32656	A	V—15	Ⅳ	桑ノ木津留第2群(D^2=94)和田峠第3群(D^2=94)	桑ノ木津留	
670	32552	A	O—10	Ⅱ	上牛鼻（2%）	上　牛　鼻	
671	32553	A	O—10	Ⅱ	出水(67%)、五女木(81%)、白浜(2%)	出　　水	日東産の可能性
672	32555	A	O—10	Ⅱ	出水(97%)、五女木(98%)、白浜(2%)	出　　水	日東産の可能性
673	32557	A	O—10	Ⅱ	出水（1%）、五女木（28%）	出　　水	日東産の可能性
674	32558	A	O—10	Ⅱ	滝川第1(9%)、桑ノ木津留第1群(1%)	桑ノ木津留	

675	32560	A	P—11	Ⅱ	出水(9%)、五女木(24%)、白浜(1%)	出　　水	
676	32561	A	P—11	Ⅱ	桑ノ木津留第2群（0.1%）	桑ノ木津留	
509	32568	A	R—10	Ⅱ	桑ノ木津留第2群（1%）	桑ノ木津留	
499	32584	A	R—11	Ⅱ	桑ノ木津留第2群（0.1%）	桑ノ木津留	
677	32618	A	T—15	Ⅱ	出水（75%）、五女木（9%）	出　　水	日東
678	32619	A	T—15	Ⅱ	桑ノ木津留第1群（18%）	桑ノ木津留	
679	32626	A	T—16	Ⅱ	出水（54%）、五女木（54%）	出　　水	日東or白浜
680	32627	A	T—16	Ⅱ	和田峠第3群(D^2=67)、桑ノ木津留第2群(D^2=81)	桑ノ木津留	
681	32629	A	T—16	Ⅱ	五女木（1%）、白浜（0.5%）	出　　水	日東
682	32635	A	T—16	Ⅱ	和田峠第3群(D^2=85)、桑ノ木津留第2群(D^2=121)	桑ノ木津留	
683	32637	A	T—16	Ⅱ	桑ノ木津留第1群（27%）	桑ノ木津留	
684	32638	A	T—16	Ⅱ	出水（86%）、五女木（32%）	出　　水	日東
685	32646	A	U—16	Ⅱ	五女木(46%)、出水(39%)、白浜(2%)	出　　水	日東
686	32653	A	V—16	Ⅱ	五女木（21%）、出水（2%）	出　　水	日東
687	32657	B	H—10	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（82%）	桑ノ木津留	
688	32658	B	F—10	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（58%）	桑ノ木津留	
689	32659	B	I—1	Ⅳ	腰岳(90%)、古里第1(90%)、松浦第1(71%)	腰　　岳	
690	32660	B	I—1	Ⅳ	白浜（4%）	白　　浜	
691	32661	B	H—0	Ⅳ	和田峠第3群(D^2=76)、桑ノ木津留第2群(D^2=94)	桑ノ木津留	
584	32662	B	G—0	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（67%）	桑ノ木津留	
591	32663	B	H—1	Ⅳ	古里第1(68%)、腰岳(54%)、松浦第1(5%)	腰　　岳	
590	32664	B	H—1	Ⅳ	腰岳(56%)、古里第1(43%)、松浦第2(5%)	腰　　岳	
692	32665	B	I—1	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（55%）	桑ノ木津留	
693	32666	B	J—0	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（62%）	桑ノ木津留	
694	32667	B	H—0	Ⅳ	腰岳(85%)、松浦第1(39%)、古里第1(7%)	腰　　岳	
695	32669	B	G—4	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（81%）	桑ノ木津留	
587	32670	B	F—5	Ⅳ	古里第1(4%)、腰岳(6%)、松浦第1(1%)	腰　　岳	
696	32671	B	G—4	Ⅳ	観音崎（D^2=95）	姫　　島	
697	32672	B	E—5	Ⅳ	両瀬第1（D^2=98）	姫　　島	
698	32673	B	D—5	Ⅳ	観音崎（18%）、両瀬第1（7%）	姫　　島	
699	32674	B	D—4	Ⅳ	両瀬第1（1%）、観音崎（0.2%）	姫　　島	
700	32675	B	K—0	Ⅳ	古里第1(76%)、松浦第1(73%)、腰岳(63%)	腰　　岳	
701	32676	B	J—0	Ⅳ	桑ノ木津留第1群（0.1%）	桑ノ木津留	
702	32677	B	K—0	Ⅳ	古里第1群（0.2%）	腰　　岳	

表—16　橋山第１遺跡、天ヶ城跡出土の縄文時代早期遺物の原石産地別頻度分布

遺跡（地区）	原石産地　個数（%）										
	桑ノ木津留		出　水	白　浜	上牛鼻	竜ケ水	腰　岳	淀　姫	松　浦	姫　島	不　明
	第１群	第２群									
橋山（Ａ地区）Ⅳ層	45(50)	21(23)	13(14)	2(2)	1(1)	3(3)			1(1)		4(4)
Ⅱ層	3(15)	5(26)	10(52)		1(5)						
〃（Ｂ地区）Ⅳ層	7(35)	1(5)		1(5)			7(35)			4(20)	
天ヶ城跡	37(30)	5(4)	4(3)	1(1)			65(54)	2(2)		4(3)	3(2)
〃（１ｍφ集中）	169(100)										

Ⅴ　まとめ

1　遺構について

ここでは、集石遺構について触れておきたい。集石遺構の検出された位置関係では、一部の遺構については、遺物の分布状況だけでは時期決定の根拠に乏しく、それだけでは時期の決定は困難である。さらに用途であるが、土坑をもつA類と配石を有し土坑を伴わないB－1類は、炉としての機能も想定できようが、土坑も配石も伴わないB－2類については、すべてに炉としての機能を与えるのは早急である。その集石を構成する礫が熱を受けていない場合は準備礫の可能性があり、熱を受けている礫は、集積状に検出されたとしても礫群と同じような廃棄礫の集合体としての可能性も有り得るのではなかろうか。ただ、調査現場において礫が熱を受けているか否かをすべて判断することは現在のところ困難であり、遺構の機能をそれぞれ限定することはできない。

2　遺物について

a 縄文土器

Ⅳ層から出土する縄文早期土器は、Ⅰ－1・2類は「前平式」、Ⅱ－1・2類は「知覧式」、Ⅱ－3・4類は「吉田式」、Ⅲ類は「下剥峰式」、Ⅳ－1～3類は「桑ノ丸式」、Ⅳ－4類は「苦浜式」、Ⅴ－1類は「三代寺式」、Ⅴ－2類は「塞ノ神式」、Ⅴ－3類は「栫ノ原式」、Ⅷ類は「手向山式」にそれぞれ比定される。Ⅰ－3～6類は橋上遺跡、芳ケ迫第1遺跡、札ノ元遺跡、前原西遺跡等でも出土しており、施文形態や手法からみて「前平式」に準ずるものと理解したい。知覧式は角筒土器の出土があり、この遺跡からも出土している。Ⅳ－4類の「苦浜式」は、横峰C遺跡をはじめ鹿児島県内で確認されている。轟式系統の土器として塞ノ神式前後に位置づけられているが、器面の流水文をみるかぎりでは「桑ノ丸式」にみられる流水文との関係も考えられる。Ⅴ－1類は、土器の胎土をみるかぎりでは他の土器と比較すると全く異質である。出土遺物の最低個体数は、表－17のとおりである。遺物数では、前平式と押型文系においてピークがみられる。

表―17　縄文土器出土最低個体数集計表

	A　地　区（Ⅳ層）																																計
分類	Ⅰ							Ⅱ					Ⅲ	Ⅳ				Ⅴ			Ⅵ		Ⅶ					Ⅷ	Ⅸ		Ⅹ	
	1	2	3			4	5	6	1		2	3	4		1	2	3	4	1	2	3	1	2	山形		楕円		格子目		1	2		
			a	b	c				円	角														A	B	A	B						
個体数	3	2	6	4	4	5	4	1	4	4	2	4	2	7	3	6	1	1	1	1	1	4	4	1	7	8	1	2	3	17	3	12	128

	B　地　区（Ⅳ層）																計
分類	Ⅰ					Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ		Ⅶ				Ⅸ		Ⅹ	
	1	2	3	4	5			1	2	山形		楕円		1	2		
			a							A	B	A	B				
個体数	1	9	4	1	10	4	1	3	4	2	5	2	1	1	2	2	52

Ⅱａ層からの出土土器は、口縁部の主文様が連続列点文（Ⅰ類）、貝殻連続刺突文（Ⅱ類）、沈線文（Ⅲ類）に大きく分けることができる。器面全体の調整は貝殻条痕を主とするが、口縁部の文様部分についてはほとんどの遺物がナデ消す傾向にあり、条痕を残すものは稀である。Ⅰ類土器はほとんどの出土土器が口縁部のみで胴部を伴わないことから、細分の基準は口縁部中心でおこなっており、この分類が最良のものだとは考えていない。しかしながら、全体的にみると、「阿高式」の影響を多分に受けた土器群であるといえる。沈線間に連続列点文や貝殻連続刺突文を施すⅣ類の土器群は、瀬戸内を中心に発達した磨消縄文土器を多分に意識したものと思われ、在地色の強いものとそうでないものとがある。Ⅴ類でみられる「中津式」を含む磨消縄文土器の出土も考えると、その土器文化西漸による影響は否定できないであろう。Ⅳ－１類にみられる口縁部の縦長の細い列点文はⅠ－４類にみられるものをやや小さくしたものであり口縁部だけをみると類似している。それは、Ⅳ－１類はⅠ類、Ⅳ－２・３類はⅡ類やⅢ類のそれぞれの土器群により影響を受けた結果であると思われ、Ⅳ類の土器群の出土量が少ないことは、磨消縄文文化西漸の初期的現象として考えられる。また、在地と移入のどちらの立場にしても、今までの伝統を捨てきらない一面をみることができる。沈線間に文様を施す土器は、県内では、串間市の「崩野遺跡」、田野町の「丸野第２遺跡」、綾町の「尾立遺跡」等でも出土している。また、刻目突帯のみを口縁部に施すⅦ類は他の土器群とは異なった施文形態であるが、都城市の「正坂原遺跡」でも同じように刻目突帯のみを口縁部に施す土器が出土しており、今後検討が必要であろう。

ｂ石器

Ⅳ層の石器組成をみると、石鏃13点（13.9％）、石錘９点（9.6％）、石斧８点（8.6％）、スクレイパー９点（9.6％）、使用痕剥片38点（40.8％）、磨石７点（7.5％）、敲石３点（3.2％）、凹石１点（1.2％）、その他５点（５％）の合計93点である。使用痕剥片が１／３以上を占め、石鏃や石錘がそれに続く。それらの石器の分布状況は、遺跡の先端部近くに集中している。また、器種は、石錘がＡ地区では出土しているがＢ地区では全く出土していない。次に、Ⅱ層の石器組成は、石錘32点（48.4％）石錐２点（３％）、石斧１点（1.5％）、スクレイパー４点（６％）、使用痕剥片17点（25.7％）、磨石３点（4.5％）、敲石・凹石各１点、その他５点の合計66点である。

両方を比較すると、Ⅱ層では石鏃は全く無くなり、スクレイパーや使用痕剥片が半減する。石錘は逆に４倍近く増加する。この現象は主要な生業基盤の変化を意味するようでもある。確かに、石鏃や石錘は移動性のあるものであり、出土量のことだけを取り上げては、そのような根拠にはならないが、可能性としては考えられる。石錘は、Ⅳ層出土は平均重量45.4ｇ、Ⅱ層出土は平均重量64.6ｇである。打ち欠き石錘については、Ⅳ層出土は小型軽量のものが多く、Ⅱ層出土は小型のものと大型のものに分けられ、小型のものは19点ありその平均重量は33.7ｇ、大型のものは10点でその平均重量は135.8ｇである。Ⅳ層出土の打ち欠き石錘は９点と少なく、しかも出土分布状況は散乱してまとまりがない。この場合、石錘の用途としては地理的なことと浮子の存在を考えれば漁労具として使用された可能性が高いが、製品加工から製品使用、そして廃棄までの行動過程を検討することで別の用途も浮かび上がってくるであろう。切り目石錘は、Ⅱ層から３点のみ出土しており全体の１割弱で、これは第Ⅱ層出土Ⅳ類土器群の在り方に似ている。そしてⅡ層出土の切り目石錘と打ち欠き石錘の割合は、出土量に違いがあるものの「丸野第２遺跡」とは逆の様相を示している。この遺跡付近の大淀川は、河幅が現況（堤防間）で300ｍ前後あり、当時の水量は現在より豊富で緩やかな流れであったと思われる。さらに、打ち欠き石錘が比較的軽量であることを考えれば、このような出土状況は

この遺跡の立地条件によるものと時期的なものがあると思われる。石材については、磨石をはじめ石錘とスクレイパーと石斧の一部についてを宍戸章氏に依頼した。その結果、磨石については、尾鈴山酸性岩使用のものと大淀川で採取可能な砂岩を使用したものがあった。また、石錘のほとんどは砂岩を使用しているが、大淀川流域の砂岩以外に外部から搬入された砂岩を使用しているものがあった。それは、近燐を想定した場合には耳川、五ヶ瀬川流域などの県北部で採取されるもので、同じように石斧等に使用されたホルンフェルスは、近いところで五ヶ瀬または一ツ瀬川流域が考えられるという。それとは別に、環状石斧に使用された石材は溶結凝灰岩であり近いところで南西部の霧島周辺が想定されるという。氏が言うように近隣を想定した場合の産地推定であり、県外の遠端地からの搬入も十分考えられるわけであるが、それにしてもあえて搬入品を使用するということは、石材採取と製品加工も含めた当時の交易の在り方を考えるには重要である。また、黒曜石の分析結果については、Ｂ地区において九州北部産の黒曜石の搬入がみられた。これについては土器文化との照合を試みた。まず、双方の分布状況を重ね合わせると、大まかではあるがやはり押型文系の土器が浮かび上がる。また、Ｂ地区のみで出土した土器型式をも考えたが、それについては明確にはできなかった。現状では、押型文系土器のさらに狭い範囲が想定されるものの、県内における押型文土器の編年には依然確立されたとは言い難い。また、Ｂ地区と同様の分析結果が得られた遺跡が現在整理中であり、それを待って再度考えてみたい。

3　おわりに

以上のように、遺構や遺物についてまとめてみたが、最後に、この遺跡の性格について若干述べて終わりとしたい。縄文早期では、押型文系土器（Ⅶ・Ⅷ類）の出土があり一時期を成していたと思われるが、主流は貝殻文系土器群であり、集石遺構の検出状況なども含めて南九州的な様相を示している。先に調査されたＣ地区の調査結果をみても、Ⅶ類は確認されていないが、Ⅳ類の桑ノ丸式、Ⅷ類の手向山式、そしてＩ類の範中に類する土器が出土しておりＡ・Ｂ地区と大きくかわるものではない。縄文後期については、Ａ地区のみで確認されている。ここでは阿高式系土器が主流を占めている。また、疑似磨消縄文や磨消縄文も若干出土しており、これは、切目石錘と打ち欠き石錘の出土量の比を考え合わせると磨消縄文文化の影響を受ける一過程と認識できる。

この遺跡は日向灘から約15km程の所の丘陵にあり、大淀川に面し遺跡の立地としては最良の所にある。それは生業はもとより交易を含めた物の移動という観点からもそう言えるであろう。この遺跡周辺では今後の発掘調査の増加による資料の蓄積によりさらに鮮明になるにちがいない。

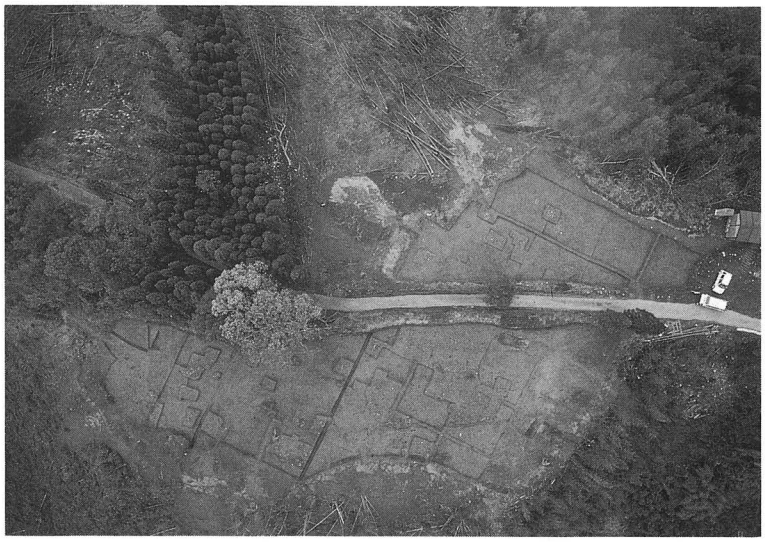
図　　版

A 地区遠景（北から）

B 地区遠景（西から）

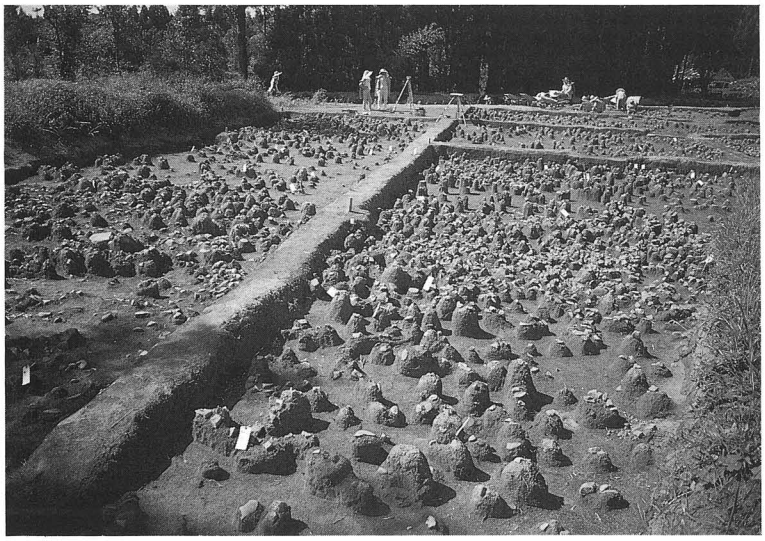
図版 2

A 地区遠景（西から）

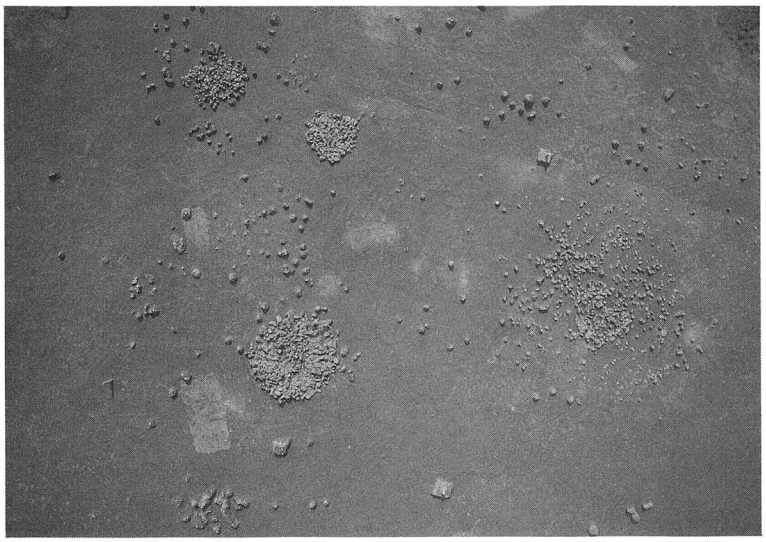


A 地区全景

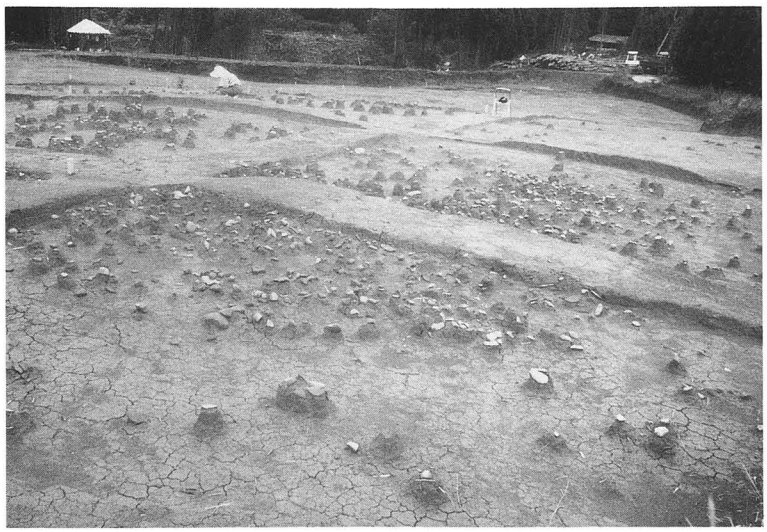
A 地区北側礫群検出状況



B地区西側（c群）礫群検出状況



B地区北側（b群）遺構検出状況

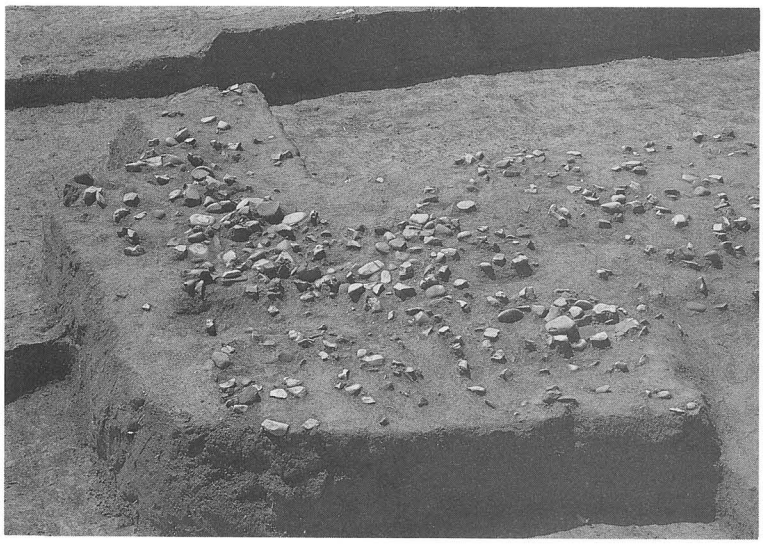


B地区東側（a群）礫群検出状況

図版４

第１号集石遺構

第２号集石遺構



第３・４号集石遺構

第 3 号集石遺構配石

第12号集石遺構

第13号集石遺構

図版 6

第14号集石遺構

第22号集石遺構

第25号集石遺構

第26号集石遺構

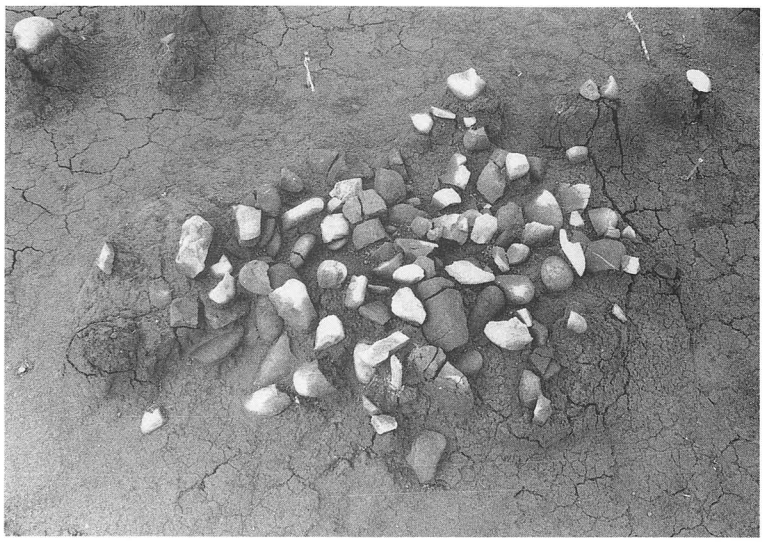
第29号集石遺構

第30号集石遺構

図版 8

第31号集石遺構

第31号集石遺構半截状況



第32号集石遺構

第33号集石遺構

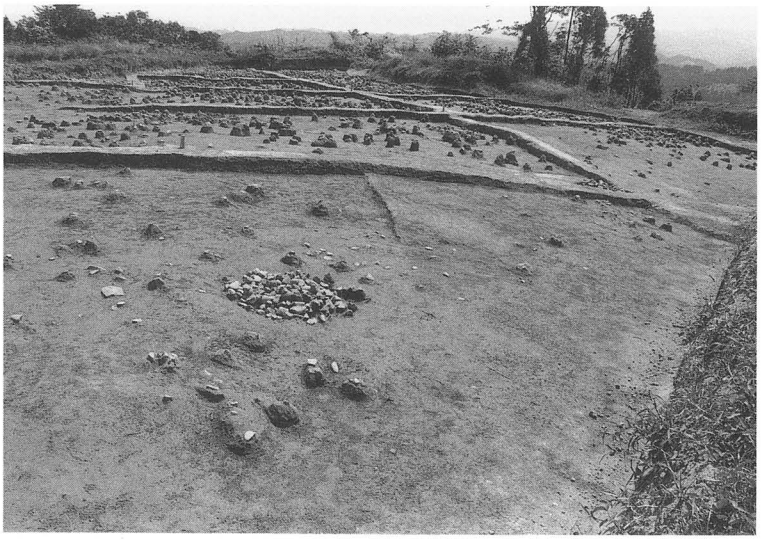
第34号集石遺構

第35号集石遺構

図版10

第35号集石遺構半截状況

第37号集石遺構



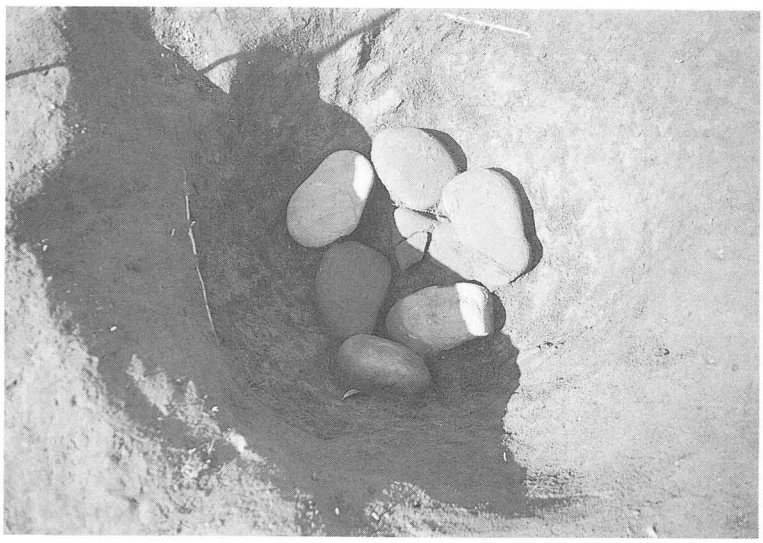
第38号集石遺構

第38号集石遺構

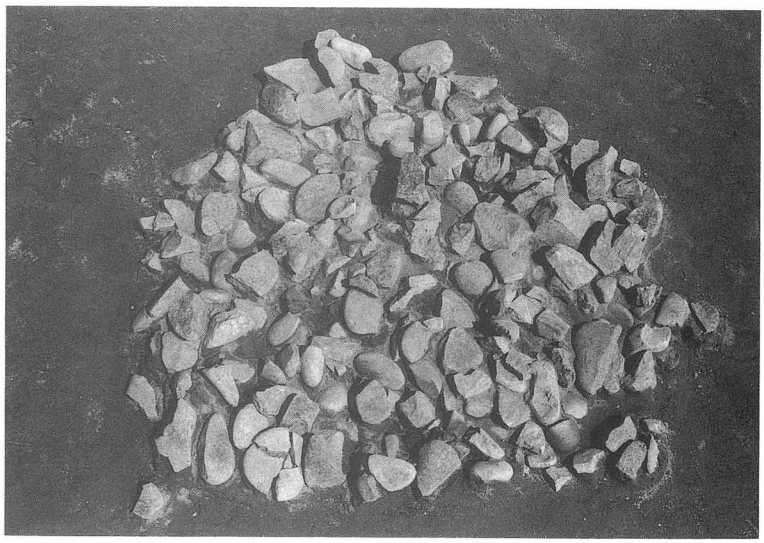
第39号集石遺構

第40・41号集石遺構

図版12



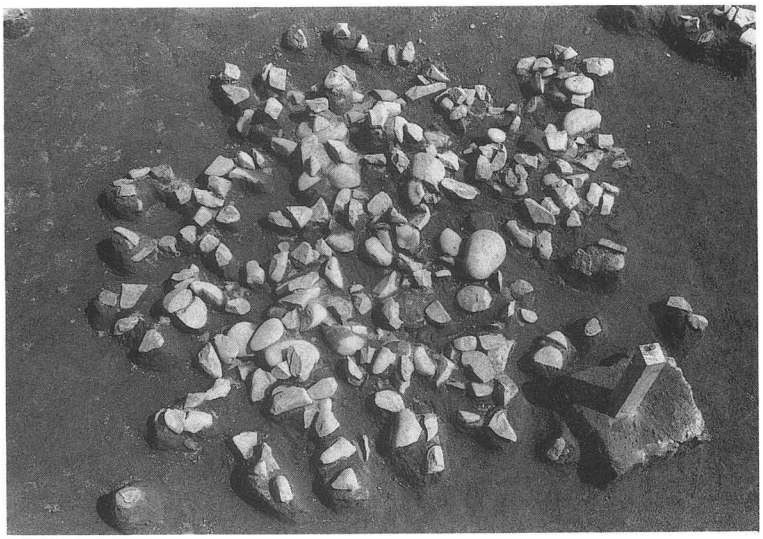
第42号集石遺構配石



第43号集石遺構

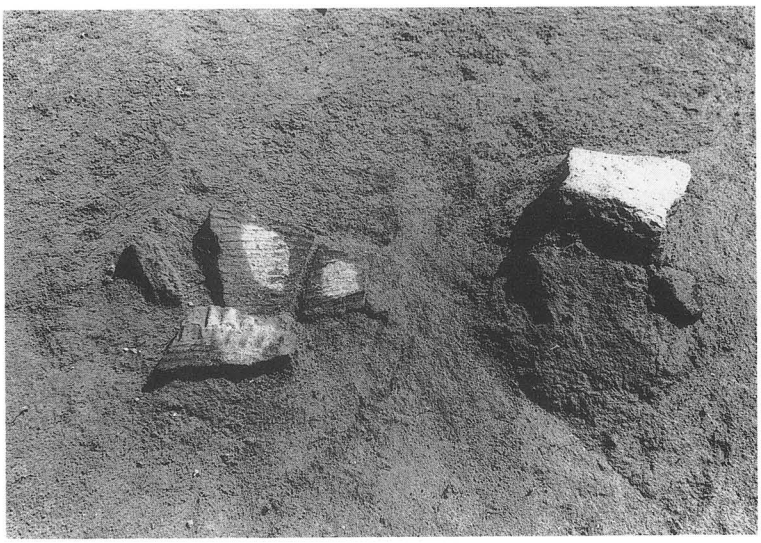
第44号集石遺構

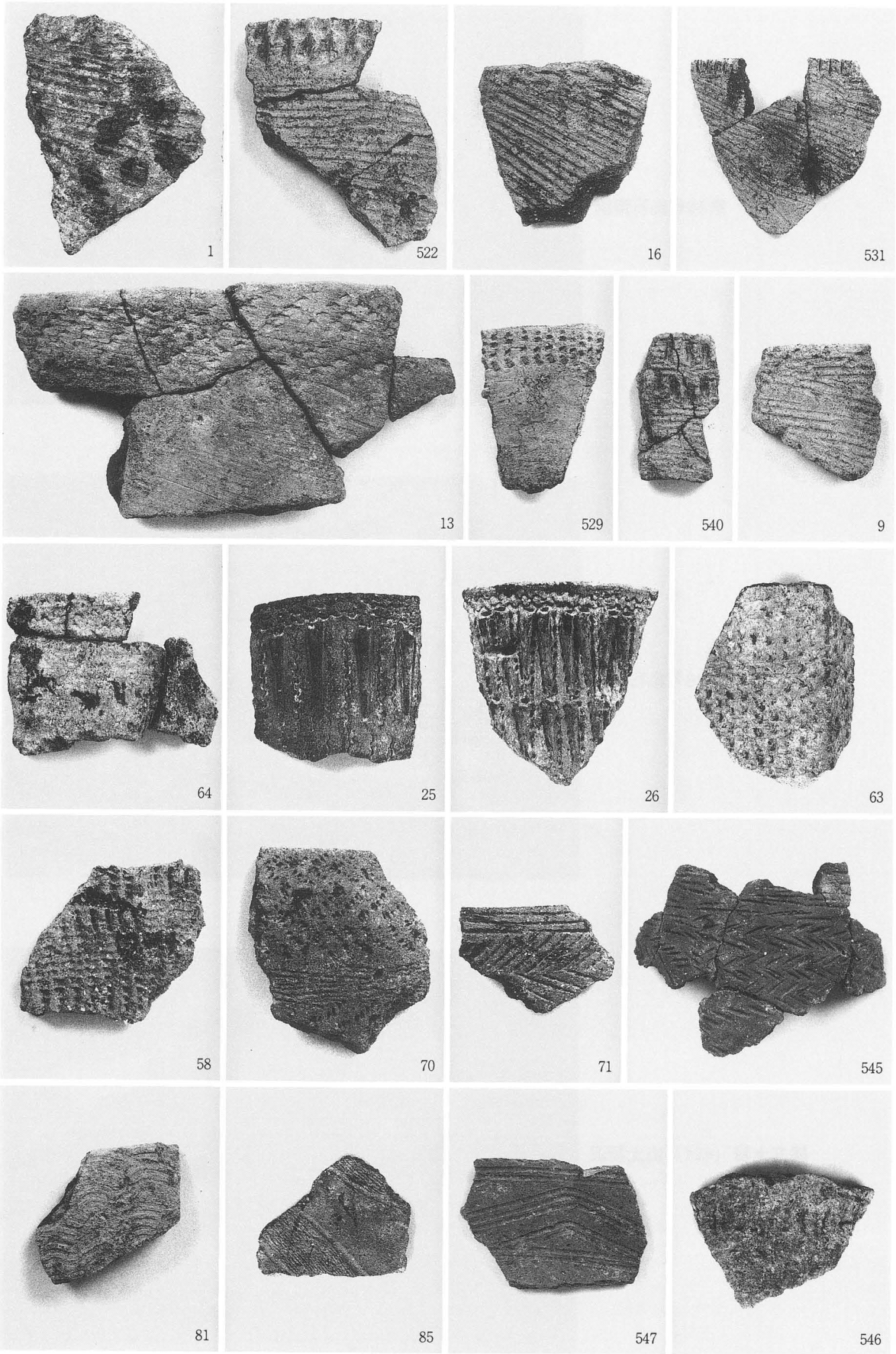
第45号集石遺構



第46号集石遺構

縄文土器（521）出土状況





第Ⅳ層出土土器(1)